

茨城県教育財団文化財調査報告第387集

宮内遺跡 2

長右衛門元屋敷遺跡

国道354号岩井バイパス事業
地内埋蔵文化財調査報告書

下 卷

平成26年3月

茨城県境工事事務所
公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第387集

みやうち
宮内遺跡 2
ちやうう えもんもと やしき
長右衛門元屋敷遺跡

国道354号岩井バイパス事業
地内埋蔵文化財調査報告書

下 卷

平成26年3月

茨城県境工事事務所
公益財団法人茨城県教育財団

目 次

-下 巻-

7	その他の遺構と遺物	285
(1)	堅穴建物跡	285
(2)	井戸跡	285
(3)	道路跡	289
(4)	土坑	290
(5)	柱穴列	327
(6)	溝跡	330
(7)	ピット群	333
(8)	遺構外出土遺物	344
第4節	まとめ	356
第4章	長右衛門元屋敷遺跡	375
第1節	調査の概要	375
第2節	基本層序	375
第3節	遺構と遺物	377
1	縄文時代の遺構と遺物	377
(1)	堅穴建物跡	377
(2)	陥し穴	379
2	平安時代の遺構と遺物	380
	火葬墓	380
3	江戸時代の遺構と遺物	381
(1)	掘立柱建物跡	381
(2)	井戸跡	400
(3)	粘土貼土坑	401
(4)	土坑	412
(5)	柱穴列	428
4	その他の遺構と遺物	429
(1)	堅穴遺構	429
(2)	土坑	430
(3)	溝跡	442
(4)	ピット群	444
(5)	遺構外出土遺物	446
第4節	まとめ	448
付 章		453
写真図版		PL 1 ~ PL78
抄 録		
付 図		

7 その他の遺構と遺物

今回の調査で、伴う遺物が出土していないことから、時期が明らかでない堅穴建物跡1棟、井戸跡16基、道路跡1条、土坑519基、柱穴列4列、溝跡34条、ピット群9か所を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

(1) 堅穴建物跡

第74号堅穴建物跡（第244図）

位置 調査区東部のE11c8区、標高15mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第176号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 大部分が調査区域外に延びているため、北西コーナー部しか確認できなかった。確認できた北東・南西軸は1.86m、北西・南東軸は1.20mで、平面形は隅丸方形または隅丸長方形と推定できる。北西・南東方向はN-29°-Wである。壁高は14~18cmで、外傾して立ち上がっている。

床 ほほ平坦で、硬化面は確認できなかった。

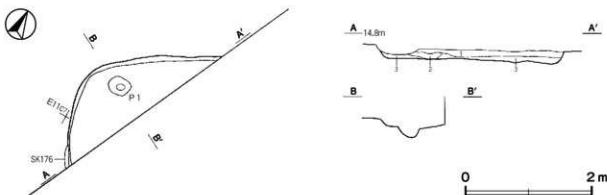
ピット P1は深さ15cmで、位置から主柱穴の可能性がある。

覆土 3層に分層できる。ロームブロックや焼土粒子が含まれていることから、埋め戻されている。

土層解説

- | | | | |
|-------|-----------------------|------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 褐色 | ロームブロック多量 |
| 2 褐色 | 焼土粒子中量、ローム粒子少量 | | |

所見 時期は、出土遺物がないため不明である。



第244図 第74号堅穴建物跡実測図

(2) 井戸跡

時期不明の井戸跡16基については、実測図（第245～247図）、土層解説、一覧表を記載する。

第5号井戸跡土層解説

- 暗褐色 ロームブロック、焼土粒子・炭化粒子微量
- 暗褐色 ローム粒子少量、粘土ブロック微量
- 褐色 ロームブロック少量、粘土ブロック・炭化粒子微量
- にがい黄褐色 粘土ブロック多量、ローム粒子微量
- 黄褐色 粘土ブロック中量、ローム粒子少量

第8号井戸跡土層解説

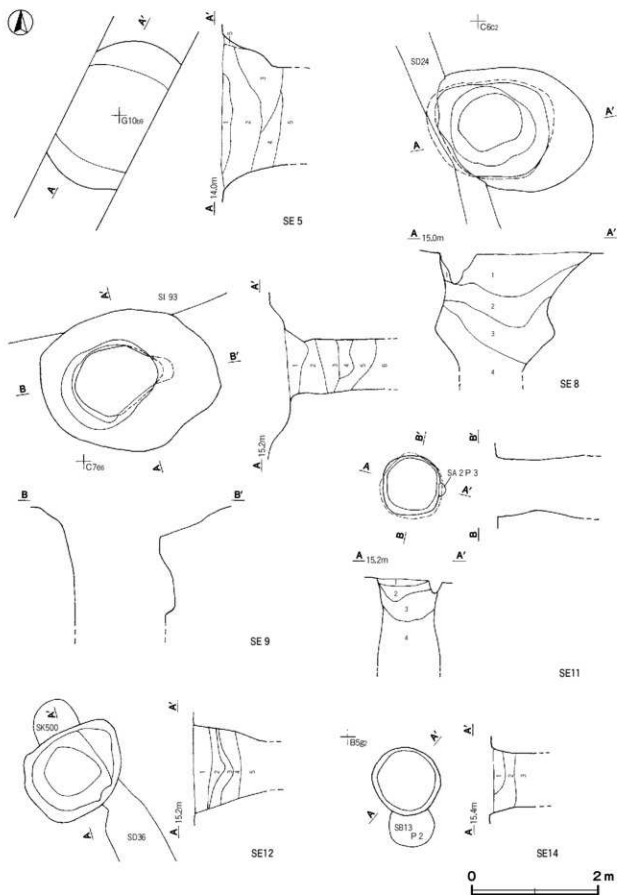
- 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 黒褐色 ローム粒子微量
- 黒褐色 ロームブロック微量

第9号井戸跡土層解説

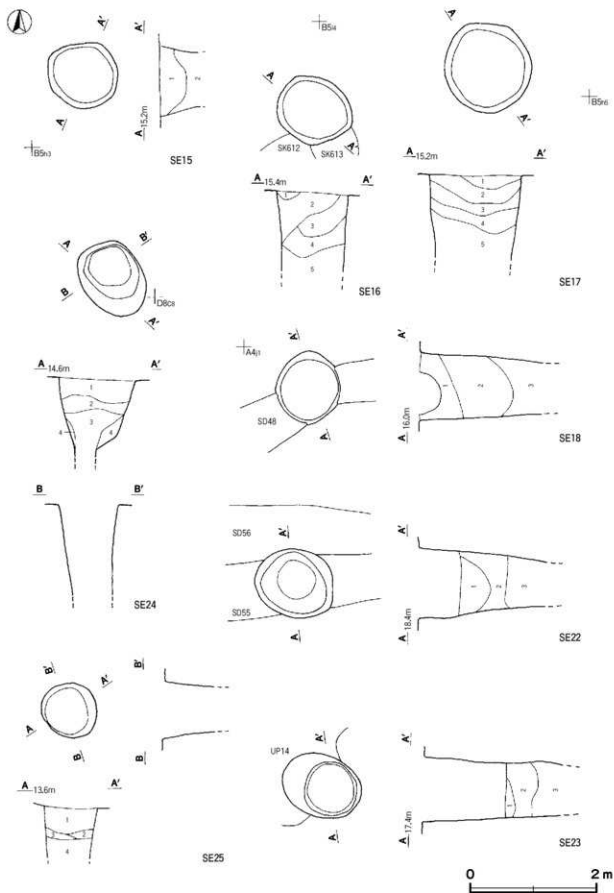
- 黒褐色 ロームブロック少量
- 黒褐色 ローム粒子中量
- 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 褐色 ローム粒子多量
- 暗褐色 ローム粒子多量
- 褐色 ローム粒子中量

第11号井戸跡土層解説

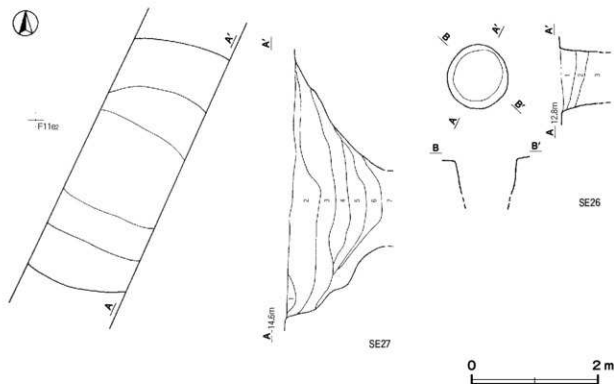
- 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 黒褐色 ローム粒子微量
- 黒褐色 粘土ブロック微量



第 245 図 その他の井戸跡実測図(1)



第 246 図 その他の井戸跡実測図(2)



第 247 図 その他の井戸跡実測図(3)

第 12 号井戸跡土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子少量
- 2 黒 褐色 ロームブロック微量
- 3 暗 褐色 ローム粒子少量
- 4 黒 色 ロームブロック微量
- 5 黒 褐色 ロームブロック中量

第 14 号井戸跡土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子微量
- 2 黒 褐色 粘土ブロック中量
- 3 黒 褐色 粘土ブロック少量

第 15 号井戸跡土層解説

- 1 黒 褐色 炭化粒子少量, 粘土ブロック・焼土粒子微量
- 2 黒 褐色 粘土ブロック少量

第 16 号井戸跡土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐色 ロームブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 暗 褐色 ロームブロック少量
- 5 暗 褐色 ローム粒子微量

第 17 号井戸跡土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗 褐色 焼土粒子・粘土粒子微量
- 3 暗 褐色 炭化物・粘土粒子微量
- 4 暗 褐色 ローム粒子少量, 粘土粒子微量
- 5 暗 褐色 粘土粒子微量

第 18 号井戸跡土層解説

- 1 黒 色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 黒 褐色 ロームブロック・粘土粒子微量
- 3 黒 色 ローム粒子微量

第 22 号井戸跡土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第 23 号井戸跡土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 暗 褐色 ロームブロック中量
- 3 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第 24 号井戸跡土層解説

- 1 暗 褐色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 黒 褐色 ローム粒子微量
- 4 黒 褐色 粘土粒子中量, ローム粒子微量

第 25 号井戸跡土層解説

- 1 極 暗 褐色 炭化粒子中量, ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗 褐色 焼土粒子中量, ローム粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量
- 4 黒 褐色 炭化粒子中量, 粘土粒子少量, ローム粒子微量

第 26 号井戸跡土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子・粘土粒子・砂粒微量
- 2 黒 褐色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐色 粘土粒子・砂粒微量

第 27 号井戸跡土層解説

- 1 極 暗 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量
- 2 暗 褐色 ローム粒子・炭化粒子少量, 焼土ブロック微量
- 3 暗 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化材微量
- 4 黒 褐色 炭化物中量, ローム粒子少量, 粘土ブロック・焼土粒子微量
- 5 黒 褐色 ロームブロック・粘土ブロック・炭化粒子少量
- 6 褐色 ローム粒子中量, 炭化材少量
- 7 暗 褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量

表 19 その他の井戸跡一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		断面	底 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
5	G 1068	-	-	252 × (130)	(120)	漏斗状	-	人為	土師器片, 須恵器片	
8	C 6 c2	N - 80° - W	楕円形	(250) × 196	(184)	漏斗状	-	自然	土師器片, 須恵器片, 土師質土器片, 石器, 鉄滓, 炉内滓	本跡→SD21
9	C 7 d6	N - 87° - W	楕円形	288 × 226	(192)	漏斗状	-	人為	土師器片, 須恵器片, 鉄滓	S93→本跡
11	B 5 d4	-	円形	1.02 × 1.00	(140)	円筒状	-	自然	土師器片, 須恵器片	本跡→SA 2
12	C 5 c7	N - 37° - E	楕円形	1.76 × 1.36	(116)	漏斗状	-	人為 自然		SD30, SK300→本跡
14	B 5 g2	-	円形	1.08 × 1.04	(72)	円筒状	-	人為		SD13→本跡
15	B 5 g3	-	円形	1.18 × 1.10	(60)	円筒状	-	人為	土師器片, 須恵器片	
16	B 5 i3	N - 65° - W	楕円形	1.26 × 1.06	(126)	円筒状	-	人為	土師器片, 須恵器片, 鉄滓, 炉内滓	SK612・613→本跡
17	B 5 g4	-	円形	1.46 × 1.36	(132)	円筒状	-	自然	土師器片, 須恵器片, 鉄滓, 炉内滓	
18	A 4 j1	-	[円形]	1.18 × (1.08)	(194)	円筒状	-	自然	土師器片, 石器	本跡→SD48
22	Z 1 i9	-	楕円形	1.26 × 1.08	(200)	円筒状	-	人為 自然	土師器片	SD55・56→本跡
23	B 3 b8	N - 63° - W	楕円形	1.28 × 1.00	(274)	円筒状	-	人為	土師器片	UP14→本跡
24	D 8 h7	N - 30° - W	楕円形	1.26 × 0.98	(146)	漏斗状	-	人為	土師器片, 須恵器片, 鉄滓	
25	D 11 g4	N - 41° - W	楕円形	0.93 × 0.84	(85)	円筒状	-	人為	土師器片, 土製品, 鉄滓	
26	D 10 d9	-	円形	1.03 × 1.00	(56)	円筒状	-	自然	土師器片, 鉄滓	
27	F 11 e2	-	-	4.30 × (1.56)	(148)	漏斗状	-	人為	土師器片, 須恵器片, 土製品, 鉄滓	

(3) 道路跡

時期不明の道路跡については文章で記述し、土層断面図のみ掲載し、遺構平面図は遺構全体図で示す。

第 1 号道路跡 (第 248 図)

位置 調査区東部の D 10f2～D 10i4 区、標高 14 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 264・268 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南西部の大部分と南東端部が調査区域外に延びており、北西部が大きく削平されているため、長さ 320 m ほど、幅 5.0 m ほどしか確認できなかった。北西・南東方向 (N - 31° - W) に延びていると推測できる。路面は 2 面が確認でき、2 次面は幅 1.1～2.8 m、1 次面は幅 1.6～5.0 m である。

構築土 第 1 層が 2 次面、第 2 層が 1 次面の構築土である。第 1・2 層とも堅く締まっている。

構築土層解説

1 黒褐色 ロームブロック微量

2 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 土師器片 15 点 (甕類), 須恵器片 9 点 (坏 6, 甕類 3), 陶器片 3 点 (碗), 炉底塊 1 点 (253.1 g), 鉄滓 15 点 (72.8 g) が、いずれも構築土中から出土している。いずれも細片のため図示できない。

所見 時期は、伴う遺物が出土していないため不明である。



第 248 図 第 1 号道路跡実測図

(4) 土坑

時期不明の土坑 519 基については、第 474 号土坑のみ文章で解説し、その他は実測図（第 251～275 図）と一覧表を掲載する。

第 474 号土坑（第 249・250 図）

位置 調査区中央部の C7 d9 区、標高 15 m ほどの平坦な台地上に位置している。

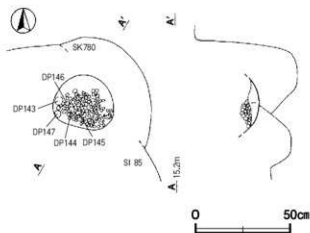
重複関係 第 85 号竪穴建物跡、第 780 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 第 85 号竪穴建物跡の掘り込み中に確認したため、東西径は 0.32 m、南北径は 0.24 m の楕円形をした底部のみを確認した。

覆土 単一層で、固く締まっている。堆積状況は不明である。

土層解説

1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量



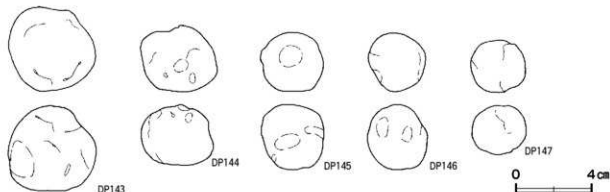
遺物出土状況 直径 0.1～4.6 cm の様々な大きさの土製品（土玉）2371 点が、覆土下層からまともに出て出土している。全て未焼成で破損は認められない。主なものを 5 点を図示する。DP143～DP147 は中央部から出土している。

所見 未焼成の土玉を大量に埋めていることから、土玉の作成中に遺棄したもの、あるいは、祭祀的な可能性もあるが、性格は不明である。時期は、9 世紀前葉に比定できる第 85 号竪穴建物跡の北東コーナーを掘り込んでいるため、それ以降と考えられるが、伴う遺物が出土していないため不明である。

第 249 図 第 474 号土坑実測図

第 474 号土坑出土土製品（土玉）集計表

径	個数(個)	割合(%)	重さ(g)
0.1～0.5cm	1322	55	71.2
0.6～1.0cm	780	33	203.1
1.1～2.0cm	165	7	164.7
2.1～3.0cm	88	4	288.4
3.1cm～	16	1	247.9



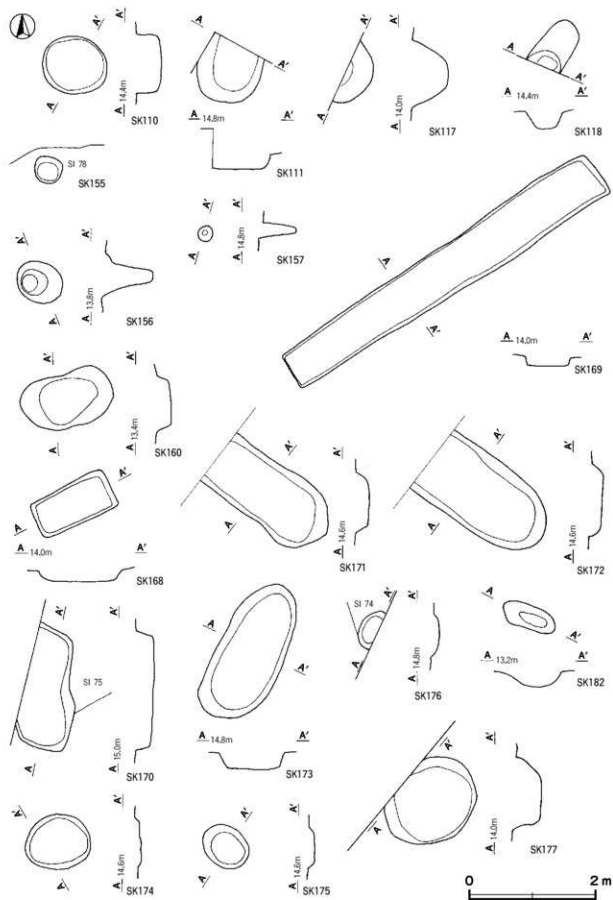
第 250 図 第 474 号土坑出土遺物実測図

第 474 号土坑出土遺物観察表 (第 250 図)

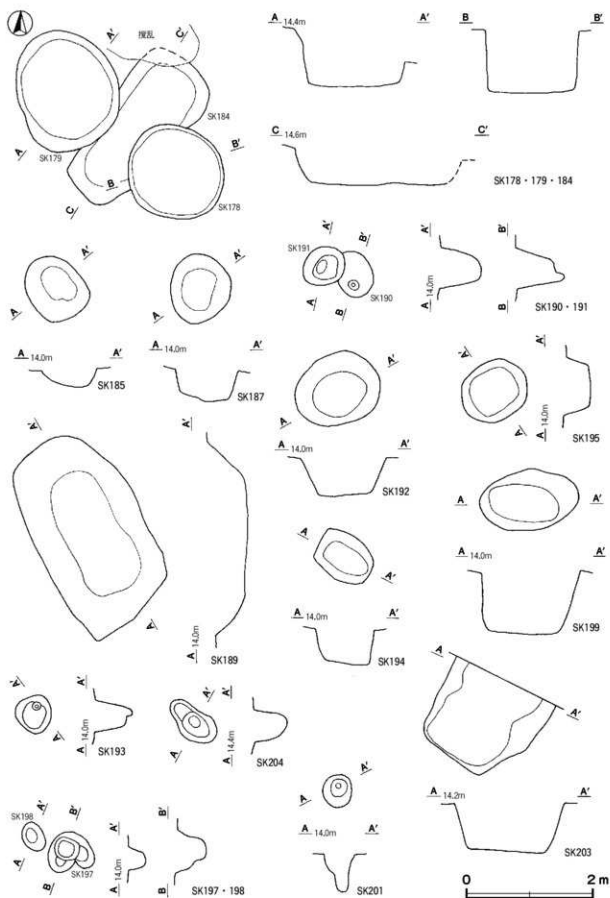
番号	器種	径	厚さ	重量	胎土	特徴	出土位置	備考
DP143	土玉	44-46	4.6	57.45	長石・石英	ナデ 指頭圧痕 未焼成	覆土下層	PL50
DP144	土玉	35-40	3.2	25.36	長石・石英	ナデ 指頭圧痕 未焼成	覆土下層	PL50
DP145	土玉	31-33	3.4	22.30	長石・石英	ナデ 指頭圧痕 未焼成	覆土下層	PL50
DP146	土玉	30-31	3.4	20.87	長石・石英	ナデ 指頭圧痕 未焼成	覆土下層	PL50
DP147	土玉	27-30	2.5	13.79	長石・石英	ナデ 未焼成	覆土下層	PL50

表 20 その他の土坑一覧表

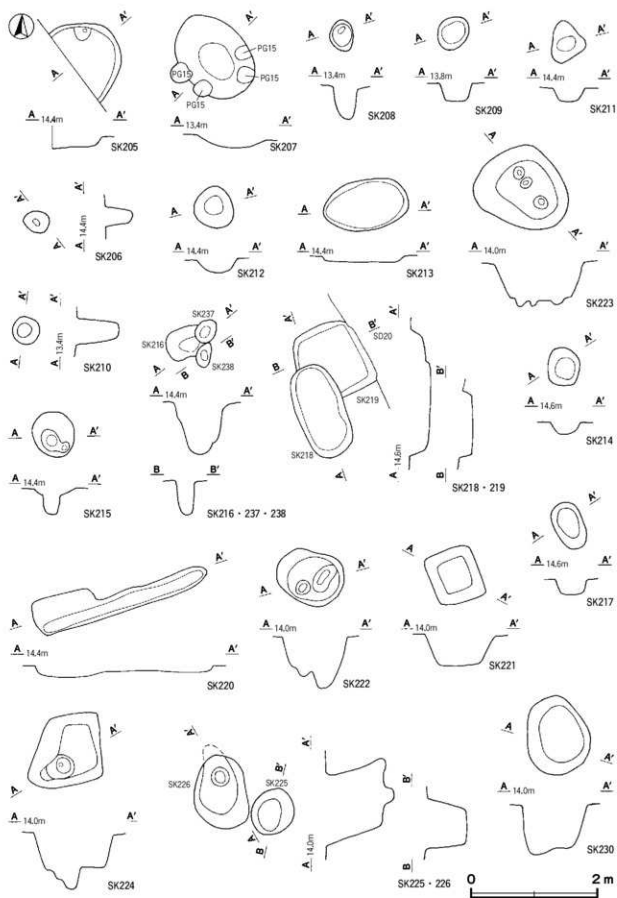
番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径 (cm)	深さ (cm)					
110	F 11b3	N-63°-W	楕円形	1.06 × 0.93	41	平坦	直立	-	土師器片、須恵器片	
111	F 11f1	N-5°-E	楕丸長方形	(1.04) × (0.99)	28	平坦	外傾	人為	土師器片、磁器片、鉄滓	
117	G 10a8	N-24°-E	楕円形	(1.05) × (0.44)	57	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	
118	F 11e1	N-35°-E	楕円形	(0.83) × 0.56	25	平坦	外傾	人為		
155	D 12f1	N-46°-W	楕円形	0.50 × 0.43	-	-	-	-		SI78 と新田不明
156	D 12f1	N-47°-W	楕円形	0.78 × 0.65	78	平坦	直立	人為	土師器片	
157	E 11a8	-	円形	0.27 × 0.26	60	平坦	直立	人為		
160	D 11f4	N-69°-E	楕円形	1.41 × 0.86	24	平坦	外傾	人為		
168	D 11g1	N-65°-E	長方形	1.30 × 0.67	18	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、石器、土製品、鉄滓	
169	D 11g2	N-57°-E	長方形	5.85 × 0.82	17	平坦	外傾	人為	土師器片、瓦質土器片、鉄滓	
170	E 11e5	N-12°-E	楕丸長方形	1.89 × 0.86	28	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SI75 → 本跡
171	E 11b3	N-55°-W	楕丸長方形	(2.10) × 1.03	22	平坦	外傾	自然	鉄滓	
172	E 11b4	N-55°-W	楕丸長方形	(2.15) × 1.16	23	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片	
173	E 11d7	N-28°-E	楕円形	2.32 × 1.05	31	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	
174	E 11b6	N-82°-E	楕円形	1.05 × 0.88	10	凹凸	緩斜	自然	土師器片、須恵器片	
175	E 11c7	N-57°-W	楕円形	0.75 × 0.64	8	平坦	緩斜	自然	須恵器片	SI74 → 本跡
176	E 11a8	N-30°-E	楕円形	0.70 × (0.28)	12	平坦	緩斜	自然		
177	D 11b6	N-30°-E	楕円形	1.58 × (1.12)	40	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、陶器片	
178	D 10a8	-	円形	1.58 × 1.52	100	平坦	直立	人為	土師器片、土師質土器片、鉄滓	SK184 → 本跡
179	D 10g8	N-17°-W	楕円形	1.91 × 1.52	80	平坦	直立	-	土師器片、須恵器片、陶器片、磁器片、土製品、鉄製品	SK184 → 本跡
182	D 11g1	N-66°-W	楕円形	0.89 × 0.37	23	皿状	外傾	人為		
184	D 10g8	N-45°-E	楕丸長方形	2.67 × 1.35	49	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土師質土器片、陶器片、鉄滓	本跡 → SK178、179
185	D 10b6	N-35°-W	楕円形	1.06 × 0.89	25	皿状	緩斜	自然	鉄滓	
187	D 10e7	N-6°-E	楕円形	1.12 × 0.95	50	傾斜	直立	人為		
189	D 10g4	N-32°-W	楕丸長方形	3.13 × 1.76	60	平坦	緩斜	人為	土師器片、鉄滓	
190	D 9f7	N-20°-W	楕円形	0.72 × (0.62)	61	平坦	外傾	人為	土師器片	本跡 → SK191
191	D 9f7	N-45°-E	楕円形	0.72 × (0.52)	64	皿状	外傾	人為	土師器片	SK190 → 本跡
192	D 9f7	N-62°-E	楕円形	1.38 × 1.13	60	平坦	外傾	-		
193	D 9b6	-	円形	0.60 × 0.56	50	平坦	外傾	人為		
194	D 9e6	N-60°-W	楕丸長方形	0.93 × 0.73	53	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
195	D 9d7	N-58°-E	楕円形	1.10 × 0.91	40	平坦	外傾	人為	土師器片	
197	D 9b6	N-70°-W	不定形	0.75 × 0.66	46	平坦	外傾	人為	土師器片	
198	D 9b6	N-35°-W	楕円形	0.47 × 0.32	24	平坦	外傾	人為		
199	D 9a6	N-82°-E	楕円形	1.60 × 0.99	100	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	



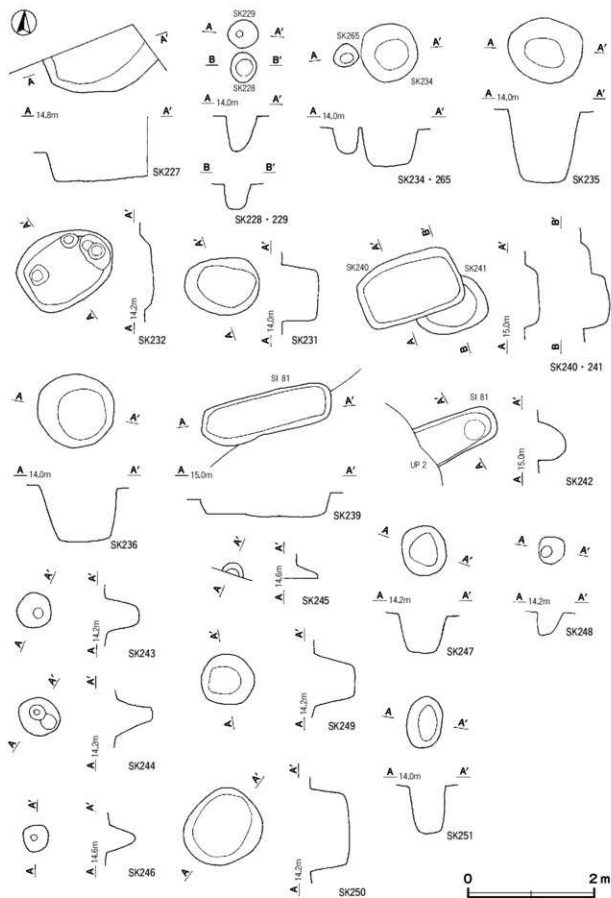
第 251 図 その他の土坑実測図(1)



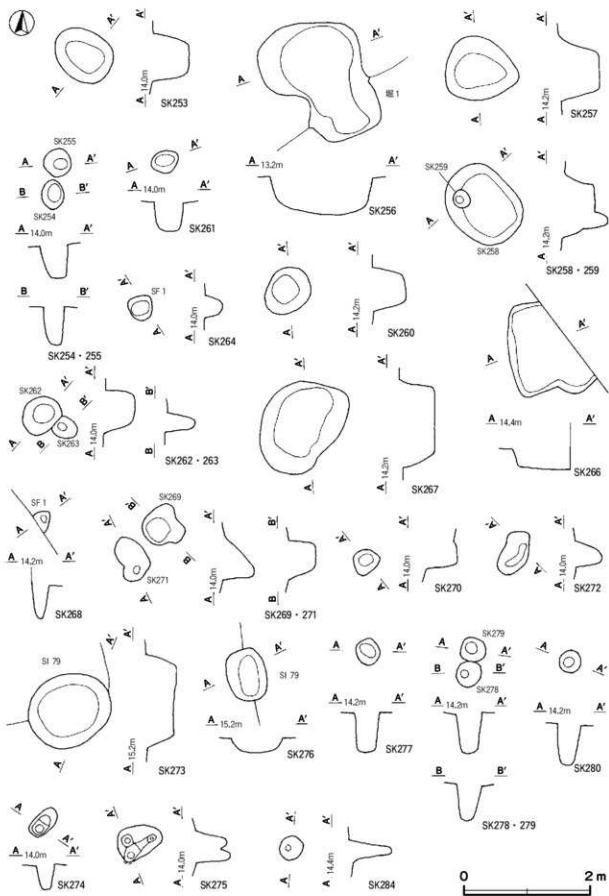
第 252 図 その他の土坑実測図(2)



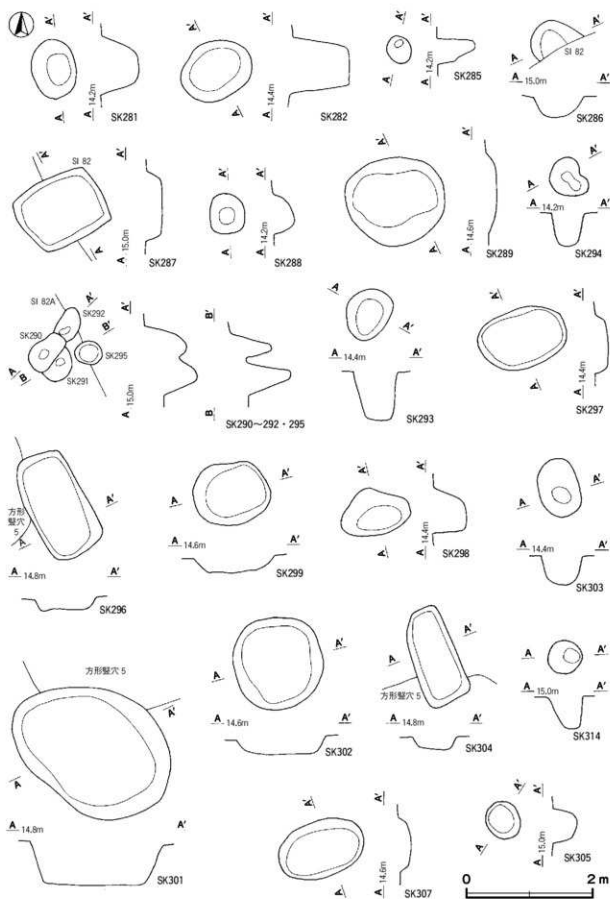
第 253 図 その他の土坑実測図(3)



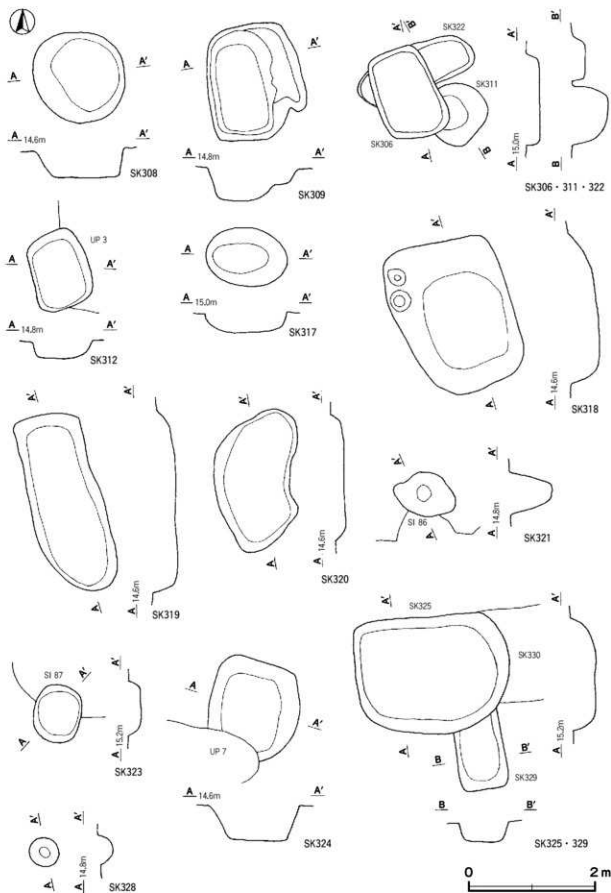
第 254 図 その他の土坑実測図(4)



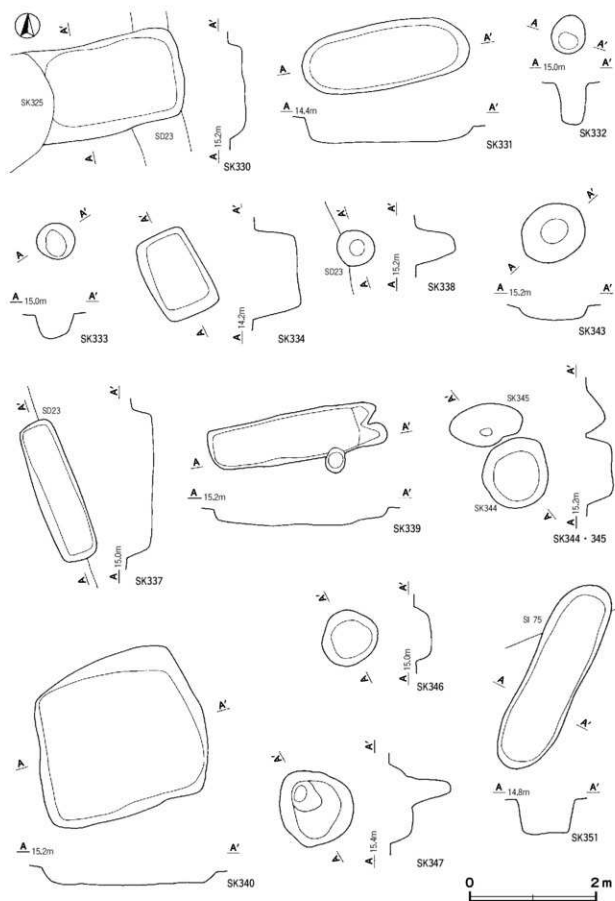
第 255 図 その他の土坑実測図(5)



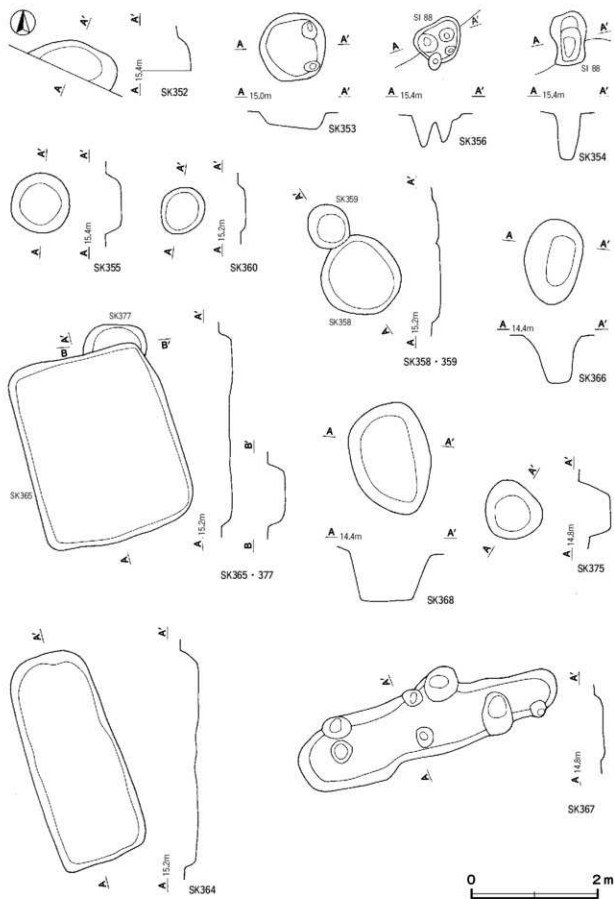
第 256 図 その他の土坑実測図(6)



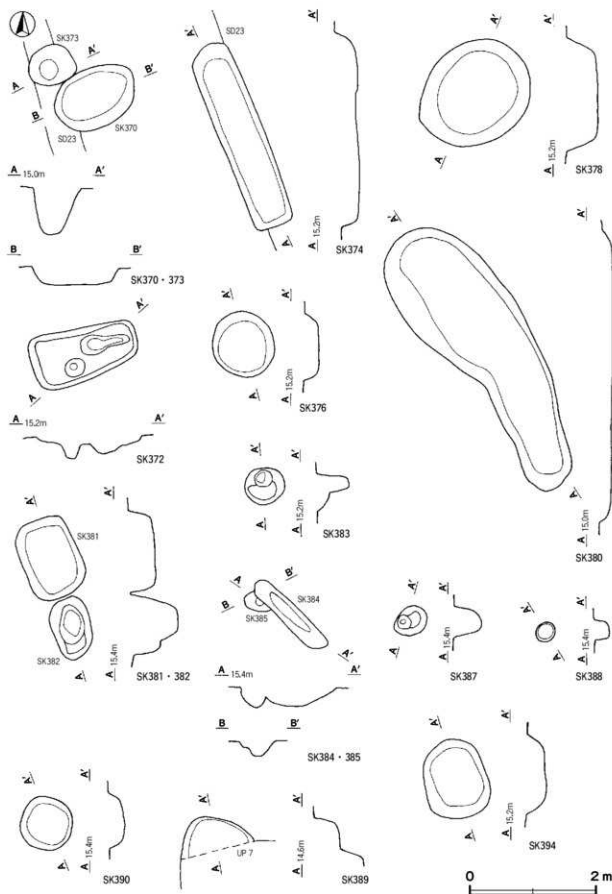
第257図 その他の土坑実測図(7)



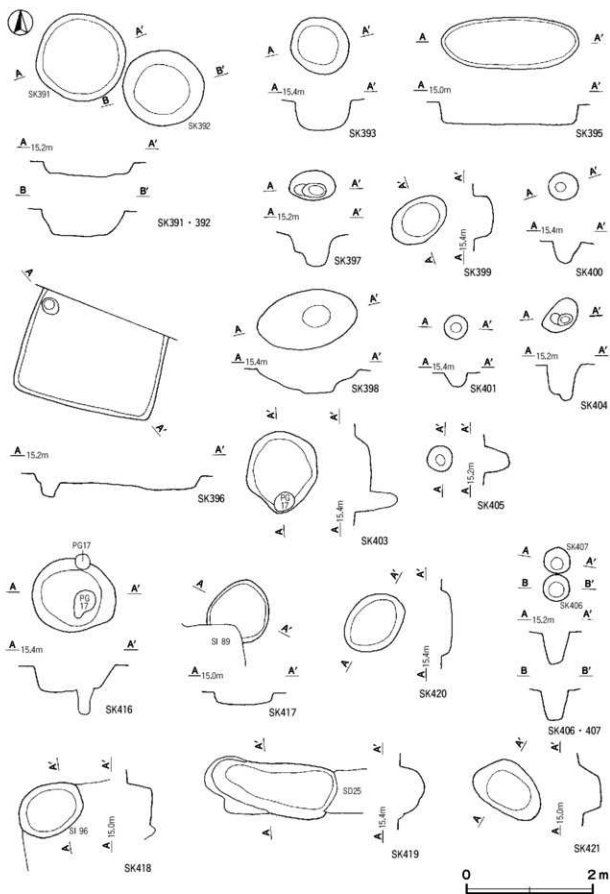
第 258 図 その他の土坑実測図(8)



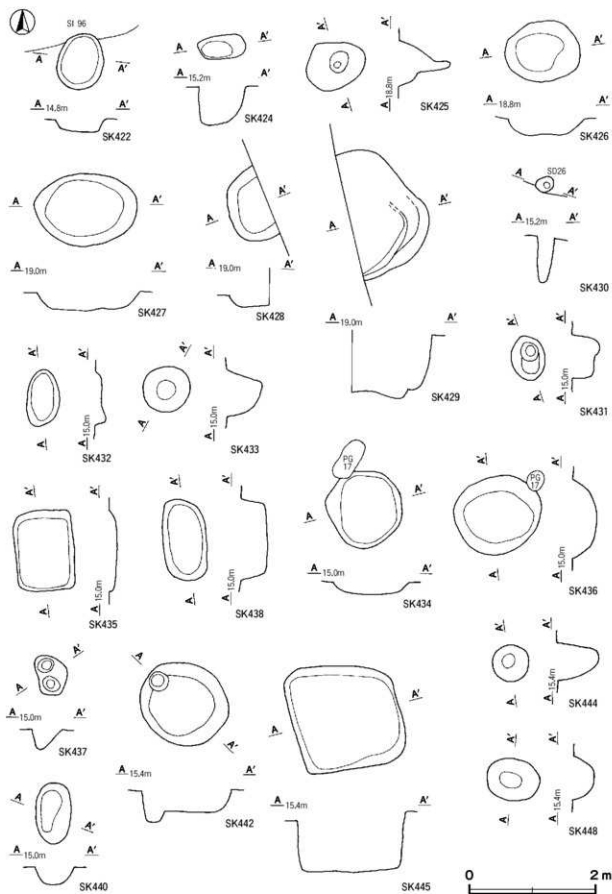
第 259 図 その他の土坑実測図(9)



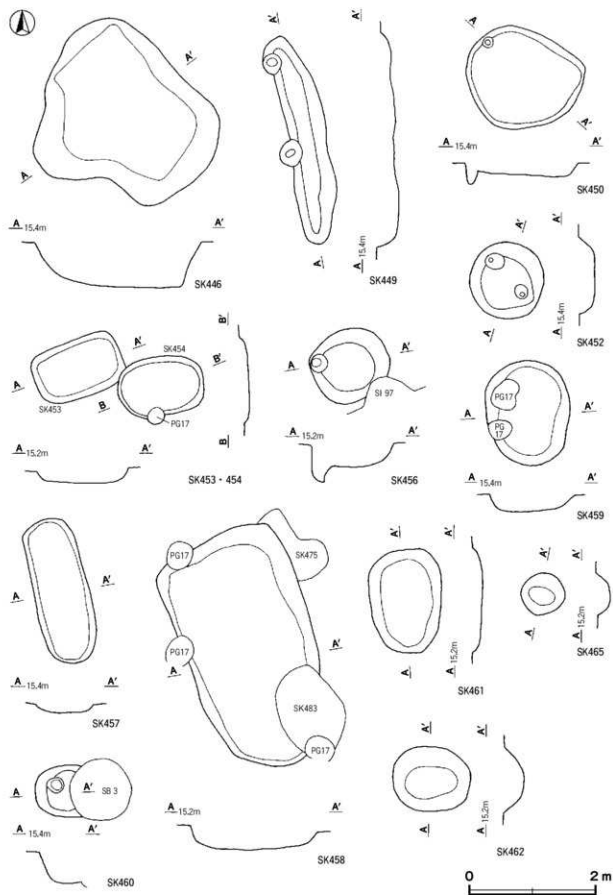
第 260 図 その他の土坑実測図(10)



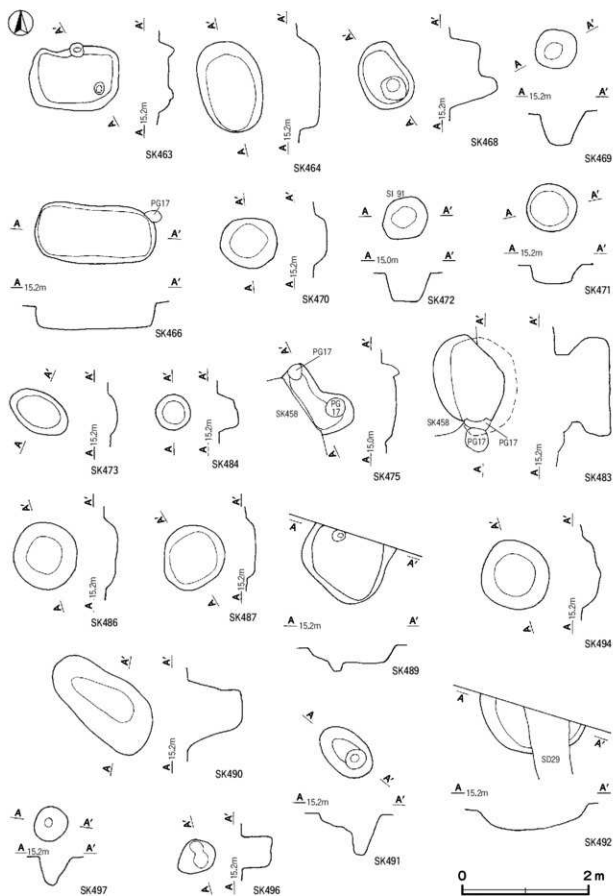
第 261 図 その他の土坑実測図(1)



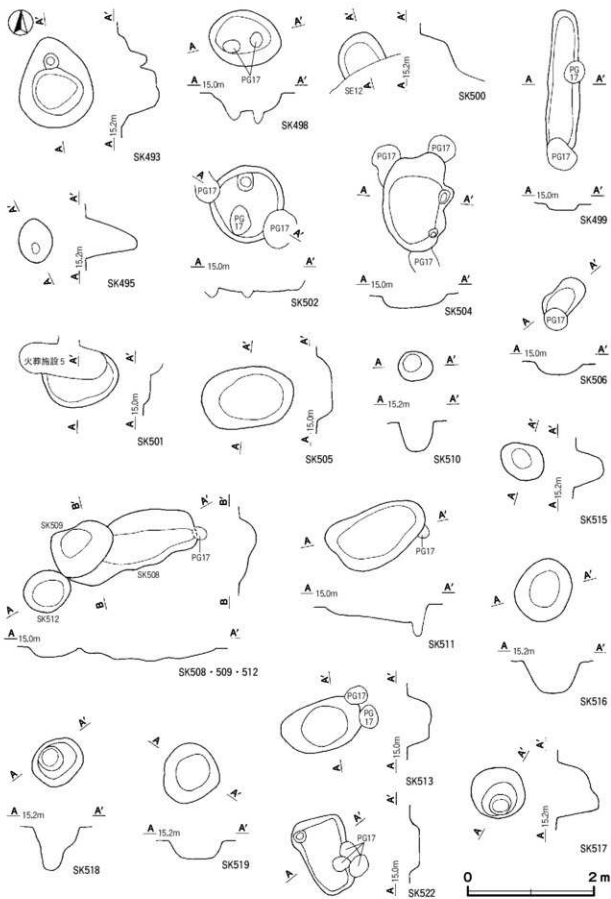
第 262 図 その他の土坑実測図②



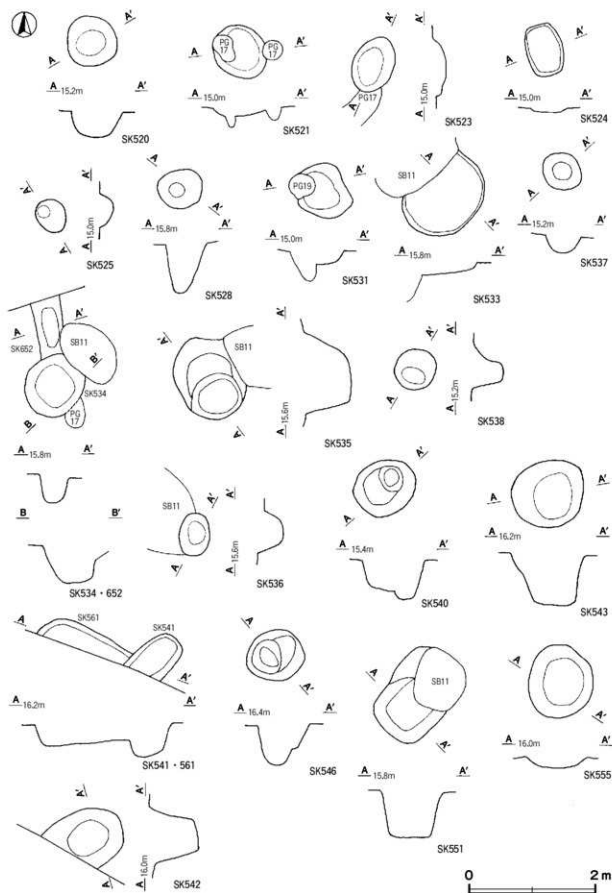
第 263 図 その他の土坑実測図⑬



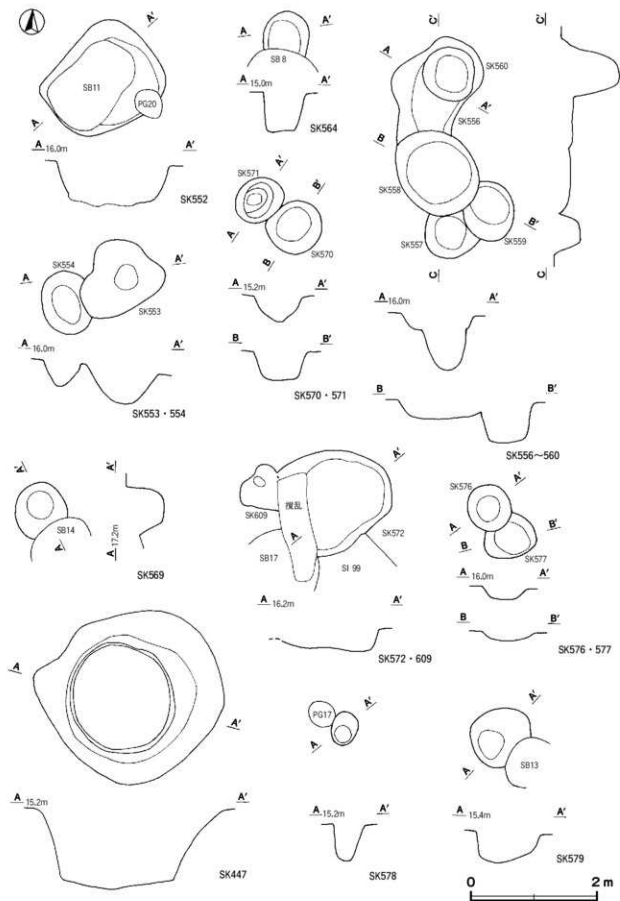
第 264 図 その他の土坑実測図④



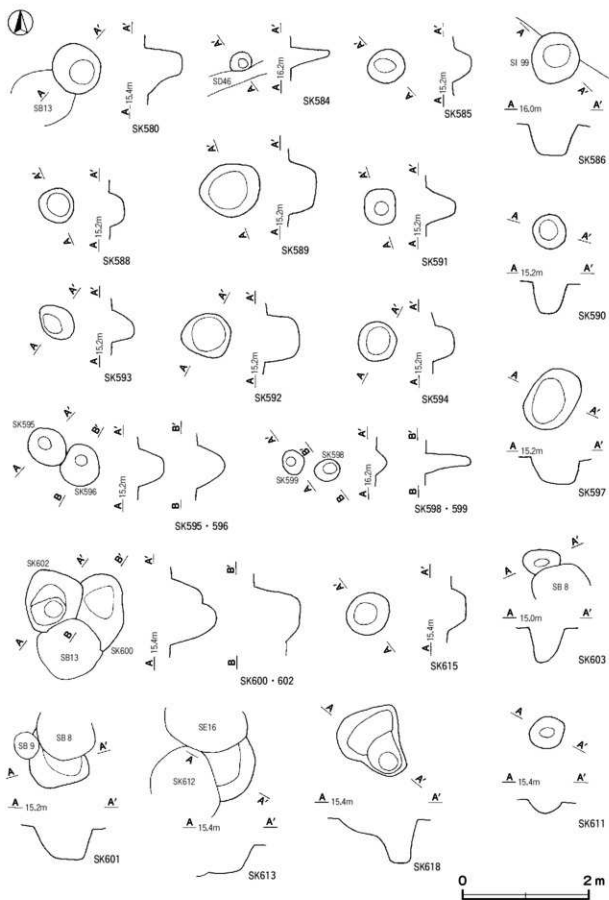
第 265 図 その他の土坑実測図⑬



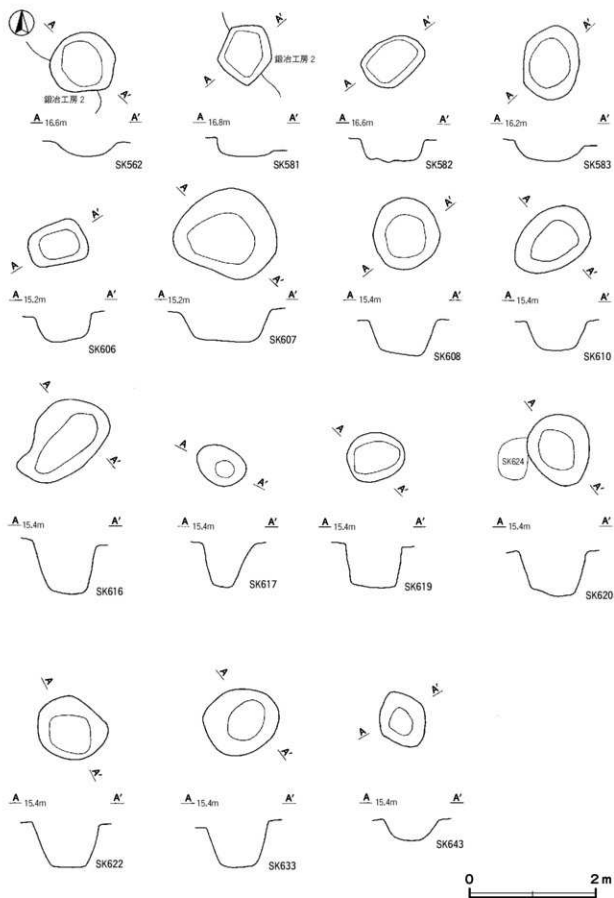
第 266 図 その他の土坑実測図⑩



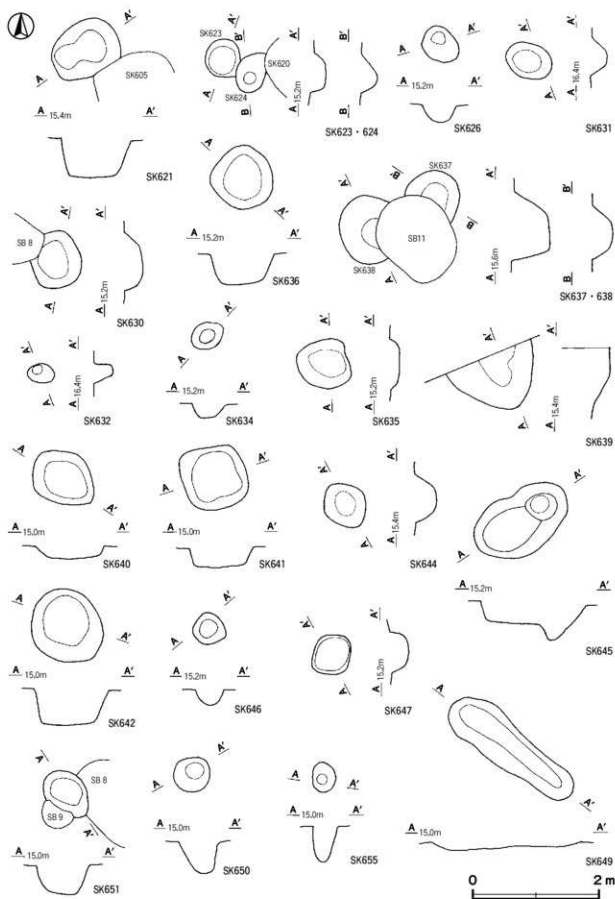
第 267 図 その他の土坑実測図切



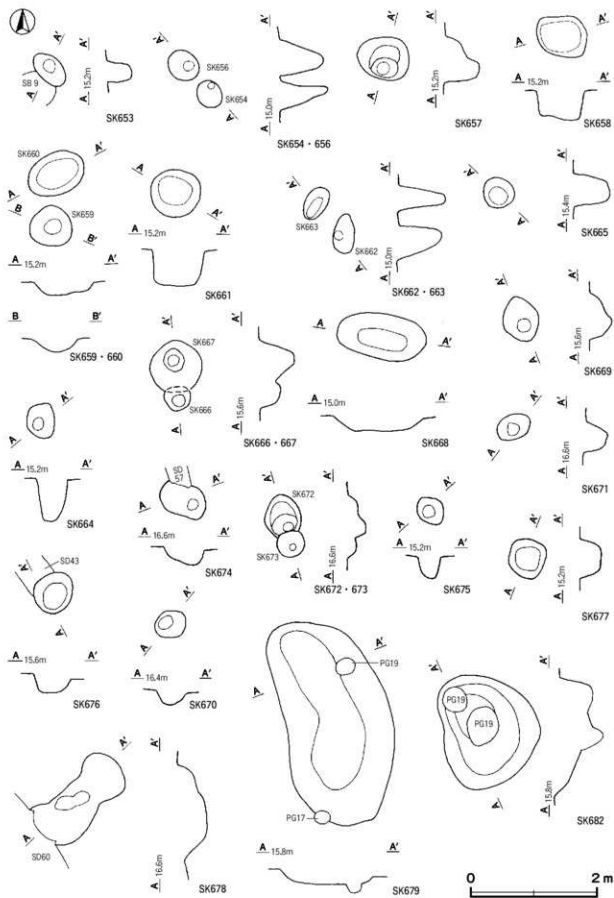
第 268 図 その他の土坑実測図(8)



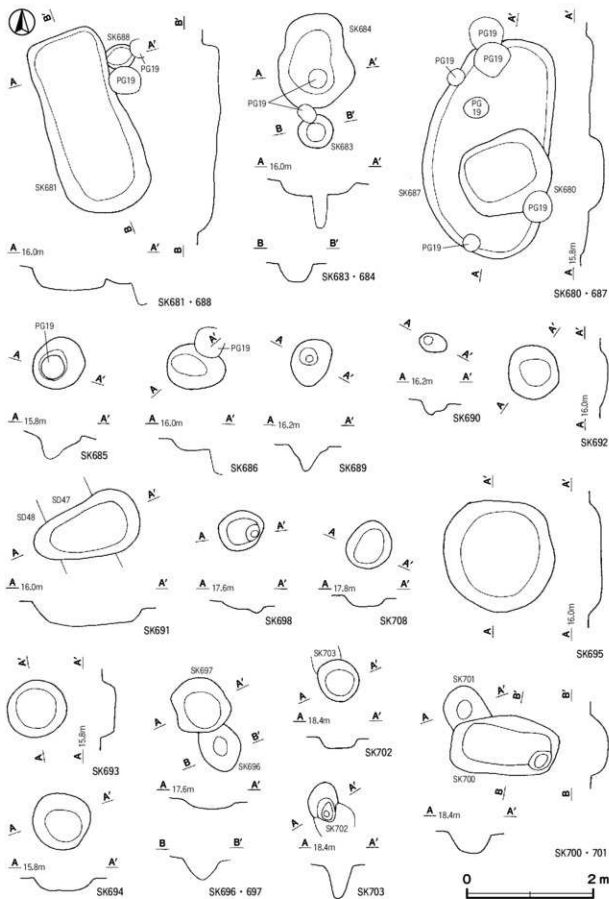
第 269 図 その他の土坑実測図(9)



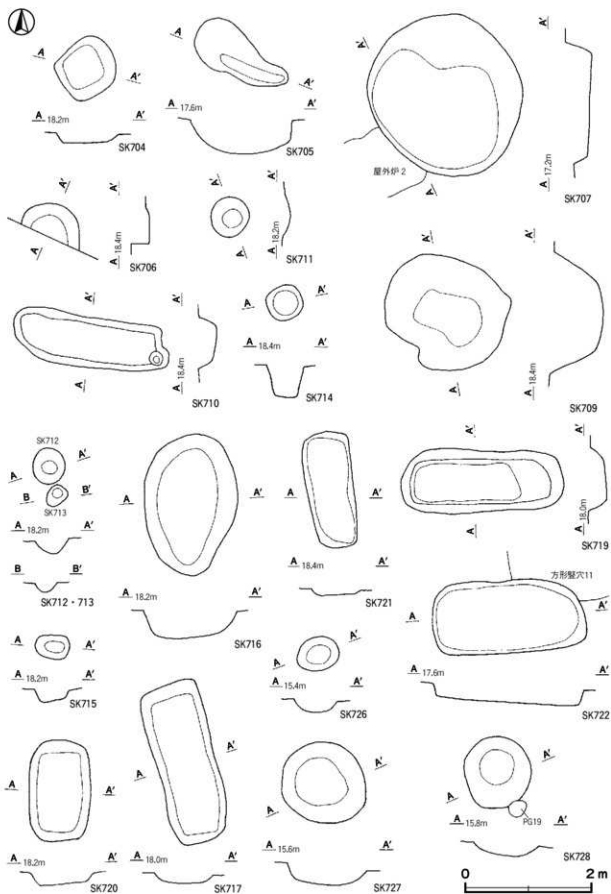
第 270 図 その他の土坑実測図(3)



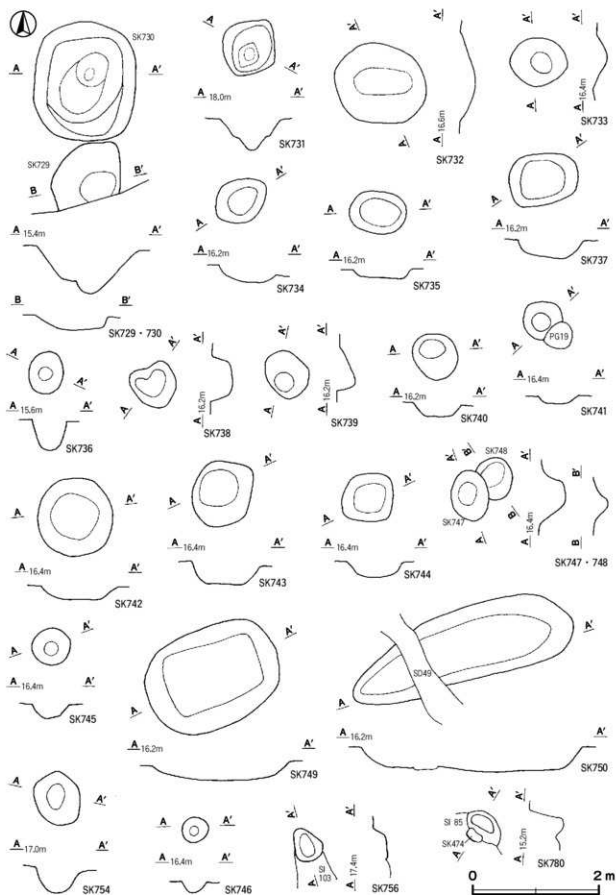
第 271 図 その他の土坑実測図(2)



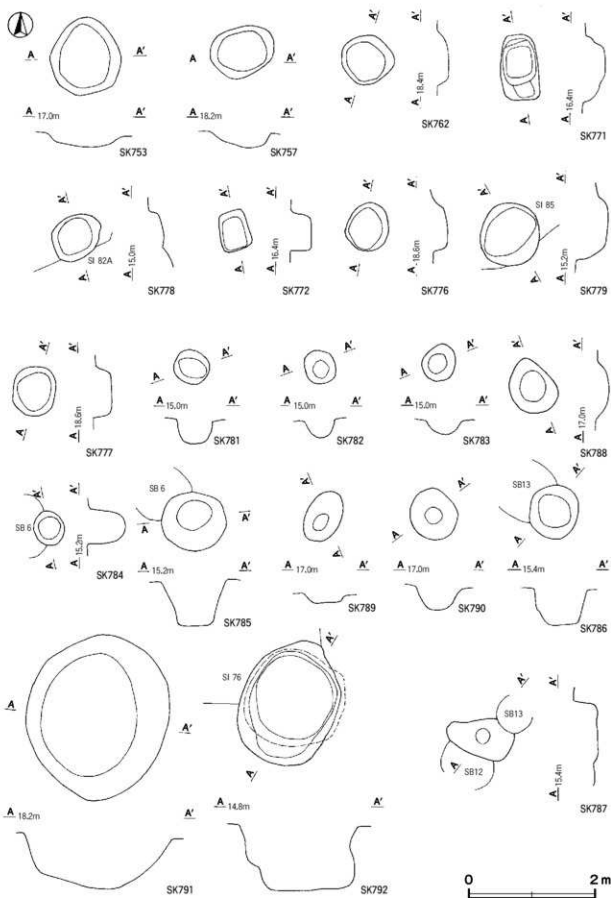
第 272 図 その他の土坑実測図②



第 273 図 その他の土坑実測図③



第 274 図 その他の土坑実測図②



第 275 図 その他の土坑実測図

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
201	D 105	N-3°-W	精円形	0.52 × 0.45	60	皿状	外傾	人為		
203	C 9 6	N-28°-W	[長方形]	1.77 × (1.51)	79	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
204	C 9 6	N-45°-E	精円形	0.88 × 0.50	55	皿状	直立	人為		
205	C 9 5	-	[精円形]	1.35 × (0.82)	18	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片	
206	C 9 5	N-90°	精円形	0.40 × 0.33	44	皿状	外傾	自然		
207	D 102	N-37°-W	精円形	1.46 × 1.09	15	皿状	縦斜	自然		本跡→PG15
208	D 1042	N-20°-W	精円形	0.50 × 0.39	51	皿状	直立	人為		
209	D 105	N-20°-E	[精円形]	(0.48) × 0.45	29	平坦	直立	人為		
210	D 1042	-	円形	0.45 × 0.41	66	平坦	直立	自然		
211	D 9 69	N-20°-W	不整精円形	0.64 × 0.55	21	平坦	外傾	自然		
212	D 9 69	-	円形	0.66 × 0.63	21	皿状	縦斜	自然		
213	D 9 60	N-81°-E	精円形	1.35 × 0.78	9	平坦	縦斜	自然		
214	D 1061	N-31°-W	精円形	0.64 × 0.52	20	皿状	外傾	自然		
215	D 1061	-	円形	0.70 × 0.68	41	皿状	直立	人為		
216	D 1061	N-83°-E	[隅丸長方形]	(0.68) × 0.48	78	皿状	外傾	人為		本跡→SK237・Z8
217	D 1061	N-25°-W	精円形	0.77 × 0.48	29	平坦	直立	人為		
218	D 1061	N-21°-W	精円形	1.51 × 0.77	29	平坦	外傾	人為	須恵器片	SK219→本跡
219	D 1061	N-22°-W	[長方形]	1.52 × (1.12)	23	平坦	直立	人為		本跡→SD20、SK218
220	D 9 60	N-70°-E	不定形	2.86 × 0.58	17	傾斜	外傾 縦斜	-	土製品、石器	
221	D 9 7	N-20°-W	長方形	0.85 × 0.77	48	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
222	D 9 7	N-72°-W	精円形	1.08 × 0.83	60	円凸	直立	人為	土師器片、須恵器片	
223	D 9 9	N-58°-W	精円形	1.50 × 1.24	59	円凸	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
224	D 9 67	N-41°-E	不定形	1.20 × 1.18	58	平坦	直立	人為	土師器片、須恵器片	
225	D 9 67	N-13°-E	精円形	0.75 × 0.67	67	平坦	直立	人為	土師器片、須恵器片	
226	D 9 67	N-3°-W	精円形	1.15 × 0.85	91	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
227	D 1061	N-66°-E	[精円形]	(1.55) × (0.90)	45	平坦	外傾	人為	土師器片	
228	D 9 6	N-1°-W	精円形	0.49 × 0.41	64	皿状	直立	人為	土師器片、須恵器片	
229	D 9 6	-	円形	0.50 × 0.46	56	皿状	外傾	人為		
230	D 9 6	N-5°-W	精円形	1.26 × 0.99	76	傾斜	直立	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
231	D 9 5	N-85°-W	精円形	1.16 × 0.92	59	平坦	直立	自然	土師器片、須恵器片	
232	D 9 4	N-84°-E	精円形	1.45 × 1.32	19	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
234	D 9 6	-	円形	0.93 × 0.90	59	平坦	外傾	-		
235	D 9 45	N-66°-W	精円形	1.19 × 1.02	114	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、陶器片、鉄滓	
236	D 9 45	-	円形	1.20 × 1.14	89	平坦	外傾	自然		
237	D 1061	N-50°-E	精円形	0.41 × 0.31	62	皿状	直立	-		SK216→本跡
238	D 1061	N-2°-W	精円形	0.40 × 0.22	56	皿状	直立	-		SK216→本跡
239	C 8 60	N-74°-E	[隅丸長方形]	2.15 × 0.66	36	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SB1→本跡
240	C 9 61	N-70°-E	長方形	1.64 × 1.02	20	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	SK241→本跡
241	C 9 61	N-76°-E	[精円形]	1.15 × (0.44)	37	皿状	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡→SK240
242	C 8 60	N-68°-E	[精円形]	(1.26) × 0.61	40	皿状	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SB1→本跡→UP 2
243	D 9 63	-	円形	0.56 × 0.54	54	皿状	外傾	人為		
244	D 9 63	N-56°-W	精円形	0.68 × 0.60	56	平坦	外傾	自然		
245	D 1061	-	[円形・精円形]	0.35 × (0.19)	34	皿状	外傾	自然		
246	D 102	-	円形	0.46 × 0.44	29	皿状	外傾	自然		
247	D 9 63	N-7°-E	精円形	0.81 × 0.70	61	傾斜	外傾	人為		
248	D 9 63	-	円形	0.42 × 0.41	35	平坦	直立	自然		

番号	位置	長径方向	平面形	規		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径 (m)	高さ (cm)					
249	D 9 d2	-	円形	0.85 × 0.80	54	平坦	外傾	人為	土師器片、鉄滓	
250	D 9 d2	N-42°-E	楕円形	1.27 × 1.12	59	平坦	外傾	人為		
251	D 9 d5	N-10°-E	楕円形	0.80 × 0.56	76	平坦	直立	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
253	D 9 d4	N-55°-W	楕円形	0.96 × 0.77	57	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
254	D 9 e5	N-4°-W	楕円形	0.48 × 0.35	60	圓状	直立	自然		
255	D 9 e5	N-39°-W	隅丸方形	0.43 × 0.41	51	圓状	直立	自然		
256	D 10 d3	N-33°-W	楕円形	(2.08) × 1.63	58	平坦	外傾	人為	陶器片、鉄滓	本跡→層1
257	D 9 e4	N-84°-W	楕円形	1.20 × 1.05	63	平坦	外傾	自然		
258	D 9 b5	N-42°-W	楕円形	1.31 × 1.06	58	平坦	外傾	自然	土師器片	本跡→SK259
259	D 9 b4	-	円形	0.27 × 0.25	70	平坦	直立	自然		SK258→本跡
260	D 9 e4	N-44°-E	楕円形	0.81 × 0.69	50	平坦	外傾	自然	土師器片、鉄製品	
261	D 9 e5	N-68°-E	楕円形	0.48 × 0.36	45	圓状	直立	自然		
262	D 9 e4	N-25°-E	楕円形	0.64 × 0.58	48	圓状	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	SK263→本跡
263	D 9 e4	N-45°-W	[楕円形]	(0.34) × 0.30	50	圓状	直立	人為	土師器片	本跡→SK262
264	D 10 g2	N-31°-E	不整楕円形	0.44 × 0.39	36	平坦	外傾	-		SF 1→本跡
265	D 9 e6	N-45°-E	不整楕円形	0.39 × 0.33	40	圓状	外傾	-		
266	D 9 a4	N-10°-W	[方形-長方形]	1.45 × (1.25)	34	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
267	D 9 a5	N-35°-E	楕円形	1.50 × 1.27	52	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
268	D 10 g2	N-43°-E	-	(0.27) × 0.30	68	圓状	直立	人為		SF 1→本跡
269	D 10 d3	N-83°-W	不定形	0.68 × 0.67	45	平坦	外傾	人為	須恵器片、鉄製品	
270	D 10 e2	N-48°-E	[楕円形]	0.42 × (0.36)	48	圓状	外傾	人為		
271	D 10 d3	N-43°-W	不整楕円形	0.72 × 0.47	48	圓状	直立 外傾	人為	土師器片、須恵器片	
272	D 10 d3	N-33°-E	不整楕円形	0.76 × 0.42	42	平坦	外傾	人為		
273	C 7 b9	N-28°-E	楕円形	1.35 × 1.15	55	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SD79→本跡
274	D 10 g3	N-39°-E	隅丸長方形	0.51 × 0.29	40	圓状	外傾	人為		
275	D 10 d3	N-68°-E	不整楕円形	0.72 × 0.50	42	凹凸	直立 外傾	人為		
276	C 7 b8	N-23°-W	楕円形	0.85 × 0.61	26	圓状	外傾	自然	鉄製品	SD79→本跡
277	D 9 d2	-	円形	0.40 × 0.38	60	平坦	直立	人為		
278	D 9 e2	N-11°-E	楕円形	0.41 × 0.37	58	圓状	直立	人為		
279	D 9 e2	-	円形	0.40 × 0.38	62	平坦	直立	人為		
280	D 9 d3	-	円形	0.35 × 0.34	63	圓状	外傾	自然		
281	D 9 e2	N-11°-W	楕円形	0.95 × 0.70	60	平坦	外傾	人為		
282	D 9 e2	N-63°-E	楕円形	1.18 × 0.93	94	平坦	直立	自然		
284	D 9 d1	N-28°-E	楕円形	0.40 × 0.35	65	圓状	直立	自然		
285	D 9 d1	N-27°-W	楕円形	0.43 × 0.36	61	平坦	直立	自然		
286	C 8 i7	N-42°-W	[楕円形]	0.71 × (0.52)	35	圓状	外傾	自然	土師器片、須恵器片	本跡→SB82
287	C 8 j7	N-61°-E	長方形	1.38 × 1.10	25	平坦	外傾	人為		SB82→本跡
288	D 9 e3	N-7°-W	楕円形	0.65 × 0.55	33	圓状	外傾	自然		
289	C 9 i3	N-75°-E	楕円形	1.55 × 1.40	14	平坦	緩斜	人為	土師器片、須恵器片	
290	C 8 i8	N-39°-E	不整楕円形	0.65 × 0.40	60	圓状	外傾	人為		SB82 A、SK291、 292→本跡
291	C 8 i8	-	[円形-楕円形]	0.54 × (0.31)	79	平坦	外傾	人為		SB82 A→本跡 →SK290
292	C 8 i9	N-35°-E	[楕円形]	(0.50) × 0.35	70	圓状	外傾	人為		SB82 A→本跡 →SK290
293	D 9 e2	N-22°-E	楕円形	0.85 × 0.67	77	平坦	直立	自然		
294	D 9 d1	N-50°-W	不整楕円形	0.67 × 0.50	55	圓状	直立	人為		
295	C 8 i9	N-71°-E	楕円形	0.45 × 0.38	68	平坦	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	SB82 A→本跡
296	C 9 i2	N-23°-W	長方形	1.25 × 0.96	24	平坦	外傾	自然		方形窟穴5→本跡

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
297	D 8d0	N-73°-E	精円形	1.40 × 0.92	20	平坦	外傾	人為		
298	D 8c0	N-75°-E	精円形	1.15 × 0.76	52	平坦	直立	自然		
299	C 9c	N-69°-E	精円形	1.19 × 1.04	28	平坦	緩斜	人為	土師器片、須恵器片、石器	
301	C 9d	N-54°-W	精円形	2.70 × 1.94	65	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	方形竅穴5→本跡
302	D 8c0	-	円形	1.45 × 1.43	27	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
303	D 8c0	N-15°-W	精円形	0.93 × 0.65	46	皿状	直立	人為	須恵器片、鉄製品	
304	C 9h1	N-20°-W	長方形	1.52 × 0.73	21	平坦	外傾	人為		方形竅穴5→本跡
305	C 8g8	N-45°-W	精円形	0.61 × 0.54	48	皿状	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
306	C 8b8	N-21°-W	隅丸長方形	1.45 × 0.97	21	平坦	外傾	人為		SK311・322→本跡
307	D 8c8	N-72°-E	精円形	1.40 × 0.90	24	皿状	緩斜	自然		
308	D 8b8	N-42°-W	精円形	1.62 × 1.46	41	平坦	外傾	人為		
309	C 9j	N-7°-W	不整長方形	1.84 × 1.54	52	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
311	C 8b9	-	[円形]	1.01 × (0.61)	56	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄製品	本跡→SK306
312	C 8j9	N-17°-W	隅丸長方形	1.20 × 0.94	24	平坦	外傾	人為		UP 3→本跡
314	C 8g9	-	円形	0.55 × 0.52	54	皿状	外傾 直立	人為	土師器片、須恵器片	
317	C 8b8	N-87°-W	精円形	1.30 × 0.93	31	平坦	外傾 緩斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
318	C 9j2	N-16°-W	隅丸長方形	2.50 × 1.86	45	平坦	緩斜	人為		
319	C 9j2	N-10°-W	隅丸長方形	2.90 × 1.16	40	平坦	緩斜	人為	土師器片、須恵器片	
320	D 9a1	N-9°-E	不定形	2.30 × 1.26	20	平坦	緩斜	自然	土師器片、須恵器片、鉄製品、 鉄滓	
321	D 8a5	N-78°-E	不整精円形	1.01 × 0.70	68	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土製品、 鉄製品	SD86→本跡
322	C 8b8	N-68°-E	隅丸長方形	1.94 × 0.74	21	平坦	外傾	-		本跡→SK306
323	C 7f9	N-12°-E	精円形	0.91 × 0.80	20	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄製品	SK87→本跡
324	D 8a0	N-10°-E	[隅丸方形]	(1.50) × 1.45	57	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	本跡→UP 7
325	C 8e5	N-82°-E	不整精円形	2.45 × 1.89	36	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SK329・330→本跡
328	C 8f7	-	円形	0.46 × 0.46	23	皿状	外傾	人為		SD83→本跡
329	C 8j5	N-10°-W	[隅丸長方形]	(1.00) × 0.76	32	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	本跡→SK325
330	C 8e5	N-81°-E	[隅丸長方形]	(2.30) × 1.50	25	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、陶器片、 鉄滓	SD23→本跡→SK325
331	D 9a2	N-81°-E	精円形	2.68 × 1.04	39	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、陶器片、 鉄製品	
332	C 8b6	N-14°-E	精円形	0.60 × 0.50	66	平坦	直立	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
333	C 8b6	-	円形	0.60 × 0.59	38	平坦	外傾	自然	土師器片、鉄製品	
334	D 9b4	N-26°-W	隅丸長方形	1.40 × 0.95	75	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
337	C 8b6	N-21°-W	隅丸長方形	2.35 × 0.70	38	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	SD23→本跡
338	C 8b6	-	円形	0.60 × 0.58	65	皿状	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄製品	SD23→本跡
339	C 8e4	N-81°-E	不定形	2.84 × 0.80	26	平坦	緩斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
340	C 8h1	N-70°-E	不整長方形	2.76 × 2.47	27	平坦	緩斜	自然	縄文土器片、土師器片	
343	C 8j5	N-47°-E	精円形	1.09 × 0.90	22	平坦	緩斜	人為	土師器片、須恵器片、陶器片	
344	C 8e4	N-13°-E	精円形	1.15 × 1.04	40	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	
345	C 8e4	N-78°-E	精円形	1.18 × 0.66	30	皿状	緩斜	自然		
346	C 8j1	-	円形	0.92 × 0.89	25	平坦	外傾	人為		
347	C 7e7	N-38°-W	精円形	1.25 × 1.15	97	皿状	外傾	人為	土師器片、陶器片	
351	E 11b6	N-28°-E	精円形	3.21 × 0.95	52	平坦	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SD75→本跡
352	C 8j1	-	[円形・精円形]	1.43 × (0.50)	22	平坦	緩斜	人為	土師器片、須恵器片	
353	D 8a4	-	円形	1.12 × 1.06	25	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、石器、 鉄滓	
354	C 7b7	N-5°-W	不整精円形	0.84 × 0.51	75	平坦	直立	人為	鉄滓	SD88→本跡
355	C 7d7	-	円形	0.95 × 0.90	24	平坦	外傾	人為		
356	C 7d8	N-58°-E	不整精円形	0.75 × 0.61	17	平坦	外傾	人為		SD88→本跡

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
358	C 6 e6	-	円形	1.31 × 1.25	15	平坦	緩斜	人為		SK359と新旧不明
359	C 6 e6	-	[円形]	(0.70) × 0.67	11	平坦	緩斜	人為		SK358と新旧不明
360	C 6 d6	N-35°-E	楕円形	0.77 × 0.67	8	平坦	緩斜	人為		
364	C 7 19	N-17°-W	隅丸長方形	3.45 × 1.46	29	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、石器	
365	C 7 10	N-13°-W	長方形	3.05 × 2.45	18	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SK377→本跡
366	D 9 a2	N-1°-E	楕円形	1.36 × 0.89	81	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
367	C 9 j1	N-71°-E	不整形丸長方形	4.30 × 1.17	12	平坦	緩斜	自然	須恵器片	
368	D 9 a3	N-23°-W	楕円形	1.81 × 1.27	84	平坦	外傾 直立	自然	土師器片、須恵器片、陶器片、 鉄滓	
370	C 8 i7	N-62°-E	楕円形	1.39 × 0.96	28	平坦	外傾	人為	須恵器片	SD23→本跡
372	C 8 f5	N-76°-E	隅丸長方形	1.76 × 0.90	14	平坦	緩斜	人為	縄文土器片、土師器片、須恵器片、 陶器片、鉄滓	
373	C 8 i6	N-63°-E	楕円形	0.74 × 0.66	76	起伏	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	SD23→本跡
374	C 8 a6	N-21°-W	長方形	3.06 × 0.70	34	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SD23→本跡
375	D 8 a6	N-20°-W	楕円形	0.97 × 0.88	49	平坦	外傾	人為		
376	C 7 i0	-	円形	1.05 × 0.99	24	平坦	外傾	人為		
377	C 7 10	N-87°-W	[楕円形]	0.98 × (0.32)	27	平坦	外傾	人為		本跡→SK365
378	C 7 19	N-44°-E	楕円形	1.87 × 1.58	50	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
380	C 6 c3	N-32°-W	不整形丸長方形	4.70 × 1.55	20	平坦	緩斜	-	須恵器片、陶器片	
381	C 7 i8	N-19°-W	隅丸長方形	1.29 × 0.92	41	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、陶器片、 鉄滓	
382	C 7 i8	N-22°-W	楕円形	1.01 × 0.63	74	平坦	外傾	-	土師器片、須恵器片	
383	C 8 h1	-	円形	0.65 × 0.61	52	起伏	外傾	人為	須恵器片	
384	C 7 b4	N-47°-W	楕円形	1.51 × 0.34	28	起伏	外傾 緩斜	人為	土師器片、須恵器片	SK385→本跡
385	C 7 b4	N-90°	-	(0.28) × (0.18)	34	起伏	外傾	自然	土師器片、須恵器片、土製品、 鉄製品	本跡→SK384
387	C 7 a4	N-32°-E	楕円形	0.60 × 0.45	47	平坦	外傾	人為	土師器片	
388	C 7 i5	-	円形	0.32 × 0.30	26	平坦	直立	自然		
389	D 8 a9	-	[円形・楕円形]	1.17 × (0.60)	42	平坦	外傾	-		UP 7と新旧不明
390	C 7 d8	-	円形	0.86 × 0.84	25	起伏	外傾	自然		
391	C 7 g9	-	円形	1.46 × 1.43	21	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土製品、 鉄滓	
392	C 7 g9	-	円形	1.28 × 1.21	44	平坦	外傾	人為	縄文土器片、土師器片、須恵器片、 鉄滓	
393	C 7 a5	-	円形	0.96 × 0.94	48	平坦	直立	人為	須恵器片、鉄製品	
394	C 8 h1	N-18°-W	楕円形	1.28 × 0.99	33	平坦	外傾	人為	縄文土器片、土師器片、須恵器片、 鉄滓	
395	C 8 g0	N-90°	楕円形	2.30 × 0.78	32	平坦	直立	人為	須恵器片、鉄滓	
396	C 8 f0	N-75°-W	[方形・長方形]	2.24 × (1.63)	22	傾斜	外傾	人為		
397	C 8 f1	N-90°	楕円形	0.74 × 0.48	46	存没	直立	人為		
398	C 7 i2	N-78°-E	楕円形	1.60 × 0.91	38	平坦	外傾 緩斜	人為	土師器片、須恵器片、石器	
399	C 7 b3	N-54°-E	楕円形	0.95 × 0.68	31	平坦	外傾	人為		
400	C 7 c3	-	円形	0.46 × 0.44	33	起伏	外傾	人為	鉄滓	
401	C 7 b3	-	円形	0.38 × 0.36	22	起伏	外傾	自然		
403	C 7 b1	N-2°-W	楕円形	1.29 × 1.12	25	平坦	緩斜	人為	土師器片、須恵器片	本跡→PG17
404	C 8 e5	N-47°-E	不整形楕円形	0.60 × 0.42	60	起伏	外傾	人為		
405	C 8 h1	-	円形	0.41 × 0.40	40	起伏	外傾	人為		
406	C 8 h1	-	円形	0.42 × 0.40	48	平坦	外傾	人為		
407	C 8 h1	-	円形	0.43 × 0.42	50	起伏	外傾	人為		
416	C 6 c0	N-62°-W	楕円形	1.38 × 1.21	44	平坦	外傾	人為	土師器片	本跡→PG17
417	C 8 f5	N-40°-W	[楕円形]	(0.98) × 0.96	20	平坦	外傾	人為		本跡→SD89
418	C 8 f5	N-49°-E	楕円形	1.08 × 0.84	39	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	SD86→本跡
419	C 7 e3	N-80°-W	隅丸長方形	2.14 × (0.74)	42	平坦	外傾	人為		SD85→本跡→SD25

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
420	C 6d0	N-39°-E	精円形	1.02 × 0.81	17	平坦	縦斜	人為	陶器片	
421	C 8f5	N-59°-W	精円形	1.17 × 0.77	32	平坦	縦斜	人為	土師器片、陶器片、鉄滓	
422	D 8a6	N-9°-E	精円形	0.85 × 0.74	20	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、石器	S26土新田不明
424	C 7c9	N-85°-E	隅丸長方形	0.75 × 0.35	62	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、磁器片	
425	Z 0f9	N-67°-E	精円形	1.00 × 0.79	79	平坦	外傾	人為		
426	A 0a0	N-87°-E	精円形	1.19 × 0.96	27	平坦	縦斜	人為		
427	Z 0f0	N-90°	精円形	1.64 × 1.16	31	平坦	縦斜	人為		
428	Z 1j1	-	[円形-楕円形]	1.17 × (0.66)	35	平坦	縦斜	人為		
429	A 0a9	-	[円形-楕円形]	2.10 × (1.26)	102	傾斜	外傾	人為		
430	C 6f9	N-64°-E	精円形	0.28 × 0.24	72	皿状	直立	自然		S26→本跡
431	B 6f6	N-13°-W	精円形	0.69 × 0.56	42	皿状	直立	人為		
432	B 6f5	N-5°-E	精円形	0.89 × 0.51	20	平坦	外傾	自然		
433	B 6h1	-	円形	0.75 × 0.73	55	傾斜	外傾	人為	須恵器片、鉄製品	
434	B 6f3	-	円形	1.25 × 1.22	20	平坦	縦斜	人為		本跡→PG17
435	B 6f2	N-3°-W	長方形	1.29 × 0.96	12	平坦	外傾 縦斜	人為	土師器片	
436	B 6f2	N-10°-W	精円形	1.38 × 1.24	38	皿状	外傾	自然	鉄滓	本跡→PG17
437	C 6a2	N-15°-W	不整楕円形	0.65 × 0.46	33	皿状	外傾	人為		
438	B 6f4	N-6°-W	隅丸長方形	1.28 × 0.67	52	平坦	外傾	人為		
440	B 6h2	N-3°-E	精円形	0.98 × 0.58	27	皿状	外傾	人為		
442	C 7e6	N-64°-W	精円形	1.44 × 1.29	37	平坦	外傾	人為	縄文土器片、土師器片、須恵器片、陶器片、石器、鉄滓	
444	C 7f5	-	円形	0.59 × 0.58	70	皿状	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
445	B 6h8	N-81°-E	方形	1.73 × 1.65	90	平坦	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
446	B 6b9	N-40°-W	不定形	3.05 × 2.54	72	平坦	外傾 縦斜	自然 人為	土師器片、須恵器片、石器、鉄滓	
447	B 6f0	N-80°-W	不整円形	3.60 × 2.80	120	平坦	外傾	人為		
448	B 6f8	N-73°-W	精円形	0.83 × 0.64	32	皿状	縦斜	人為		
449	B 6f0	N-11°-W	不整楕円形	3.36 × 0.67	33	平坦	縦斜	人為	土師器片、鉄滓	
450	B 6f0	N-83°-E	不整楕円形	1.87 × 1.66	20	傾斜	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄製品	
452	B 6f7	-	円形	1.21 × 1.17	28	平坦	外傾 縦斜	-		
453	B 6f7	N-69°-E	隅丸長方形	1.43 × 0.91	22	平坦	外傾	人為	須恵器片	本跡→SK454
454	B 6f7	N-82°-E	精円形	1.35 × 0.93	9	傾斜	縦斜	人為	土師器片、須恵器片	SK453→本跡→PG17
456	C 6e0	-	円形	1.24 × 1.14	36	平坦	外傾	人為	土師器片	本跡→S197
457	C 6b9	N-12°-W	精円形	2.35 × 0.90	12	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
458	B 6c6	N-19°-W	精円形	3.82 × 2.03	21	平坦	外傾 縦斜	人為		SK475→本跡→SK483、PG17
459	C 6b0	N-9°-W	精円形	1.69 × 1.34	28	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	本跡→PG17
460	C 7d5	N-83°-E	[精円形]	0.83 × (0.55)	48	平坦	外傾	人為	土師器片、鉄製品	本跡→SB 3
461	B 6h3	N-4°-W	精円形	1.65 × 1.16	16	平坦	縦斜	人為		
462	B 6b4	N-86°-E	精円形	1.25 × 1.03	32	平坦	縦斜	人為	須恵器片	
463	B 6b4	N-90°	不整隅丸長方形	1.42 × 1.10	16	平坦	縦斜	人為		
464	B 6b5	N-13°-W	精円形	1.48 × 1.00	34	平坦	外傾	自然	土師器片、鉄滓	
465	B 6f5	-	円形	0.70 × 0.67	21	皿状	縦斜	人為		
466	B 6b4	N-87°-W	精円形	1.91 × 0.93	40	平坦	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡→PG17
468	C 6d8	N-24°-W	精円形	1.10 × 0.78	47	有段	外傾 直立	人為	土師器片、須恵器片、石器、鉄滓	
469	C 6c7	N-63°-E	精円形	0.72 × 0.63	55	皿状	外傾	人為		
470	C 6a7	-	円形	0.90 × 0.83	20	平坦	縦斜	自然	土師器片、須恵器片	
471	C 7b6	-	円形	0.80 × 0.78	30	平坦	外傾	人為		
472	C 7b6	N-49°-E	精円形	0.75 × 0.67	45	平坦	外傾	-		S291→本跡

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
473	B 6 3	N - 56' - W	楕円形	0.98 × 0.62	12	平坦	緩斜	人為	須恵器片	
474	C 7 49	-	[楕円形]	0.32 × 0.20	(6)	圓状	-	-	土製品	S85, SK780 → 本跡
475	B 6 16	N - 37' - W	[不整楕円形]	(1.30) × (0.60)	22	平坦	外傾	人為		本跡 → SK 458, PG17
483	B 6 16	N - 37' - W	[楕円形]	(1.15) × 1.06	84	平坦	外傾 内傾	人為		SK 458 → 本跡 → PG17
484	C 7 15	-	円形	0.57 × 0.56	32	平坦	外傾	人為		
486	C 7 16	-	円形	1.08 × 1.04	22	平坦	緩斜	人為	土師器片, 須恵器片, 鉄滓	
487	C 7 47	N - 32' - E	楕円形	1.06 × 0.95	17	平坦	緩斜	自然		
489	B 5 d0	N - 28' - E	[方形・長方形]	1.34 × (1.05)	27	平坦	緩斜	人為	土師器片, 須恵器片, 陶器片, 鉄製品	
490	B 6 11	N - 45' - W	楕円形	1.91 × 0.96	86	平坦	外傾	人為		
491	C 7 16	N - 52' - W	楕円形	0.99 × 0.64	28	有段	外傾	人為		
492	B 6 d1	N - 20' - E	[円形・楕円形]	(1.77) × (0.71)	25	平坦	緩斜	人為		本跡 → SK 259
493	C 7 6	N - 10' - W	楕円形	1.46 × 1.15	61	平坦	外傾	人為	須恵器片, 鉄滓	
494	C 7 16	-	円形	1.12 × 1.10	30	平坦	緩斜	人為	土師器片, 須恵器片	
495	C 7 48	N - 7' - W	楕円形	0.71 × 0.52	82	圓状	外傾	人為		
496	C 7 8	N - 57' - E	楕円形	0.65 × 0.50	50	緩斜	直立	人為		
497	C 7 3	-	円形	0.54 × 0.52	44	圓状	外傾	自然		
498	B 6 11	N - 81' - W	楕円形	1.17 × 0.87	33	平坦	外傾	人為		本跡 → PG17
499	B 6 15	N - 0'	楕円形	2.20 × 0.50	9	平坦	外傾	人為		本跡 → PG17
500	C 5 a7	N - 24' - W	[楕円形]	0.74 × (0.52)	52	緩斜	外傾	人為		本跡 → SE12
501	C 6 b6	N - 82' - E	[楕円形]	1.20 × 0.40	11	平坦	緩斜	自然		本跡 → 火葬施設 5
502	C 6 b3	-	円形	1.21 × 1.18	19	平坦	直立	人為		本跡 → PG17
504	B 6 13	N - 1' - E	不定形	1.61 × 0.98	23	平坦	外傾	人為	土師器片, 須恵器片	PG17 → 本跡
505	C 6 c5	N - 84' - E	楕円形	1.47 × 0.94	22	平坦	緩斜	人為	須恵器片, 土製品	
506	B 6 15	N - 40' - E	楕円形	0.77 × 0.40	15	凹凸	緩斜	人為		本跡 → PG17
508	C 6 b5	N - 79' - E	不整楕円形	(2.11) × 0.87	21	凹凸	緩斜	自然		本跡 → SK 309 PG17 土直土不明
509	C 6 b5	N - 50' - E	不整楕円形	1.04 × 0.85	25	平坦	外傾	人為	土師器片	SK 508 → 本跡
510	C 6 c6	-	円形	0.55 × 0.50	47	平坦	外傾	人為		
511	C 6 b3	N - 64' - E	隅丸長方形	1.62 × 0.90	29	緩斜	緩斜 外傾	人為	須恵器片	PG17 → 本跡
512	C 6 c6	N - 54' - E	楕円形	0.75 × 0.63	14	平坦	緩斜	人為		
513	C 6 a3	N - 65' - E	楕円形	1.30 × 0.79	38	平坦	外傾	人為	土師器片, 須恵器片	本跡 → PG17
515	B 5 e3	N - 58' - W	楕円形	0.73 × 0.57	45	圓状	外傾	人為	須恵器片, 鉄製品	
516	B 5 12	N - 27' - E	楕円形	1.02 × 0.83	55	平坦	外傾	人為	土師器片, 須恵器片, 陶器片, 鉄滓	
517	B 5 e2	-	円形	0.87 × 0.85	68	圓状	外傾	人為	土師器片, 須恵器片	
518	B 5 d2	N - 43' - E	楕円形	0.82 × 0.67	66	圓状	外傾	人為	土師器片, 須恵器片, 鉄製品	
519	B 5 d1	-	円形	0.96 × 0.89	29	平坦	緩斜	自然		
520	B 5 e4	-	円形	0.81 × 0.80	40	平坦	外傾	自然	土師器片	
521	B 6 11	N - 32' - W	楕円形	0.91 × 0.79	16	平坦	緩斜	自然		本跡 → PG17
522	B 6 13	N - 30' - E	長方形	1.26 × 0.85	16	-	-	-	土師器片, 須恵器片, 鉄滓	本跡 → 本跡
523	B 6 11	N - 30' - E	楕円形	0.93 × 0.62	30	圓状	緩斜	人為		PG17 → 本跡
524	B 5 b8	N - 17' - W	長方形	0.82 × 0.69	8	平坦	緩斜	自然	土師器片, 須恵器片, 鉄滓	
525	B 5 g7	N - 42' - W	楕円形	0.55 × 0.45	23	圓状	外傾	自然	土師器片, 鉄滓	
528	B 4 h0	N - 76' - E	楕円形	0.69 × 0.60	77	圓状	外傾	人為		
531	A 5 19	N - 30' - W	不整楕円形	0.91 × 0.80	22	平坦	緩斜	自然		本跡 → PG19
533	B 4 18	N - 44' - E	[楕円形]	1.40 × (0.92)	16	平坦	外傾	自然	土師器片, 須恵器片, 鉄滓	本跡 → SB11
534	B 4 e9	-	[円形]	(0.91) × 0.90	61	平坦	外傾	人為	土師器片, 須恵器片, 土製品, 鉄滓	SAR3 → 本跡 → SB11 PG17 土直土不明
535	B 4 d9	N - 26' - W	[楕円形]	1.38 × (0.98)	75	平坦	外傾	人為	土師器片, 須恵器片	本跡 → SB11

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
536	B 4 e0	N-2'-W	精円形	0.68 × 0.51	36	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	SB11 → 本跡
537	B 5 d2	N-58'-W	精円形	0.68 × 0.58	24	皿状	外傾	人為	土師器片	
538	B 5 e1	-	円形	0.65 × 0.62	49	平坦	外傾	人為		
540	B 5 e4	N-52'-E	精円形	1.00 × 0.88	57	有段	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
541	B 4 d0	N-45'-E	[隅丸長方形]	(0.75) × 0.61	52	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	SK561 → 本跡
542	B 4 b9	N-47'-E	[精円形]	(1.00) × 0.97	75	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
543	B 4 b9	N-51'-E	精円形	1.22 × 1.10	82	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	
546	B 4 g7	N-65'-E	精円形	0.91 × 0.80	65	皿状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
551	B 4 e8	N-43'-E	[隅丸長方形]	(1.25) × 1.06	75	平坦	外傾	人為	須恵器片、土製品、鉄製品	本跡 → SB11
552	B 4 b8	N-46'-E	不整精円形	1.84 × 1.58	53	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土製品、鉄滓	本跡 → SB11、PG20
553	B 4 b0	N-64'-E	不整精円形	1.36 × 1.15	54	皿状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SK554 → 本跡
554	B 4 b0	N-13'-W	精円形	1.02 × (0.64)	45	皿状	外傾	人為		本跡 → SK553
555	B 4 b0	N-3'-W	精円形	1.15 × 1.02	12	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
556	B 4 b9	N-31'-E	[不整精円形]	(1.82) × 1.18	30	平坦	外傾	自然 人為	土師器片、須恵器片	SK560 → 本跡 → SK558
557	B 4 b9	-	[円形-精円形]	0.90 × (0.83)	43	平坦	外傾	人為		本跡 → SK558・559
558	B 4 b9	N-34'-W	精円形	1.47 × 1.21	32	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SK556・557・559 → 本跡
559	B 4 b0	N-6'-W	精円形	0.95 × 0.79	63	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	SK557 → 本跡 → SK558
560	B 4 b9	N-34'-W	[精円形]	(0.88) × (0.80)	72	平坦	直立	人為		本跡 → SK556
561	B 4 b9	N-68'-E	[隅丸長方形]	(1.46) × (0.37)	35	平坦	外傾	自然		本跡 → SK541
562	B 4 b6	-	円形	1.04 × 1.02	25	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、土製品、鉄滓	鍛冶工房2 → 本跡
564	B 5 g7	N-4'-W	[精円形]	0.73 × (0.60)	62	皿状	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡 → SB 8
569	B 4 b3	N-13'-W	[精円形]	0.82 × (0.70)	58	平坦	外傾	人為		本跡 → SB14
570	B 5 d2	N-50'-E	精円形	0.89 × 0.80	46	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄製品	SK571 → 本跡
571	B 5 d2	N-18'-E	不整精円形	0.76 × 0.68	38	皿状	縦斜	自然		本跡 → SK570
572	B 4 b8	N-71'-E	[精円形]	1.62 × (1.41)	35	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	S59 → 本跡 SB17、SB30と土師器片
576	B 4 f7	-	円形	0.74 × 0.68	18	平坦	縦斜	人為		SK577 → 本跡
577	B 4 f7	N-65'-E	[精円形]	0.83 × (0.62)	16	平坦	縦斜	人為		本跡 → SK576
578	B 5 d2	N-26'-E	精円形	0.52 × 0.41	60	平坦	直立	人為	土師器片、須恵器片	PG17 → 本跡
579	B 5 f1	-	[円形]	1.00 × (0.75)	45	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	本跡 → SB13
580	B 5 e1	-	円形	0.78 × 0.73	55	皿状	外傾	自然	須恵器片	SB13 → 本跡
581	B 4 g5	N-37'-E	不整精円形	0.92 × 0.83	30	平坦	直立	人為	須恵器片、土製品、鉄製品	鍛冶工房2 → 本跡
582	B 4 b5	N-42'-E	精円形	1.02 × 0.73	33	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土製品、鉄滓	鍛冶工房2 → 本跡
583	B 4 b6	N-6'-E	精円形	1.20 × 0.90	28	平坦	縦斜	人為	土師器片、鉄滓	
584	B 4 f7	-	円形	0.34 × 0.32	60	平坦	直立	自然		SD46 → 本跡
585	B 5 g2	-	円形	0.58 × 0.55	28	平坦	外傾	自然		
586	B 4 g8	-	円形	0.80 × 0.77	48	平坦	外傾	人為	土師器片	SB99 → 本跡
588	B 5 g3	-	円形	0.55 × 0.54	25	平坦	外傾	自然		
589	B 5 g3	N-39'-E	精円形	1.00 × 0.85	43	平坦	外傾	自然		
590	B 5 g3	-	円形	0.56 × 0.55	46	平坦	直立	自然	土師器片	
591	B 5 g3	N-2'-W	精円形	0.58 × 0.50	50	皿状	外傾	自然		
592	B 5 g3	-	円形	0.75 × 0.74	54	平坦	直立	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
593	B 5 g3	N-39'-W	精円形	0.65 × 0.50	35	皿状	外傾	自然		
594	B 5 g4	-	円形	0.65 × 0.61	32	皿状	外傾	自然	鉄滓	
595	B 5 g4	N-52'-W	精円形	0.64 × 0.58	41	皿状	外傾	自然		
596	B 5 g4	N-13'-E	精円形	0.66 × 0.58	44	皿状	外傾	自然		
597	B 5 b3	N-32'-E	精円形	1.03 × 0.77	38	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片	

番号	位置	長径方向	平面形	概 観		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
598	B 4 g7	N-70°-E	楕円形	0.42 × 0.35	73	平坦	直立	人為		
599	B 4 g7	N-7°-W	楕円形	0.40 × 0.35	17	皿状	縦斜	自然		
600	B 5 f2	N-27°-E	[楕円形]	(0.90) × (0.78)	70	平坦	外傾	人為	本跡→SB13, SK602	
601	B 5 f1	N-23°-W	[楕円形]	(0.95) × 0.90	50	平坦	外傾 直立	自然		本跡→SB 8・9
602	B 5 f1	N-28°-E	楕円形	(1.01) × 0.92	72	皿状	外傾	人為		SK600→本跡→SB13
603	B 5 g6	N-68°-E	[楕円形]	0.60 × (0.34)	48	皿状	直立	自然		本跡→SE 8
606	B 5 f4	N-60°-E	隅丸長方形	0.92 × 0.68	42	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
607	B 5 f4	-	-	1.50 × 1.48	50	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
608	B 5 f4	-	円形	1.12 × 1.06	54	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
609	B 4 f7	N-19°-E	不定形	0.70 × (0.65)	-	-	-	-	土師器片、須恵器片、鉄滓	SK572と新旧不明
610	B 5 f4	N-47°-E	楕円形	1.28 × 0.92	46	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
611	B 5 f4	N-68°-E	楕円形	0.58 × 0.50	20	皿状	縦斜	自然		
613	B 5 f4	-	[円形-楕円形]	(1.10) × (0.90)	48	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡→SE6, SE62
615	B 5 f3	N-49°-E	楕円形	0.74 × 0.65	24	平坦	外傾	自然		
616	B 5 f3	N-45°-E	不定形	1.54 × 1.02	80	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土製品 鉄滓	
617	B 5 f3	N-60°-W	楕円形	0.80 × 0.60	70	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
618	B 5 f3	N-57°-W	不整楕円形	1.24 × 1.10	68	有段	外傾	人為	土師器片、須恵器片、陶器片、 鉄滓	
619	B 5 f4	N-58°-E	楕円形	0.90 × 0.78	68	平坦	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
620	B 5 f4	N-42°-W	楕円形	1.14 × 1.00	68	皿状	外傾 直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品 鉄滓	SK624→本跡
621	B 5 f4	N-57°-E	楕円形	1.13 × 0.86	64	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土製品 鉄滓	本跡→SK605
622	B 5 f4	N-50°-W	楕円形	1.12 × 0.94	70	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土製品 鉄滓	
623	B 5 f4	-	円形	0.59 × 0.57	25	平坦	外傾	自然		本跡→SK624
624	B 5 f4	N-32°-E	楕円形	0.70 × 0.46	26	皿状	縦斜	自然	土師器片、鉄滓	SK623→本跡→SK620
626	B 5 g5	N-54°-W	楕円形	0.62 × 0.50	28	皿状	外傾	人為		
630	B 5 g5	N-14°-W	楕円形	0.92 × 0.78	29	平坦	外傾	人為		本跡→SB 8
632	B 4 g6	N-66°-W	楕円形	0.74 × 0.59	24	平坦	縦斜	人為		
632	B 4 g6	N-86°-W	楕円形	0.43 × 0.29	30	平坦	外傾 直立	自然		
633	B 5 f4	N-52°-E	楕円形	1.20 × 1.00	67	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
634	B 5 f5	N-57°-E	楕円形	0.55 × 0.42	25	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	
635	B 5 f6	N-66°-W	楕円形	0.93 × 0.82	16	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
636	B 5 f5	-	円形	1.00 × 0.98	45	平坦	外傾	-	土師器片、須恵器片、土製品 鉄滓	
637	B 4 f0	-	[円形-楕円形]	0.88 × (0.47)	30	皿状	縦斜	人為		本跡→SB11
638	B 4 f0	N-36°-W	[楕円形]	1.08 × (0.90)	60	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡→SB11
639	A 4 f0	N-23°-W	[楕円形]	1.45 × (0.94)	54	皿状	縦斜	人為		
640	A 5 f5	N-57°-W	不整楕円形	1.14 × 0.85	22	平坦	外傾	人為		
641	A 5 f5	-	隅丸方形	1.00 × 1.00	32	平坦	外傾	自然	土師器片	
642	A 3 g3	N-33°-W	楕円形	1.25 × 1.10	55	平坦	外傾	人為		
643	B 5 f4	N-33°-W	楕円形	0.94 × 0.76	22	皿状	外傾	人為		
644	B 5 f4	N-33°-W	楕円形	0.79 × 0.68	34	皿状	外傾	自然	須恵器片、鉄滓	
645	A 4 f8	N-55°-E	不整楕円形	1.62 × 1.00	30	有段	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
646	B 5 f5	-	円形	0.49 × 0.47	24	皿状	外傾	自然		
647	B 5 f4	N-43°-E	楕円形	0.73 × 0.63	32	平坦	外傾	人為		
649	A 4 e7	N-53°-W	楕円形	2.36 × 0.72	11	平坦	縦斜	自然		
650	A 5 f3	-	円形	0.60 × 0.55	46	皿状	外傾 直立	自然		
651	B 5 f6	N-47°-W	[楕円形]	(0.87) × (0.60)	48	平坦	外傾	人為	須恵器片、鉄製品	本跡→SB 8・9
652	B 4 e9	N-9°-W	[楕円形]	(0.97) × 0.45	45	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	本跡→SK534→SB11

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
653	B 5g4	N-43°-W	精円形	0.65 × 0.38	40	皿状	直立	人為	須恵器片	SD 9→本跡
654	B 5g6	-	円形	0.43 × 0.40	78	皿状	外傾	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
655	B 5g6	N-2°-E	精円形	0.45 × 0.36	58	皿状	直立	自然	土師器片、須恵器片、鉄製品	
656	B 5g6	N-40°-W	精円形	0.54 × 0.45	72	皿状	外傾	人為		
657	B 5e2	-	円形	0.83 × 0.78	56	皿状	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
658	B 5f2	N-85°-W	精円形	0.81 × 0.65	46	傾斜	外傾	人為		
659	B 5f6	-	円形	0.68 × 0.66	20	皿状	傾斜	自然		
660	B 5h6	N-63°-E	精円形	0.94 × 0.66	20	皿状	傾斜	自然		
661	B 5h5	-	円形	0.82 × 0.79	56	平皿	直立	人為	土師器片、須恵器片	
662	B 5g6	N-35°-E	精円形	0.57 × 0.35	71	皿状	直立	人為	土師器片	
663	B 5g6	N-6°-E	精円形	0.64 × 0.35	73	皿状	直立	人為		
664	B 5h4	N-16°-W	精円形	0.55 × 0.47	67	平皿	直立	自然	土師器片、須恵器片、鉄製品	
665	B 5d1	-	円形	0.51 × 0.50	54	皿状	直立	人為	鉄滓	
666	B 4e9	-	[円形]	[0.42] × 0.41	32	皿状	外傾	人為		SK667と新旧不明
667	B 4e9	-	[円形]	[0.85] × 0.80	58	皿状	外傾 傾斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SK666と新旧不明
668	A 5f4	N-78°-W	精円形	1.42 × 0.76	20	平皿	傾斜	自然		
669	B 4e9	N-18°-W	精円形	0.73 × 0.57	31	皿状	傾斜	人為	須恵器片、鉄製品	
670	B 4g6	-	円形	0.51 × 0.49	21	皿状	外傾	人為		
671	B 4g6	N-69°-E	精円形	0.56 × 0.40	35	平皿	外傾	人為		
672	B 4g6	N-11°-W	[精円形]	[0.60] × 0.59	31	平皿	外傾	人為		本跡→SK673
673	B 4g6	-	円形	0.45 × 0.43	14	平皿	外傾	自然		SK672→本跡
674	B 4g5	N-63°-W	精円形	0.77 × 0.50	25	皿状	外傾 傾斜	人為		本跡→SD57
675	B 5f4	N-33°-W	精円形	0.50 × 0.41	36	平皿	直立	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
676	B 4b9	N-26°-E	精円形	0.70 × 0.60	40	平皿	直立	人為		SD43→本跡
677	B 5h4	N-18°-E	隅丸方形	0.61 × 0.58	35	平皿	外傾	自然	須恵器片	
678	B 4f5	N-39°-E	不定形	(1.54) × 0.70	47	皿状	傾斜	人為		本跡→SD60
679	A 4h2	N-15°-W	精円形	3.31 × 1.68	19	平皿	傾斜	自然		本跡→PG19
680	A 4h2	N-76°-E	長方形	1.46 × 1.26	32	平皿	傾斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	SK687→本跡→PG19
681	A 4f2	N-19°-W	隅丸長方形	3.00 × 1.41	28	傾斜	外傾 傾斜	人為	土師器片、須恵器片	SK688→本跡→PG19
682	A 4h1	N-26°-W	精円形	1.83 × 1.58	52	傾斜	外傾 傾斜	人為		本跡→PG19
683	A 4i1	-	円形	0.55 × 0.54	30	平皿	外傾	人為		本跡→PG19
684	A 4h1	N-7°-W	精円形	1.49 × 1.22	20	平皿	傾斜	人為	粘土塊	本跡→PG19
685	A 4f1	-	円形	0.83 × 0.80	36	皿状	傾斜	自然	鉄滓	本跡→PG19
686	A 4i1	N-80°-W	精円形	0.92 × 0.73	18	平皿	傾斜	人為		本跡→PG19
687	A 4h2	N-11°-E	精円形	3.48 × 1.97	10	平皿	傾斜	人為		本跡→SK680、PG19
688	A 4f2	N-72°-E	精円形	0.29 × 0.35	15	平皿	傾斜	自然		本跡→SK681、PG19
689	B 4a3	N-16°-E	精円形	0.78 × 0.60	40	皿状	傾斜	人為	土師器片	
690	B 4a3	N-63°-W	精円形	0.41 × 0.29	19	平皿	外傾	-	土師器片、須恵器片、鉄滓	
691	B 4b4	N-71°-E	精円形	1.78 × 1.00	32	平皿	外傾	人為	鉄滓	SD47-48→本跡
692	B 4c5	-	円形	0.86 × 0.86	13	平皿	傾斜	人為	須恵器片、鉄製品	
693	B 4b7	-	円形	0.92 × 0.90	22	平皿	外傾	自然	須恵器片、鉄製品	
694	B 4c6	-	円形	0.95 × 0.94	22	平皿	傾斜	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	
695	A 3g0	-	円形	1.78 × 1.74	19	平皿	傾斜	人為		
696	A 3d2	N-22°-W	精円形	(0.67) × 0.62	30	皿状	傾斜	人為		本跡→SK097
697	A 3d2	-	不整隅丸方形	0.90 × 0.91	11	平皿	傾斜	人為		SK696→本跡
698	A 3c2	N-69°-E	不整精円形	0.70 × 0.61	11	平皿	傾斜	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
700	A 240	N-84°-W	隅丸長方形	1.70 × 0.96	28	皿状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片	SK701 → 本跡
701	A 249	N-30°-W	[楕円形]	0.65 × 0.57	34	皿状	縦斜	人為		本跡 → SK700
702	A 240	-	円形	0.68 × 0.64	17	平坦	外傾	人為		SK703 → 本跡
703	A 240	N-3°-E	[楕円形]	0.66 × 0.47	51	皿状	直立	人為	土師器片	本跡 → SK702
704	A 240	N-61°-E	方形	0.91 × 0.87	16	平坦	縦斜	人為		
705	A 315	N-58°-W	不整楕円形	1.64 × 0.76	53	皿状	外傾	人為	土師器片、鉄滓	
706	B 3a3	-	[円形-楕円形]	1.01 × (0.57)	21	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、陶器片、鉄製品	
707	B 3a8	-	円形	2.39 × 2.40	38	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、瓦質土師器片、土製品	屋外中2 → 本跡
708	A 2c0	N-34°-E	楕円形	0.77 × 0.67	15	平坦	縦斜	自然		
709	A 249	N-58°-W	不整楕円形	2.00 × 1.90	82	平坦	外傾	人為	土師器片	
710	A 249	N-81°-W	隅丸長方形	2.35 × 0.80	27	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	
711	A 249	-	円形	0.63 × 0.63	9	皿状	縦斜	人為	須恵器片	
712	A 249	N-8°-E	楕円形	0.59 × 0.52	21	皿状	縦斜	人為	石器	
713	A 249	N-28°-E	楕円形	0.35 × 0.30	15	皿状	外傾	自然		
714	A 249	-	隅丸方形	0.55 × 0.54	51	平坦	直立	人為		
715	A 249	N-86°-W	隅丸長方形	0.54 × 0.29	19	凹凸	外傾	人為		
716	A 2c8	N-5°-E	楕円形	2.25 × 1.48	43	平坦	外傾	人為		
717	A 344	N-14°-W	隅丸長方形	2.55 × 1.00	14	平坦	外傾	自然	土師器片、須恵器片	
719	A 2c4	N-90°-E	隅丸長方形	2.60 × 1.02	29	平坦	縦斜	人為	陶器片、鉄製品	
720	A 1e0	N-8°-E	隅丸長方形	1.64 × 0.96	20	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土師質土師器片、陶器片	
721	A 1e0	N-7°-W	隅丸長方形	1.85 × 0.79	9	平坦	縦斜	人為	須恵器片、陶器片	
722	A 315	N-87°-E	楕円形	2.40 × 1.64	25	傾斜	縦斜	人為	土師器片	方形窰穴 11 → 本跡
726	A 416	N-68°-E	楕円形	0.68 × 0.54	18	平坦	縦斜	人為		
727	A 415	N-64°-W	楕円形	1.45 × 1.18	29	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
728	A 415	-	円形	1.10 × 1.07	20	皿状	縦斜	人為	須恵器片、鉄滓	本跡 → PG19
729	B 448	N-4°-E	[楕円形]	1.08 × (0.96)	20	平坦	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄製品	
730	B 448	N-7°-E	楕円形	2.02 × 1.64	73	皿状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、石器、鉄滓	
731	B 3e0	-	隅丸方形	0.84 × 0.83	49	皿状	外傾	自然	陶器片	
732	B 4b2	N-75°-W	楕円形	1.50 × 1.27	26	皿状	縦斜	人為		
733	B 4b2	N-90°	楕円形	0.90 × 0.79	18	皿状	縦斜	人為		
734	A 340	N-55°-E	楕円形	0.91 × 0.71	20	平坦	縦斜	人為		
735	A 349	N-80°-W	楕円形	0.90 × 0.68	12	平坦	外傾	人為		
736	A 413	N-17°-E	楕円形	0.66 × 0.54	46	皿状	直立	自然		
737	A 349	N-82°-E	隅丸長方形	1.07 × 0.85	27	平坦	外傾	人為	土師器片	
738	A 349	N-70°-W	不定形	0.76 × 0.73	33	平坦	外傾	人為		
739	A 349	N-30°-W	隅丸長方形	0.76 × 0.63	30	皿状	外傾 縦斜	人為		
740	A 349	-	円形	0.74 × 0.72	18	平坦	外傾	人為		
741	A 348	-	[円形]	0.64 × (0.52)	12	平坦	縦斜	人為		本跡 → PG19
742	A 348	-	円形	1.29 × 1.22	30	平坦	縦斜	人為		
743	A 348	N-19°-E	楕円形	1.08 × 0.93	34	平坦	外傾	人為		
744	A 348	-	不整隅丸方形	0.80 × 0.79	25	平坦	縦斜	人為		
745	A 348	-	円形	0.60 × 0.58	20	平坦	縦斜	人為		
746	A 349	-	円形	0.40 × 0.39	19	皿状	外傾	人為	須恵器片	
747	A 348	N-15°-W	楕円形	0.80 × 0.59	38	平坦	外傾	自然		SK748 → 本跡
748	A 348	-	円形-楕円形	0.60 × (0.46)	20	平坦	縦斜	人為		本跡 → SK747
749	A 340	N-66°-E	楕円形	2.20 × 1.58	23	平坦	縦斜	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
750	A 3d9	N-73°-E	不整楕円形	3.70 × 1.16	38	平坦	緩斜	人為		本跡→SD49
753	A 3d4	N-27°-W	楕円形	1.26 × 1.16	22	皿状	緩斜	自然		
754	A 3e4	N-33°-W	楕円形	0.84 × 0.70	40	皿状	外傾	人為		
756	A 3e4	N-16°-W	楕円形	0.55 × 0.46	25	平坦	外傾	人為		SI103→本跡
757	A 3j3	N-70°-E	楕円形	1.04 × 0.77	36	皿状	外傾 緩斜	人為	土師器片、須恵器片	
762	A 2a1	-	円形	0.86 × 0.83	13	平坦	緩斜	自然		
771	A 3g7	N-5°-W	楕丸長方形	1.04 × 0.60	32	平坦	外傾	人為	須恵器片	
772	A 3g7	N-10°-W	楕丸長方形	0.61 × 0.48	32	平坦	直立	人為	須恵器片	
776	Z 1b7	N-10°-E	楕円形	0.78 × 0.70	20	凹凸	外傾	人為		
777	Z 1b8	N-10°-E	楕円形	0.78 × 0.67	28	平坦	外傾	自然	土師器片、土師質土師片、陶器 片、石器	
778	C 8f7	N-56°-E	楕円形	0.85 × 0.67	20	平坦	外傾	自然	土師器片	SB2 A→本跡
779	C 7e9	-	円形	1.04 × 1.00	46	平坦	外傾	人為		SB5→本跡
780	C 7d9	N-28°-W	[楕円形]	(0.72) × (0.41)	55	皿状	直立	人為		本跡→SB5、SK474
781	C 7e5	-	円形	0.57 × 0.52	37	平坦	外傾	人為	土師器片	SB91→本跡
782	C 7e5	-	円形	0.55 × 0.51	28	皿状	外傾	人為		SB91→本跡
783	C 7e4	-	円形	0.57 × 0.53	24	皿状	外傾	人為	土師器片	SB91→本跡
784	C 7g6	-	円形	0.55 × 0.51	59	皿状	直立	人為		SB 6→本跡
785	C 7b6	N-89°-E	楕円形	1.05 × 0.94	74	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SB 6→本跡
786	B 5f2	-	円形	0.87 × 0.83	60	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	SB13→本跡
787	B 5g1	N-73°-W	楕円形	1.07 × 0.66	38	平坦	緩斜	人為	須恵器片、鉄滓	SB12→本跡→SB13
788	B 4f3	N-18°-W	楕円形	0.68 × 0.50	18	平坦	緩斜	人為		
789	B 4g3	N-35°-E	楕円形	0.62 × 0.42	18	平坦	外傾	人為		
790	B 4g1	N-45°-W	楕円形	0.58 × 0.52	40	皿状	外傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
791	A 3j2	N-18°-E	楕円形	2.68 × 2.32	84	皿状	外傾	人為		UP10→本跡
792	E 11d5	N-25°-E	楕円形	2.02 × 1.54	108	平坦	内傾	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	SB76→本跡

(5) 柱穴列

第1号柱穴列 (第276図)

位置 調査区中央部のC7d7～C7f8区、標高15mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と構造 南北方向5.4mの間に配列された柱穴4か所を確認した。軸方向はN-20°-Wで、柱間寸法は1.8mである。柱筋は揃っている。

柱穴 4か所。長径68～84cm、短径66～80cmの円形である。深さは45～54cmで、掘方の断面はU字状である。

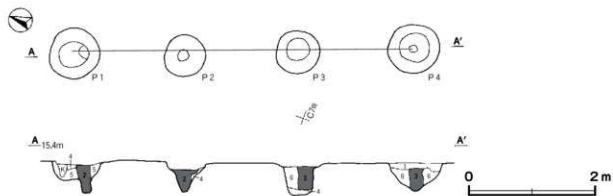
覆土 6層に分層できる。第1層が柱抜き取り後の覆土、第2・3層が柱痕跡、第4～6層が埋土である。

土層解説 (各柱穴共通)

1 黒褐色	ロームブロック・炭化粒子微量	4 褐色	ローム粒子少量
2 暗褐色	ローム粒子少量、炭化粒子微量	5 褐色	ローム粒子中量
3 暗褐色	ローム粒子・炭化粒子微量	6 暗褐色	ロームブロック・炭化粒子微量

遺物出土状況 土師器片2点(坏、甕類)、鉄滓1点(19.5g)が覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できない。

所見 時期は、伴う遺物が出土していないため不明である。



第276図 第1号柱穴列実測図

第2号柱穴列 (第277図)

位置 調査区中央部のB 5 d3～B 5 e6区、標高15mほどの平坦な台地上に位置している。

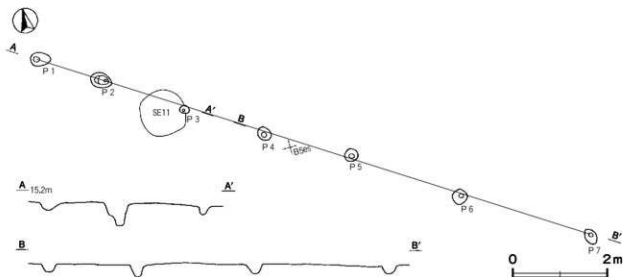
重複関係 第11号井戸跡を掘り込んでいる。

規模と構造 北西・南東方向、12.1mの間に配置された柱穴7か所を確認した。軸方向はN-57°-Wで、柱間寸法は1.5～2.8mである。柱筋は揃っている。

柱穴 7か所。長径20～48cm、短径20～32cmの円形または楕円形である。深さは17～50cmである。断面は浅いU字状である。

遺物出土状況 土師器片2点(坏)が覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できない。

所見 時期は、伴う遺物が出土していないため不明である。



第277図 第2号柱穴列実測図

第3号柱穴列 (第278図)

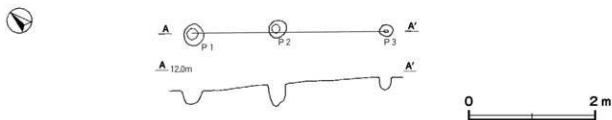
位置 調査区東端部のC 12f3～C 12g3区、標高12mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第5号粘土貼土坑を掘り込んでいる。

規模と構造 北西・南東方向、3.1 mの間に配置された柱穴3か所を確認した。軸方向はN-37°-Wで、柱間寸法はP1から1.4 m、1.7 mである。柱筋は揃っている。

柱穴 3か所。長径20～34cm、短径20～32cmの円形である。深さは20～36cmで、断面はU字状である。

所見 時期は、伴う遺物が出土していないため不明である。



第278図 第3号柱穴列実測図

第4号柱穴列 (第279図)

位置 調査区中央部のB4f3～B4g4区、標高17mほどの東へ向かう緩斜面部に位置している。

規模と構造 北西・南東方向、5.6 mの間に配置された柱穴3か所を確認した。軸方向はN-35°-Wで、柱間寸法はP1から2.9 m、2.7 mである。柱筋は揃っている。

柱穴 3か所。長径(長軸)102～110cm、短径(短軸)76～86cmの楕円形または隅丸長方形である。確認からの深さは16～26cmで、断面は浅いU字状または逆台形である。

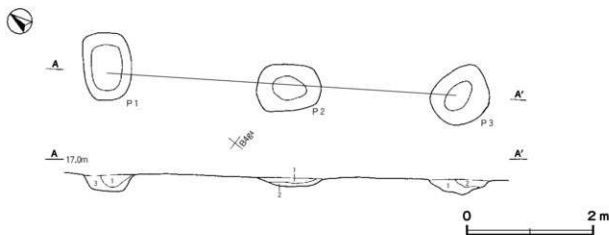
覆土 3層に分層できる。各層にロームブロックを含んでいることから、埋め戻されている。

土層解説 (各柱穴共通)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量 | 3 暗褐色 ロームブロック微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量 | |

遺物出土状況 土師器片2点(甕類)、土製品1点(羽目)、鉄滓1点(87.1 g)が覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できない。

所見 時期は、伴う遺物が出土していないため不明である。



第279図 第4号柱穴列実測図

表21 その他の柱穴跡一覧表

番号	位置	主軸方向	長さ (m)	柱間 (m)	柱 穴				主な出土遺物	備 考	
					柱穴数	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)			深さ (cm)
1	C7d7 C7f8	N-20°-W	3.4	1.8	4	円形	68-84	66-80	45-54	土師器片、鉄滓	
2	B5d3 B5e6	N-57°-W	12.1	1.5-2.8	7	円形・楕円形	20-48	20-32	17-50	土師器片	SE11→本跡
3	C12c3 C12d3	N-37°-W	3.1	1.4・1.7	3	円形	20-34	20-32	20-36		SN 5→本跡
4	B4d3 B4e1	N-35°-W	5.6	2.7・2.9	3	楕円形・ 横長方形	102-110	76-86	16-26	土師器片、土製品、鉄滓	

(6) 溝跡

時期不明の溝跡34条については、土層断面図(第280図)と土層解説、一覧表を掲載し、平面図は遺構全体図で示す。

第15号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量

第16号溝跡土層解説

- 1 明褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第19号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 砂粒微量
- 2 灰白色 砂粒多量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量
- 4 黒褐色 粘土ブロック中量
- 5 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子少量

第20号溝跡土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量

第22号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量

第23号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

第24号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量

第25号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第26号溝跡土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子多量

第27号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子少量

第28号溝跡土層解説

- 1 褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第29号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 炭化物中量、焼土粒子少量、ロームブロック微量

第30号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量

第31号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量

第32・33号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

第34号溝跡土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量

第35号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量

第36号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、粘土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 粘土粒子少量
- 4 黒褐色 粘土ブロック微量

第37号溝跡土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第38号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第39号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第40号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量

第42・43号溝跡土層解説

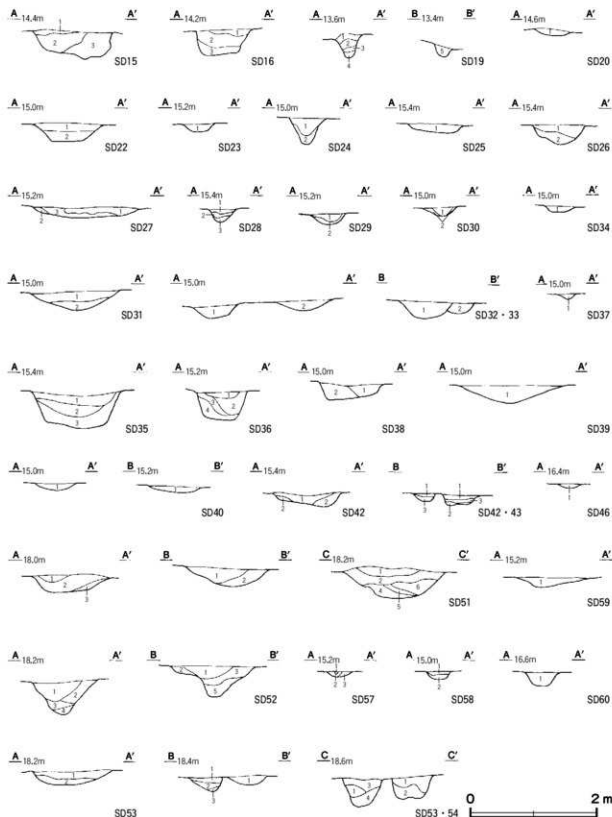
- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量

第46号溝跡土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量

第51号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ローム粒子微量
- 6 灰褐色 ローム粒子少量



第 280 図 その他の溝跡実測図

第 52 号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ローム粒子少量

第 53・54 号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 灰褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 褐色 ローム粒子少量

第57号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

第58号溝跡土層解説

- 1 黒色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

第59号溝跡土層解説

- 1 褐色 ローム粒子微量

第60号溝跡土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量

表22 その他の溝跡一覧表

番号	位置	方向	形状	概			断面	標高	覆土	主な出土遺物	備考	
				長さ(m)	上幅(m)	下幅(m)						
15	F 104d F 100	N-63°-W	直線	(1.20)	1.22-1.80	0.60-1.08	32	逆台形	外積	人為	土師器片、須恵器片、陶器片、土製品、鉄滓	
16	F 109	N-61°-W	直線	(1.24)	0.84-0.88	0.56-0.62	40	逆台形	外積	人為	土師器片、須恵器片、陶器片、鉄滓	
19	D 106d D 108	N-36°-W	直線	(15.80)	0.12-0.56	0.08-0.24	16-40	U字状	外積	人為	土師器片、須恵器片、石製品、鉄滓	
20	D 101h D 102	N-30°-W	直線	(5.34)	0.50-0.64	0.26-0.38	8-10	浅いU字状	縦斜	自然		SK219→本跡
22	C 83 D 8a5	N-65°-W	直線	(7.40)	0.78-0.96	0.32-0.60	15-30	逆台形	縦斜	人為	土師器片、須恵器片	SD9→本跡
23	C 8e5 C 87	N-17°-W	直線	20.80	0.36-1.04	0.16-0.56	13-16	逆台形	縦斜	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡→SK30・307・338・370・373・374
24	C 6a1 C 6c2	N-22°-W	直線	(10.72)	0.44-0.62	0.10-0.19	42	U字状	外積	人為	須恵器片	SE 8→本跡
25	C 7d2 C 7c3	N-87°-W	直線	(3.80)	0.68-0.90	0.30-0.38	12	逆台形	外積	自然		SB6、SK49→本跡
26	C 6e0 C 6d0	N-6°-E	直線	(7.32)	0.52-0.92	0.28-0.60	26-32	逆台形	外積	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	SB7→本跡→SK30
27	C 7f1 C 7g1	N-3°-E	直線	(5.10)	1.26-1.52	0.86-1.14	16	浅いU字状	縦斜	自然	土師器片	
28	B 6h0 B 6d0	N-11°-W	直線	(2.30)	0.58-0.64	0.10-0.14	10-22	U字状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片	
29	B 6d1 B 6e1	N-13°-W	直線	(4.66)	0.44-0.66	0.09-0.31	16-26	U字状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、陶器片、鉄滓	SK492→本跡
30	B 6j2 C 6i3	N-7°-W	直線	8.31	0.35-0.79	0.13-0.30	16	U字状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、石製品、鉄滓	本跡→PG17
31	A 6j1 B 5d9	N-68°-E	直線	(8.60)	0.82-1.45	0.17-0.46	24-38	浅いU字状	縦斜	自然	須恵器片、鉄滓	
32	A 5j7 B 5a8	N-37°-W	直線	(7.92)	0.56-1.13	0.26-0.89	15-28	浅いU字状	縦斜	人為	須恵器片、鉄滓	本跡→SD33
33	A 5j7 B 5a8	N-14°-W	直線	(7.96)	0.66-1.38	0.25-0.48	21-29	浅いU字状	縦斜	自然	須恵器片、土師器片、陶器片、土製品、鉄滓	SD32→本跡→PG19
34	B 5j7 B 5j8	N-80°-E	直線	(3.68)	0.32-0.53	0.21-0.35	8-11	逆台形	縦斜	自然		本跡→型穴1
35	B 5d1 B 5e1	N-12°-W	直線	(5.98)	1.12-1.38	0.72-1.02	35-60	逆台形	外積	人為	土師器片、須恵器片	
36	C 5a7 C 5b7	N-29°-W	直線	(2.00)	0.46-0.81	0.34-0.64	48	逆台形	外積	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡→SE12
37	B 6g1 B 5f0	N-18°-E	直線	9.84	0.11-0.26	0.03-0.10	6-10	U字状	縦斜	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡→PG17
38	A 5g6 B 5d4	N-70°-E	直線	(7.50)	0.80-0.95	0.34-0.46	24-28	逆台形	外積	人為		
39	A 5d3 A 47	N-32°-W N-113°-W	L字状	(30.60)	1.20-2.04	0.70-1.36	28-32	浅いU字状	縦斜	自然		SD40→本跡
40	A 4e6 B 4f0	N-29°-W	直線	(26.54)	0.44-1.16	0.14-0.60	10-24	浅いU字状	縦斜	自然	土師器片、須恵器片、鉄滓	本跡→SD30
42	A 4g7 B 4f0	N-34°-W	直線	(19.95)	0.28-1.10	0.08-0.38	22-24	逆台形	外積	人為	土師器片、須恵器片	
43	A 4f8 B 4f9	N-33°-W	直線	(9.60)	0.24-0.48	0.08-0.20	13	逆台形	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
46	B 4d5 B 4f7	N-75°-E	直線	(5.50)	0.18-0.37	0.02-0.09	8	浅いU字状	縦斜	自然		鍛冶工房2→本跡→PG20
51	A 2d9 A 3j1	N-13°-W	直線	(34.80)	0.96-1.48	0.54-0.80	27-44	U字状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、鉄滓	
52	E 2j6 A 2j2	N-7°-W	直線	(32.04)	0.56-1.52	0.16-0.68	50-53	U字状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片、土師器土器片、瓦質土器片、石製品	
53	A 1g9 A 2j7	N-93°-W N-6°-W	L字状	(39.24)	0.32-0.68	0.18-0.48	13-36	U字状	縦斜	人為	土師器片、須恵器片	
54	A 2f1 A 2f6	N-96°-W N-6°-W	L字状	(28.80)	0.36-0.54	0.16-0.32	21-44	U字状	外積	人為	須恵器片	SK768→本跡
57	C 6e6 C 6e8	N-74°-E	直線	7.12	0.28-0.38	0.14-0.24	6-10	浅いU字状	縦斜	人為		
58	B 5f8 B 5f8	N-42°-E	直線	(1.60)	0.28-0.40	0.10-0.24	12	逆台形	外積	自然		
59	C 6e9 C 6f6	N-80°-E	直線	9.37	1.14-1.56	0.23-0.67	16-20	浅いU字状	縦斜	自然	土師器片、土師器土器片、瓦質土器片	本跡→PG17
60	B 4f8 B 4d5	N-32°-W	直線	(8.74)	0.20-0.62	0.07-0.32	19-23	逆台形	外積	自然		鍛冶工房2 SK674→本跡→PG20

(7) ビット群

時期不明のビット群9か所については、文章と一覧表で解説し、遺構平面図は遺構全体図で示す。

第15号ビット群(第281図)

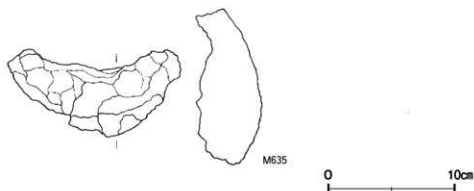
位置 調査区東部のD10d1～D10f4区、標高14～15mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第207号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 東西14m、南北10mの範囲にビット100か所を確認した。径14～54cmの円形または楕円形、隅丸方形で、深さは10～56cmである。断面はU字状またはV字状である。ビットの分布状況から、建物跡は想定できない。

遺物出土状況 M635がP28の覆土中から出土している。

所見 時期・性格ともに不明である。



第281図 第15号ビット群出土遺物実測図

第15号ビット群出土遺物観察表(第281図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M635	陶片	12.4	13.8	5.3	844.1	鉄	一部発透、一部緑化、酸化土砂付着のため明褐色を呈す 着磁性强い。	覆土中	

第15号ビット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	D10d1	楕円形	40	30	48	18	D10e3	円形	22	22	20	35	D10d3	円形	42	40	40
2	D10d1	楕円形	46	28	54	19	D10e3	楕円形	34	28	21	36	D10d3	楕円形	32	26	21
3	D10d1	円形	42	42	45	20	D10e3	楕円形	30	24	40	37	D10d3	円形	30	30	11
4	D10d1	円形	36	35	22	21	D10e3	円形	24	24	50	38	D10d2	楕円形	34	24	25
5	D10e3	楕円形	38	30	27	22	D10e3	楕円形	32	27	34	39	D10d2	楕円形	46	34	25
6	D10d1	円形	28	28	30	23	D10e3	円形	22	20	17	40	D10d2	円形	30	30	53
7	D10d1	隅丸方形	38	37	46	24	D10e3	円形	24	23	12	41	D10d3	楕円形	28	24	51
8	D10e3	楕円形	42	36	43	25	D10e4	円形	28	28	21	42	D10d3	楕円形	28	20	19
9	D10e3	楕円形	52	46	35	26	D10e4	楕円形	52	32	56	43	D10d3	楕円形	32	23	27
10	D10e4	楕円形	26	22	35	27	D10d4	円形	32	30	22	44	D10d3	円形	32	31	33
11	D10e4	楕円形	30	26	34	28	D10d4	円形	26	26	15	45	D10d3	円形	32	32	35
12	D10e4	楕円形	34	26	34	29	D10d4	楕円形	40	30	35	46	D10d3	楕円形	40	30	30
13	D10e4	楕円形	30	22	37	30	D10d4	円形	22	20	22	47	D10d3	円形	42	40	39
14	D10e4	円形	34	31	36	31	D10d3	楕円形	36	32	18	48	D10e3	隅丸方形	24	22	26
15	D10e4	楕円形	45	38	47	32	D10d4	円形	27	26	26	49	D10e3	円形	35	35	30
16	D10e4	楕円形	43	37	50	33	D10d3	楕円形	38	26	45	50	D10e3	楕円形	32	22	37
17	D10e3	円形	25	25	25	34	D10d3	円形	27	26	27	51	D10e3	[円形]	42	[20]	29

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
52	D 10e3	[円形]	44	(20)	33
53	D 10e3	[円形]	54	(32)	29
54	D 10e3	円形	36	34	20
55	D 10e2	円形	22	22	30
56	D 10e3	円形	28	28	34
57	D 10e3	円形	32	30	12
58	D 10e3	円形	40	40	27
59	D 10e3	[楕円形]	(28)	20	25
60	D 10e2	円形	21	21	17
61	D 10e2	楕円形	52	48	44
62	D 10e2	円形	32	30	24
63	D 10e2	楕円形	34	28	23
64	D 10e2	楕円形	26	20	12
65	D 10e2	円形	36	34	25
66	D 10e2	楕円形	34	24	31
67	D 10e2	楕円形	24	20	51
68	D 10d1	楕円形	32	26	20

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
69	D 10e1	楕円形	43	30	15
70	D 10e1	円形	25	24	34
71	D 10e1	円形	30	28	24
72	D 10e1	楕円形	20	14	15
73	D 10e1	楕円形	40	25	28
74	D 10e2	楕円形	35	30	18
75	D 10e2	楕円形	26	21	21
76	D 10e2	円形	23	23	15
77	D 10e2	[円形]	24	(16)	12
78	D 10e2	円形	32	30	30
79	D 10e2	楕円形	35	22	34
80	D 10e2	円形	26	24	28
81	D 10e2	楕円形	27	24	21
82	D 10e2	楕円形	28	24	12
83	D 10e2	円形	22	20	15
84	D 10e2	楕円形	32	26	26
85	D 10e2	楕円形	38	28	29

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
86	D 10e2	円形	24	24	17
87	D 10e2	楕丸長方形	24	20	37
88	D 10e2	円形	28	26	23
89	D 10e2	楕円形	23	20	28
90	D 10e2	円形	24	24	19
91	D 10e2	楕円形	28	24	21
92	D 10e2	円形	17	16	12
93	D 10e2	楕円形	26	18	12
94	D 10e2	楕円形	26	17	21
95	D 10e2	円形	20	20	11
96	D 10e3	楕円形	24	18	11
97	D 10e2	楕円形	18	14	10
98	D 10e2	円形	32	30	50
99	D 10e2	楕円形	30	20	37
100	D 10e3	楕円形	30	26	25

第 16 号ピット群

位置 調査区東部の D 9d3～D 9e4 区、標高 14～15 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 東西 5 m、南北 5 m の範囲にピット 11 か所を確認した。径 24～50 cm の円形または楕円形で、深さは 15～67 cm である。断面は U 字状または V 字状である。ピットの分布状況から、建物跡は想定できない。

遺物出土状況 土師器片 20 点 (坏 2、甕類 18)、須恵器片 3 点 (坏 1、甕類 2)、鉄滓 2 点 (11.7 g)、炉底塊 1 点 (3.3 g) が各ピットから出土している。いずれも細片のため図示できない。

所見 時期・性格ともに不明である。

第 16 号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
1	D 9e4	楕円形	38	32	38
2	D 9e4	円形	30	30	35
3	D 9e4	円形	40	38	42
4	D 9e4	円形	30	28	53

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
5	D 9d4	円形	42	42	44
6	D 9d4	楕円形	50	44	67
7	D 9d3	円形	40	40	65
8	D 9e3	楕円形	50	44	61

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
9	D 9e3	円形	26	25	24
10	D 9e3	円形	34	34	23
11	D 9e3	楕円形	28	24	15

第 17 号ピット群 (第 282 図)

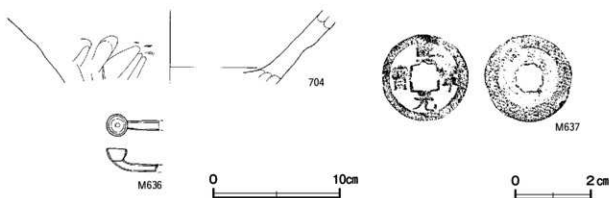
位置 調査区中央部の B 5c5～C 7b1 区、標高 15～16 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 59 号溝跡、第 403・416・434・436・454・458・459・466・475・483・498・499・502・506・511・513・521～523・534・578 号土坑を掘り込んでいる。第 504・508 号土坑とも重複しているが、新旧関係は不明である。

規模と形状 東西 89 m、南北 35 m の範囲にピット 642 か所を確認した。径 11～98 cm の円形または楕円形、隅丸長方形、不整楕円形で、深さは 7～88 cm である。断面は U 字状または V 字状である。ピットの分布状況から、建物跡は想定できない。

遺物出土状況 縄文土器片1点(深鉢),土師器片52点(坏6, 甕類46), 須恵器片60点(坏30, 高台付坏3, 蓋2, 甕類25), 陶器1点(播鉢), 炉壁材2点, 銅製品1点(煙管), 銭貨1点(照寧元寶), 鉄滓101点(1301.9g), 鉄塊系遺物2点(69.8g), 炉内滓1点(341.7g)が出土している。704はP 68, M 636はP 431, M 637はP 642の覆土中からそれぞれ出土している。

所見 時期・性格ともに不明である。



第282図 第17号ピット群出土遺物実測図

第17号ピット群出土遺物観察表(第282図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	備考	出土位置	備考
704	陶器	播鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・磁石	にがい赤黄	良好	内面に微かに捺目残存	摩耗顯著	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M636	煙管	(4.1)	1.8	1.7	(4.8)	銅	縦首部	覆土中	PL55

番号	種別	銭名	径	孔径	重量	材質	初周年	特徴	出土位置	備考
M637	銭貨	照寧元寶	232	0.67	3.22	銅	1068	北宋銭 真書	覆土中	PL60

第17号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	C 6e9	円形	42	38	48	20	C 6d4	楕円形	36	26	38	39	C 6b2	円形	32	32	49
2	C 6e9	楕円形	64	48	72	21	C 6c3	楕円形	46	34	60	40	C 6b1	円形	30	30	24
3	C 6e7	円形	40	36	19	22	C 6c3	楕円形	30	24	88	41	C 6b1	楕円形	34	28	30
4	C 6d7	楕円形	56	40	22	23	C 6e4	円形	28	28	77	42	C 6b1	楕円形	42	34	47
5	C 6d7	円形	48	42	25	24	C 6d6	楕円形	80	60	50	43	C 6c0	不整形円形	50	30	76
6	C 6e7	楕円形	48	32	20	25	C 6d6	楕円形	60	40	64	44	C 6a0	円形	30	26	7
7	C 6e7	円形	36	32	28	26	C 6d6	円形	40	36	44	45	C 6a0	[円形]	26	[20]	9
8	C 6e7	円形	58	50	36	27	C 6c3	不整形円形	56	42	61	46	B 6j0	円形	50	50	34
9	C 6d7	不整形円形	80	62	72	28	C 6c4	楕円形	34	28	63	47	C 6a0	楕円形	34	28	14
10	C 6d7	円形	34	32	46	29	C 6e4	楕円形	32	26	30	48	C 6a0	楕円形	44	38	32
11	C 6d7	楕円形	40	34	35	30	C 6e4	円形	34	32	84	49	B 6j0	楕円形	48	40	51
12	C 6d5	楕円形	35	30	20	31	C 6e4	円形	28	28	35	50	B 6j0	円形	32	32	51
13	C 6d5	楕円形	38	30	24	32	C 6b1	楕円形	46	30	44	51	B 6j7	円形	34	30	24
14	C 6d5	円形	22	20	21	33	C 6b1	楕円形	64	40	77	52	B 6j7	円形	38	38	44
15	C 6d5	楕円形	32	26	40	34	C 6b1	楕円形	70	50	46	53	B 6j7	円形	38	38	24
16	C 6e6	円形	22	22	31	35	C 6b1	円形	22	22	40	54	B 6j8	円形	34	34	29
17	C 6d5	楕円形	26	24	27	36	C 6b2	円形	36	32	72	55	B 6j6	楕円形	40	34	45
18	C 6d5	円形	28	25	40	37	C 6b2	円形	40	38	70	56	B 6j6	楕円形	42	32	34
19	C 6d4	円形	30	30	35	38	C 6b2	楕円形	40	24	46	57	B 6j6	円形	42	38	34

序号	位置	形状	规格 (cm)		
			长径	短径	深 Z
58	B 6.5	椭圆形	46	32	52
59	B 6.5	椭圆形	42	38	30
60	B 6.5	圆形	32	32	51
61	B 6.5	圆形	42	40	52
62	B 6.5	椭圆形	44	38	22
63	B 6.5	[圆形]	48	[42]	50
64	B 6.5	圆形	30	30	32
65	B 6.5	圆形	40	38	21
66	B 6.4	圆形	42	38	40
67	B 6.5	椭圆形	50	42	42
68	B 6.5	[椭圆形]	30	[20]	32
69	B 6.5	圆形	30	30	26
70	B 6.4	圆形	28	24	26
71	B 6.4	圆形	54	54	51
72	B 6.4	椭圆形	38	32	32
73	B 6.4	椭圆形	30	30	25
74	B 6.4	圆形	20	24	51
75	B 6.4	椭圆形	32	24	35
76	B 6.4	圆形	26	22	18
77	B 6.4	圆形	30	26	30
78	B 6.4	圆形	22	22	20
79	B 6.4	椭圆形	48	34	36
80	B 6.4	椭圆形	38	30	38
81	B 6.4	[圆形]	24	[20]	25
82	B 6.4	椭圆形	34	26	28
83	B 6.4	椭圆形	36	30	40
84	C 6.7	椭圆形	52	42	42
85	C 6.7	圆形	50	46	57
86	C 6.7	圆形	34	34	22
87	C 6.7	圆形	52	52	53
88	C 6.0	椭圆形	30	26	14
89	B 6.g	圆形	38	36	18
90	B 6.g	椭圆形	52	40	32
91	B 6.g	椭圆形	52	46	31
92	B 6.7	圆形	28	28	42
93	B 6.0	圆形	64	60	33
94	B 6.2	圆形	46	42	50
95	B 6.2	圆形	28	26	37
96	B 6.2	圆形	36	24	28
97	B 6.2	椭圆形	48	40	63
98	B 6.e2	椭圆形	40	22	38
99	B 6.e1	圆形	40	38	22
100	B 6.e1	椭圆形	46	32	49
101	B 5.e0	椭圆形	38	30	41
102	B 5.e0	[椭圆形]	40	[38]	46
103	B 5.e0	[椭圆形]	40	[38]	57
104	B 6.l	圆形	30	27	80
105	B 6.l	圆形	48	44	60
106	B 6.l	椭圆形	56	42	62
107	B 6.l	椭圆形	48	36	50
108	B 6.l	椭圆形	46	38	59
109	B 6.g	不定形	72	60	60
110	B 6.g	[椭圆形]	(56)	38	42
111	B 6.g	不定形	52	48	52
112	B 6.g	椭圆形	54	46	30
113	B 6.g	椭圆形	24	18	45
114	B 6.g	[圆形]	54	[38]	43
115	B 5.g0	椭圆形	40	35	34
116	B 5.g0	[圆形]	48	(40)	50
117	B 5.g0	椭圆形	50	38	50
118	B 5.g0	椭圆形	60	42	55
119	B 5.9	圆形	55	55	71

序号	位置	形状	规格 (cm)		
			长径	短径	深 Z
120	B 5.9	椭圆形	64	40	56
121	B 5.9	椭圆形	52	35	59
122	B 5.9	圆形	22	22	56
123	B 5.9	[椭圆形]	26	[34]	27
124	B 5.9	圆形	34	32	60
125	B 5.l1	椭圆形	25	26	30
126	B 5.l1	[椭圆形]	(38)	36	48
127	B 6.g1	圆形	33	30	64
128	B 6.l1	圆形	34	30	62
129	B 6.l1	椭圆形	28	20	64
130	B 6.l1	椭圆形	56	50	77
131	B 6.l1	椭圆形	60	42	24
132	B 6.e2	椭圆形	52	34	20
133	B 6.e1	椭圆形	40	34	40
134	B 5.g0	圆形	42	40	23
135	B 5.g0	不定形	50	28	64
136	B 5.g0	圆形	34	32	54
137	B 6.h1	椭圆形	42	35	58
138	B 5.g0	椭圆形	23	18	15
139	B 5.g0	椭圆形	24	20	29
140	B 6.j6	圆形	34	32	22
141	B 6.j6	圆形	35	33	20
142	B 6.j6	圆形	36	28	46
143	B 6.j6	椭圆形	52	38	63
144	B 6.j6	圆形	28	28	21
145	B 6.j6	椭圆形	50	42	50
146	B 6.j6	圆形	50	46	42
147	B 6.j6	圆形	24	24	20
148	B 6.j6	圆形	40	36	38
149	B 6.j6	圆形	30	28	22
150	B 6.j6	圆形	32	26	16
151	B 6.j5	圆形	36	30	52
152	B 6.l1	圆形	26	26	21
153	B 6.l1	圆形	26	26	12
154	B 5.g0	圆形	20	20	12
155	B 5.h0	圆形	26	25	16
156	B 5.h0	圆形	20	18	15
157	B 5.h0	椭圆形	45	30	58
158	B 6.h2	椭圆形	32	27	55
159	B 5.9	圆形	28	28	40
160	B 6.l1	圆形	24	22	25
161	B 5.9	圆形	36	32	48
162	B 6.0	圆形	38	38	38
163	B 6.0	椭圆形	52	44	38
164	B 6.0	椭圆形	42	28	27
165	B 6.0	椭圆形	32	24	17
166	B 6.h1	圆形	22	18	23
167	B 6.h1	圆形	32	32	29
168	C 6.a3	圆形	44	44	33
169	C 6.a3	圆形	20	20	31
170	B 6.g2	椭圆形	42	36	36
171	B 6.h2	椭圆形	48	38	67
172	B 6.h2	椭圆形	38	32	76
173	B 6.h2	椭圆形	40	30	63
174	B 6.g2	圆形	44	42	49
175	B 6.g3	圆形	44	40	39
176	B 6.g2	圆形	30	28	54
177	B 6.g2	椭圆形	40	24	68
178	B 6.g2	椭圆形	30	24	59
179	B 6.g2	椭圆形	62	55	38
180	B 6.g2	圆形	30	30	33
181	B 6.g2	椭圆形	42	30	37

序号	位置	形状	规格 (cm)		
			长径	短径	深 Z
182	B 6.g2	圆形	44	44	43
183	B 6.g2	椭圆形	36	28	58
184	B 6.g2	椭圆形	20	14	72
185	B 6.g2	椭圆形	56	44	66
186	B 6.g2	椭圆形	36	30	88
187	B 6.g2	椭圆形	50	40	45
188	B 6.l1	椭圆形	40	32	25
189	B 6.l1	椭圆形	42	26	30
190	B 6.l1	椭圆形	56	42	76
191	B 5.e0	椭圆形	48	36	49
192	B 6.e1	[圆形]	40	(25)	13
193	B 6.g1	圆形	20	20	34
194	B 6.g2	椭圆形	30	22	53
195	B 6.g1	圆形	26	26	57
196	B 6.e1	椭圆形	26	20	10
197	B 6.g1	圆形	20	20	45
198	B 6.h2	圆形	30	30	68
199	B 6.h2	[圆形]	28	(22)	37
200	B 6.h2	[椭圆形]	50	[38]	80
201	B 6.h2	[椭圆形]	50	[36]	35
202	B 6.h2	[椭圆形]	30	(22)	25
203	B 6.h2	椭圆形	38	32	16
204	B 6.h2	圆形	43	41	85
205	B 6.g2	椭圆形	30	20	24
206	B 6.h2	椭圆形	44	36	36
207	B 6.g3	椭圆形	58	50	42
208	B 6.g2	椭圆形	60	46	76
209	B 6.l1	圆形	30	28	34
210	B 6.g2	椭圆形	92	64	55
211	B 6.g3	椭圆形	66	34	49
212	B 6.g3	椭圆形	30	24	46
213	B 6.g3	圆形	60	54	35
214	C 6.e4	圆形	38	36	24
215	B 6.g3	圆形	28	24	41
216	B 6.g3	圆形	36	36	58
217	B 6.g3	圆形	20	18	29
218	B 6.g3	椭圆形	50	32	44
219	B 6.g3	圆形	44	40	44
220	B 6.g3	圆形	30	30	26
221	B 6.g3	椭圆形	50	36	52
222	B 6.g3	圆形	22	18	24
223	B 6.g3	圆形	28	28	57
224	C 6.a2	圆形	34	30	40
225	C 6.a1	圆形	30	28	28
226	C 6.b3	椭圆形	74	58	28
227	C 6.b4	椭圆形	52	34	72
228	C 6.b4	圆形	35	34	22
229	C 6.e4	圆形	34	34	28
230	C 6.e4	椭圆形	42	28	48
231	C 6.e4	椭圆形	40	28	38
232	C 6.e4	圆形	42	32	50
233	C 6.e4	圆形	28	24	45
234	C 6.e5	椭圆形	36	26	58
235	C 6.e5	圆形	40	38	27
236	C 6.e5	椭圆形	34	28	25
237	C 6.e5	圆形	20	20	30
238	C 6.e5	圆形	28	28	32
239	C 6.e5	圆形	32	30	36
240	C 6.e5	椭圆形	40	32	60
241	C 6.b5	椭圆形	24	18	30
242	C 6.b3	圆形	34	34	40
243	C 6.b5	椭圆形	34	26	21

番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
244	B 6j5	楕円形	44	36	42	306	B 6j5	[楕円形]	[30]	28	20	368	C 6b5	楕円形	60	45	28
245	B 6j5	楕円形	52	44	60	307	B 6j5	[円形]	[18]	[14]	27	369	B 6j4	[楕円形]	42	[16]	58
246	B 6j5	楕円形	42	34	26	308	B 6j5	円形	58	52	50	370	B 6j4	円形	40	40	50
247	B 6j5	楕円形	50	44	47	309	B 6j4	楕円形	42	32	25	371	B 6j4	楕円形	34	24	19
248	C 6a3	楕円形	46	40	83	310	B 6j4	楕円形	28	22	38	372	B 6j3	円形	40	36	78
249	C 6a3	円形	34	30	54	311	B 6j2	円形	20	20	25	373	C 6a2	楕円形	44	36	42
250	C 6a2	円形	42	38	46	312	B 6j3	円形	28	26	49	374	C 6a3	楕円形	38	32	50
251	C 6b3	不要楕円形	54	46	34	313	B 6j3	楕円形	40	26	45	375	C 6a3	円形	22	20	27
252	C 6a2	楕円形	42	26	54	314	C 6a4	円形	32	32	31	376	C 6a3	円形	30	28	29
253	C 6b3	楕円形	62	52	23	315	C 6a4	円形	28	28	26	377	B 6j5	円形	28	26	45
254	C 6c4	楕円形	38	32	39	316	C 6a4	円形	28	24	30	378	B 6j5	楕円形	32	26	45
255	C 6c4	楕円形	26	46	80	317	C 6a4	楕円形	30	24	30	379	B 6j4	円形	24	20	45
256	B 6j3	楕円形	32	26	28	318	C 6a4	楕円形	32	20	45	380	B 6j4	円形	24	20	45
257	C 6a3	楕円形	48	32	46	319	C 6a4	楕円形	38	30	55	381	B 6j4	円形	32	28	56
258	B 6j2	楕円形	32	22	60	320	B 6j3	楕円形	32	26	47	382	B 6j2	楕円形	26	21	17
259	B 6j2	楕円形	56	30	47	321	C 6a4	円形	42	40	40	383	B 6j2	円形	32	30	53
260	B 6j2	楕円形	36	24	55	322	C 6a4	円形	30	28	21	384	B 6j2	円形	24	21	29
261	B 6j2	[楕円形]	20	[20]	33	323	B 6j3	円形	36	32	47	385	B 6j2	円形	30	28	66
262	C 6a3	楕円形	52	48	64	324	B 6j3	円形	26	24	33	386	C 6a3	円形	22	20	42
263	B 6j2	[楕円形]	36	[26]	27	325	B 6j3	楕円形	24	16	40	387	C 6a2	楕円形	38	30	14
264	B 6j2	円形	34	30	30	326	C 6a3	円形	26	24	39	388	C 6a2	楕円形	32	26	39
265	B 6j5	楕円形	42	30	27	327	B 6j3	楕円形	48	35	46	389	C 6a2	楕円形	39	28	38
266	B 6j2	楕円形	36	26	21	328	B 6j3	円形	44	40	43	390	C 6a2	楕円形	36	30	72
267	B 6j3	楕円形	40	30	44	329	B 6j3	円形	30	28	35	391	C 6b4	円形	40	38	50
268	B 6j3	楕円形	35	25	26	330	B 6j3	楕円形	40	22	55	392	C 6b4	円形	14	12	28
269	B 6j3	楕円形	30	24	43	331	B 6j3	円形	42	40	47	393	B 6j3	円形	38	36	60
270	B 6j2	楕円形	32	28	24	332	B 6j3	円形	18	16	39	394	B 6j2	楕円形	34	20	22
271	B 6j3	円形	32	28	68	333	B 6j3	円形	36	24	31	395	C 6c5	楕円形	38	26	34
272	C 6a3	円形	34	32	30	334	C 6b6	円形	30	28	60	396	B 6j1	楕円形	52	45	70
273	C 6a3	楕円形	58	42	32	335	B 6j3	円形	38	34	51	397	B 6j2	円形	34	20	41
274	C 6a3	楕円形	38	36	36	336	C 6c5	楕円形	32	25	38	398	B 6j2	円形	40	36	56
275	C 6a3	楕円形	40	32	62	337	B 6j4	円形	46	40	62	399	B 6g1	楕円形	32	22	73
276	C 6a3	楕円形	50	40	40	338	B 6j4	円形	48	44	34	400	B 6j2	楕円形	42	32	55
277	C 6a3	楕円形	40	32	25	339	B 6j4	円形	26	24	35	401	B 6j2	楕円形	34	20	25
278	C 6a3	楕円形	30	24	29	340	B 6j4	楕円形	38	32	51	402	C 6a4	円形	34	32	54
279	C 6a3	楕円形	50	24	65	341	B 6j5	円形	32	30	22	403	C 6a4	円形	24	21	46
280	C 6a3	楕円形	32	24	20	342	B 6j4	楕円形	78	42	82	404	C 6a4	楕円形	38	28	51
281	C 6a3	不要楕円形	50	42	37	343	C 6b5	円形	36	32	62	405	C 6a4	楕円形	36	28	66
282	C 6a3	円形	44	42	48	344	B 6j3	円形	22	18	17	406	B 6h1	円形	24	24	22
283	C 6a3	[楕円形]	60	[42]	50	345	B 6j3	円形	24	22	28	407	B 6g1	円形	50	48	67
284	C 6a3	楕円形	40	30	51	346	B 6j3	楕円形	40	28	65	408	B 6h3	楕円形	28	22	35
285	C 6a4	楕円形	38	32	53	347	B 6j3	楕円形	48	26	33	409	B 6j2	円形	28	26	23
286	C 6a4	楕円形	70	58	45	348	B 6j3	円形	20	20	27	410	B 6j3	円形	28	24	38
287	C 6a3	円形	32	30	48	349	B 6j4	円形	22	22	65	411	B 6j2	楕円形	36	24	60
288	C 6a3	楕円形	30	23	51	350	B 6j4	円形	24	20	30	412	B 6e1	楕円形	52	44	62
289	C 6a3	円形	16	14	52	351	B 6j5	円形	24	24	34	413	B 6j3	楕円形	32	22	69
290	C 6a3	円形	22	18	27	352	B 6j4	楕円形	37	14	39	414	B 6j3	楕円形	42	34	67
291	B 6j4	円形	32	28	27	353	B 6j5	楕円形	52	40	52	415	B 6j3	円形	32	30	22
292	B 6j3	楕円形	36	30	50	354	B 5e9	不定形	55	46	74	416	B 6j3	円形	24	23	18
293	B 6j3	楕円形	28	20	46	355	B 6g1	楕円形	42	37	80	417	C 6a2	円形	26	22	55
294	C 6a4	楕円形	62	32	38	356	B 6j2	楕円形	28	24	87	418	C 6a2	円形	30	28	27
295	C 6a4	円形	24	22	36	357	B 6j2	楕円形	24	18	70	419	C 6a2	円形	28	24	23
296	C 6a4	楕円形	36	28	25	358	B 6j3	円形	24	20	49	420	C 6a3	楕円形	38	16	41
297	C 6c5	楕円形	46	38	65	359	C 6a4	円形	32	28	29	421	C 6a4	楕円形	34	24	62
298	C 6b3	不要楕円形	98	90	82	360	C 6a4	円形	50	45	35	422	C 6b3	楕円形	50	38	44
299	C 6b3	楕円形	30	20	58	361	C 6a4	楕円形	36	30	41	423	B 6j4	楕円形	50	40	50
300	C 6j2	円形	32	30	78	362	C 6a4	楕円形	64	42	57	424	B 6j4	楕円形	36	28	59
301	B 6j3	楕円形	32	24	21	363	C 6a4	楕円形	34	28	28	425	B 6j4	楕円形	50	40	64
302	B 6j3	円形	24	24	25	364	C 6a4	楕円形	32	22	30	426	B 6j3	円形	24	20	18
303	B 6j3	円形	28	28	32	365	C 6b4	円形	26	24	30	427	B 6j4	隅丸長方形	48	30	26
304	B 6j3	楕円形	34	24	25	366	C 6b4	円形	32	30	44	428	B 6j2	楕円形	38	26	53
305	B 6j3	楕円形	50	32	42	367	C 6c5	円形	26	26	22	429	B 5e9	円形	22	22	37

序号	位置	形状	规格 (cm)		
			长径	短径	深 Z
430	B 6 02	圆形	28	26	34
431	B 6 03	圆形	32	30	17
432	B 6 02	椭圆形	40	28	83
433	B 6 02	椭圆形	36	30	65
434	B 6 02	圆形	18	18	60
435	B 6 02	椭圆形	44	28	26
436	B 6 02	椭圆形	35	18	42
437	B 6 02	椭圆形	21	11	68
438	B 6 02	椭圆形	30	18	25
439	B 6 02	椭圆形	36	14	25
440	B 6 02	椭圆形	30	22	36
441	B 6 02	椭圆形	30	24	58
442	B 6 02	椭圆形	52	32	63
443	B 6 02	椭圆形	30	24	57
444	B 6 02	圆形	24	22	40
445	B 6 11	圆形	30	28	23
446	C 6 a2	圆形	22	20	40
447	C 6 a2	椭圆形	38	26	84
448	C 6 a2	椭圆形	54	46	36
449	B 6 02	椭圆形	30	24	18
450	B 6 a2	圆形	30	26	20
451	B 6 02	圆形	58	58	20
452	B 6 02	椭圆形	34	24	27
453	B 6 02	椭圆形	36	26	30
454	B 6 02	圆形	34	28	20
455	B 6 02	圆形	28	26	53
456	B 6 03	椭圆形	50	25	50
457	B 5 e9	[圆形]	30	(20)	31
458	B 5 e9	[圆形]	30	(25)	38
459	B 6 02	椭圆形	40	32	42
460	B 6 02	圆形	30	25	26
461	B 6 02	圆形	30	27	40
462	B 6 02	圆形	22	18	18
463	B 6 05	圆形	28	26	56
464	B 6 05	圆形	44	38	14
465	B 6 04	圆形	36	30	22
466	B 6 04	圆形	30	28	24
467	B 6 14	椭圆形	42	32	19
468	B 6 b4	[椭圆形]	[20]	20	15
469	B 6 04	圆形	34	30	23
470	B 6 03	椭圆形	30	20	67
471	C 6 a2	圆形	34	30	40
472	C 6 a2	椭圆形	26	20	30
473	C 6 b2	圆形	40	38	24
474	C 6 b2	椭圆形	30	20	11
475	C 6 b2	不要椭圆形	94	40	78
476	C 6 b2	圆形	30	27	46
477	C 6 b2	圆形	30	26	24
478	C 6 b2	圆形	30	26	37
479	B 6 03	不要椭圆形	66	25	42
480	B 5 07	圆形	20	20	24
481	B 5 07	圆形	26	26	23
482	B 5 07	圆形	40	36	30
483	B 5 07	圆形	28	26	30
484	B 5 07	圆形	18	18	30
485	B 5 g7	椭圆形	32	26	29
486	B 5 g7	圆形	32	30	30
487	B 5 g7	圆形	24	20	27
488	B 5 g7	椭圆形	32	22	28
489	B 5 g7	椭圆形	40	34	41
490	B 5 g7	椭圆形	34	28	27
491	B 5 g7	圆形	30	28	28

序号	位置	形状	规格 (cm)		
			长径	短径	深 Z
492	B 5 g7	圆形	30	26	29
493	B 5 g7	圆形	28	28	29
494	B 5 g7	圆形	32	28	40
495	B 5 g7	椭圆形	32	22	30
496	B 5 g7	椭圆形	32	26	33
497	B 5 07	圆形	30	30	27
498	B 5 07	圆形	30	30	41
499	B 5 07	圆形	38	36	34
500	B 5 07	[椭圆形]	38	[30]	40
501	B 5 g7	圆形	30	28	20
502	B 5 g8	圆形	28	26	26
503	B 5 g8	圆形	34	32	60
504	B 5 g8	椭圆形	34	24	40
505	B 5 g8	椭圆形	30	25	36
506	B 5 g8	椭圆形	32	25	21
507	B 5 g8	圆形	30	30	35
508	B 5 b8	椭圆形	32	20	20
509	B 5 b8	椭圆形	60	44	47
510	B 5 g8	椭圆形	42	32	59
511	B 5 g8	椭圆形	42	32	31
512	B 5 g8	圆形	30	28	41
513	B 5 g7	圆形	28	28	29
514	B 5 g7	圆形	28	26	24
515	B 5 b8	圆形	24	20	26
516	B 5 g7	圆形	30	28	29
517	B 5 g7	圆形	32	30	20
518	B 5 g7	圆形	18	18	49
519	B 5 07	圆形	18	16	31
520	B 5 b7	椭圆形	26	20	34
521	B 5 b7	椭圆形	36	24	35
522	B 5 07	圆形	38	34	35
523	B 5 07	[圆形]	28	[20]	36
524	B 5 07	椭圆形	32	22	35
525	B 5 07	圆形	18	16	36
526	B 5 b8	圆形	30	26	40
527	B 5 b8	椭圆形	44	34	35
528	B 5 b8	椭圆形	42	30	34
529	B 5 b8	圆形	28	28	45
530	B 5 b8	圆形	44	42	47
531	B 5 b8	椭圆形	40	28	35
532	B 5 07	圆形	32	20	53
533	B 5 07	圆形	32	30	50
534	B 5 08	圆形	32	28	71
535	B 5 08	圆形	34	34	62
536	B 5 08	圆形	28	26	58
537	B 5 08	圆形	24	24	27
538	B 5 08	椭圆形	26	18	40
539	B 5 08	圆形	20	20	40
540	B 5 08	圆形	22	22	25
541	B 5 08	椭圆形	22	14	35
542	B 5 08	椭圆形	26	24	36
543	B 5 b7	圆形	30	28	39
544	B 5 08	椭圆形	52	30	30
545	B 5 b7	圆形	28	28	30
546	B 5 08	圆形	34	32	39
547	B 5 08	椭圆形	32	24	55
548	B 5 d1	椭圆形	48	38	47
549	B 5 05	椭圆形	27	26	21
550	B 5 05	圆形	32	32	24
551	B 5 05	圆形	30	30	29
552	B 5 g0	圆形	26	26	50
553	B 5 g1	圆形	18	18	15

序号	位置	形状	规格 (cm)		
			长径	短径	深 Z
554	B 5 g4	圆形	26	24	15
555	B 5 g4	圆形	24	24	16
556	B 5 07	圆形	28	28	33
557	B 5 06	椭圆形	26	22	49
558	B 5 06	圆形	34	[33]	60
559	B 5 06	椭圆形	46	32	33
560	B 5 b3	圆形	30	28	20
561	B 5 b3	圆形	44	42	57
562	B 5 b3	圆形	52	46	35
563	B 5 03	圆形	38	38	24
564	B 5 02	椭圆形	55	46	16
565	B 5 02	椭圆形	48	34	35
566	B 5 a2	圆形	42	42	50
567	B 5 b4	圆形	44	44	31
568	B 5 06	圆形	30	28	20
569	B 5 05	圆形	38	36	43
570	B 5 g6	椭圆形	40	24	18
571	B 5 05	椭圆形	36	30	34
572	B 5 06	圆形	38	32	50
573	B 5 06	椭圆形	50	42	36
574	B 5 06	椭圆形	28	20	28
575	B 5 06	椭圆形	28	18	32
576	B 5 06	圆形	30	28	68
577	B 5 05	椭圆形	30	24	43
578	B 5 05	圆形	38	38	42
579	B 5 06	圆形	38	36	37
580	B 5 b4	椭圆形	36	30	41
581	B 5 06	圆形	35	34	37
582	B 5 c5	圆形	32	32	59
583	B 5 c5	圆形	35	33	45
584	B 5 e3	圆形	30	30	28
585	B 5 e3	圆形	36	34	38
586	B 5 e4	圆形	30	30	42
587	B 5 b4	圆形	50	48	67
588	B 5 b4	圆形	26	26	40
589	B 5 b4	圆形	32	30	66
590	C 5 a6	椭圆形	31	27	26
591	C 5 a6	圆形	22	22	24
592	C 5 a6	椭圆形	34	30	42
593	C 5 a7	圆头长方体	46	40	54
594	C 5 a7	圆形	36	36	28
595	C 5 a5	椭圆形	48	40	45
596	B 4 e9	椭圆形	48	32	17
597	B 4 e9	椭圆形	48	30	14
598	B 5 05	椭圆形	36	30	34
599	B 6 g1	椭圆形	30	26	37
600	B 6 02	椭圆形	44	28	75
601	B 6 03	圆形	30	24	18
602	B 6 03	圆形	16	14	7
603	B 6 02	椭圆形	32	14	16
604	B 6 02	椭圆形	26	(20)	7
605	B 6 03	不定形	64	40	16
606	B 6 03	不定形	40	(28)	67
607	C 6 b2	圆形	36	36	70
608	C 6 a3	圆形	22	18	18
609	C 6 a3	椭圆形	44	30	20
610	C 6 e4	椭圆形	30	26	53
611	B 7 01	圆形	30	30	44
612	B 7 01	椭圆形	30	24	53
613	B 7 01	椭圆形	46	30	59
614	B 7 01	圆头长方体	54	44	51
615	B 7 01	圆形	30	30	60

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
616	C 7 a1	円形	32	30	37
617	C 7 a1	楕円形	38	30	47
618	C 7 a1	不定形	50	30	22
619	C 7 a1	不定形	62	50	48
620	C 7 a1	円形	24	24	60
621	C 7 a1	円形	36	36	42
622	C 7 a1	不定形	98	52	36
623	C 7 a1	楕円形	28	22	51
624	C 7 b1	楕円形	35	29	44

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
625	C 7 b1	円形	35	33	49
626	C 6 b0	円形	26	26	66
627	C 6 b0	楕円形	28	20	52
628	C 6 b0	楕円形	36	30	50
629	C 6 b0	楕円形	32	22	74
630	C 6 b0	楕円形	40	30	48
631	C 6 b0	楕円形	24	18	62
632	C 6 b0	円形	20	18	53
633	C 6 b0	円形	48	46	50

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
634	C 6 a9	円形	28	28	46
635	B 5 g2	楕円形	60	52	25
636	B 5 b5	円形	30	28	27
637	B 5 b5	円形	34	34	58
638	B 5 g5	楕円形	36	30	28
639	B 5 g5	円形	32	32	36
640	B 5 b8	楕円形	58	30	46
641	B 5 f7	楕円形	44	30	51
642	B 7 j1	楕円形	90	40	42

第 18 号ピット群

位置 調査区中央部の C 7 f7～C 7 h6 区、標高 15 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 東西 20 m、南北 10 m の範囲にピット 27 か所を確認した。径 18～78 cm の円形または楕円形、隅丸長方形で、深さは 7～77 cm である。断面は U 字状または V 字状である。ピットの分布状況から、建物跡は想定できない。

遺物出土状況 土師器片 6 点 (坏 5、甕類 1)、須恵器片 1 点 (甕)、石核 1 点 (瑪瑙)、剥片 1 点 (チャート)、鉄滓 1 点 (120 g) が出土している。いずれも細片のため図示できない。

所見 時期・性格ともに不明である。

第 18 号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
1	C 7 g6	楕円形	36	27	76
2	C 7 g6	円形	20	19	42
3	C 7 g6	円形	26	25	38
4	C 7 h6	隅丸長方形	40	34	24
5	C 7 h5	楕円形	48	36	77
6	C 7 h5	楕円形	25	18	19
7	C 7 h4	楕円形	42	34	36
8	C 7 h4	楕円形	25	22	34
9	C 7 h4	楕円形	37	28	29

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
10	C 7 h4	円形	36	34	16
11	C 7 h4	楕円形	41	32	25
12	C 7 h4	楕円形	40	34	16
13	C 7 h4	[円形]	56 (34)	38	
14	C 7 h4	[円形]	65 (32)	38	
15	C 7 h4	[円形]	52 (32)	34	
16	C 7 g4	[円形]	44 (28)	29	
17	C 7 g4	[円形]	42 (40)	55	
18	C 7 g4	[円形]	34	32	21

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
19	C 7 g4	円形	34	32	12
20	C 7 g4	円形	30	28	18
21	C 7 g4	円形	30	28	13
22	C 7 g4	円形	36	36	17
23	C 7 g5	円形	35	35	7
24	C 7 f9	楕円形	58	50	36
25	C 7 f7	[円形]	50 (30)	31	
26	C 7 f7	[円形]	50 (34)	55	
27	C 7 f7	楕円形	78	54	19

第 19 号ピット群 (第 283 図)

位置 調査区西部から中央部にかけての A 3 e7～B 4 c7 区、標高 15～17 m ほどの平坦な台地上及び東へ向かう緩斜面部に位置している。

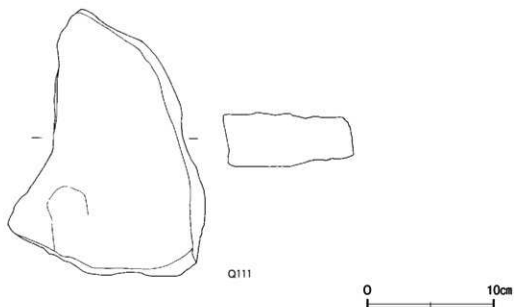
重複関係 第 104 号竪穴建物跡、第 9 号地下式坑、第 680・682～688・728・741 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 東西 75 m、南北 31 m の範囲にピット 362 か所を確認した。径 16～80 cm の円形または楕円形、隅丸方形、隅丸長方形、不整楕円形、不定形で、深さは 6～74 cm である。断面は U 字状または V 字状である。ピットの分布状況から、建物跡は想定できない。

遺物出土状況 土師器片 26 点 (坏 3、甕類 23)、須恵器片 10 点 (坏 3、高台付坏 1、甕類 6)、土師質土器 1 点 (焙烙)、陶器 1 点 (小皿)、石製品 1 点 (板碑)、鉄製品 5 点 (釘 1、不明 4)、銭貨 1 点 (不明)、鉄滓 10 点 (790 g)。

鉄塊系遺物6点(247.5g)、炉内滓2点(140.7g)が出土している。M 638はP 198、Q 111はP 221の覆土中から出土している。

所見 時期・性格ともに不明である。



第283図 第19号ピット群出土遺物実測図

第19号ピット群出土遺物観察表(第283図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 111	板状	21.2	15.8	4.3	1981.8	雲母片岩	帯身部。	覆土中	

番号	種別	銭名	径	孔径	重量	材質	初周年	特徴	出土位置	備考
M 638	銭貨	不明	-	-	(0.88)	銅	-	判読不能	覆土中	計測のみ

第19号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模(cm)		
			長径	短径	深さ
1	A 5e3	円形	30	30	26
2	A 5f4	楕円形	45	36	52
3	A 5f3	円形	25	25	58
4	A 5g3	円形	26	26	70
5	A 5f2	楕円形	56	32	60
6	A 5f2	円形	28	26	44
7	A 5f2	円形	26	26	59
8	A 5f1	円形	33	32	25
9	A 5g2	円形	30	28	46
10	A 5g2	円形	38	36	34
11	A 5f3	円形	59	59	64
12	A 5f3	楕円形	50	40	56
13	A 5f3	楕丸方形	58	58	76
14	A 5f2	円形	42	42	36
15	A 5f2	円形	36	35	53
16	A 5f3	楕円形	42	38	61
17	A 5f2	楕円形	60	37	37
18	A 5f1	円形	32	30	67

番号	位置	形状	規模(cm)		
			長径	短径	深さ
19	A 4h9	円形	50	46	47
20	A 4h9	円形	32	30	22
21	A 5g1	円形	32	31	32
22	A 4g0	円形	30	30	46
23	A 5g1	円形	34	30	48
24	A 5g1	円形	28	26	45
25	A 5g1	円形	28	27	27
26	A 4g0	円形	28	26	34
27	A 4g0	円形	34	33	29
28	A 4g0	楕円形	42	36	17
29	A 4g9	円形	37	36	12
30	A 4g9	楕円形	38	34	13
31	A 5c3	楕円形	45	28	50
32	A 5c3	楕円形	40	28	58
33	A 5f3	円形	23	22	36
34	A 5f3	楕円形	35	30	29
35	A 5f3	楕円形	38	31	48
36	A 5f3	楕円形	33	28	23

番号	位置	形状	規模(cm)		
			長径	短径	深さ
37	A 5f3	楕円形	46	36	33
38	A 5f2	円形	28	28	56
39	A 5f2	円形	20	20	72
40	A 5f2	円形	32	30	67
41	A 5g1	円形	25	24	62
42	A 5f1	楕円形	54	32	58
43	A 4f9	円形	22	22	52
44	A 4g0	円形	30	28	15
45	A 4g0	円形	28	26	37
46	A 4g0	楕円形	40	34	34
47	A 4g9	円形	36	36	41
48	A 4g0	円形	32	32	54
49	A 4g0	円形	34	32	30
50	A 4g9	楕円形	36	28	15
51	A 5f4	円形	43	40	66
52	A 4f7	円形	24	24	30
53	A 5f2	円形	31	31	31
54	B 4a6	円形	16	16	6

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
55	A 4g	円形	22	22	14
56	A 4g	円形	29	28	11
57	A 4g	円形	40	40	28
58	A 4g	楕円形	28	25	22
59	A 4g	楕円形	34	30	26
60	A 4g	円形	38	36	11
61	A 4g	円形	20	20	14
62	A 4g	楕円形	24	20	27
63	A 4g	円形	24	24	39
64	A 4g	円形	33	30	24
65	A 4h	円形	30	29	16
66	B 4h	円形	28	28	32
67	A 4g	円形	40	40	49
68	A 4g	円形	32	30	16
69	A 4g	円形	40	38	16
70	A 4h	楕円形	48	42	33
71	A 4h	円形	40	38	26
72	A 5g	円形	24	22	29
73	A 5g	楕円形	54	46	53
74	A 5h	円形	31	30	56
75	A 5h	楕円形	54	48	44
76	A 5g	楕円形	26	22	45
77	A 5h	円形	28	27	34
78	A 5h	楕円形	65	48	33
79	A 4h	円形	35	35	26
80	A 5g	楕円形	52	48	43
81	A 5h	不定形	60	40	35
82	A 5g	円形	30	30	16
83	A 5g	円形	44	42	33
84	A 5h	楕円形	53	46	57
85	A 5h	円形	42	42	25
86	A 5g	楕円形	52	34	34
87	A 5g	円形	21	20	27
88	A 5g	楕円形	35	28	48
89	A 5g	円形	18	18	38
90	A 5h	円形	38	36	48
91	A 5h	楕円形	56	35	56
92	A 5h	楕円形	50	45	41
93	A 5h	円形	57	56	57
94	A 5g	円形	30	28	44
95	A 5h	楕円形	32	25	49
96	A 5h	楕円形	55	44	31
97	A 4h	円形	52	50	60
98	A 5j	円形	32	30	30
99	A 4h	楕円形	36	32	25
100	A 4h	円形	30	28	38
101	A 4h	円形	22	20	27
102	A 4j	楕円形	55	32	67
103	A 5j	円形	48	48	40
104	A 5g	楕円形	48	40	49
105	A 4h	[円形]	34	(30)	49
106	A 4h	円形	18	18	17
107	A 5h	円形	36	33	43
108	B 5a	楕円形	42	37	36
109	A 5h	楕円形	47	28	42
110	A 5j	円形	40	40	41
111	A 5g	円形	28	28	32
112	A 5g	円形	28	26	30
113	A 4h	円形	22	20	24
114	A 5j	円形	38	36	39
115	A 4h	楕円形	50	44	49
116	A 4h	円形	22	20	16

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
117	A 4h	円形	29	28	46
118	A 4h	円形	40	40	21
119	A 4h	楕円形	34	29	42
120	A 4h	円形	30	28	16
121	A 5i	円形	26	26	35
122	A 4h	円形	28	26	40
123	A 4h	円形	20	20	24
124	A 5h	楕円形	25	22	20
125	A 5h	楕円形	48	36	40
126	A 5h	円形	26	26	48
127	A 5i	円形	26	24	32
128	A 4h	円形	28	26	32
129	A 5h	円形	28	26	39
130	A 5h	円形	26	24	32
131	A 4h	円形	18	18	26
132	A 4h	円形	20	20	28
133	A 5h	円形	24	24	18
134	A 5h	円形	25	24	20
135	A 5h	円形	28	28	46
136	A 5h	楕円形	26	22	38
137	A 5h	円形	22	22	31
138	A 5h	円形	20	20	16
139	A 5h	円形	25	24	35
140	A 5h	円形	32	30	30
141	A 5h	円形	23	23	14
142	A 5i	楕円形	30	22	37
143	A 5h	円形	32	30	20
144	A 5h	円形	28	28	49
145	A 5h	円形	34	32	27
146	A 5h	円形	36	35	48
147	A 5h	円形	32	31	25
148	A 5h	円形	50	50	41
149	A 5g	楕円形	54	38	40
150	A 4h	楕円形	50	40	67
151	A 4g	楕円形	58	38	65
152	A 4g	楕円形	50	38	24
153	A 5g	円形	32	32	57
154	A 5g	楕円形	47	47	55
155	A 5g	楕円形	48	42	62
156	A 5h	楕円形	45	40	65
157	A 5h	円形	30	30	38
158	A 4h	楕円形	52	40	44
159	A 5h	円形	36	35	40
160	A 5h	楕円形	54	36	31
161	A 5h	円形	34	33	42
162	A 5g	楕円形	46	42	50
163	A 5g	楕円形	34	30	19
164	A 5h	円形	25	24	26
165	A 5h	円形	24	24	23
166	A 5h	円形	22	20	29
167	A 5g	円形	38	36	34
168	A 5h	円形	34	32	43
169	B 5a	楕円形	64	45	64
170	B 5a	楕円形	58	48	47
171	A 4h	円形	36	34	28
172	A 5h	円形	30	28	29
173	A 5h	楕円形	44	26	38
174	A 5h	円形	25	23	36
175	B 5a	楕円形	40	36	45
176	B 5a	円形	29	28	44
177	B 5a	楕円形	28	24	29
178	A 4h	楕円形	47	40	24

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
179	B 5a	円形	49	45	43
180	A 4h	楕円形	30	22	29
181	B 5a	円形	30	28	37
182	B 5a	楕円形	34	28	48
183	A 4h	楕円形	30	24	35
184	B 5a	円形	40	38	58
185	A 4h	円形	38	38	18
186	A 5h	円形	40	38	44
187	B 5a	円形	28	28	35
188	B 5a	円形	28	26	46
189	A 4h	[円形]	26	(20)	48
190	A 5h	円形	40	38	48
191	A 5h	円形	42	42	44
192	A 4g	円形	34	34	28
193	A 4h	楕円形	28	24	33
194	A 4e	円形	34	34	34
195	A 4e	円形	40	40	43
196	A 4e	円形	30	30	14
197	A 4j	円形	30	30	36
198	A 4g	円形	50	50	35
199	A 4g	円形	25	24	9
200	A 4g	楕円形	32	24	31
201	A 4g	円形	30	30	52
202	A 4j	楕円形	35	30	31
203	A 4j	楕円形	34	28	37
204	A 4h	[円形]	56	(44)	24
205	A 4h	円形	34	32	30
206	A 4h	楕円形	36	24	31
207	A 4j	楕円形	30	25	31
208	A 4g	円形	32	32	39
209	A 4g	円形	26	24	40
210	A 4h	楕円形	44	42	56
211	A 4h	楕円形	40	40	19
212	A 4g	楕円形	42	37	24
213	A 4e	楕円形	30	22	31
214	A 4g	[円形]	30	20	16
215	A 4h	[円形]	40	(30)	48
216	A 4h	[円形]	34	32	37
217	A 4h	楕円形	60	40	22
218	A 4j	円形	40	38	36
219	A 4g	円形	40	40	28
220	A 4h	楕円形	60	52	49
221	A 4g	円形	26	26	24
222	A 4h	楕円形	62	54	44
223	A 4h	円形	24	24	27
224	A 4e	円形	28	28	17
225	A 4h	円形	50	50	51
226	A 4h	円形	50	50	51
227	A 4h	円形	46	46	50
228	A 4h	楕円形	38	28	28
229	A 4h	楕円形	60	40	52
230	A 4j	円形	50	48	18
231	A 4h	円形	42	42	49
232	A 4h	不整形円形	54	28	44
233	A 4h	円形	39	37	51
234	A 4h	円形	32	32	19
235	A 4h	円形	34	33	21
236	A 4h	円形	32	30	26
237	A 4j	円形	32	32	35
238	A 4e	円形	48	48	14
239	A 4h	楕円形	44	44	74
240	A 4h	楕円形	44	34	24

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
241	A 4 2	円形	30	30	35
242	A 4 h1	円形	30	30	22
243	B 4 a3	不定形	48	44	22
244	A 4 h1	楕円形	32	26	30
245	A 4 h1	楕円形	40	34	25
246	A 4 h1	楕円形	30	26	68
247	A 4 h1	円形	19	19	18
248	A 4 b2	不定形	54	40	15
249	A 4 g2	不定形	33	24	12
250	A 4 h1	円形	30	30	19
251	A 4 h1	楕円形	30	24	25
252	A 4 h3	円形	30	30	38
253	A 3 b0	円形	32	30	34
254	B 4 b7	円形	44	40	40
255	B 4 b7	円形	40	38	21
256	B 4 b7	楕円形	38	34	29
257	A 3 g9	[円形]	28	(22)	33
258	B 4 b7	楕円形	26	22	24
259	B 4 c5	楕円形	40	22	39
260	B 4 a7	円形	32	30	44
261	B 4 a7	円形	26	25	30
262	B 4 a7	不整楕円形	52	22	26
263	B 4 a7	楕円形	36	32	50
264	B 4 a7	円形	34	34	27
265	B 4 a6	楕円形	24	20	12
266	B 4 a6	円形	34	32	33
267	B 4 a6	円形	40	40	32
268	B 4 a6	円形	22	22	37
269	A 3 g9	楕円形	40	33	36
270	B 4 a5	円形	18	18	35
271	B 4 a5	楕円形	20	20	23
272	A 4 5	円形	30	30	41
273	B 4 a5	楕円形	32	24	21
274	B 4 a5	円形	30	30	26
275	B 4 a5	円形	26	24	29
276	B 4 a5	円形	22	22	18
277	B 4 a5	円形	20	20	27
278	B 4 a5	楕円形	30	24	6
279	B 4 a5	円形	32	30	26
280	B 4 a5	円形	20	20	26
281	B 4 a5	円形	20	20	29

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
282	B 4 a5	円形	40	40	36
283	B 4 b5	円形	22	22	14
284	B 4 b5	円形	20	20	24
285	B 4 b6	楕円形	45	36	32
286	B 4 b6	円形	20	20	33
287	B 4 b6	楕円形	24	20	19
288	B 4 b6	楕円形	70	52	41
289	B 3 a8	円形	38	36	41
290	B 4 b5	円形	32	32	35
291	A 4 7	円形	32	32	29
292	B 4 a7	楕円形	52	42	48
293	A 4 7	円形	44	40	33
294	A 4 7	円形	24	22	57
295	A 4 7	円形	20	20	22
296	A 4 7	円形	34	34	24
297	A 4 g2	円形	30	30	31
298	B 4 c7	円形	32	30	28
299	B 4 b7	円形	40	38	24
300	B 4 a7	円形	33	32	45
301	B 4 b6	円形	22	22	20
302	B 4 b6	円形	40	40	33
303	A 4 h1	円形	40	40	51
304	A 3 b0	円形	30	30	24
305	A 4 h1	楕円形	80	50	51
306	B 4 b7	円形	40	40	48
307	B 4 b6	円形	38	38	15
308	B 4 a5	円形	28	28	21
309	B 4 a1	楕円形	28	20	29
310	B 4 b4	円形	40	38	27
311	B 4 b4	楕円形	40	28	22
312	B 4 a4	楕円形	40	30	38
313	B 4 b6	円形	24	22	14
314	B 4 b6	楕円形	26	20	8
315	A 4 j1	楕円形	30	26	21
316	A 4 5	円形	35	35	61
317	A 4 j1	楕円形	26	20	39
318	A 4 j1	円形	24	24	49
319	A 4 5	楕円形	32	28	48
320	A 4 5	円形	36	36	16
321	A 4 5	楕円形	30	22	21
322	A 4 5	楕円形	30	28	24

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
323	A 4 5	円形	30	30	37
324	A 4 6	円形	40	37	37
325	A 4 6	円形	28	26	24
326	A 4 6	円形	30	30	29
327	A 4 6	楕円形	30	24	28
328	A 4 6	円形	34	34	23
329	A 4 7	円形	30	28	49
330	A 4 7	楕円形	32	28	43
331	A 4 7	楕円形	34	20	28
332	A 4 7	円形	32	30	25
333	B 4 b3	円形	46	46	25
334	B 4 a4	円形	36	36	36
335	B 4 a3	円形	32	30	14
336	B 4 a3	不定形	50	42	10
337	B 4 a3	円形	40	40	21
338	B 4 a3	円形	32	32	33
339	A 4 5	楕円形	32	26	60
340	A 3 g9	円形	30	30	23
341	A 3 g8	円形	32	32	16
342	A 3 g8	円形	42	42	32
343	A 3 9	円形	24	22	28
344	A 3 9	円形	30	30	21
345	A 3 e7	円形	30	30	21
346	A 3 e7	円形	30	30	32
347	A 3 e7	楕円形	20	17	26
348	A 3 e7	楕円形	40	30	35
349	A 3 e7	円形	26	26	20
350	A 3 g8	円形	30	30	23
351	A 3 9	円形	22	20	46
352	A 3 8	楕円形	46	38	25
353	A 4 j1	楕円形	44	40	26
354	A 3 g6	隅丸長方形	38	32	58
355	A 3 g6	円形	56	55	61
356	A 3 g6	隅丸長方形	36	32	48
357	A 3 g6	隅丸長方形	36	36	47
358	A 3 g6	隅丸長方形	32	30	65
359	B 3 a8	[円形]	24	(10)	57
360	B 3 a7	[円形]	36	(24)	51
361	A 3 g6	[円形]	24	(16)	35
362	A 3 g6	楕円形	32	26	19

第20号ピット群

位置 調査区中央部のB 4 f7～B 4 h0区、標高16mほどの東へ向かう緩斜面部に位置している。

重複関係 第2号鍛冶工房跡、第46・60号溝跡、第552号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 東西19m、南北7mの範囲にピット20か所を確認した。径18～80cmの円形または楕円形、隅丸方形、隅丸長方形で、深さは16～85cmである。断面はU字状またはV字状である。ピットの分布状況から、建物跡は想定できない。

遺物出土状況 土師器片2点(甕)が、P 1、P 2からそれぞれ出土しているが、細片のため図示できない。

所見 時期・性格ともに不明である。

第20号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
1	B 4 h0	楕丸長方形	34	30	52
2	B 4 g9	楕円形	32	28	42
3	B 4 g9	円形	26	26	35
4	B 4 f9	円形	22	20	69
5	B 4 g6	円形	20	20	43
6	B 4 8	楕丸方形	36	34	44
7	B 4 8	楕円形	48	40	59

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
8	B 4 8	楕円形	38	32	42
9	B 4 7	楕円形	26	22	49
10	B 4 7	円形	18	18	37
11	B 4 g6	楕円形	34	30	35
12	B 4 g6	楕円形	28	25	32
13	B 4 7	楕円形	28	24	85
14	B 4 g6	円形	28	26	43

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
15	B 4 g6	不定形	80	38	43
16	B 4 g6	円形	42	42	40
17	B 4 g6	円形	42	40	63
18	B 4 g6	楕円形	54	30	29
19	B 4 g6	円形	32	30	16
20	B 4 g6	楕丸長方形	44	34	35

第22号ピット群

位置 調査区中央部のA 5 f7～B 6 a0区、標高15mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第33号溝跡、第531・532号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 東西52m、南北11mの範囲にピット17か所を確認した。径24～74cmの円形または楕円形、不定形で、深さは10～61cmである。断面はU字状またはV字状である。ピットの分布状況から、建物跡は想定できない。

所見 時期・性格ともに不明である。

第22号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
1	A 5 j9	楕円形	42	38	43
2	B 6 a0	円形	29	29	53
3	B 6 a7	円形	32	32	40
4	B 6 a7	円形	35	35	40
5	B 6 a8	楕円形	39	33	38
6	B 6 a8	円形	34	34	42

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
7	B 6 a8	円形	32	30	45
8	B 6 a8	円形	28	28	50
9	B 6 a8	楕円形	46	39	48
10	B 6 a8	円形	50	50	24
11	A 5 j8	円形	32	30	42
12	A 5 j9	不定形	74	72	45

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
13	A 5 j9	不定形	38	24	12
14	A 5 j9	楕円形	45	34	18
15	A 5 j8	楕円形	28	24	25
16	A 5 i7	楕円形	30	26	10
17	B 6 a0	楕円形	40	25	61

第23号ピット群

位置 調査区西部のA 2 h7～A 2 j9区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 東西7m、南北3mの範囲にピット6か所を確認した。径31～46cmの円形または楕円形で、深さは12～27cmである。断面はU字状またはV字状である。ピットの分布状況から、建物跡は想定できない。

所見 時期を特定できる遺物が出土しておらず、配置に規則性がないため、時期・性格ともに不明である。

第23号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
1	A 2 h7	楕円形	46	40	27
2	A 2 h8	円形	38	36	17

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
3	A 2 h8	円形	34	35	16
4	A 2 h9	円形	39	38	30

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
5	A 2 h9	楕円形	36	31	20
6	A 2 j9	円形	43	40	12

第24号ピット群

位置 調査区西端部から西部にかけてのZ1h7～A1c0区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第3・4号跡を掘り込んでいる。

規模と形状 東西22m、南北21mの範囲にピット61か所を確認した。径20～65cmの円形または楕円形で、深さは10～92cmである。断面はU字状またはV字状である。ピットの分布状況から、建物跡は想定できない。

所見 時期を特定できる遺物が出土しておらず、配置に規則性がないため、時期・性格ともに不明である。

第24号ピット群計測表

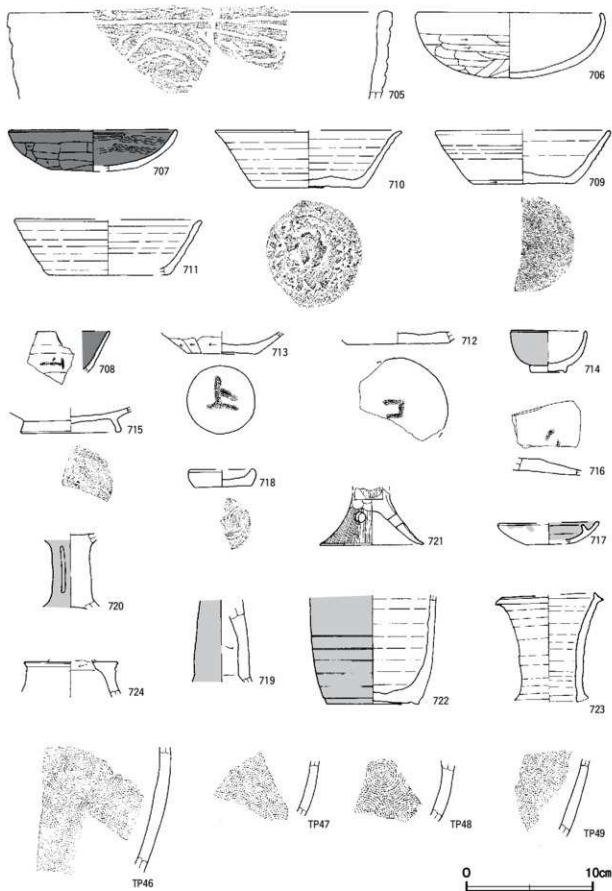
番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	Z1h7	楕円形	37	26	27	22	Z1j8	楕円形	61	30	30	43	A1a0	円形	33	33	92
2	Z1h8	楕円形	53	44	30	23	Z1j8	円形	47	46	13	44	A1b6	円形	52	49	45
3	Z1h8	楕円形	65	60	14	24	Z1j8	楕円形	50	36	27	45	A1h8	円形	26	25	58
4	Z1c5	円形	54	52	16	25	Z1j8	円形	28	28	12	46	A1h8	円形	25	25	35
5	Z1i6	円形	57	54	65	26	Z1j8	楕円形	46	32	32	47	A1h8	楕円形	37	25	44
6	Z1i6	円形	28	26	47	27	Z1j9	円形	33	31	40	48	A1h8	円形	22	20	31
7	Z1i6	円形	30	28	18	28	A1a6	円形	32	31	16	49	A1b9	円形	46	44	55
8	Z1i6	円形	32	32	30	29	A1a6	円形	28	28	30	50	A1b9	楕円形	52	27	45
9	Z1i6	円形	24	22	12	30	A1a7	楕円形	37	27	41	51	A1c5	楕円形	33	26	55
10	Z1i6	円形	36	35	29	31	A1a8	楕円形	54	42	21	52	A1c5	楕円形	30	22	44
11	Z1i6	円形	29	29	24	32	A1a8	円形	28	27	23	53	A1c5	円形	32	31	29
12	Z1i7	円形	30	28	46	33	A1a8	円形	29	27	10	54	A1c9	楕円形	32	29	10
13	Z1i7	楕円形	50	29	41	34	A1a9	円形	34	32	64	55	A1c9	円形	36	33	46
14	Z1i8	楕円形	41	33	27	35	A1a9	円形	36	35	60	56	A1c9	楕円形	36	29	21
15	Z1i6	楕円形	47	36	28	36	A1a9	円形	29	29	40	57	A1c9	円形	43	42	23
16	Z1i6	円形	24	23	22	37	A1a9	円形	42	40	46	58	A1c9	円形	41	41	20
17	Z1j7	楕円形	31	27	16	38	A1a9	円形	45	43	22	59	A1c0	円形	34	31	41
18	Z1j7	円形	60	56	30	39	A1a9	円形	39	37	18	60	A1c0	楕円形	40	36	37
19	Z1j7	円形	32	32	48	40	A1a9	楕円形	47	32	36	61	A1c0	楕円形	55	32	32
20	Z1j7	楕円形	38	26	36	41	A1a9	円形	45	43	24						
21	Z1j7	楕円形	43	25	25	42	A1a9	円形	40	40	28						

表23 その他のピット群一覧表

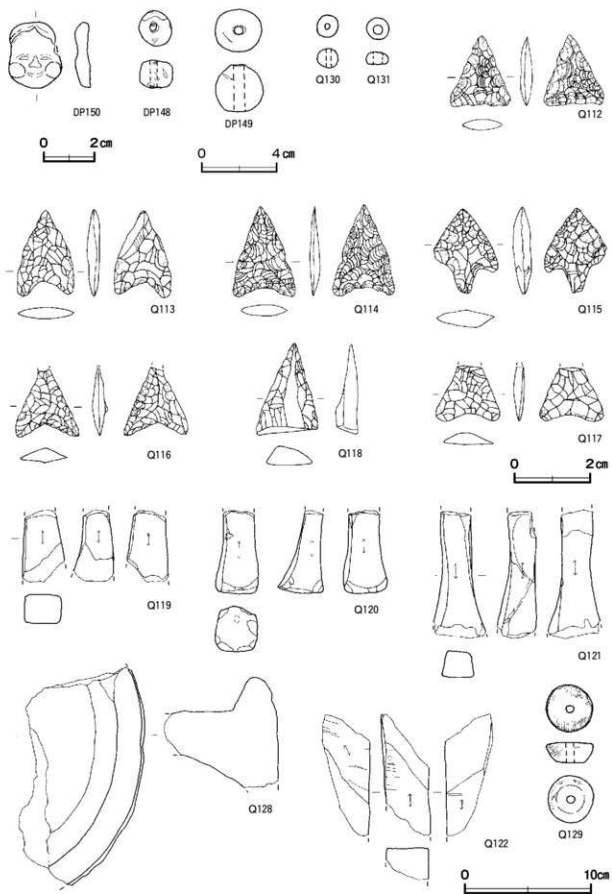
番号	位置	範囲	柱穴				主な出土遺物	備考	
			柱穴数	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)			深さ (cm)
15	D10d1～D10d1	東西14m、南北10m	100	円形・楕円形・楕丸方形	17～54	14～46	10～56	陶片	
16	D9d3～D9e4	東西5m、南北5m	11	円形・楕円形	26～50	24～44	15～67	土師器片、灰塵器片、鉄片	
17	B5c5～C7b1	東西89m、南北35m	642	円形・楕円形・楕丸方形・不整形円形	14～98	12～90	7～88	縄文土器片、土師器片、灰塵器片、高麗石、陶片、瓦片、銅製品、鉄片、鉄塊、遺物、石片	SD39→本跡
18	C7f7～C7h6	東西20m、南北10m	27	円形・楕円形・楕丸方形	20～78	18～50	7～77	土師器片、灰塵器片、石核、陶片、鉄片	
19	A3e7～B4c7	東西75m、南北31m	362	円形・楕円形・楕丸方形・楕丸長方形	16～80	16～58	6～74	土師器片、灰塵器片、土師器土器片、陶器、石製品、鉄製品、鉄片	SI104、UP9→本跡
20	B4f7～B4h0	東西19m、南北7m	20	円形・楕円形・楕丸方形・楕丸長方形	18～80	18～42	16～85	土師器片	鍛冶工房2、SD46-60→本跡
22	A5i7～B6a0	東西52m、南北11m	17	円形・楕円形・不定形	28～74	24～72	10～61		SD33→本跡
23	A2h7～A2i9	東西7m、南北3m	6	円形・楕円形	34～46	31～40	12～27		
24	Z1h7～A1c0	東西22m、南北21m	61	円形・楕円形	22～65	20～60	10～92		跡群3・4→本跡

(8) 遺構外出土遺物

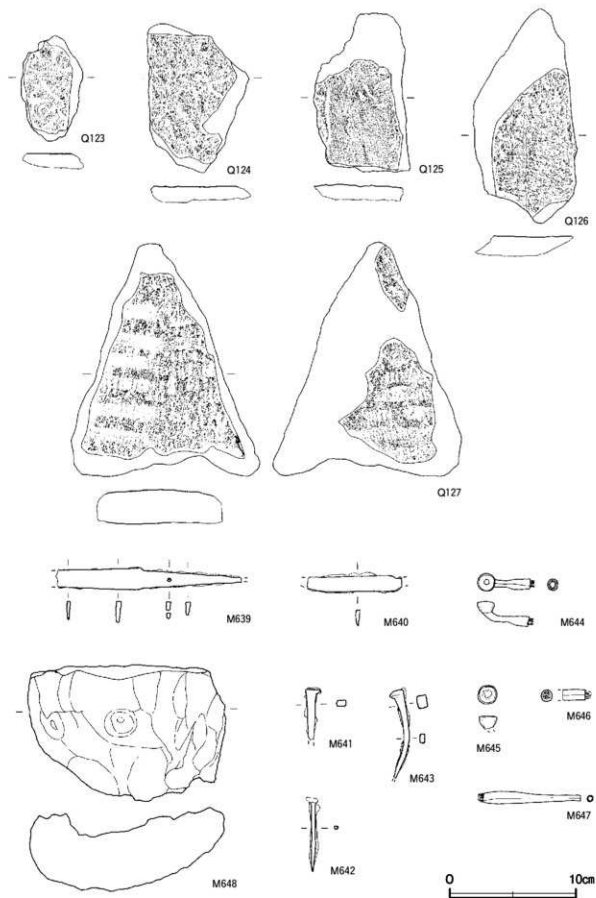
今回の調査で出土した遺構に伴わない遺物について、実測図(第284～290図)と観察表を掲載する。



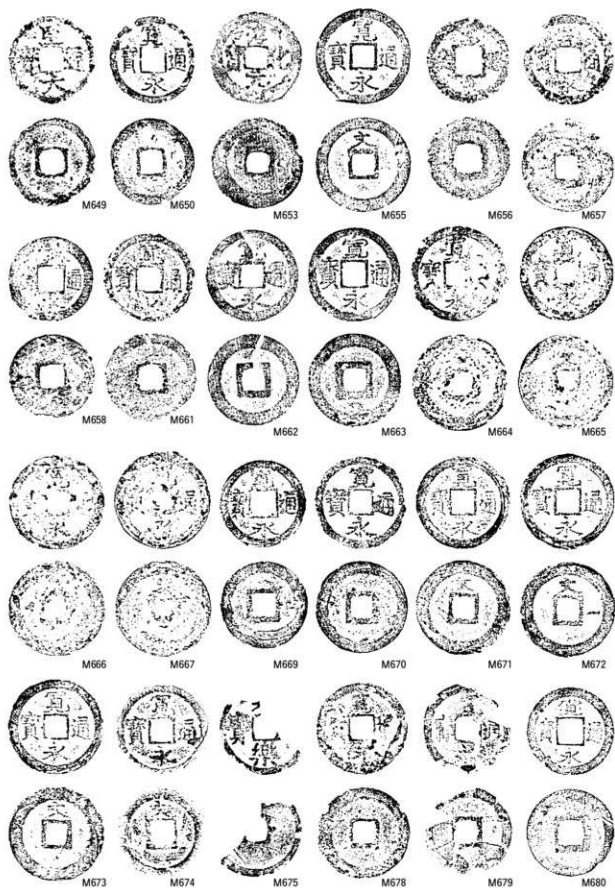
第 284 図 遺構外出土遺物実測図(1)



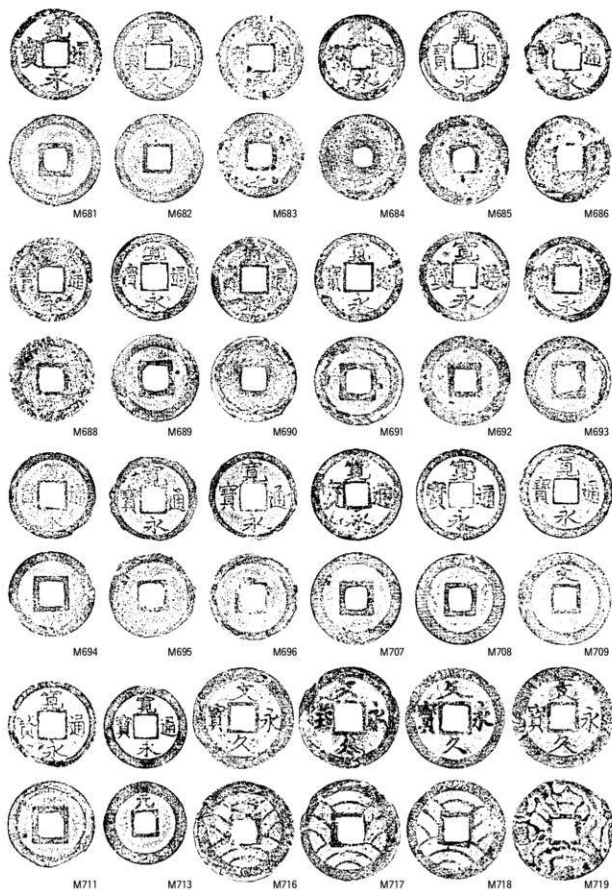
第 285 图 遺構外出土遺物実測図(2)



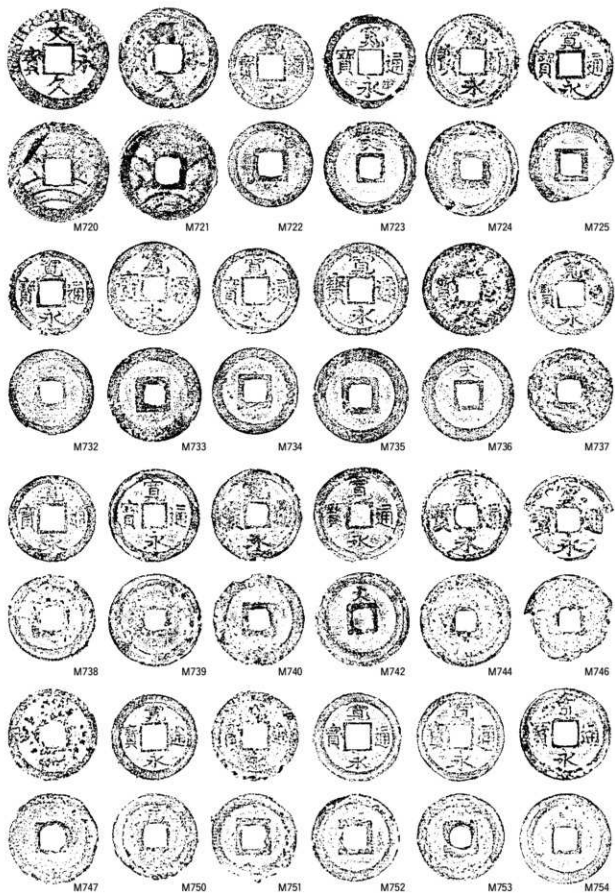
第 286 図 遺構外出土遺物実測図(3)



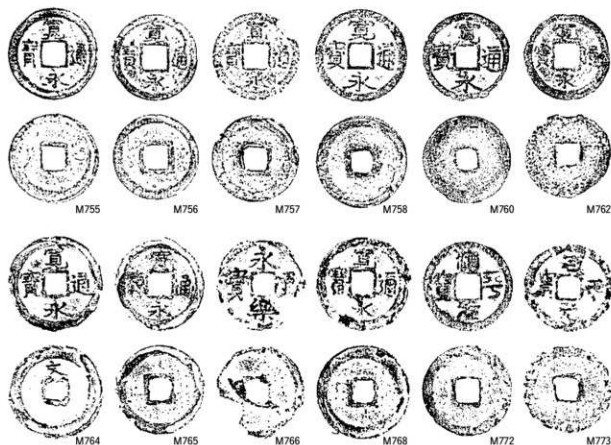
第 287 図 遺構外出土遺物実測図(4) [銭貨は原寸大]



第 288 図 遺構外出土遺物実測図(5) [銭貨は原寸大]



第 289 図 遺構外出土遺物実測図(6) [銭貨は原寸大]



第290図 遺構外出土遺物実測図(7) [銭貨は原寸大]

遺構外出土遺物観察表 (第284～290図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
705	縄文土器	深鉢	[30.4]	(7.1)	-	長石・石英	灰褐	普通	口縁部・底部に沈線文	表土	10%
706	土師器	坏	14.6	5.3	-	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	体部下半へう割り	表土	70% PL46
707	土師器	坏	[13.2]	3.3	[7.0]	長石・石英・ 炭母・赤色粒子	黒	普通	外面へう割り 内面へう磨き	B 4 18	20%
708	土師器	坏	-	(3.4)	-	長石・石英	橙	普通	磨き「上」	表土	10% PL45
709	須恵器	坏	[13.7]	4.2	[8.0]	長石・石英	灰	良好	体部下端回転へう割り 底部回転へう割り	B 4 58	40% PL46
710	須恵器	坏	[14.6]	4.6	8.6	長石・石英	にぶい黄	良好	体部下端ナデ 底部回転へう切り痕を残すナデ	B 4 58	50% PL46
711	須恵器	坏	[14.7]	4.5	[9.6]	長石・石英・ 炭母・赤色粒子	灰黄褐	良好	体部下端ナデ	B 4 18	20% PL46
712	須恵器	坏	-	(1.0)	[8.0]	長石・石英	黄灰	良好	底部一方のへう割り 磨き「上」	C 7 82	10% PL45
713	須恵器	坏	-	(1.8)	5.4	長石・石英	黄灰	良好	体部下端手持ちへう割り 底部一方のへう割り 磨き「上」	表土	30% PL45
714	陶器	碗	5.8	3.3	2.8	長石	浅黄	良好	透明釉	表土	90% PL46 瀬戸黄瀬戸系
715	須恵器	高台付坏	-	(2.0)	[7.8]	長石・石英	灰	良好	底部ナデ 底部へう記号「十」	表土	20% PL45
716	須恵器	蓋	-	(1.5)	-	長石・石英	黄灰	良好	天井部回転へう割り 天井部外面磨き「上」	表土	10% PL45
717	陶器	灯明皿	[7.9]	1.8	[3.8]	長石	にぶい黄	良好	鉄軸	D 1167	10% 瀬戸黄瀬戸系
718	土師質土器	小皿	[5.1]	1.4	[4.4]	長石・石英・ 赤色粒子	浅黄橙	普通	底部回転糸切り	表土	50% PL46
719	土師器	高坏	-	(6.6)	-	長石	明赤褐	普通	脚部外面半刺磨き 脚部内面ナデ 赤彩	D 10g7	10%
720	土師器	高坏	-	(6.0)	-	長石・石英・ 赤色粒子	明赤褐	普通	脚部外面一部へう磨き 外・内面赤彩	D 10g7	20%
721	土師器	高坏	-	(4.7)	[8.3]	長石・炭母・ 赤色粒子	灰黄褐	普通	脚部外面縦位のハケ目調整 尊孔3カ所	E 1115	40% PL46
722	陶器	徳利	-	(8.7)	7.3	長石・石英	にぶい黄	良好	鉄軸	表土	40% PL46 瀬戸黄瀬戸系

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
723	須恵器	長頸瓶	[7.3]	(8.7)	-	長石・石英	灰黄	良好	ロクロ彫彩	C 7 b8	10%
724	須恵器	不明	-	(3.0)	-	長石・石英	灰	良好	孔部内面ヘラ削り 孔径 [28cm]	表土	PL46

番号	種別	器種	胎土	色調	模様の特徴ほか			出土位置	備考
TP46	須恵器	甕	長石・石英	黄灰	外面同心円文罫	内面当て具痕	同一器種の可能性あり	A 3j3	5%
TP47	須恵器	甕	長石・石英	黄灰	外面同心円文罫	内面当て具痕		A 3j3	5%
TP48	須恵器	甕	長石・石英	黄灰	外面同心円文罫	内面当て具痕		A 3b2	5%
TP49	須恵器	甕	長石・石英	黄灰	外面同心円文罫	内面当て具痕		A 3j3	5%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	特徴	出土位置	備考
DP148	土玉	1.9	1.5	0.4	(5.0)	長石・石英	一方向からの穿孔 一部欠損	表土	PL48
DP149	土玉	2.5	2.5	0.5	13.2	長石	一方向からの穿孔	A 3 g6	PL48

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	特徴	出土位置	備考
DP150	泥面子	2.6	2.1	0.6	3.2	長石	おかも 表面指痕旺盛	D 10g8	PL50

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 112	鏡	1.9	1.6	0.3	0.7	黒曜石	両面磨練	表土	PL50
Q 113	鏡	2.3	1.5	0.3	1.2	チャート	両面磨練	表土	PL50
Q 114	鏡	2.4	1.6	0.3	0.9	黒曜石	両面磨練	表土	PL50
Q 115	鏡	2.3	1.7	0.5	1.2	瑪瑙	両面磨練	C 7 d2	PL50
Q 116	鏡	(1.8)	1.7	0.4	(0.7)	チャート	両面磨練	A 2.9	PL50
Q 117	鏡	(1.4)	1.7	0.3	(0.7)	頁岩	両面磨練	B 4 e8	
Q 118	鏡	2.4	1.6	0.6	1.8	頁岩	片面磨練	表土	PL50
Q 119	砥石	(5.7)	(3.3)	(3.2)	(69.7)	凝灰岩	砥面4面	表土	PL51
Q 120	砥石	(6.6)	3.5	3.6	(70.8)	凝灰岩	砥面4面	表土	PL51
Q 121	砥石	(10.0)	4.2	3.0	(123.6)	安山岩	砥面4面	表土	
Q 122	砥石	(9.6)	(4.0)	(3.8)	(101.4)	凝灰岩	砥面3面	表土	PL51
Q 123	砥石	(8.4)	(4.8)	(1.3)	(85.8)	緑泥片岩	砥身部。	表土	
Q 124	砥石	(11.9)	(8.1)	(1.4)	(192.3)	緑泥片岩	砥身部。	表土	
Q 125	砥石	(12.8)	(7.7)	(1.3)	(197.5)	緑泥片岩	砥身部。	表土	PL50
Q 126	砥石	(17.0)	(8.3)	(1.6)	(329.8)	緑泥片岩	砥身部。	D 10g7	
Q 127	砥石	(18.4)	(15.0)	(2.8)	(875.7)	緑泥片岩	砥身部。	表土	PL50

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 128	石臼	[28.6]	(8.7)	-	(1060.7)	安山岩	底部摩耗顕著	表土	PL51
Q 129	紡錘車	3.7	1.6	0.6	32.8	蛇紋岩	一方向からの穿孔	表土	PL52
Q 130	数珠玉	0.6	0.5	0.1	0.4	瑪瑙	一方向からの穿孔	表土	
Q 131	数珠玉	0.6	0.3	0.2	0.2	花崗岩	一方向からの穿孔	B 4 e5	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M 630	刀子	(14.8)	1.8	$0.1 \sim 0.4$	(25.5)	鉄	刃部断面三角形 基部に目釘穴 両端欠損	表土	PL53
M 640	刀子	(7.6)	1.3	0.3	(12.3)	鉄	基部欠損 刃部断面三角形	表土	PL53
M 641	釘	(4.2)	1.3	0.5	(7.2)	鉄	端部欠損 断面方形	D 9 a1	PL54
M 642	釘	5.9	1.0	0.3	2.2	鉄	断面方形	表土	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M643	釘	(7.2)	1.4	0.4~0.7	(12.6)	鉄	断面長方形 端部欠損	表土	PL54
M644	横管	4.6	1.5	1.9	4.4	銅	壺首部 羅字一部残存	B 4 c5	PL55
M645	横管	(1.4)	(1.0)	-	(1.5)	銅	壺首部 一部欠損	D 8 a4	
M646	横管	(2.3)	0.9	0.9	(2.1)	銅	胴部 羅字一部残存	B 4 d7	
M647	横管	8.2	0.5~1.0	-	9.3	銅	破口部 羅字一部残存	表土	PL55
M648	伊底瓦	107	15.7	6.6	1436.1	鉄	上面発泡 全面錆化 底部に伊壁が薄く付着 着磁性なし	表土	PL56

番号	種別	銭名	径	孔幅	重量	材質	初周年	特徴	出土位置	備考
M649	銭貨	至大通寶	2.29	0.60	2.55	銅	1310	元銭	A 3 a	
M650	銭貨	寛永通寶	2.30	0.62	2.11	銅	1697	新寛永	C 7 b8	
M653	銭貨	淨化元寶	2.39	0.53	3.39	銅	990	北宋銭 真書	表土	PL60
M654	銭貨	寛□□□	-	-	(0.59)	銅	-	破片	表土	計測のみ
M655	銭貨	寛永通寶	2.52	0.55	3.01	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M656	銭貨	不明	2.22	0.70	2.23	銅	-	-	表土	
M657	銭貨	寛永通寶	2.43	0.59	(2.87)	銅	-	判別不能	表土	
M658	銭貨	寛永通寶	2.23	0.63	(2.09)	銅	1697	新寛永	表土	
M659	銭貨	寛永通寶	-	-	(1.18)	銅	1697	新寛永	表土	計測のみ
M660	銭貨	不明	(2.74)	(0.70)	(5.05)	鉄	-	鉄錆に覆われている	表土	計測のみ
M661	銭貨	寛永通寶	2.35	0.63	1.48	銅	1697	新寛永	表土	
M662	銭貨	寛永通寶	2.44	0.58	1.99	銅	1636	古寛永	表土	
M663	銭貨	寛永通寶	2.48	0.61	2.75	銅	1636	古寛永	表土	
M664	銭貨	寛永通寶	2.53	(0.47)	(2.64)	銅	1697	新寛永	表土	
M665	銭貨	寛永通寶	2.52	0.51	3.44	銅	1697	新寛永	表土	
M666	銭貨	寛永通寶	2.50	0.51	3.60	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M667	銭貨	寛永通寶	2.49	(0.48)	3.99	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M668	銭貨	寛永通寶	-	-	(1.58)	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	計測のみ
M669	銭貨	寛永通寶	2.31	0.59	2.48	銅	1697	新寛永	表土	
M670	銭貨	寛永通寶	2.46	0.57	2.89	銅	1636	古寛永	表土	
M671	銭貨	寛永通寶	2.47	0.59	3.10	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M672	銭貨	寛永通寶	2.50	0.58	2.73	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M673	銭貨	寛永通寶	2.50	0.57	3.25	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M674	銭貨	寛永通寶	2.45	0.58	2.47	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M675	銭貨	永樂通寶	-	(0.64)	(1.55)	銅	1408	明銭	表土	
M676	銭貨	不明	-	-	(5.59)	鉄	-	鉄錆に覆われている	表土	計測のみ
M677	銭貨	不明	-	-	(2.83)	鉄	-	鉄錆に覆われている	表土	計測のみ
M678	銭貨	寛永通寶	2.46	0.58	3.20	銅	1697	新寛永	表土	
M679	銭貨	寛永通寶	(2.20)	0.56	(1.42)	銅	1697	新寛永	表土	
M680	銭貨	寛永通寶	2.32	0.66	1.71	銅	1697	新寛永	表土	
M681	銭貨	寛永通寶	2.41	0.60	2.61	銅	1636	古寛永	表土	
M682	銭貨	寛永通寶	2.33	0.61	2.51	銅	1697	新寛永	表土	
M683	銭貨	寛永通寶	2.25	0.65	1.61	銅	1741	新寛永 背「元」	表土	
M684	銭貨	寛永通寶	2.31	0.49	3.18	銅	1636	古寛永	表土	
M685	銭貨	寛永通寶	2.43	0.62	3.04	銅	1697	新寛永	表土	
M686	銭貨	寛永通寶	(2.90)	0.65	(1.67)	銅	1697	新寛永	表土	
M687	銭貨	不明	2.44	0.67	(1.14)	銅	-	-	表土	計測のみ
M688	銭貨	寛永通寶	2.25	0.62	1.70	銅	1697	新寛永	表土	

番号	種別	銭名	径	孔徑	重量	材質	初周年	特徴	出土位置	備考	
M689	銭貨	寛永通寶	2.32	0.67	2.18	銅	1697	新寛永	表土		
M690	銭貨	寛永通寶	2.29	0.64	2.19	銅	1697	新寛永	離着して出土	表土	
M691	銭貨	寛永通寶	2.36	0.65	2.72	銅	1697	新寛永		表土	
M692	銭貨	寛永通寶	2.41	0.56	2.77	銅	1636	古寛永		表土	
M693	銭貨	寛永通寶	2.25	0.62	2.39	銅	1697	新寛永	離着して出土	表土	
M694	銭貨	寛永通寶	2.29	0.65	1.99	銅	1697	新寛永		表土	
M695	銭貨	寛永通寶(2.21)	0.60	(2.61)	銅	1697	新寛永	表土			
M696	銭貨	寛永通寶	2.33	0.66	2.10	銅	1697	新寛永		表土	
M697	銭貨	寛永通寶	2.10	0.75	(0.65)	銅	1697	新寛永		表土	
M698	銭貨	寛永通寶	2.32	0.67	(5.14)	銅	1697	新寛永		表土	
M699	銭貨	不明	-	-		鉄	-	-		表土	計測のみ
M700	銭貨	不明	-	-	(5.11)	銅	-	-		表土	計測のみ
M701	銭貨	不明	-	-		銅	-	-		表土	計測のみ
M702	銭貨	不明	2.40	-	(3.22)	銅	-	-		表土	計測のみ
M703	銭貨	不明	2.33	-	(4.06)	銅	-	-	表土	計測のみ	
M704	銭貨	不明	-	-	(0.63)	銅	-	-	表土	計測のみ	
M705	銭貨	不明	-	-		銅	-	-	表土	計測のみ	
M706	銭貨	不明	-	-	(2.73)	銅	-	-	表土	計測のみ	
M707	銭貨	寛永通寶	2.43	0.58	2.72	銅	1636	古寛永	離着して出土	表土	
M708	銭貨	寛永通寶	2.41	0.60	2.30	銅	1636	古寛永		表土	
M709	銭貨	寛永通寶	2.48	0.60	2.76	銅	1668	新寛永 背「文」		表土	
M710	銭貨	□□□□(2.43)	0.58	(1.83)	銅	-	破片	表土		計測のみ	
M711	銭貨	寛永通寶	2.32	0.67	(1.35)	銅	1697	新寛永		表土	
M712	銭貨	寛□□□	-	-	(0.55)	銅	-	破片		表土	計測のみ
M713	銭貨	寛永通寶	2.20	0.55	1.74	銅	1741	新寛永 背「元」		表土	
M714	銭貨	寛永通寶	2.40	0.63	(1.93)	銅	1697	新寛永		表土	計測のみ
M715	銭貨	元徳通寶	-	-	(1.01)	銅	1078	北宋銭 篆書		表土	計測のみ
M716	銭貨	文久永寶	2.65	0.64	3.15	銅	1863	享文 背11渡		離着して出土	表土
M717	銭貨	文久永寶	2.69	0.72	3.61	銅	1863	王家 背11渡	表土		
M718	銭貨	文久永寶	2.66	0.63	3.59	銅	1863	享文 背11渡	表土		
M719	銭貨	文久永寶	2.70	0.59	3.87	銅	1863	真文 背11渡	表土		
M720	銭貨	文久永寶	2.70	0.66	3.14	銅	1863	真文 背11渡	表土		
M721	銭貨	文久永寶	2.68	0.71	3.88	銅	1863	判読不能	表土		
M722	銭貨	寛永通寶	2.29	0.65	1.95	銅	1697	新寛永	表土		
M723	銭貨	寛永通寶	2.49	0.57	3.02	銅	1668	新寛永 背「文」	表土		
M724	銭貨	寛永通寶	2.50	0.58	3.21	銅	1636	古寛永	表土		
M725	銭貨	寛永通寶	2.25	0.56	(2.29)	銅	1697	新寛永	表土		
M726	銭貨	寛永通寶	2.49	0.54	1.51	銅	1636	古寛永	表土	計測のみ	
M727	銭貨	不明	-	-		銅	-	-	表土	計測のみ	
M728	銭貨	不明	-	-		鉄	-	-	表土	計測のみ	
M729	銭貨	不明	-	-	12.36	鉄	-	-	表土	計測のみ	
M730	銭貨	不明	-	-		鉄	-	-	表土	計測のみ	
M731	銭貨	不明	-	-	(0.87)	鉄	-	破片	表土	計測のみ	
M732	銭貨	寛永通寶	2.26	0.59	2.53	銅	1697	新寛永	離着して出土	表土	
M733	銭貨	寛永通寶	2.48	0.55	2.73	銅	1636	古寛永		表土	
M734	銭貨	寛永通寶	2.30	0.60	3.11	銅	1697	新寛永		表土	
M735	銭貨	寛永通寶	2.51	0.60	3.35	銅	1636	古寛永		表土	

番号	種別	銭名	径	孔径	重量	材質	初鋳年	特徴	出土位置	備考
M736	銭貨	寛永通寶	249	0.55	4.30	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M737	銭貨	寛永通寶	230	0.65	2.07	銅	1697	新寛永	表土	
M738	銭貨	寛永通寶	226	0.61	2.70	銅	1697	新寛永	表土	
M739	銭貨	寛永通寶	247	0.53	3.76	銅	1697	新寛永	表土	
M740	銭貨	寛永通寶	245	0.54	3.34	銅	1636	古寛永	表土	
M741	銭貨	寛永通寶	230	0.52	2.12	銅	1697	新寛永	表土	計測のみ
M742	銭貨	寛永通寶	252	0.51	2.57	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M743	銭貨	不明	-	-	(0.21)	銅	-	破片	表土	計測のみ
M744	銭貨	寛永通寶	245	0.52	3.55	銅	1636	古寛永	表土	
M745	銭貨	不明	230	0.61	3.15	銅	-	判読不能	表土	計測のみ
M746	銭貨	寛永通寶 (231)	0.54	(2.55)	銅	1636	古寛永	表土		
M747	銭貨	不明	238	0.64	3.26	銅	-	判読不能	表土	
M748	銭貨	不明	240	0.68	(3.01)	銅	-	判読不能	表土	計測のみ
M749	銭貨	不明	245	0.59	2.89	銅	-	判読不能	表土	計測のみ
M750	銭貨	寛永通寶	226	0.61	2.11	銅	1741	新寛永 背「元」	表土	
M751	銭貨	寛永通寶	235	0.59	3.12	銅	1697	新寛永	表土	
M752	銭貨	寛永通寶	237	0.61	2.49	銅	1697	新寛永	表土	
M753	銭貨	寛永通寶	234	0.53	2.73	銅	1636	古寛永	表土	
M754	銭貨	寛永通寶	244	0.61	2.79	銅	1697	新寛永	表土	
M755	銭貨	寛永通寶	237	0.61	2.93	銅	1697	新寛永	表土	
M756	銭貨	寛永通寶	228	0.62	2.27	銅	1697	新寛永	表土	
M757	銭貨	寛永通寶	232	0.60	2.54	銅	1697	新寛永	表土	
M758	銭貨	寛永通寶	245	0.53	4.00	銅	1636	古寛永	表土	
M759	銭貨	寛永通寶	241	0.63	(1.75)	銅	1636	古寛永	表土	計測のみ
M760	銭貨	寛永通寶	232	0.55	2.32	銅	1636	古寛永	表土	
M761	銭貨	不明	229	0.56	2.61	銅	-		表土	計測のみ
M762	銭貨	寛永通寶	230	0.63	2.04	銅	1697	新寛永	表土	
M763	銭貨	寛永通寶	250	0.46	3.53	銅	1636	古寛永	表土	計測のみ
M764	銭貨	寛永通寶	251	0.53	3.90	銅	1668	新寛永 背「文」	表土	
M765	銭貨	寛永通寶	231	0.57	2.33	銅	1697	新寛永	表土	
M766	銭貨	永樂通寶	241	0.55	(2.26)	銅	1408	明銭	表土	
M767	銭貨	不明	-	-	(3.75)	鉄	-	錆に覆われている	表土	計測のみ
M768	銭貨	寛永通寶	249	0.58	3.89	銅	1697	新寛永	表土	
M769	銭貨	寛永通寶	227	-	(3.21)	銅	-	判読不能	表土	計測のみ
M770	銭貨	不明	-	-	(2.91)	銅	-	錆に覆われている	表土	計測のみ
M771	銭貨	寛永通寶	-	-	(3.10)	銅	-	判読不能	表土	計測のみ
M772	銭貨	治平元寶	242	0.62	2.69	銅	1064	北宋銭 篆書	表土	PL6)
M773	銭貨	咸平元寶	236	0.58	1.86	銅	998	北宋銭	表土	PL6)
M774	銭貨	不明	-	-	(1.75)	銅	-		表土	計測のみ

第4節 ま と め

1 はじめに

今回の調査では、竪穴建物跡 39 棟（古墳時代 15・奈良時代 8・平安時代 15・時期不明 1）、掘立柱建物跡 15 棟（奈良時代 8・平安時代 5・室町時代 1・江戸時代 1）、竪穴遺構 2 基（奈良時代・江戸時代）、方形竪穴遺構 11 基（室町時代）、鍛冶工房跡 3 基（奈良時代）、地下式坑 17 基（室町時代）、墓坑 46 基（江戸時代）、火葬施設 5 基（室町時代）、屋外炉 5 基（室町時代）、粘土貼土坑 15 基（江戸時代）、炉跡 3 基（縄文時代 2、江戸時代 1）などを確認し、複合遺跡であることがわかった。遺物は、各遺構から土師器・須恵器・陶磁器とともに土製品、石器・石製品、鉄製品、銭貨、鍛冶関連遺物などが出土している。

本節では、平成 23 年度報告分（『茨城県教育財団文化財調査報告』第 359 集、以下『第 359 集』）と併せて、縄文時代から江戸時代までの集落変遷・景観を概観するとともに、奈良・平安時代に当遺跡で行われていた製鉄・鍛冶について、若干の考察を加えてまとめたい。

考察にあたっては、既報告分の遺構の時期については『第 359 集』に基づくこととした。考察を進める上で、調査区域の特定の場所に遺構が集中する傾向がみられたので、便宜上全調査区域を A～E の 5 区に分けて考察した¹⁾。また、竪穴建物跡及び掘立柱建物跡の規模については、床面積が 21m²未満のものを小形、21m²以上 40m²未満のものを中形、40m²以上のものを大形とした²⁾。

2 各時代の様相

(1) 縄文時代

当時代の遺構は、今回の調査で炉跡 2 基、土坑 1 基を確認し、『第 359 集』では土坑 2 基が報告されており、中期後葉から後期前葉にかけての土器が出土している。遺構のうち、土坑 2 基は A 区に位置し、炉跡 2 基、土坑 1 基は E 区に位置している。その他、縄文土器片が調査区域の広い範囲から出土し、出土量は少ないが、石鏃や剥片なども出土していることから、当遺跡周辺には江川に向かう緩斜面部や、平坦な台地上に集落が形成され、狩猟などの日常生活が営まれていたと考えられる。

(2) 古墳時代（第 291・292 図、表 24・25）

当時代の遺構は、今回の調査で竪穴建物跡 15 棟を確認し、『第 359 集』の報告分と合わせて 48 棟となる。ここでは、当時代を、前期（4 世紀）、中期（5 世紀）、後期（6・7 世紀）の 3 期に大別し、集落変遷を概観する。また、後期は竪穴建物跡が中期の 1 棟から 40 棟に急激に増加することから、さらに（ア）6 世紀前葉、（イ）6 世紀中葉、（ウ）6 世紀後葉、（エ）7 世紀前葉、（オ）7 世紀後葉の 5 期に細分して考察する。

なお、遺構の時期が各期にまたがる場合には最も新しい期とし、明確な時期判断ができなかった第 34・62・63・71 号竪穴建物跡については考察から除外した。

ア 前期（4 世紀 第 291 図、表 24）

今回の調査では竪穴建物跡は確認できず、『第 359 集』で報告されている竪穴建物跡 6 棟のみが該当する。第 10・19・21・24 号竪穴建物跡の 4 棟が 4 世紀後葉、第 23・26 号竪穴建物跡の 2 棟が 4 世紀代である。全て B 区に集中している。

建物跡の規模は、第21号堅穴建物跡を除き、床面積が約10.0～17.0㎡で、全て小形である。主軸方向は、N-17°-33°-Wで西に振れている。第21号堅穴建物跡は、床面積が約25.2㎡の中形である。主軸方向はN-63°-Eで、東に大きく振れている。他の堅穴建物跡と異なり、規模が

表24 古墳時代建物跡一覧表(4・5世紀 第291図)

時期	区	番号	規模(少数第2位で四捨五入)			備考
			長軸×短軸(m)	面積(㎡)	主軸方向	
4C 後葉	B	10	4.6 × 4.3	17.0	小形	N-28°-W 焼失
		19	4.6 × 3.8	15.6	小形	N-33°-W
		21	5.6 × 5.4	25.2	中形	N-63°-E
		24	3.6 × 3.2	10.2	小形	N-32°-W
4C 代	B	23	3.6 × 3.3	10.0	小形	N-17°-W
		26	(2.6) × (1.6)	-	-	N-33°-W
		25	(3.6) × (2.8)	-	-	N-18°-W

大きいことから第21号堅穴建物跡が集落の中心的な堅穴建物であったと推測できる。今回の調査区域には、当期に帰属する堅穴建物跡は確認できないため、当期の6棟は、小規模な集落を構成していたが、集落の縁辺部に位置していたと考えられる。

当期は、『第359集』で報告されているように、古墳時代における集落形成の黎明期とみられる。

イ 中期(5世紀 第291図, 表24)

今回の調査で堅穴建物跡は確認できず、『第359集』で報告されている第25号堅穴建物跡のみが該当し、5世紀前葉に比定できる。B区の前期の集落の南側に位置している。正確な規模は調査区域外へ延びているため不明であるが、確認できた軸長は2.8～3.6mで、主軸方向がN-18°-Wであることから、前期の規模と大差ないと考えられる。

当期は、第25号堅穴建物跡が前期の集落の南側に位置し、今回の調査区域に当期に帰属する堅穴建物跡が確認できないことから、前期の集落が調査区域よりも南側に広がっていたと考えられる。

ウ 後期(6・7世紀 第292図, 表25)

(ア)6世紀前葉

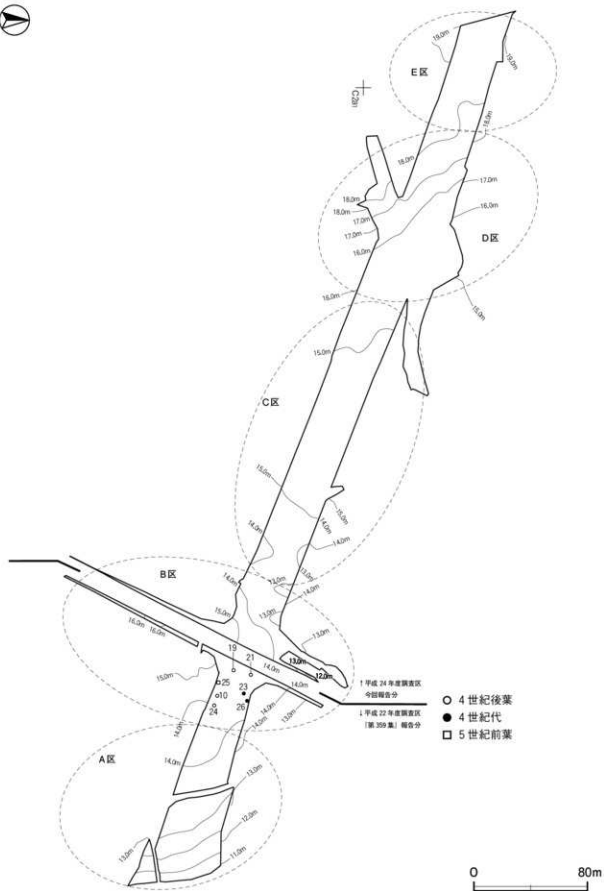
今回の調査で堅穴建物跡は確認できず、『第359集』で報告されている堅穴建物跡7棟のみが該当する。第16号堅穴建物跡を除き、中期の後葉と末期から続いているものである。A区に3棟(第32・39・41号堅穴建物跡)、B区に4棟(第11・16・18・20号堅穴建物跡)である。A区の3棟の規模は、床面積が約61.9～86.2㎡で、全て大形である。主軸方向はN-30°-55°-Wで、西への振れ幅が大きい。B区の4棟の規模は、床面積が約46.9～56.3㎡で、全て大形である。主軸方向はN-15°-35°-Wで西へ振れているが、A区の3棟よりもより真北に近い振れ幅である。

確認した7棟のうち3棟が焼失したものとみられる。また、1棟は一方の壁が張り出している構造となっている。張り出しをもつ堅穴建物跡は、少数であるが当遺跡では9世紀前葉まで確認できることから、継続的に採り入れられた形態であったと考えられる。

当期は、集落が中期よりもさらに拡大し、住居の規模が大形化した時期である。

(イ)6世紀中葉

今回の調査で堅穴建物跡2棟を確認し、『第359集』では堅穴建物跡3棟が報告されている。A区に1棟(第55号堅穴建物跡)、B区に3棟(第2・22・68号堅穴建物跡)である。当期になると、C区にも堅穴建物が出現し、第95号堅穴建物跡が該当する。A区の第55号堅穴建物跡の規模は、調査区域外へ延びているため不明であるが、主軸方向はN-18°-Wで、前葉のA区の主軸方向より真北に近づく傾向にある。B区の建物跡の規模は、床面積が約13.7～18.1㎡で、全て小形である。主軸方向はN-21°-35°-Wで西に振れているが、前葉のB区の主軸方向より各建物間の振れ幅の差が縮小する傾向にある。



第 291 図 古墳時代（前期・中期）集落変遷図

C区の第95号竪穴建物跡の規模は、床面積が約23.5㎡で、中形である。主軸方向はN-13°-Wである。

当期は、6世紀前葉よりも集落が西へ拡散する時期である。また、確認した竪穴建物跡のほとんどが調査区域際、または単体で所在している。前葉では、数棟ずつまとまって集落を形成しており、当期においてもその傾向は続くと考えられることから、各区の集落は調査区域外に広がっていると推測できる。

(ウ) 6世紀後葉

今回の調査で竪穴建物跡6棟を確認し、『第359集』では竪穴建物跡9棟が報告されている。A区に6棟（第29・38・46・48・54・61号竪穴建物跡）、B区に8棟（第3・12・27・66・69・70・75・78号竪穴建物跡）、C区に1棟（第82B号竪穴建物跡）である。A区の建物跡の規模は、床面積が約156～45.6㎡で、大形が1棟、中形が3棟、小形が1棟である。主軸方向はN-17°～37°-Wで西に振れている。B区の建物跡の規模は、床面積が約19.1～42.3㎡で、大形が1棟、中形が2棟、小形が1棟であるが、規模が不明なものもあり大形の竪穴建物跡が増える可能性もある。主軸方向はN-19°～36°-Wで西に振れている。C

表25 古墳時代建物跡一覧表（6・7世紀 第292図）

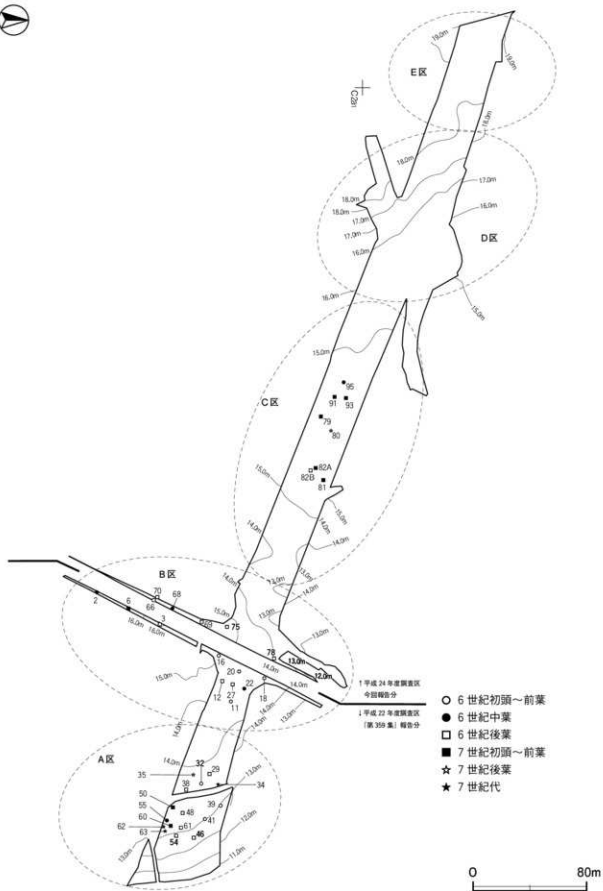
時期	区	番号	規模（少数第2位で四捨五入）			備考		
			長軸×短軸(m)	面積(㎡)	主軸方向			
6C前葉	A	32	8.4 × 8.3	61.9	大形	N-32°-W	焼失	
		39	8.9 × (7.4)	72.3	大形	N-55°-W		
		41	9.6 × 9.6	86.2	大形	N-30°-W	焼失	
	B	11	7.9 × 7.8	56.3	大形	N-27°-W	焼失	
		16	(3.6) × (3.5)	-	-	N-15°-W		
		18	(3.8) × (3.6)	-	-	N-26°-W		
			20	7.4 × 7.4	46.9	大形	N-35°-W	張出
	6C中葉	A	55	(5.4) × (5.0)	-	-	N-18°-W	
			2	(2.7) × (1.5)	-	-	N-30°-W	
B		22	4.8 × 4.6	18.1	小形	N-21°-W		
		68	4.1 × (2.0)	13.7	小形	N-35°-W		
C	95	5.5 × 5.4	23.5	中形	N-13°-W			
6C後葉	A	29	4.7 × 4.1	15.7	小形	N-19°-W		
		38	7.2 × (3.8)	45.6	大形	N-31°-W	焼失	
		46	4.5 × 4.4	15.6	小形	N-37°-W	焼失	
		48	5.4 × 5.2	21.8	中形	N-17°-W		
		54	5.5 × 5.3	24.8	中形	N-30°-W		
			61	6.6 × 6.5	35.8	中形	N-20°-W	
	B	3	5.4 × (3.2)	25.0	中形	N-32°-W		
		12	5.7 × 5.6	25.5	中形	N-21°-W		
		27	5.0 × 4.9	19.1	小形	N-20°-W	張出	
		66	(5.7) × (1.5)	-	-	[N-10°-E]		
		69	(5.6) × (5.6)	-	-	[N-27°-W]		
	C	70	(4.4) × (1.5)	-	-	N-36°-W		
		75	7.0 × (5.3)	42.3	大形	N-19°-W		
		78	(4.4) × 3.7	-	-	N-22°-W		
		82B	5.7 × 5.7	27.0	中形	N-28°-W		
		50	6.8 × (6.8)	37.8	中形	N-40°-W		
7C前葉	A	60	5.4 × 5.1	21.9	中形	N-38°-W		
			6	5.2 × (2.4)	22.1	中形	N-31°-W	
	B	79	6.1 × 6.1	29.7	中形	N-17°-W		
		81	6.4 × 6.1	31.1	中形	N-30°-W		
		82A	6.7 × 6.3	33.3	中形	N-28°-W		
		91	7.7 × 6.6	45.1	大形	N-4°-W		
		93	5.8 × 5.8	27.6	中形	N-13°-W		
7C後葉	A	35	4.5 × (2.3)	16.8	小形	N-3°-E		
C	80	5.5 × 5.5	26.0	中形	N-35°-W			
7C代	A	34	5.9 × (2.0)	29.4	中形	N-25°-W		
		82	(1.6) × (1.1)	-	-	N-17°-W		
		63	4.8 × 4.6	20.1	小形	N-23°-W		
古墳	B	71	(2.6) × (0.8)	-	-	-		

区の第82B号竪穴建物跡の規模は、面積が約27.0㎡の中形である。主軸方向はN-28°-Wである。A区とB区の規模を比較すると、規模や主軸方向がほとんど同じ値となり、1棟の大形の竪穴建物とその他の中形・小形の竪穴建物で構成されるようになる。同じ傾向がC区にも及ぶとすれば、第82B号竪穴建物跡の周辺にも大形の竪穴建物位置していた可能性がある。

当期は、集落の竪穴建物が長形とその周りの中形・小形という組み合わせになる時期である。

(エ) 7世紀前葉

今回の調査で竪穴建物跡5棟を確認し、『第359集』では竪穴建物跡3棟が報告されている。A区に2棟（第50・60号竪穴建物跡）、B区に1棟（第6号竪穴建物跡）、C区に5棟（第79・81・82A・91・93号竪穴建物跡）である。A区の建物跡の規模は、床面積が約21.9～37.8㎡で、中形が2棟である。主軸方向はN-38°～40°-Wで、6世紀後葉のA区の竪穴建物跡よりも西への振れ



第292図 古墳時代(後期)集落変遷図

が大きくなる。B区の第6号堅穴建物跡の規模は、床面積が約22.1㎡で、中形である。主軸方向はN-31°-Wで、6世紀後葉のB区の堅穴建物跡と大差ない。棟数が増加するC区の建物跡の規模は、床面積が約27.6～45.1㎡で、大形が1棟、中形が4棟である。主軸方向はN-4～30°-Wで、引き続き西に振れる傾向は変わらないが真北に近づくものが出現し始めている。C区の集落の構成は、1棟の大形の堅穴建物とその周りの中形の堅穴建物で構成されている。A・B区では中形の堅穴建物跡しか確認できなかったが、中形の堅穴建物跡付近の調査区域外に大形の堅穴建物跡が位置していたと推測できる。

当期は、A・B区の集落の中心は調査区域外に移り、C区の集落が調査区域内へ移ったと考えられる時期で、集落を構成する堅穴建物の規模の傾向は継承される時期である。また、当期以後、7世紀中葉には調査区域内で堅穴建物跡が確認できなくなる。

(オ) 7世紀後葉

今回の調査で堅穴建物跡1棟を確認し、『第359集』では堅穴建物跡1棟が報告されている。A区が1棟(第35号堅穴建物跡)、C区が1棟(第80号堅穴建物跡)である。A区の第35号堅穴建物跡の規模は、床面積が約16.8㎡で、小形である。主軸方向はN-3°-Eである。C区の第80号堅穴建物跡の規模は、床面積が約26.0㎡で、中形である。主軸方向はN-35°-Wである。確認数が少なく、7世紀中葉の堅穴建物跡が確認できないため、一概に当てはまるとはいえないが、規模や主軸方向等の傾向は7世紀前葉から引き続けているとみられる。

当期は、堅穴建物跡の確認数が大幅に減少することから、集落が調査区域外に移動したと考えられ、集落の縁辺部の数棟が調査区域に残っているものと考えられる。

また、第80号堅穴建物跡は中央部にピット1か所があり、支柱穴とみられる。同時期の他の堅穴建物跡との上屋構造とは異なっていた可能性がある。また、出土した382は長胴で体部外面に縦位のヘラ削り調整が施されており、いわゆる武蔵型の甕である。建物の形状や出土物の傾向がこれまでと異なる点から、当期には物と人の活発な交流が行われていたと考えられる。

(3) 奈良時代(第293図、表26)

当時代の遺構は、今回の調査で堅穴建物跡8棟、掘立柱建物跡8棟、鍛冶工房跡3基を確認し、『第359集』では堅穴建物跡27棟が報告されている。ここでは、当時代を8世紀前葉、中葉、後葉の3期に大別し、集落変遷を概観する。

ア 前葉

今回の調査で堅穴建物跡2棟を確認し、『第359集』では堅穴建物跡9棟が報告されている。A区に6棟(第28・36・51・52・53・64号堅穴建物跡)、B区に5棟(第13・15・17・73・77号堅穴建物跡)である。A区の建物跡の規模は、床面積が4.0～19.8㎡で、全て小形である。主軸方向は、第36号堅穴建物跡(N-62°-E)を除き、N-1～30°-Wとばらつきはあるが、主軸方向が真北に近づく傾向にある。B区の建物跡の規模は、床面積が約8.0～22.6㎡で、中形が1棟で、他は小形である。主軸方向は、第73号堅穴建物跡(N-25°-E)を除き、N-16～25°-Wとなり建物間の差がより縮小する傾向になる。両区とも、床面積が20㎡前後の堅穴建物1棟と、その周りに小形の堅穴建物跡が位置する点で共通している。

当期以後、大形の堅穴建物跡は調査区域内から確認できなくなる。当期は、堅穴建物の小形化傾向が始まる時期で、集落を構成する堅穴建物の規模が一時的になる時期といえる。

イ 中業

今回の調査で竪穴建物跡1棟、掘立柱建物跡2棟、鍛冶工房跡3基を確認し、『第359集』では竪穴建物跡9棟が報告されている。竪穴建物跡はA区に7棟(第9・30・45・49・56・57・65号竪穴建物跡)、B区に2棟(第4・5号竪穴建物跡)である。前業には確認できなかったC区にも1棟(第89号竪穴建物跡)が出現する。A区の建物跡の規模は、面積が約5.8～27.5㎡で、中形が1棟で他は小形である。主軸方向は、N-3～27°-W及びN-2°-Eとなり、真北方向に近づく傾向がより強まる。B区の建物跡の規模は確認できたものが少なく、第5号竪穴建物跡は、床面積が約9.4㎡で、小形と確認できたのみである。主軸方向はN-23°-W及びN-10°-Eとなり、真北を挟んで東西方向に振れる傾向にあるといえる。C区の第89号竪穴建物跡の規模は、床面積が約8.4㎡で、小形である。主軸方向はN-11°-Wで、西に振れているという点では、他の区の集落と同じ傾向にあるといえる。B区とC区では確認できた竪穴建物跡数が少ないが、A区と同じく中形の竪穴建物とその周りの小形の竪穴建物という様相にあると考えられる。

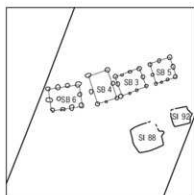
当期には、鍛冶工房が出現する。C区の東端の第1号鍛冶工房跡、D区の第2・3号鍛冶工房跡である。同時に掘立柱建物跡がD区に出現する。第7・12号掘立柱建物跡は3×2間である。桁行方向はN-51・53°-Wと大きく西に振れている。第2・3号鍛冶工房に近いことから、鍛冶に関わる倉庫であった可能性がある。

ウ 後業

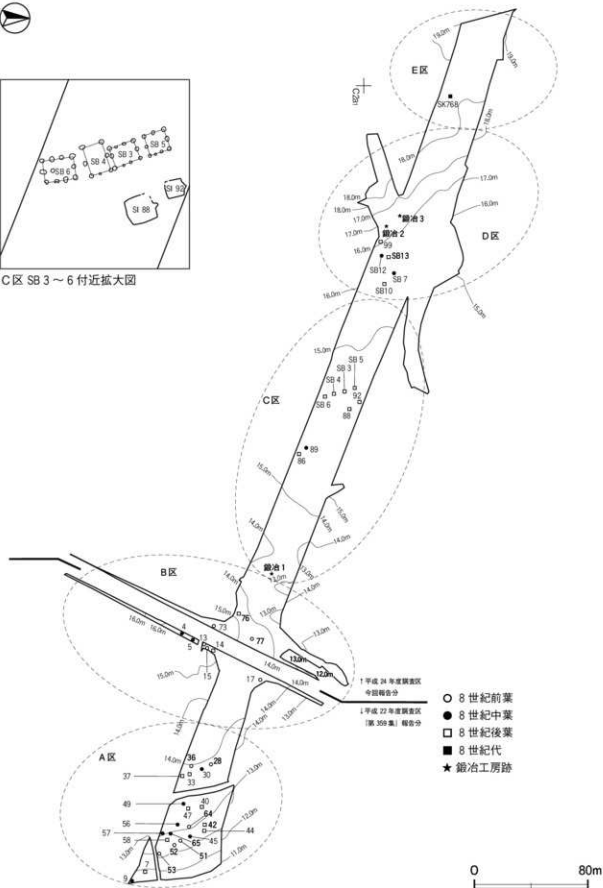
今回の調査で竪穴建物跡5棟、掘立柱建物跡2棟を確認し、『第359集』では竪穴建物跡9棟が報告されている。竪穴建物跡はA区に8棟(第7・33・37・40・42・44・47・58号竪穴建物跡)、B区に2棟(第14・76号竪穴建物跡)、C区に3棟(第86・88・92号竪穴建物跡)、D区に1棟(第99号竪穴建物跡)である。A区の建物跡の規模は、床面積が約99～232㎡で、1棟が中形、他が小形である。主軸方向は、N-8～17°-W及びN-8～32°-Eで、真北を挟んで振れ幅が大きくなる。B区の

表26 奈良時代建物跡一覧表(第293図)

時期	区	番号	規模(少数第2位で四捨五入)			備考		
			長軸×短軸(m)	面積(㎡)	主軸方向			
8C前業	A	28	3.7 × 3.3	9.3	小形	N-30°-W		
		36	2.3 × 2.3	4.0	小形	N-62°-E		
		51	3.2 × 3.0	6.7	小形	N-1°-W		
		52	3.8 × 3.6	12.6	小形	N-10°-W		
		53	3.1 × (2.8)	6.8	小形	N-15°-W		
		64	5.3 × 5.1	19.8	小形	N-4°-W		
		13	(3.8) × (2.2)	-	-	N-24°-W		
	B	15	(3.0) × (2.4)	-	-	N-25°-W		
		17	3.8 × 3.4	8.0	小形	N-18°-W		
		73	5.2 × (1.4)	22.6	中形	N-25°-E	張出	
		77	3.7 × 3.5	11.2	小形	N-16°-W		
		9	(3.7) × (2.5)	-	-	-		
		30	5.7 × 5.5	27.5	中形	N-27°-W		
8C中業	A	45	3.8 × 3.5	9.5	小形	N-8°-W		
		49	3.8 × 3.6	9.2	小形	N-2°-E	張出	
		56	4.5 × 4.3	16.5	小形	N-3°-W		
		57	3.8 × (3.3)	11.6	小形	N-3°-W		
		65	2.7 × 2.3	5.8	小形	N-13°-W		
		4	(3.8) × (3.0)	-	-	N-23°-W		
		5	3.6 × (3.2)	9.4	小形	N-10°-E		
	C	89	3.4 × 3.0	8.4	小形	N-11°-W		
		D	SB7	6.9 × 4.8	33.1	中形	N-53°-W	3×2
	8C後業	A	SB12	6.0 × 4.8	28.8	中形	N-51°-W	3×2
			7	3.7 × 3.5	11.2	小形	N-32°-E	
			33	5.9 × 5.2	23.2	中形	N-15°-W	
			37	4.4 × (3.9)	15.4	小形	N-10°-W	
40			4.9 × 4.0	15.8	小形	N-9°-E		
42			3.8 × 3.7	9.9	小形	N-17°-W		
44			3.9 × 3.5	11.6	小形	N-8°-W		
47			3.9 × 3.8	10.7	小形	N-8°-E		
58			3.7 × 3.6	11.6	小形	N-12°-W		
14			5.4 × (4.3)	19.5	小形	N-5°-W	張出	
76			6.2 × 5.6	30.2	中形	N-23°-W		
86			4.0 × 3.5	11.3	小形	N-16°-W		
88			5.8 × 5.8	28.3	中形	N-17°-W	張出	
92		4.1 × 3.7	9.9	小形	N-12°-W			
C		SB3	5.4 × 4.2	22.7	中形	N-21°-W	3×2	
		SB4	6.3 × 4.2	26.5	中形	N-72°-E	2×1	
		SB5	4.5 × 4.5	20.3	小形	N-18°-W	2×2	
		SB6	6.6 × 4.5	29.7	中形	N-9°-W	3×2	
		99	6.5 × (4.8)	37.2	中形	N-53°-W		
	D	SB10	7.5 × 4.8	36.0	中形	N-42°-E	3×2	
SB13		6.3 × 3.6	22.7	中形	N-58°-W	3×2		



C区 SB 3～6 付近拡大図



第 293 図 奈良時代集落変遷図

建物跡の規模は、床面積が約19.5～30.2㎡で、中形・小形が各1棟である。主軸方向は、N-5°-23°-Wで、やや西に振れている。C区の建物跡の規模は、床面積が約9.9～28.3㎡で、1棟が中形、他が小形である。主軸方向はN-12°-17°-Wで、西に振れる傾向は他の区と同じであるが、各建物間の差が極めて少ない。D区の第99号竪穴建物跡の規模は、床面積が約37.2㎡で、中形である。主軸方向はN-53°-Wで、当期の竪穴建物の中では最も西へ振れている。各区の集落の構成は中葉の傾向を踏襲し、中形の竪穴建物とその周りの小形の竪穴建物という様相である。

掘立柱建物跡は6棟が該当し、新たにC区にも出現する。C区に4棟（第3～6号掘立柱建物跡）、D区に2棟（第10・13号掘立柱建物跡）である。C区の掘立柱建物跡の規模は、3×2間が2棟、2×2間が1棟、2×1間が1棟である。桁行方向は、N-9°-21°-W及びN-72°-Eとばらつきがある。第88・92号竪穴建物跡の西側にはほぼ一直線に配置されていることから、第88・92号竪穴建物跡に関連する倉庫群に位置づけられる。D区の掘立柱建物跡の規模は、3×2間の2棟である。桁行方向はN-42°-E及びN-58°-Wで類似性はないが、第10号掘立柱建物跡は第7号掘立柱建物跡の南西、第13号掘立柱建物跡は第12号掘立柱建物跡の北に隣接することから、中葉の2棟がそれぞれ建て替えられたものと考えられる。

鍛冶工房跡は第1号鍛冶工房のみが継続して存在し、第2・3号鍛冶工房は廃絶されている。D区に継続して掘立柱建物があることから、第10・13号掘立柱建物跡付近の調査区域外に鍛冶工房が移ったものと考えられる。

エ. その他の注目できる遺構

当遺跡で最も大形の第768号土坑は、長径4.93m、短径4.43m、深さ209cmで、氷室状土坑の可能性がある。同規模の土坑が、阿見町の小作遺跡では第1号大形円形土坑（10世紀前葉）として報告されている³¹。つくは市の鳥名八幡前遺跡では、第1～3号大形竪穴状遺構（8世紀中葉・9世紀中葉以前・8世紀前葉）が氷室状遺構として報告されている⁴¹。いずれも、集落の縁辺部に位置していることから、本跡も台地上の集落の北縁辺部に位置していると考えられ、調査区域外には集落が広がっていると推測できる。

(4) 平安時代（第294図、表27）

当時代の遺構は、今回の調査で竪穴建物跡15棟、掘立柱建物跡5棟を確認し、「第359集」では竪穴建物跡4棟が報告されている。ここでは、当時代を、9世紀前葉、9世紀中葉、10世紀前葉の3期に大別し、集落変遷を概観する。（第14・17号竪穴建物跡は明確な時期が不明のため考察から除外した。）

ア 9世紀前葉

今回の調査で竪穴建物跡8棟、掘立柱

表27 平安時代建物跡一覧表（第294図）

時期	群	番号	規模（少数第2位で四捨五入）			備考	
			長軸×短軸(m)	面積 (㎡)	主軸方向		
9C前葉	A	31	4.7 × 4.3	15.0	小形 N-5°-W		
		43	3.2 × 3.2	6.5	小形 N-11°-W		
	C	84	3.5 × 3.3	9.2	小形 N-8°-W	張出	
		85	7.0 × 7.0	39.4	中形 N-24°-W	張出	
		87	5.2 × (4.7)	21.3	中形 N-4°-W		
		97	3.9 × 3.9	10.9	小形 N-19°-W		
		98	4.9 × 4.9	20.9	小形 N-43°-W		
	D	102	3.8 × 3.6	10.4	小形 N-27°-W		
		103	3.3 × 3.2	7.4	小形 N-18°-W		
		104	[4.7] × [4.3]	-	N-23°-W		
SB8		7.2 × 4.8	34.6	中形 N-46°-W	3×2		
SB9		6.9 × 4.5	31.1	中形 N-43°-E	3×2		
SB11		9.0 × 5.0	45.0	大形 N-45°-E	4×2		
9C中葉	C	83	5.7 × 5.2	23.6	中形 N-16°-W		
		90	(2.8) × (2.0)	-	N-16°-W		
	D	94	4.4 × 4.4	13.1	小形 N-15°-W		
		96	3.6 × 3.2	8.3	小形 N-13°-W		
		100	2.6 × (1.4)	6.3	小形 N-38°-W		
9C代	D	101	(3.1) × (1.8)	-	N-20°-W		
		SB14	4.5 × 4.5	20.3	小形 N-39°-W	2×2	
10C前葉	A	SB17	(4.4) × (4.4)	-	N-52°-E	(2×2)	
		B	8	4.3 × 3.5	14.9	小形 N-81°-E	
			1	(1.1) × (0.6)	-	-	
			72	(2.3) × (0.9)	-	-	

建物跡3棟を確認し、『第359集』では堅穴建物跡2棟が報告されている。堅穴建物跡はA区に2棟（第31・43号堅穴建物跡）、C区に4棟（第84・85・87・97号堅穴建物跡）、D区に4棟（第98・102・103・104号堅穴建物跡）である。A区の建物跡の規模は、床面積が約6.5～15.0㎡で、2棟とも小形である。主軸方向はN-5～11°-Wで、若干西へ振れる程度である。C区の建物跡の規模は、床面積が約9.2～39.4㎡で、中形・小形が各2棟である。主軸方向は、N-4～24°-Wで、真北に近いものと西へ振れるものに2分される傾向にある。D区の建物跡の規模は、床面積が約7.4～20.9㎡で、全て小形である。（第104号堅穴建物跡は、推定値のため規模の考察からは除外したが、中形が小形になると考えられる。）主軸方向は、N-18～43°-Wで、西への振れ幅が大きい。各区とも確認した棟数は少ないが、集落の中心となる中形の堅穴建物と、その周りの中形もしくは小形の堅穴建物で構成されている傾向にあると思われる。

掘立柱建物跡は3棟（第8・9・11号掘立柱建物跡）が該当し、D区にのみ位置している。規模は、4×2間が1棟、3×2間が2棟である。桁行方向は、N-46°-W及びN-43～45°-Eであるが、主軸方向及び桁行方向が第98号堅穴建物跡も含めほぼ北西もしくは北東を指していることから、D区においては建物の築造にあたり規則性があると考えられる。また、第1号鍛冶工房が廃絶され、調査区域内から鍛冶工房跡が確認できなくなる。

当期は、集落が調査区域の西へ広がる時期である。

イ 9世紀中葉

今回の調査で堅穴建物跡6棟を確認し、『第359集』では報告されていない。C区に4棟（第83・90・94・96号堅穴建物跡）、D区に2棟（第100・101号堅穴建物跡）である。C区の建物跡の規模は、床面積が約8.3～23.6㎡で、中形が1棟、小形が2棟である。主軸方向はN-13～16°-Wで、やや西に振れているが、建物間の振れ幅の差はほとんどない。D区の第100号堅穴建物跡の規模は、床面積が約6.3㎡で、小形である。主軸方向はN-20～38°-Wで、前葉のD区の堅穴建物の規則性を踏襲していると考えられる。

当期は、集落の規模が縮小したか、集落が調査区域外へ移動しつつある時期と考えられる。当期以後、調査区域内では9世紀後葉に該当する堅穴建物跡は確認できなくなり、10世紀前葉に再び出現する。

ウ 10世紀前葉

新たに堅穴建物跡3棟が出現する。今回の調査で堅穴建物跡1棟を確認し、『第359集』では堅穴建物跡2棟が報告されている。A区に1棟（第8号堅穴建物跡）、B区に2棟（第1・72号堅穴建物跡）である。3棟のうち2棟が調査した面積が狭小のため、規模や主軸方向の考察ができない。A区の第8号堅穴建物跡の規模は、床面積が約14.9㎡で、小形である。主軸方向は、N-81°-Eで、東竈である。

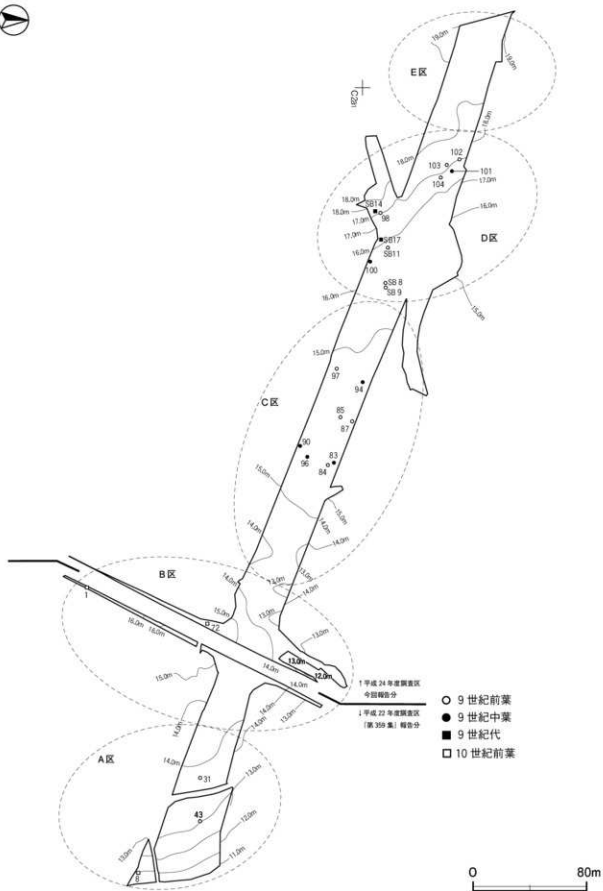
当期以後15世紀までは、当遺跡からは堅穴建物跡が確認できなくなる。

(5) 室町時代（第295図、表28・29）

当時代の遺構は、今回の調査で掘立柱建物跡1棟、方形堅穴遺構11基、屋外炉5基、地下式坑17基、火葬施設5基、井戸跡1基、堀跡1条を確認した。『第359集』では当時代以後の遺構は報告されていない。ここでは、密集して確認した方形堅穴遺構と地下式坑について概要を述べ、集落景観を概観する。なお、方形堅穴遺構と地下式坑の分類については、先達の研究をもとにした⁵⁾。

ア 方形堅穴遺構（第295図、表28）

方形堅穴遺構は、C区に9基（第2・3・5～10・12号方形堅穴遺構）、D区に2基（第4・11号



第294図 平安時代集落変遷図

方形堅穴遺構)を確認した。柱穴の並び方から以下の3型式に分類できる。

A類:柱穴が2か所で規則的に並ぶタイプ

B類:柱穴が3か所で主軸方向に向かって

ほぼ等間隔に一直線上に並ぶタイプ

C類:柱穴が5か所で各壁際と中央部に並ぶタイプ

C区の方方形堅穴遺構の規模は、長軸約23～4.1m、短軸約1.9～3.0mで、長軸:短軸は約1～1.4:1である。長軸方向に大きな規

則性は無いが、多くが西または東に大きく振れている。A類が5基(第2・3・5・7・8号方形堅穴遺構)、B類が3基(第6・10・12号方形堅穴遺構)、C類が1基(第9号方形堅穴遺構)である。9基全ての床面が壁際まで硬化し、9基のうち5基が入り口施設としてのスロープを有していることから、日常的に出入りが行われる住居として機能していたとみられる。D区の方方形堅穴遺構の規模は、長軸2.6m以上、短軸約2.2～2.5mで、長短軸の比はC区のものと同程度とみられる。長軸方向には規則性は無いが、ほぼ北や東を指している。2基ともA類に分類できる。(第4号方形堅穴遺構は遺構の一部しか確認できなかったが、柱穴の位置からA類であったと考えられる。)C区の方方形堅穴遺構と同様に、2基とも床面が壁際まで硬化し、うち1棟はコーナー部等に入り口施設としてのスロープを有していることから、日常的に出入りが行われる住居として機能していたとみられる。

イ 地下式坑(第295図、表29)

地下式坑は、C区に7基(第2・3・5～7・17・19号地下式坑)、D区に10基(第8～16・20号地下式坑)を確認した。軸方向の断面形から以下の4型式に分類できる。

A類:堅坑と主室の高さに差がない無段のタイプ

B類:堅坑が主室に向かってスロープ状に緩やかに落ち込んでいるタイプ

C類:堅坑が階段状のタイプ

D類:堅坑が主室より低く掘り込まれているタイプ

E類:B類とC類の特徴を併せもつタイプ

F類:A～E類に属さないタイプ

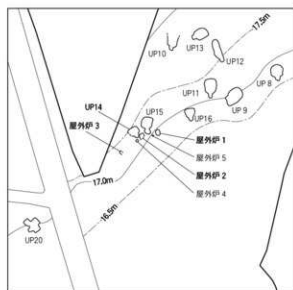
C区の地下式坑の規模は、軸長が約2.3～3.8mで、堅坑は主室の南側もしくは東側に位置するものが多い。A類が2基(第6・17号地下式坑)、B類が1基(第5号地下式坑)、D類が2基(第2・7号地下式坑)、E類が1基(第19号地下式坑)、F類が1基(第3号地下式坑)で、型式に規則性は無い。底面が壁際まで踏み固められていることから、日常的に出入りをする倉庫として機能していたと考えられる。D区の地下式坑の規模は、軸長が約2.4～5.0mで、堅坑は主室の南から北東側に位置している。B類が7基(第8・10～13・15・20号地下式坑)、D類が1基(第14号地下式坑)、E類が1基(第16号地下式坑)、F類が1基(第9号地下式坑)で、型式はB類が多い傾向にある。

表28 室町時代方形堅穴遺構一覧表(第295図)

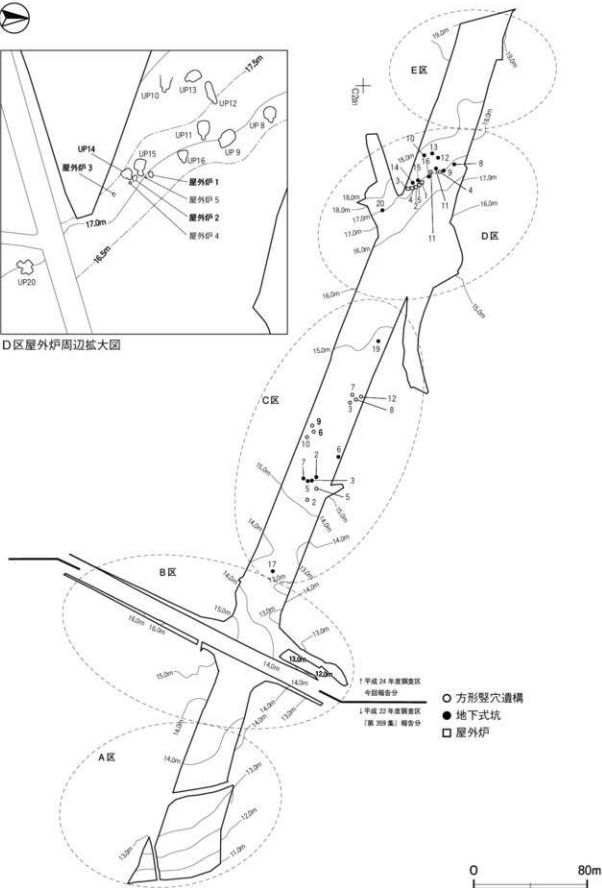
区	番号	長軸方向	規模		柱穴数	出入口施設	型式
			長軸×短軸	(m)			
C	2	N-69°-E	2.54 × 2.50	2	スロープ	A類	
	3	N-84°-E	2.32 × 2.20	2		A類	
	5	N-74°-E	2.88 × 2.85	2	スロープ	A類	
	6	N-13°-W	3.37 × 2.80	3	スロープ	B類	
	7	N-70°-E	2.82 × 2.22	2		A類	
	8	N-89°-W	2.60 × 2.26	2	くぼみ	A類	
	9	N-23°-W	3.10 × 2.50	5	スロープ	C類	
	10	N-73°-E	4.10 × 3.00	3	スロープ	B類	
	12	N-65°-E	2.68 × 1.86	3		B類	
	D	4	N-3°-W	2.62 × 2.48	1		A類
		11	N-80°-E	2.67 × 2.20	2	スロープ	A類

表29 室町時代地下式坑一覧表(第295図)

区	番号	軸方向	軸長	型式
		(m)		
C	2	N-70°-E	3.22	D類
	3	N-0°	(2.46)	F類
	5	N-59°-W	3.46	B類
	6	N-0°	3.76	A類
	7	N-98°-W	3.26	D類
	17	N-115°-W	3.00	A類
	19	N-117°-W	2.32	E類
D	8	N-97°-W	3.40	B類
	9	N-36°-W	3.80	F類
	10	N-83°-W	3.68	B類
	11	N-90°-W	4.10	B類
	12	N-118°-W	5.00	B類
	13	N-26°-W	3.56	B類
	14	N-123°-W	2.40	D類
	15	N-90°-W	3.54	B類
	16	N-103°-W	2.68	E類
	20	N-35°-W	3.06	B類



D区屋外炉周边拡大図



第 295 图 室町時代集落変遷図

底面が壁際まで踏み固められていることから、日常的に出入りをする倉庫として機能していたと考えられる。

D区では、標高17.0 m前後の緩斜面部に、方形竪穴遺構2基、地下式坑10基、その形状から屋外窯の可能性のある屋外炉2基（第1・2号屋外炉）などが密集しており、同時期と考えられることから、住居としての方形竪穴遺構、倉庫としての地下式坑、屋外窯が群をなして機能し、工房などを形成していた可能性がある。

(6) 江戸時代（第296図、表30・31）

当時代の遺構は、今回の調査で竪穴遺構1基、掘立柱建物跡1棟、墓坑46基、粘土貼土坑15基、炉跡1基、溝跡6条を確認した。ここでは、密集して確認した墓坑と粘土貼土坑について概要を述べ、集落景観を概観する。

ア 墓坑（第296図、表30）

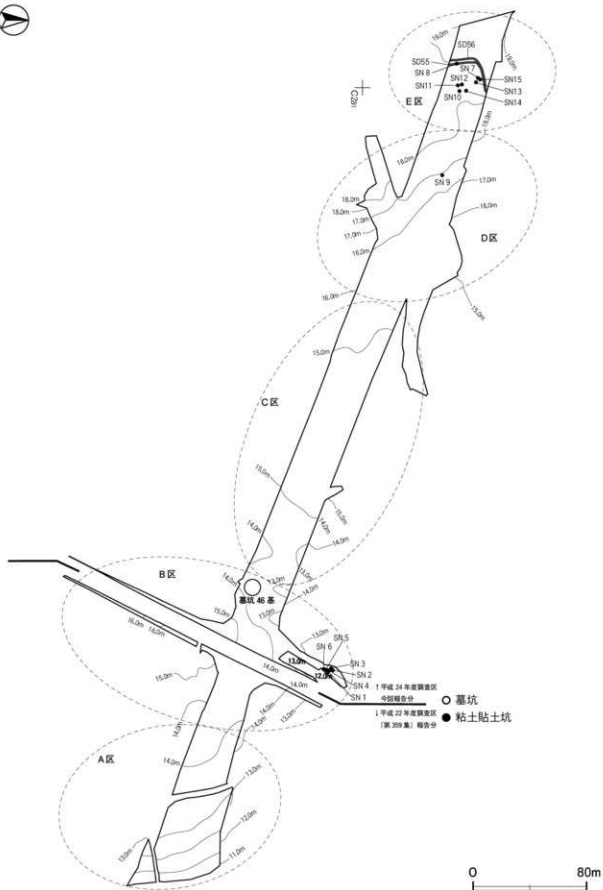
確認した墓坑46基は全てB区である。調査区域付近の住民の話から、個人それぞれの墓地は近代以後に集合墓地に集約したことが分かっている。従って、墓坑46基はそれ以前の墓坑である。規模は、径約0.3～1.7 m、確認面からの深さ14～82cmで、平面形は円形・楕円形が多い。遺構の形状から、座葬であった可能性が高い。46基のうち35基で六道銭とみられる銭貨が出土しており、そのほとんどが寛永通寶である。以上の点では、農村の一般的な葬送儀礼が当てはまると同時に、貨幣経済が農村まで浸透し銭貨流通量が増大していたと考えられる。特筆すべき遺物として、第37号墓坑から出土したM350の絵銭（金仏銭）である。本県では、鹿嶋市厨台No24遺跡LR16調査区の第19・21号土坑から1枚ずつ出土している⁶¹。全国的にみても、出土例が少ないのが現状である。

イ 粘土貼土坑（第296図、表31）

粘土貼土坑はB区に6基（第1～6号粘土貼土坑）、D区に1基（第9号粘土貼土坑）、E区に8基（第7・8・10～15号粘土貼土坑）を確認した。B区の粘土貼土坑の掘方の規模は、径約0.9～1.3 m、確認面からの深さ28～42cmで、平面形は円形もしくは楕円形である。出土遺物は陶磁器片を中心として土師質土器片や銭貨などである。E区の粘土貼土坑の掘方の規模は、径約0.5～1.6 m、確認面か

表30 江戸時代墓坑一覧表（第296図）

番号	平面形	規 模		出土遺物		
		長径×短径 (m)	深さ (cm)	銭貨	人骨	その他
1	楕円形	1.44 × 1.22	48	○	○	○
2	楕円形	1.32 × 1.16	67			
3	円形	1.76 × 1.76	52	○		○
4	不定形	1.30 × 0.66	32	○	○	
5	円形	0.94 × 0.90	14			
6	楕円形	1.00 × 0.72	20	○		
7	隅丸長方形	1.34 × 0.96	25			○
8	楕円形	0.98 × 0.90	38			
9	楕円形	(0.60) × 0.59	36	○		
10	隅丸長方形	(1.08) × 1.00	34	○		
11	隅丸方形	1.35 × 1.35	45	○		○
12	楕円形	1.53 × 1.25	41	○		○
13	楕円形	0.84 × 0.72	57	○		
14	[円形]	1.23 × (0.88)	35	○	○	○
15	楕円形	0.98 × 0.90	54	○		
16	楕円形	0.88 × 0.76	60	○		○
17	楕円形	0.74 × 0.53	48	○		
18	円形	0.54 × 0.52	20			
19	楕円形	1.08 × 0.88	45	○		
20	隅丸長方形	1.17 × 0.76	56	○		○
21	楕円形	0.80 × 0.70	-	○		○
22	楕円形	0.98 × 0.73	55	○		
23	[楕円形]	(0.68) × 0.66	16			
24	楕円形	1.00 × 0.68	37	○		
25	楕円形	0.76 × 0.64	-			
26	不定形	1.36 × 0.98	36			
27	[隅丸方形]	[0.92] × [0.90]	40			
28	[円形]	0.82 × (0.74)	30	○		
29	楕円形	0.86 × 0.76	52	○		
30	楕円形	1.06 × 0.70	-	○		
31	楕円形	0.82 × 0.70	56	○		
32	楕円形	1.20 × 0.86	50	○		○
33	円形	0.66 × (0.62)	39	○		○
34	円形	0.94 × 0.88	40	○		
35	不整形円形	0.69 × 0.65	56	○		○
36	円形	0.98 × 0.94	49	○		
37	[楕円形]	0.86 × (0.66)	22			
38	[楕円形]	[0.70] × 0.66	52			
39	[円形]	0.84 × (0.60)	-	○		
40	円形	0.30 × 0.30	28	○		
41	楕円形	0.68 × 0.44	44	○		
42	[円形]	0.94 × (0.80)	40	○		
43	楕円形	0.92 × 0.70	52	○		
44	円形	0.74 × 0.74	82	○		
45	[円形]	0.70 × (0.60)	52	○		○
46	[円形]	1.70 × (1.50)	64	○		○



第 296 図 江戸時代集落変遷図

らの深さ4～44cmで、平面形は円形が多い。出土遺物は陶磁器片が多いが、土師質土器片や石器（砥石）なども出土している。D区の第9号粘土土坑も規模はB・E区の粘土土坑とほぼ同じで、出土遺物は陶器片である。粘土土坑の性格は、墓坑説や水溜説など諸説あるが、当遺跡の粘土土坑の性格は、①粘土を貼り甍・桶など据え付ける、もしくは保水性を高める、②銭貨は出土しているが、同時期の46基の墓坑では粘土を貼っているものが確認できない、という2点から水溜の可能性もある。また、E区には屋敷地の区画溝の可能性があり、18世紀代に比定できる第55・56号溝跡が位置している。第8号粘土土坑を除いたE区の粘土土坑は、北西に位置する第55・56号溝跡に囲まれるように配置されていることから、屋敷地の水溜であった可能性がより高い。

(7) 小結

以上、確認した遺構を時代別・時期別に概観してきた。縄文時代中期から後期にかけては、堅穴建物跡は確認できなかったが、当遺跡周辺では日常生活が営まれていたと考えられる。

4世紀後葉になると調査区東部に小規模な集落が形成される。5世紀は確認できた堅穴建物跡は少ないが、集落は南側に広がっていると推測できる。6世紀は集落が南側及び東側・西側へ拡大し、堅穴建物の規模が大形化する時期である。また、集落を構成する堅穴建物が、集落の中心となる大形の堅穴建物と、その周りに位置する中形・小形の堅穴建物という組み合わせになる時期である。7世紀には堅穴建物数が減少する傾向にあるが、引き続き集落を構成する堅穴建物の規模の組み合わせの傾向はほぼ継承されていると考えられることから、集落が調査区域外へ移動した時期ととらえることができる。

8世紀になると大形の建物がみられなくなり、中葉以後、鍛冶工房跡や掘立柱建物が集落の構成要素に加わる時期である。9世紀前葉には集落が西側へ大きく広がり、9世紀中葉を以て当遺跡から堅穴建物跡が一時的に確認できなくなる。10世紀前葉には再び出現するがその数は3棟にとどまり、10世紀の中葉以後14世紀までは生活の痕跡が確認できなくなる。

15世紀になると、遺構の分布は大きく2群に分けられ、両群とも方形堅穴遺構と地下式坑がそれぞれ住居と倉庫として機能し、特にD区においては屋外炉と群をなして機能し工房などを形成していた可能性がある。15世紀以後、16～17世紀は再び生活の痕跡は確認できなくなる。18世紀になると調査区の東部は集落の中の墓地として利用される一方、調査区域の両端部は粘土土坑が水溜として数多く作られ、屋敷地の一部として機能していった。

3 製鉄・鍛冶について

当遺跡では、以前から表土で鉄滓が確認されている。「第359集」でも、調査区域から総量で181kgにも及ぶ鉄滓の出土が報告されているが、製鉄遺構や鍛冶工房跡の確認までには至らなかった。今回の調査では、製鉄炉は確認できなかったが、8世紀中葉から後葉にかけての鍛冶工房跡3基を確認した。以下、今回調査した鍛冶工房跡及び当遺跡における製鉄・鍛冶の関わりについて述べることにする。

表31 江戸時代粘土土坑一覧表（第296図）

区	番号	平面形	掘方の規模		主な出土遺物 (陶器片・磁器片、土師質土器片を除く)
			長さ×幅 (m)	深さ (cm)	
B	1	円形	1.30 × 1.28	32	金属製品、瓦
	2	円形	1.00 × 0.96	40	鉄製品、銭貨、瓦
	3	楕円形	1.04 × 0.94	28	鉄製品、瓦
	4	円形	0.94 × 0.94	42	金属製品、銭貨
	5	円形	1.22 × 1.22	38	石器、石製品、鉄製品
	6	円形	1.26 × 1.20	28	金属製品、銭貨
D	9	不定形	0.90 × 0.90	34	
	7	[楕円形]	1.26 × 0.40	24	
	8	楕丸長方形	1.60 × 1.36	44	石製品、自然遺物
	10	円形	0.64 × 0.60	4	金属製品
E	11	不定形	0.54 × 0.50	4	
	12	[円形]	[0.70 × 0.68]	6	
	13	円形	0.72 × 0.72	20	石器、石製品、鉄製品
	14	円形	0.88 × 0.84	10	石器、鉄製品
	15	円形	1.20 × 1.10	22	金属製品、瓦

(1) 鍛冶工房跡

第1号鍛冶工房跡では、炉7基を確認した。時期は、出土土器から8世紀中葉には始まり、9世紀前葉には廃絶されていることが分かった。鍛造剥片や粒状滓、羽口片、金床石、鑿が出土していることから、小鍛冶をしていたと考えられ、炉や作業用ピットの位置関係から、操業時期が大きく3時期に分けられる。第2号鍛冶工房跡では、土層断面から3時期にわたり使用された炉1基を確認した。時期は、8世紀中葉と推定できる。鍛造剥片や粒状滓、羽口片、金床石、鉄槌が出土していることから、小鍛冶をしていたと考えられる。第3号鍛冶工房跡では、炉1基を確認した。時期は、8世紀中葉に比定できる。鍛造剥片や粒状滓が出土していることから、小鍛冶をしていたと考えられる。

鍛冶工房跡3基から出土した鉄製品の総数は8点（鐵1、鑿2、鉄槌1、釘、1、不明3）で、鑿や鉄槌などの小鍛冶の道具が出土する一方で製品の出土が少ないことから、どのような鉄製品を生産していたのかは出土遺物から類推することはできない。鍛冶関連遺物は、3基の総量で鉄滓が18000点(81685.7g)出土している。出土した鉄滓のほとんどが、最大幅5cm以下の小形で、着磁性が弱く、全面が発泡しているものも多いため、原料鉄とともに工房内に持ち込まれた製鉄の際にできる「屑」を選別したものか、小鍛冶の際に原料鉄を加熱した時にできる不純物であった可能性が高い。出土した鉄製品や鉄滓等の分析を行っていないため、鉄製品や鉄滓の組成は不明であるが、当遺跡の東を流れる江川や周辺の飯沼や鶴戸沼から砂鉄は容易に入手できると思われることから、当遺跡付近に製鉄炉があり、そこで産出された原料鉄を鍛冶工房で鍛造していた可能性が高い。また、第94号堅穴建物跡（9世紀中葉）からは製鉄炉用とみられる大口径の羽口が出土していることから調査区域の付近に製鉄炉があったことが想定できる。

当遺跡に掘立柱建物が出現するのは、鍛冶工房の出現と同時期である。第1号鍛冶工房跡の付近では掘立柱建物跡は確認できないが、第2・3号鍛冶工房跡付近には、第7・12号掘立柱建物跡が位置している。第7・12号掘立柱建物跡は隣接しているが、付近に同時期の掘立柱建物跡が確認できなかったことから、掘立柱建物が整然と並ぶ風景は想像できず、第7・12号掘立柱建物跡は単に鍛冶に関わる物資を蓄えておく倉庫であった可能性が高い。また、第87号堅穴建物跡（9世紀前葉）の床面からは鉄鉋が出土していることから第87号堅穴建物跡には鍛冶工人が居住していた可能性があるが、調査区内に限れば周辺には鍛冶工房がないことから、職能集団ごとに居住区域が決まっていた可能性は低いと考えられる。当遺跡が位置する下総国の国府は現在の千葉県市川市にあったとされ、当遺跡は国府から離れていることから、本県石岡市の鹿の子遺跡のような国府の管理下におかれた大規模な官営鍛冶工房であった可能性は低いと考えられる。以上の3点から推測すると、当遺跡の鍛冶工房は国レベルの大規模な官営鍛冶工房というよりは、郡もしくは郷レベルの小規模な官営鍛冶工房であったか、在地的な鍛冶工房であったと考えられる。

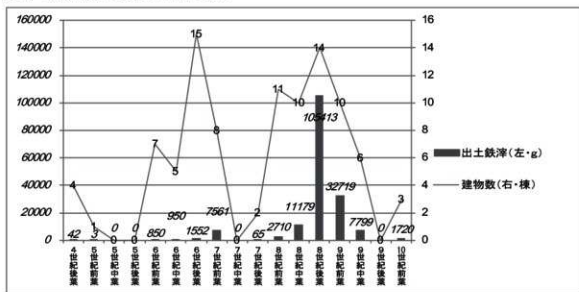
(2) 堅穴建物跡から出土した鉄滓について

表32は、当遺跡の堅穴建物跡と鉄滓の出土量の推移を示したもので、考察した堅穴建物跡96棟のうち82棟（85%）から鉄滓が出土している⁷⁾。鉄滓の出土は4世紀後葉の堅穴建物跡から始まるが、全て覆土中からの出土であり混入したものである。鉄滓の出土位置が明確なもので最も古い堅穴建物跡は、鉄滓1点（39g）が貼床の構築土から出土した、6世紀後葉に比定できる第78号堅穴建物跡であり、したがって当遺跡では6世紀後葉には小規模ながら、鍛冶を行っていた可能性がある。

鉄滓は鍛冶工房が出現する8世紀の堅穴建物跡35棟のうち33棟（94%）、8世紀以後の堅穴建物跡54棟のうち50棟（93%）から出土している。出土した鉄滓はほとんどが最大幅5cm以下の小形で、着磁性

が弱く、埋め戻しの際に混入したものであることから、鍛冶工房が出現した8世紀中葉以後、確認した鍛冶工房跡3基以外にも調査区域外に鍛冶工房が点在し、当遺跡には多くの鉄滓が散らばっていたと考えられる。堅穴建物跡の廃絶と埋め戻しの時期差があるため一概にはいえないが、鉄滓の出土量が増加する8世紀中葉が、当遺跡でさかんに製鉄・鍛冶が行われるようになった時期といえる。その後、8世紀後葉から9世紀前葉にかけて、当遺跡の製鉄・鍛冶は隆盛し、堅穴建物跡の棟数が少なくなる9世紀中葉以後、徐々に衰退していったと考えられる。

表 32 堅穴建物跡と鉄滓の出土量の推移



(3) 小結

以上、当遺跡で確認した鍛冶工房跡を中心とした、製鉄・鍛冶について私見を述べながら考察してきた。『第359集』で報告された、第47号堅穴建物跡(8世紀後葉)からは、鉄滓5576点(92760g)が出土し、『第359集』で報告されている堅穴建物跡では最も多い出土量で、製鉄滓が主体である。したがって、当遺跡周辺には製鉄炉があったことは明らかであった。今回の報告では、第1～3号鍛冶工房跡を確認し、当遺跡では鍛冶を行っていたことが明らかになった。しかし、どこに製鉄炉があったのか、何を製品としていたのかなど解明しなければならない点が多いことも明らかになった。これらの課題の解明は、今後の調査に期待したい。

4 おわりに

当遺跡は、古墳時代には物と人の活発な交流の中で栄え、律令期における製鉄・鍛冶に伴う集落の素地が作られていたと考えられる。律令期になると、製鉄・鍛冶工房を伴う集落となり、製鉄・鍛冶の隆盛を含めて集落が隆盛したとみられる。室町時代から江戸時代にかけては、農村の集落として栄え、現代に至っている。

以上、当遺跡の概要を把握するため、集落変遷については遺構の形状と位置から、製鉄・鍛冶については堅穴建物跡と鉄滓の出土状況から若干の考察をし、私見を述べてきた。しかし、今回及び前回の調査は遺跡のごく一部であり、事業地内の限られた範囲でしか行えなかったため当遺跡の全容解明には到底及んでいない。今後の調査で、当遺跡のさらなる解明がなされることに期待している。

註

1) 各グループの立地

- A区：調査区東端部の標高11～14 mほどの東へ向かう緩斜面部
- B区：調査区東部の標高12～16 mほどの平坦な台地上および斜面部
- C区：調査区中央部の標高14～15 mほどの平坦な台地上
- D区：調査区西部の標高15～18 mの平坦な台地上及び東へ向かう緩斜面部
- E区：調査区西端部の標高18～19 mで、長右南門元屋敷遺跡に続く平坦な台地上

なお、「第359集」ではA区及びB区の東半部を報告している。

- 2) 竪穴建物跡の床面積の算出にあたっては、床面の長軸・短軸が明らかなものについてはその積、長軸が明らかなのはその平方とした。長軸または二辺とも現存値・推定値の場合は主軸方向以外の考察から除外した。
- 3) 清水哲 舟橋理「小作遺跡 主要地方道竜ヶ崎阿見線バイパス建設事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第346集 2011年3月
- 4) a 吹野富美夫 青木仁昌「鳥名八幡前遺跡 鳥名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第201集 2003年3月
b 菊池直哉「鳥名八幡前遺跡 都市計画道路鳥名上河原崎線道路整備事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第283集 2007年3月
- 5) a 松本直人「茨城県における方形竪穴遺構の集成」『年報24<平成16年度>』財団法人 茨城県教育財団 2005年8月
b 岡崎美「阿見町域における地下式坑について」『埋蔵文化財部 年報30<平成22年度>』財団法人茨城県教育財団 2011年7月
c 松本直人「茨城県における地下式壙集成1」『年報25<平成17年度>』財団法人 茨城県教育財団 2006年10月
- 6) 風間和秀 宮崎(石橋)美和子 小田代昭丸 岩松和光「鹿島神宮駅北部埋蔵文化財調査報告 土地区画整理事業に伴う発掘調査」『鹿嶋市の文化財 第93集』財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団 1996年3月
- 7) 時期が明確にできない7種(SI23・26・34・62・63・71・74)は考察から除外したため、種数には含まない。また、出土した鉄滓は前述の7種を除いた96種の竪穴建物から出土したものに限った。

参考文献

- ・茨城県史編さん原始古代史部会『茨城県史料 古代編』茨城県 1968年11月
- ・富田和夫「荒川附遺跡Ⅱ 国道122号道路改築事業関係埋蔵文化財発掘調査報告」『埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書』第338集 2007年3月
- ・成島一也「茨城県の「大形竪穴状遺構」について」『研究ノート6号 平成8年度』財団法人 茨城県教育財団 1997年6月
- ・嶋谷和彦「念仏銭・題目銭の集成」『出土銭貨 第22号』出土銭貨研究会 2005年3月
- ・鈴木公雄「銭の考古学」吉川弘文館 2002年5月
- ・吉原作平「粘土張り墓壙についての一考察」『研究ノート3号 平成5年度』財団法人 茨城県教育財団 1994年6月
- ・川又清明「沢田遺跡の粘土貼土坑から」『研究ノート6号 平成8年度』財団法人 茨城県教育財団 1997年6月
- ・江戸遺跡研究会『図説 江戸考古学研究事典』柏書房 2001年4月
- ・荒井保雄「古代における製鉄集団の動向について(子察)」『研究ノート12号 平成14年度』財団法人 茨城県教育財団 2003年6月
- ・高橋一夫「古代東国の考古学的研究」六一書房 2003年9月

第4章 長右衛門元屋敷遺跡

第1節 調査の概要

長右衛門元屋敷遺跡は、坂東市の中央部に位置し、江川右岸の標高約18～19mの台地上に立地している。この台地は東側を江川の谷、西側を岩井の谷に挟まれ、南北に細長い形状をしている。遺跡の範囲は、南北160m、東西200mほどで、平成24年度に調査した宮内遺跡の西側に隣接している。調査区域は、遺跡の中央部にあたり、北西から南東にかけての長さ190m、幅40mの細長い範囲である。調査面積は8,000㎡で、縄文時代晩期の集落跡、平安時代の墓域、江戸時代の掘立柱建物群などを確認した。主たる時代は江戸時代である。

調査の結果、竪穴建物跡1棟（縄文時代）、竪穴遺構1基（時期不明）、掘立柱建物跡14棟（江戸時代）、陥し穴1基（縄文時代）、火葬墓1基（平安時代）、井戸跡1基（江戸時代）、粘土貼土坑16基（江戸時代）、土坑123基（江戸時代6、時期不明117）、柱穴列2列（江戸時代）、溝跡1条（時期不明）、ピット群4か所（時期不明）を確認している。

遺物は、遺物収納コンテナ(60×40×20cm)に18箱出土している。主な遺物は、縄文土器(深鉢)、土師器(坏・甕)、須恵器(坏・高台付坏・蓋・鉢・甕)、土師質土器(小皿・焙烙・鉢・火鉢・植木鉢・土瓶・甕)、陶器(土瓶蓋・皿・灯明皿・灯明受皿・碗・播鉢・捏鉢・鉢・片口鉢・土瓶・德利・仏花瓶・カンテラ・乗燭)、磁器(皿・碗・猪口・段重・德利・仏花瓶・香炉)、土製品(土人形・ミニチュア)、石器(鎌・砥石)、金属製品(刀子・釘・煙管・銭貨)などである。

第2節 基本層序

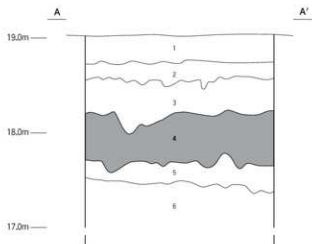
調査区東部(D7a3)にテストピットを設定し、基本土層(第297図)の観察を行った。以下、観察結果から層序を説明する。

第1層は、暗褐色を呈する耕作土層である。ローム粒子と焼土粒子を少量含み、粘性・締まりともに普通で、層厚は22～30cmである。

第2層は、極暗褐色を呈するソフトローム層である。焼土粒子と炭化粒子を微量含み、粘性・締まりともに普通で、層厚は12～30cmである。

第3層は、褐色を呈するソフトローム層である。粘性・締まりともに普通で、層厚は26～54cmである。

第4層は、暗褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに普通で、層厚は28～64cmである。第Ⅱ黒色帯と考えられる。



第297図 基本土層図

第5層は、褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに普通で、層厚は8～36cmである。

第6層は、明褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに普通で、下部が未掘のため、層厚は不明である。

遺構は、第2層の上面で確認した。

第3節 遺構と遺物

1 縄文時代の遺構と遺物

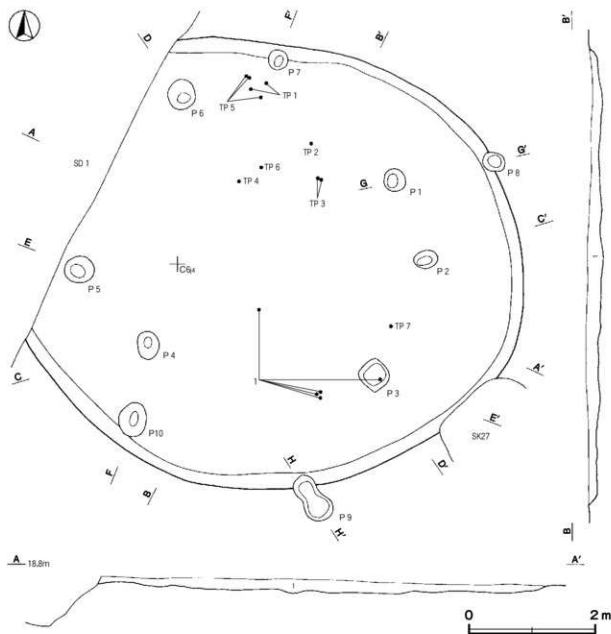
当時代の遺構は、竪穴建物跡1棟、陥し穴1基を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

(1) 竪穴建物跡

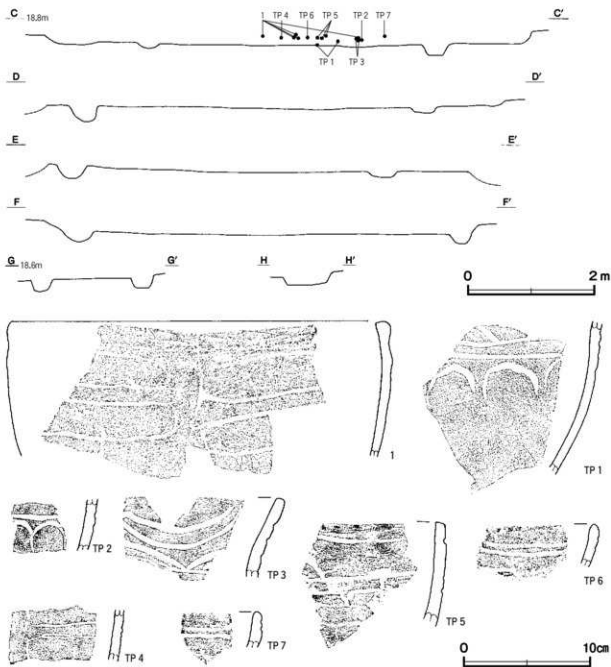
第2号竪穴建物跡 (第298・299図)

位置 調査区北部のC614区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第1号溝、第27号土坑に掘り込まれている。



第298図 第2号竪穴建物跡実測図



第 299 図 第 2 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

規模と形状 北西部を第 1 号溝に掘り込まれているため、北東・南西径は 7.24 m で、北西・南東径は 7.08 m しか確認できなかった。平面形は楕円形と推定できる。壁高は 8 ~ 20cm で、緩やかに立ち上がっている。

床 は平坦で、硬化した範囲は認められない。

ピット 10 か所。P 1 ~ P 6 は深さ 10 ~ 24cm で、配置から支柱穴と考えられる。P 7 ~ P 10 は深さ 16 ~ 19cm で、性格は不明である。

覆土 単一層である。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片 175 点 (深鉢) が、散在した状態で出土している。TP 1 は北部の覆土下層から、TP 3 は覆土中層から、それぞれ出土している。1 は南部の覆土上層から出土した破片が接合したものである。TP 1・TP 2、TP 6・TP 7 は胎土や色調、文様の特徴が類似しているため、同一個体の可能性がある。

所見 時期は、出土土器から晩期中葉に比定できる。炉は確認できなかった。

第 2 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 299 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[300]	(107)	-	長石・石英	明黄褐色	普通	長楕円状の太い沈線文	覆土上層	10%

番号	種別	器種	胎土	色調	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP 1	縄文土器	深鉢	長石・石英・赤色粒子	橙	沈線による逆U字文	覆土下層	
TP 2	縄文土器	深鉢	長石・石英・赤色粒子	橙	沈線による逆U字文	覆土中層	
TP 3	縄文土器	深鉢	長石・石英・赤色粒子	褐	弧線文	覆土中層	
TP 4	縄文土器	深鉢	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐色	長楕円状の太い沈線文	覆土中層	
TP 5	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母	赤褐色	平行沈線文	覆土上層	
TP 6	縄文土器	深鉢	長石・石英・細礫	黄褐色	口縁部に平行沈線文	覆土上層	
TP 7	縄文土器	深鉢	長石・石英・細礫	黄褐色	口縁部に平行沈線文	覆土上層	

(2) 陥し穴

第 1 号陥し穴 (第 300 図)

位置 調査区中央部の D 6 e6 区、標高 18 m ほどの平坦な台地上に位置している。

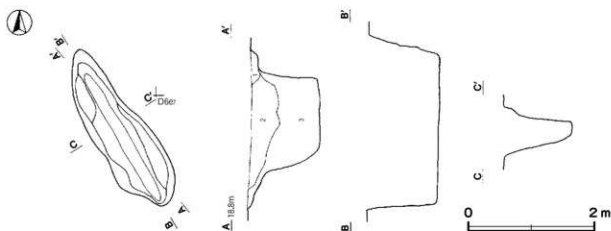
規模と形状 長径 2.84 m、短径 0.88 m の楕円形で、長径方向は N - 32° - W である。深さは 110 cm で、底面は幅 21 cm ほどである。短径方向の断面は V 字状で、壁はほぼ直立している。

覆土 3 層に分層できる。ロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況から埋め戻されている。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
2 極暗褐色 ロームブロック、炭化粒子微量
3 暗褐色 ロームブロック中量

所見 遺物が出土していないため明確ではないが、規模と形状から縄文時代と考えられる。



第 300 図 第 1 号陥し穴実測図

2 平安時代の遺構と遺物

当時代の遺構は、火葬墓1基を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

火葬墓

第1号火葬墓（第301・302図）

位置 調査区中央部のC6il区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

確認状況 蔵骨器の上部が露呈した状態で確認した。

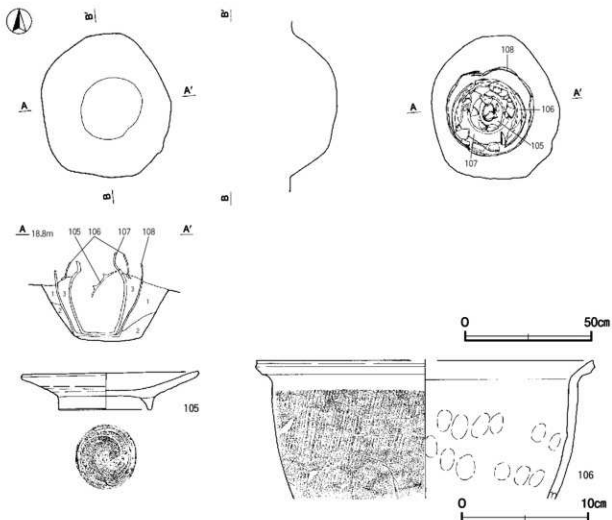
掘方 長径0.57m、短径0.51mの楕円形で、長径方向はN-7°-Wである。深さは21cmで、底面は平坦である。壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土 3層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

土層解説

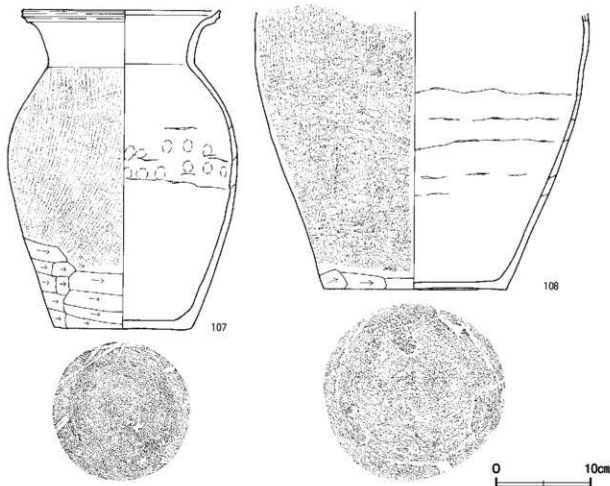
- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・焼土粒子微量 3 暗褐色 ローム粒子少量
2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

蔵骨器 須恵器4点（高台付皿1、鉢1、甕2）が出土している。外容器内に107が正位で置かれ、105は107の内部から出土した。内容器の蓋とみられるもので、107の口縁部が破損しているため崩落したものとみられる。内部から火葬された頭蓋骨と四肢骨を確認した。



第301図 第1号火葬墓・出土遺物実測図

所見 蔵骨器を埋納した火葬墓である。時期は、出土土器から9世紀中葉に比定できる。火葬骨は、鑑定結果（詳細は付章）から50～60歳代の男性のものであることが判明している。調査できた範囲が狭いため、周囲には伴う遺構は確認できなかった。火葬された男性は、当地域における有力者層と考えられる。



第302図 第1号火葬墓出土遺物実測図

第1号火葬墓出土遺物観察表（第301・302図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
105	須恵器	高台皿	13.9	3.1	7.3	長石・石英・雲母	灰	良好	体部内・外面ロクロナデ 高台貼り付け	底部剝離ヘラ削り後、	覆土上層 100% PL71
106	須恵器	鉢	〔26.6〕	〔11.0〕	—	長石・石英・雲母・鉄屑	黄灰	良好	体部外面縦位の平行叩き	体部内面指漉	覆土上層 30% PL71
107	須恵器	壺	20.4	33.4	14.3	長石・石英	にぶい黄橙	不良	体部外面縦位の叩き目・下端ヘラ削り	体部内面ヘラナデ・指漉	覆土中層 90% PL71
108	須恵器	壺	—	〔28.8〕	19.0	長石・石英・雲母・鐵屑	にぶい黄橙	普通	体部下端ヘラ削り	輪積み	覆土下層 80% PL71

3 江戸時代の遺構と遺物

当時代の遺構は、掘立柱建物跡14棟、井戸跡1基、粘土貼土坑16基、土坑6基、柱穴列2列を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

(1) 掘立柱建物跡

第1号掘立柱建物跡（第303図）

位置 調査区西部のD4 a9区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第2号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

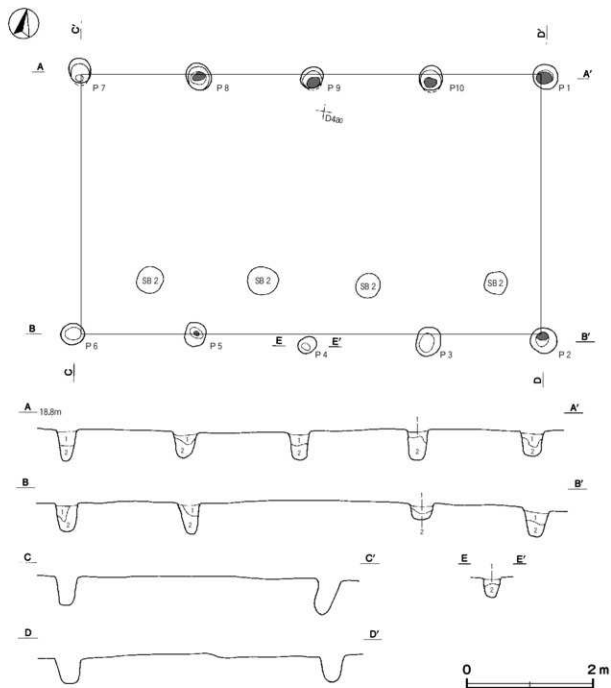
規模と構造 桁行4間、梁行1間の備柱建物跡で、桁行方向はN-80°-Eの東西棟である。規模は、桁行7.20m、梁行4.20mで、面積は30.24㎡である。柱間寸法は、桁行が1.80m（6尺）で、柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 10か所。平面形は円形または楕円形で、長径36～46cm、短径26～40cmである。深さは35～56cmで、掘方の断面はU字状である。P1・P2・P5・P8～P10で柱の当たりを確認した。第1・2層は柱抜き取り後の覆土である。

柱穴土層解説 (各柱穴共通)

1 褐 色 ロームブロック・炭化粒子混量

2 暗 褐 色 ロームブロック混量



第303図 第1号掘立柱建物跡実測図

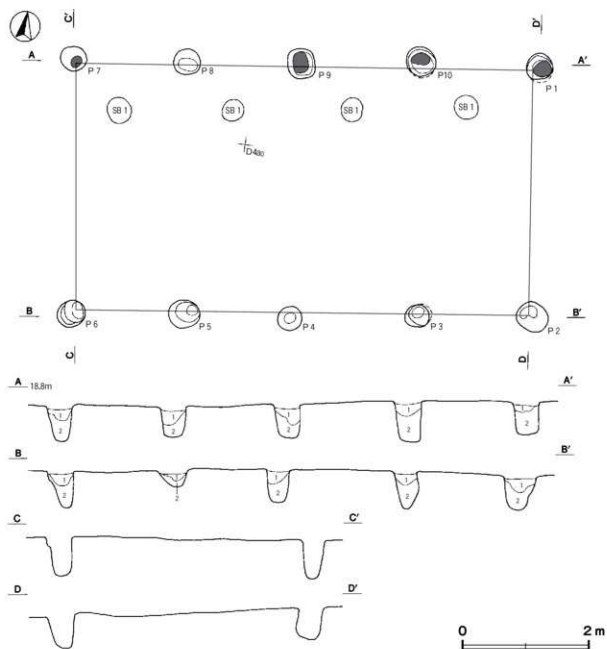
所見 重複する第2号掘立柱建物跡と軸方向や規模、構造がほぼ同じであることから建て替えが推測できる。時期は、第2号掘立柱建物跡の建て替えと推測できることから、江戸時代と考えられる。性格は不明である。

第2号掘立柱建物跡 (第304図)

位置 調査区西部のC4j9区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第1号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

規模と構造 桁行4間、梁行1間の側柱建物跡で、桁行方向はN-85°-Eの東西棟である。規模は、桁行7.20m、梁行3.90mで、面積は28.08㎡である。柱間寸法は、桁行が180m(6尺)で、柱筋は揃っている。



第304図 第2号掘立柱建物跡実測図

柱穴 10か所。平面形は円形または楕円形で、長径39～52cm、短径35～44cmである。深さは30～65cmで、掘方の断面はU字状である。P1・P7・P9・P10で柱の当たりを確認した。第1・2層は柱抜き取り後の覆土である。

柱穴土層解説 (各柱穴共通)

1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量

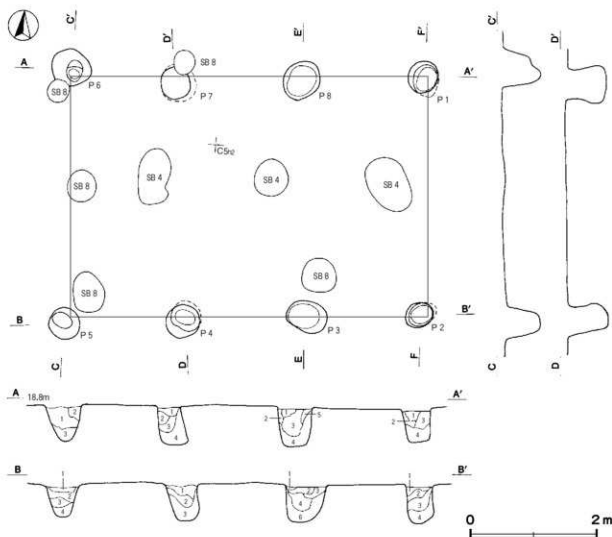
2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 土師質土器片1点(焙烙)、磁器片1点(碗)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。
所見 時期は、出土土器から江戸時代と考えられる。重複する第1号掘立柱建物跡と軸方向や規模、構造がほぼ同じであることから建て替えが推測できる。性格は不明である。

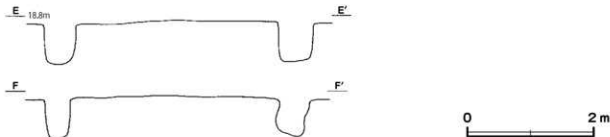
第3号掘立柱建物跡 (第305・306図)

位置 調査区中央部のC5g1区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第8号掘立柱建物に掘り込まれている。第4号掘立柱建物跡とも重複しているが、新旧関係は不明である。



第305図 第3号掘立柱建物跡実測図(1)



第306図 第3号掘立柱建物跡実測図(2)

規模と構造 桁行3間、梁行1間の掘立柱建物跡で、桁行方向はN-85°-Eの東西棟である。規模は、桁行5.70m、梁行3.90mで、面積は22.23㎡である。柱間寸法は、桁行が1.80m(6尺)で、柱筋はほぼ揃っている。
柱穴 8か所。平面形は円形または楕円形で、長径47~66cm、短径40~56cmである。深さは52~64cmで、掘方の断面はU字状である。土層はすべて柱抜き取り後の覆土である。

柱穴土層解説 (各柱穴共通)

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量 | 4 暗褐色 | ロームブロック多量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック微量 |

遺物出土状況 土師質土器片1点(焙烙)、陶器片1点(碗)、鉄製品5点(不明)のほか、土師器片2点(甕)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。

所見 時期は、出土土器が細片のため特定は困難であるが、江戸時代と考えられる。性格は不明である。

第4号掘立柱建物跡 (第307図)

位置 調査区中央部のC5h1区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第3・5・8号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

規模と構造 桁行2間、梁行2間の掘立柱建物跡で、桁行方向はN-88°-Eの東西棟である。規模は、桁行4.00m、梁行5.60mで、面積は22.40㎡である。柱間寸法は、桁行が2.00m(6.7尺)で、梁行が2.80m(9.3尺)である。柱筋はほぼ揃っている。

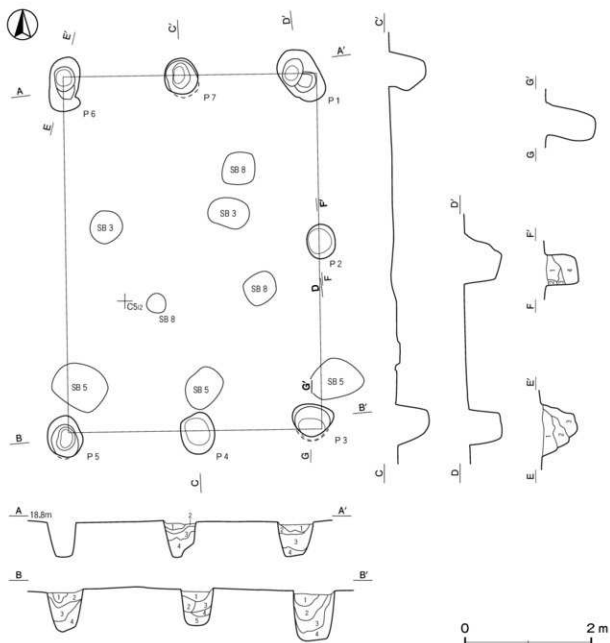
柱穴 7か所。平面形は円形または楕円形で、長径57~90cm、短径46~57cmである。深さは53~79cmで、掘方の断面はU字状である。土層はすべて柱抜き取り後の覆土である。

柱穴土層解説 (各柱穴共通)

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量 | 4 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 5 黒褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 土師質土器片1点(焙烙)、陶器片5点(碗1、鉢4)、鉄滓1点(8.1g)のほか、土師器片6点(坏4、甕2)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。

所見 時期は、出土土器から18世紀代と考えられる。性格は不明である。



第307図 第4号掘立柱建物跡実測図

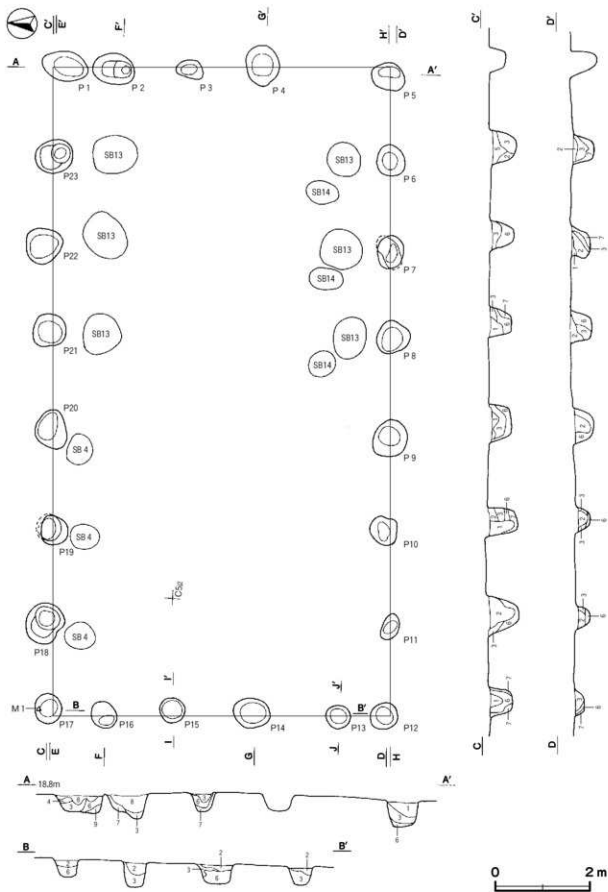
第5号掘立柱建物跡 (第308・309図)

位置 調査区中央部のC5il区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第4・13・14号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

規模と構造 桁行7間、梁行5間の側柱建物跡で、桁行方向はN-88°-Eの東西棟である。規模は、桁行13.80m、梁行7.20mで、面積は99.36㎡である。柱間寸法は、桁行が1.80m(6尺)~2.00m(6.7尺)で、梁行が1.20m(4尺)~1.80m(6尺)である。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 23か所。平面形は円形または楕円形で、長径52~100cm、短径32~78cmである。深さは18~68cmで、掘方の断面はU字状である。第1・2・4・5・8層は柱抜き取り後の覆土、第3・6・7・9層は埋土である。

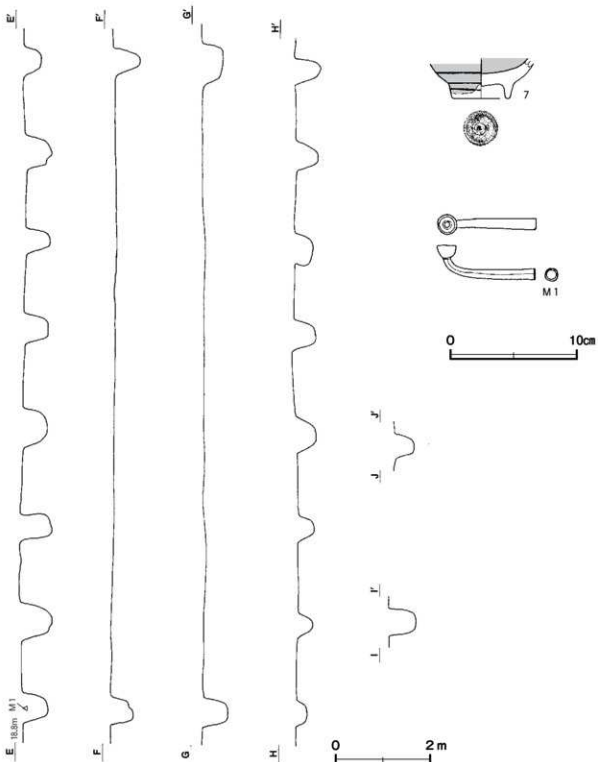


第308図 第5号掘立柱建物跡実測図

柱穴土層解説 (各柱穴共通)

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
 3 暗褐色 ロームブロック中量
 4 黒褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
 5 暗褐色 ロームブロック少量

- 6 暗褐色 ロームブロック微量
 7 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
 8 黒褐色 ローム粒子微量
 9 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量



第309図 第5号掘立柱建物跡・出土遺物実測図

遺物出土状況 土師質土器片4点(焙烙), 磁器片8点(碗), 石器2点(砥石), 銅製品1点(煙管)が出土している。M1はP17の覆土上層, 7はP6の覆土中から出土している。

所見 確認した掘立柱建物跡のうち, 最も規模が大きい建物跡である。南面して建てられていることや規模から推測して居住目的の建物と思われる。時期は, 出土土器から18世紀後葉と考えられる。

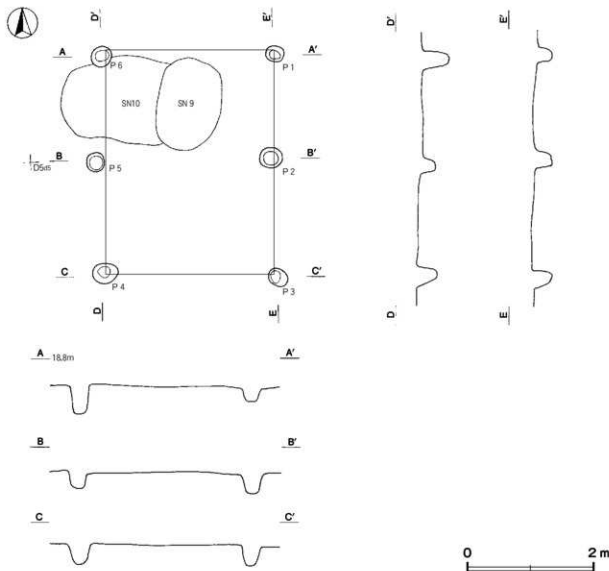
第5号掘立柱建物跡出土遺物観察表(第309図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	軸色	産地	年代	出土位置	備考
7	陶器	中碗	-	(3.1)	4.6	長石	浅黄	-	灰白(長石)	肥前系	18C	P6覆土中	30%

番号	器種	長さ	火眼径	小口径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M1	煙管	7.8	1.5	0.9	8.5	銅	煙首部 18C後	P17覆土上層	PL78

第6号掘立柱建物跡(第310図)

位置 調査区中央部のD5d5区, 標高18mほどの平坦な台地上に位置している。



第310図 第6号掘立柱建物跡実測図

重複関係 第10号粘土貼土坑を掘り込んでいる。第9号粘土貼土坑が内側に存在する。

規模と構造 桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、桁行方向はN-2°-Eの南北棟である。規模は、桁行3.60m、梁行2.70mで、面積は9.72m²である。柱間寸法は、桁行が1.80m（6尺）である。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 6か所。平面形は円形または楕円形で、長径29～40cm、短径25～32cmである。深さは21～44cmで、掘方の断面はU字状である。

所見 ビットの配置から、第9号粘土貼土坑に伴う上屋の可能性はある。時期は、伴う遺物は出土していないが、第9号粘土貼土坑に伴うと仮定すれば17世紀後葉以降となる。性格は不明である。

第7号掘立柱建物跡（第311図）

位置 調査区中央部のD5d5区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第58号土坑を掘り込んでいる。第8号粘土貼土坑が内側に存在する。第3号ビット群と重複しているが、新旧関係は不明である。

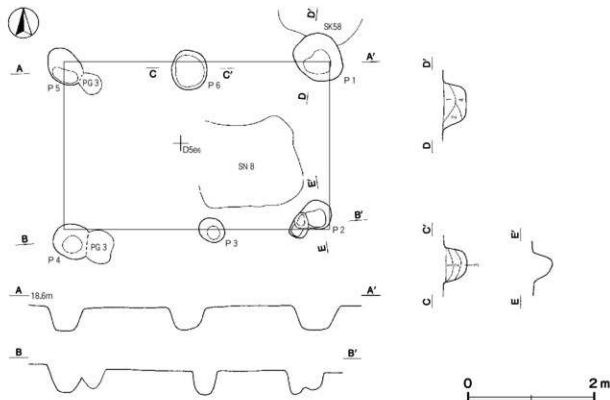
規模と構造 桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、桁行方向はN-86°-Eの東西棟である。規模は、桁行4.20m、梁行2.70mで、面積は11.34m²である。柱間寸法は、桁行が2.10m（7尺）で、柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 6か所。平面形は円形または楕円形で、長径41～83cm、短径36～71cmである。深さは35～47cmで、掘方の断面はU字状である。土層はすべて柱抜き取り後の覆土である。

柱穴土層解説（各柱穴共通）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量 | 3 褐色 ロームブロック少量 |
| 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 4 暗褐色 ロームブロック少量 |

所見 ビットの配置から、第8号粘土貼土坑に伴う上屋の可能性はある。時期は、伴う遺物は出土していないが、第8号粘土貼土坑に伴うと仮定すれば17世紀後葉以降となる。性格は不明である。



第311図 第7号掘立柱建物跡実測図

第8号掘立柱建物跡 (第312図)

位置 調査区中央部のC5hl区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

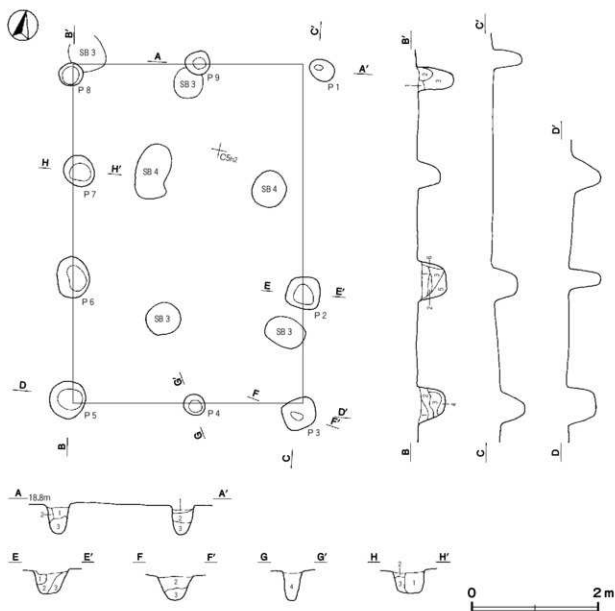
重複関係 第3号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。第4号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物跡で、桁行方向はN-10°-Wの南北棟である。規模は、桁行5.40m、梁行3.60mで、面積は19.44㎡である。柱間寸法は、桁行、梁行ともに1.80m(6尺)である。柱筋は、P1が外側に出ているほかはほぼ揃っている。

柱穴 9か所。平面形は円形または楕円形で、長径34~64cm、短径30~52cmである。深さは38~60cmで、掘方の断面はU字状である。土層はすべて柱抜き取り後の覆土である。

柱穴土層解説 (各柱穴共通)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 4 黒褐色 ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 ローム粒子中量 | 5 黒褐色 ロームブロック少量、埴土粒子微量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック中量 | 6 褐色 ロームブロック・炭化物微量 |

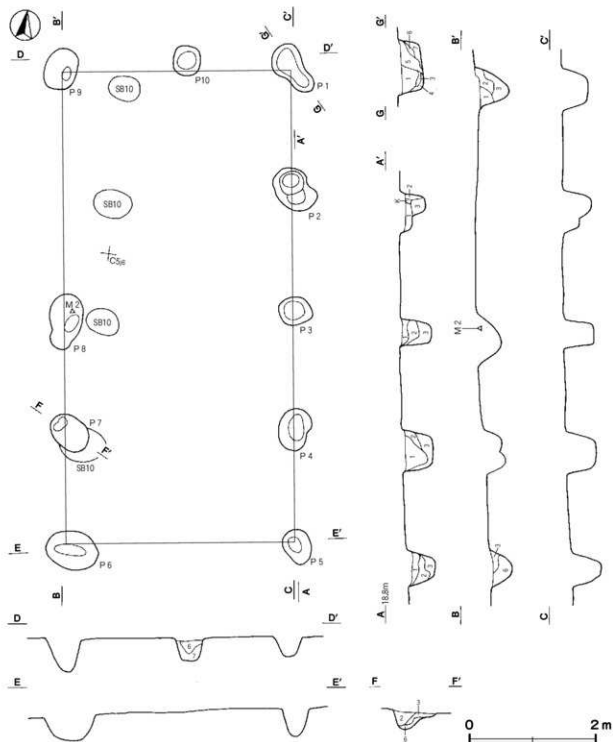


第312図 第8号掘立柱建物跡実測図

所見 時期は、伴う遺物が出土していないため特定は困難であるが、第9号掘立柱建物跡と軸方向が同じことから、同時期の江戸時代と考えられる。性格は不明である。

第9号掘立柱建物跡 (第313・314図)

位置 調査区中央部のC5i6区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。



第313図 第9号掘立柱建物跡実測図

重複関係 第10号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。

規模と構造 桁行4間、梁行2間の掘立柱建物跡で、桁行方向はN-8°-Wの南北棟である。規模は、桁行7.20m、梁行3.60mで、面積は25.92㎡である。柱間寸法は、桁行、梁行ともに1.80m（6尺）で、柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 10か所。平面形は円形または楕円形で、長径48～92cm、短径40～60cmである。深さは30～52cmで、掘方の断面はU字状である。第1・6層は柱抜き取り後の覆土、第2～5・7層は埋土である。

柱穴土層解説（各柱穴共通）

1 暗褐色	ローム粒子微量	5 暗褐色	ロームブロック少量
2 褐色	ロームブロック中量	6 黒褐色	ロームブロック中量
3 褐色	ロームブロック少量	7 褐色	ロームブロック多量
4 黒褐色	ロームブロック少量		

遺物出土状況 陶器片1点（碗）、銅製品1点（煙管）が出土している。M2は、P8の覆土上層から出土している。

所見 時期は、出土土器から江戸時代と考えられる。第8号掘立柱建物跡と軸方向がほぼ同じことから、同時期に機能していたと推測できる。性格は不明である。



第314図 第9号掘立柱建物跡出土遺物実測図

第9号掘立柱建物跡出土遺物観察表（第314図）

番号	器種	長さ	幅	小口径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M2	煙管	(6.2)	-	1.1	(5.2)	銅	煙首部 穴部部分欠損	P8覆土上層	

第10号掘立柱建物跡（第315図）

位置 調査区中央部のC5区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第11号掘立柱建物跡を掘り込み、第9号掘立柱建物に掘り込まれている。

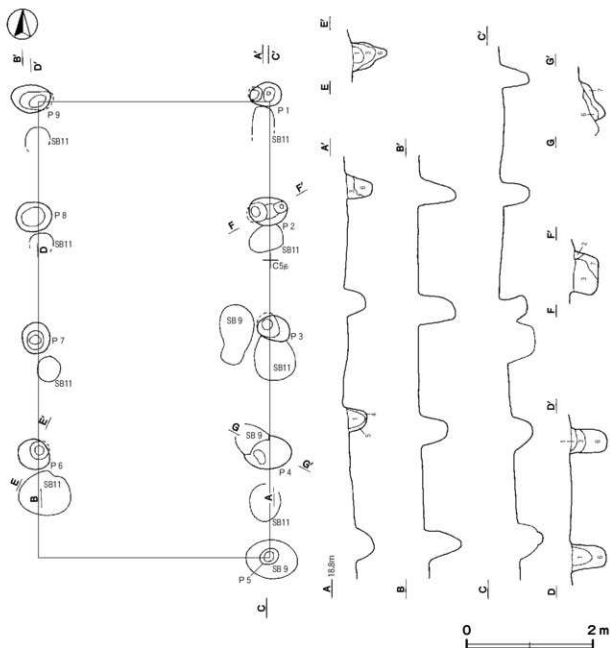
規模と構造 桁行4間、梁行1間の掘立柱建物跡で、桁行方向はN-1°-Wの南北棟である。規模は、桁行7.20m、梁行3.60mで、面積は25.92㎡である。柱間寸法は、桁行が1.80m（6尺）で、柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 9か所。平面形は円形または楕円形で、長径48～75cm、短径34～52cmである。深さは32～62cmで、掘方の断面はU字状である。P5の大部分は、第9号掘立柱建物のP6に掘り込まれているため、規模は不明である。第1・3・6層は柱抜き取り後の覆土、第2・4・5・7層は埋土である。

柱穴土層解説（各柱穴共通）

1 暗褐色	ローム粒子少量、炭化粒子微量	5 暗褐色	ロームブロック中量
2 暗褐色	ロームブロック少量、焼土粒子微量	6 暗褐色	ロームブロック微量
3 暗褐色	ロームブロック少量	7 暗褐色	ロームブロック中量、炭化粒子微量
4 黒褐色	ロームブロック少量		

所見 第11号掘立柱建物跡を掘り込み、規模、構造がほぼ同じであることから、第11号掘立柱建物跡から本跡への建て替えが考えられる。時期は、江戸時代と考えられる。性格は不明である。



第315図 第10号掘立柱建物跡実測図

第11号掘立柱建物跡 (第316図)

位置 調査区中央部のC5j5区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

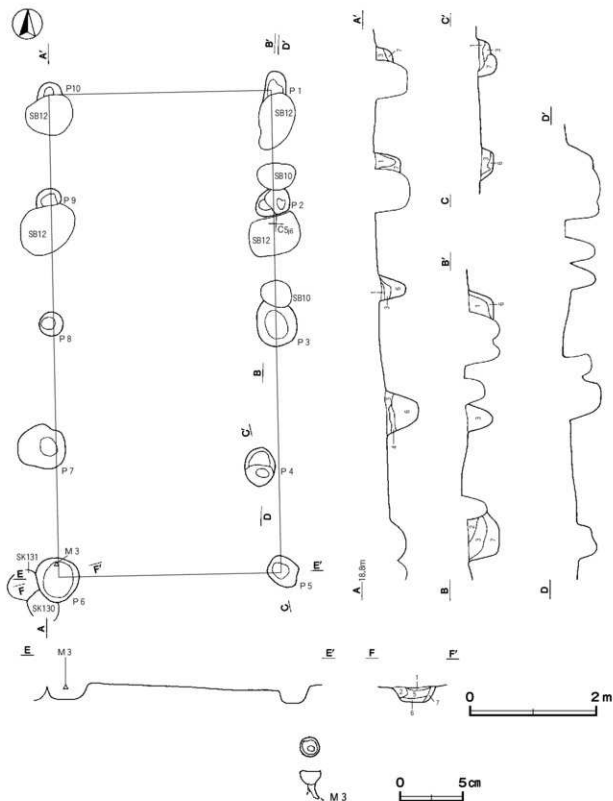
重複関係 第130・131号土坑を掘り込み、第10・12号掘立柱建物に掘り込まれている。第9号掘立柱建物が第10号掘立柱建物跡を掘り込んでおり、第9号掘立柱建物より本跡の方が古い。

規模と構造 桁行4間、梁行1間の側柱建物跡で、桁行方向はN-5°-Wの南北棟である。規模は、桁行7.60m、梁行3.60mで、面積は27.36m²である。柱間寸法は、桁行が1.80m(6尺)~2.40m(8尺)で、柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 10か所。平面形は円形または楕円形で、長径36~79cm、短径35~70cmである。深さは19~56cmで、掘方の断面はU字状である。第1~5層は柱抜き取り後の覆土、第6・7層は埋土である。

柱穴土層解説 (各柱穴共通)

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 | 7 暗褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量 | | |



第316図 第11号掘立柱建物跡・出土遺物実測図

遺物出土状況 陶器片1点(碗)、銅製品1点(煙管)のほか、須恵器片1点(甕)が出土している。M3は、P6の覆土上層から出土している。

所見 時期は、第3号掘立柱建物跡と直交した位置関係にあり、同時期の江戸時代と考えられる。性格は不明である。

第11号掘立柱建物跡出土遺物観察表(第316図)

番号	器種	長さ	火痕径	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M3	煙管	(1.7)	1.7	-	(3.0)	銅	火痕部分	P6覆土上層	

第12号掘立柱建物跡(第317・318図)

位置 調査区中央部のC5i5区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第11号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。

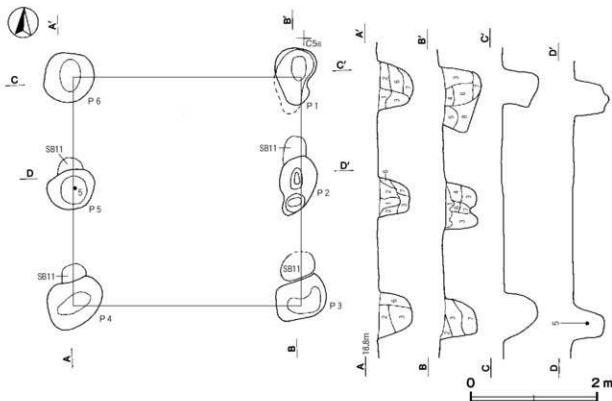
規模と構造 桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、桁行方向はN-2°-Wの南北棟である。規模は、桁行3.60m、梁行3.60mで、面積は1296㎡である。柱間寸法は、桁行が1.80m(6尺)で、柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 6か所。平面形は円形または楕円形で、長径79~97cm、短径59~80cmである。深さは48~58cmで、掘方の断面はU字状である。第1層は柱抜き取り後の覆土、第2~8層は埋土である。

柱穴土層解説(各柱穴共通)

- | | | | |
|-------|------------------|-------|------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 | 7 暗褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量 | 8 黒褐色 | ローム粒子微量 |

遺物出土状況 土師質土器片3点(焙烙)、陶器片2点(碗)のほか、土師器片1点(甕)が出土している。5は、



第317図 第12号掘立柱建物跡実測図

P 5の埋土から出土している。

所見 時期は、出土土器から17世紀後葉と考えられる。性格は、重複する他の掘立柱建物跡と比べて規模が小さいことから、納屋などの倉庫の可能性があるが、不明である。



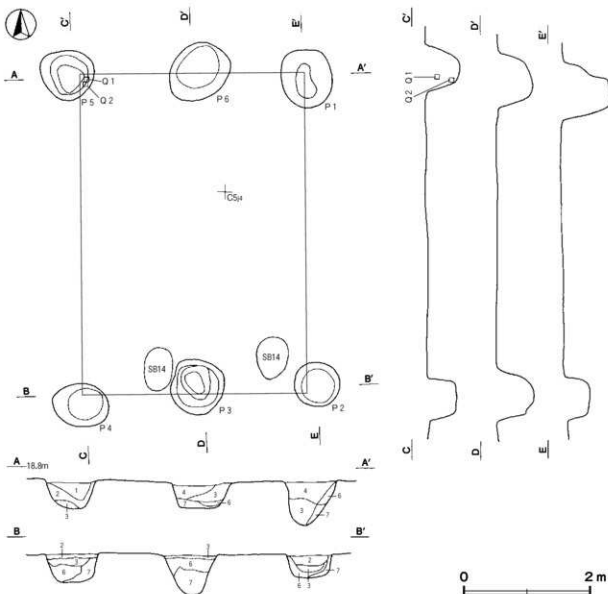
第318図 第12号掘立柱建物跡出土遺物実測図

第12号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第318図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	釉色	産地	年代	出土位置	備考
5	陶器	瓶口	7.0	4.1	4.0	長石・石美	淡黄	-	灰白(灰)	瀬戸・美濃系	17C後	P5埋土	60%

第13号掘立柱建物跡 (第319・320図)

位置 調査区中央部のC53区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。



第319図 第13号掘立柱建物跡実測図

重複関係 第5・14号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

規模と構造 桁行2間、梁行1間の櫛柱建物跡で、桁行方向はN-89°-Eの東西棟である。規模は、桁行3.60m、梁行5.10mで、面積は18.36㎡である。柱間寸法は、梁行が1.80m（6尺）で、柱筋はほぼ揃っている。

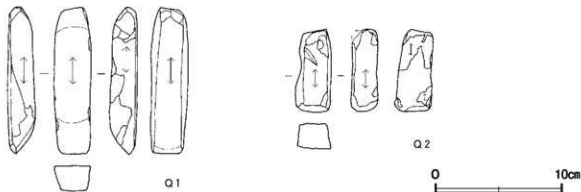
柱穴 6か所。平面形は円形または楕円形で、長径71～100cm、短径67～83cmである。深さは42～78cmで、掘方の断面はU字状である。土層はすべて柱抜き取り後の覆土である。

柱穴土層解説（各柱穴共通）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 5 暗褐色 ロームブロック微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 6 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック中量 | 7 黒褐色 ローム粒子微量 |
| 4 暗褐色 ロームブロック少量 | |

遺物出土状況 石器2点（砥石）が出土している。Q1・Q2は、P5覆土上層、覆土下層からそれぞれ出土している。

所見 時期は、第4号掘立柱建物跡と軸方向や規模、構造がほぼ同じであることから、同時期の18世紀代と考えられる。第14号掘立柱建物跡とは重複する柱穴が存在しないため、新旧関係は不明であるが、軸方向や規模、構造がほぼ同じであることから建て替えが推測できる。性格は、梁行に柱穴が見当たらず構造的に脆弱であるため、納屋などの倉庫の可能性があるが、不明である。



第320図 第13号掘立柱建物跡出土遺物実測図

第13号掘立柱建物跡出土遺物観察表（第320図）

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q1	砥石	115	29	23	110.5	砂岩	砥面4面	P5覆土上層	PL78
Q2	砥石	66	28	20	56.0	燧灰岩	砥面3面 溝部欠損	P5覆土下層	PL78

第14号掘立柱建物跡（第321図）

位置 調査区中央部のC5i3区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第5・13号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

規模と構造 桁行2間、梁行1間の櫛柱建物跡で、桁行方向はN-88°-Eの東西棟である。規模は、桁行3.60m、梁行6.30mで、面積は22.68㎡である。柱間寸法は、梁行が1.80m（6尺）で、柱筋はほぼ揃っている。

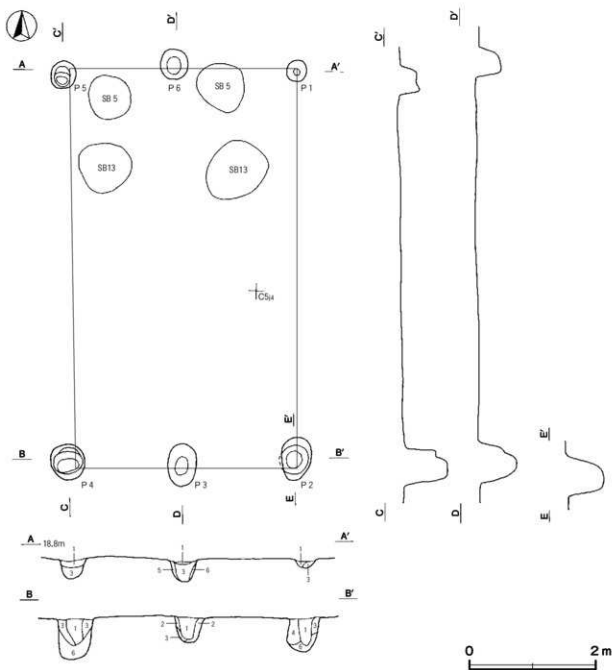
柱穴 6か所。平面形は円形または楕円形で、長径40～63cm、短径34～56cmである。深さは22～41cmで、掘方の断面はU字状である。土層はすべて柱抜き取り後の覆土である。

柱穴土層解説 (各柱穴共通)

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子微量 | 4 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 | 6 暗褐色 | ロームブロック微量 |

遺物出土状況 土師質土器片2点(焙烙)が出土している。細片のため図示できない。

所見 時期は、第4号掘立柱建物跡と軸方向や規模、構造がほぼ同じであることから、同時期の18世紀代と考えられる。第13号掘立柱建物跡とは重複する柱穴が存在しないため、新旧関係は不明であるが、軸方向や規模、構造がほぼ同じであることから建て替えが推測できる。性格は、桁行に柱穴が見当たらず構造的に脆弱であるため、納屋などの倉庫の可能性があるが、不明である。



第321図 第14号掘立柱建物跡実測図

表 33 江戸時代掘立柱建物跡一覧表

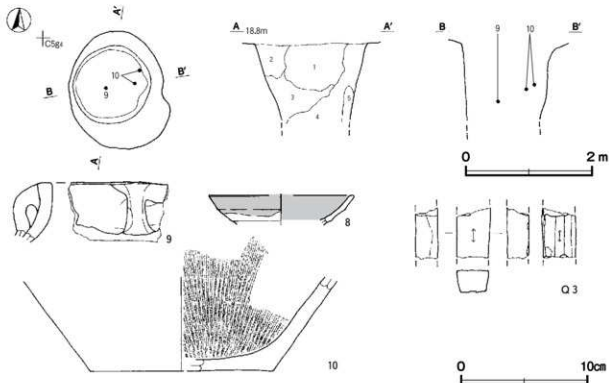
番号	位置	桁行方向	柱間数		面積 (㎡)	柱間寸法		柱 穴			主な出土遺物	時期	備考	
			桁×梁間	桁×梁		初間(m)	梁間(m)	構造	形状	平面形				深さ(cm)
1	D 4a	N-80°-E	4×1	7.20×4.20	30.24	1.80	4.20	掘柱	10	円形・楕円形	35-56		江戸時代	SB 2と新旧不明
2	C 4b	N-85°-E	4×1	7.20×3.90	28.08	1.80	3.90	掘柱	10	円形・楕円形	30-65	土師質土器片、 陶器片	江戸時代	SB 1と新旧不明
3	C 5g	N-85°-E	3×1	5.70×3.90	22.23	1.80	3.90	掘柱	8	円形・楕円形	52-64	土師質土器片、 陶器片、鉄製品	江戸時代	本跡→SB 8 SB 4と新旧不明
4	C 5h	N-88°-E	2×2	4.00×5.60	22.40	2.00	2.80	掘柱	7	円形・楕円形	53-79	土師質土器片、 陶器片、漆器	18世紀	SB 3・5・8 と新旧不明
5	C 5i	N-88°-E	7×5	13.80×7.20	99.36	1.80 2.00	1.20 1.80	掘柱	23	円形・楕円形	18-68	土師質土器片、 陶器片、石製、陶製品	18世紀前後	SB 4・13・14 と新旧不明
6	D 5d	N-2°-E	2×1	3.60×2.70	9.72	1.80	2.70	掘柱	6	円形・楕円形	21-44		17世紀前後	SB10→本跡
7	D 5e	N-86°-E	2×1	4.20×2.70	11.34	2.10	2.70	掘柱	6	円形・楕円形	35-47		17世紀前後	SK58→本跡 PC 3と新旧不明
8	C 5h	N-10°-W	3×2	5.40×3.60	19.44	1.80	1.80	掘柱	9	円形・楕円形	38-60		江戸時代	SB 3→本跡 SB 4と新旧不明
9	C 5f	N-8°-W	4×2	7.20×3.60	25.92	1.80	1.80	掘柱	10	円形・楕円形	30-52	陶器片、 銅製品	江戸時代	SB10→本跡
10	C 5g	N-1°-W	4×1	7.20×3.60	25.92	1.80	3.60	掘柱	9	円形・楕円形	32-62		江戸時代	SB11→本跡
11	C 5f	N-5°-W	4×1	7.60×3.60	27.36	1.80 2.40	3.60	掘柱	10	円形・楕円形	19-56	陶器片、 銅製品	江戸時代	SK130・131→ 本跡→SB10・12
12	C 5f	N-2°-W	2×1	3.60×3.60	12.96	1.80	3.60	掘柱	6	円形・楕円形	48-58	土師質土器片、 陶器片	17世紀前後	SB11→本跡
13	C 5f	N-89°-E	2×1	3.60×5.10	18.36	1.80	5.10	掘柱	6	円形・楕円形	42-78	石製	18世紀	SB 5・14と新 旧不明
14	C 5f	N-88°-E	2×1	3.60×6.30	22.68	1.80	6.30	掘柱	6	円形・楕円形	22-41	土師質土器片	18世紀	SB 5・13と新 旧不明

(2) 井戸跡

第1号井戸跡 (第322図)

位置 調査区中央部のC 5g4区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長径1.90m、短径1.55mの楕円形で、長径方向はN-20°-Wである。確認面から漏斗状に1.10m掘り込まれた後、下部は径1.05mの円筒状に掘り込まれている。1.20mほど掘り下げたが、以下は湧水のため確認できなかった。



第322図 第1号井戸跡・出土遺物実測図

覆土 5層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ不規則な堆積状況から埋め戻されている。

土層解説

- | | |
|--------------------------------------|-----------------|
| 1 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子少量、焼土粒子・炭化
粒子微量 | 3 黒褐色 ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック中量 | 4 暗褐色 ロームブロック少量 |
| | 5 黒褐色 ローム粒子少量 |

遺物出土状況 土師質土器片 41点 (焙烙)、陶器片 14点 (碗1、皿2、小皿1、鉢4、播鉢2、甕4)、磁器片 3点 (碗)、石器 2点 (砥石)、鉄製品 13点 (不明)のほか、土師器片 3点 (坏2、甕1)、須恵器片 2点 (甕)が出土している。9は中央部の覆土下層から出土している。10は東部の覆土下層から出土した破片が接合したものである。8・Q3は覆土中から出土している。

所見 掘立柱建物群に伴う井戸の可能性がある。時期は江戸時代と考えられる。

第1号井戸跡出土遺物観察表 (第322図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	備考	出土位置	備考	
9	土師質土器	焙烙	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい	普通	内耳1か所残存	体部内・外面ナデ	覆土下層	5%	
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	紋付	釉色	産地	年代	出土位置	備考
8	陶器	小皿	[11.4]	(2.4)	-	長石・石英	灰黄	-	灰白	瀬戸・美濃	17℃後～ 18℃前	覆土中	20%
10	陶器	播鉢	-	(7.5)	[14.5]	長石・石英・緑礫	にぶい赤褐	-	-	堺・明石	時期不明	覆土下層	15%
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴			出土位置	備考		
Q3	砥石	(4.0)	2.6	1.7	(298)	凝灰岩	砥面2面	端部欠損			覆土中		

(3) 粘土貼土坑

第1号粘土貼土坑 (第323図)

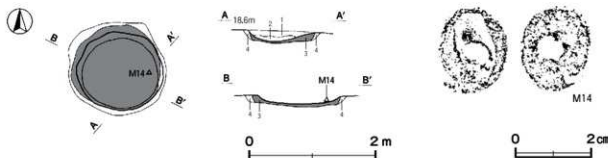
位置 調査区中央部のD5c7区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 掘方の規模は、1.62mほどの円形で、深さは18cmである。断面はU字状である。掘方の底面と壁面に、厚さ2～12cmの粘土を貼り付けている。粘土の内側は、径1.30mの円形で、深さは17cmである。底面は皿状で、南側の壁は外傾、それ以外は緩やかに立ち上がっている。

覆土 2層に分層できる。周囲からの流入を示す堆積状況から自然堆積である。第3層は貼られた粘土層で、第4層は埋土である。

土層解説

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子・粘土粒子少量、焼土粒子
微量 | 3 褐灰色 粘土粒子多量、ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子・粘土粒子
少量 | 4 にぶい褐色 ローム粒子・粘土粒子少量 |



第323図 第1号粘土貼土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 土師質土器片5点(焙烙)、陶器片3点(碗)、磁器片1点(碗)、鉄製品5点(不明)、銭貨1点(雁首銭)のほか、須恵器片1点(鉢)が出土している。M14は東部の底面から出土している。

所見 粘土の貼られている形状から、堯などを据えたかと推測できるが、詳細は不明である。時期は、17世紀後葉と考えられる同じ形状の粘土貼土坑が隣接することから、ほぼ同時期と考えられる。

第1号粘土貼土坑出土遺物観察表(第323図)

番号	種別	銭名	径	孔径	重量	材質	初周年	特徴	出土位置	備考
M14	銭貨	-	2.28~1.77	0.41	1.53	銅	-	雁首銭	底面	PL78

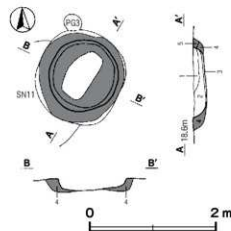
第2号粘土貼土坑(第324図)

位置 調査区中央部のD5c7区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第11号粘土貼土坑を掘り込んでいる。第3号ピット群とも重複しているが、新旧不明である。

規模と形状 掘方の規模は、径1.48mほどの円形で、深さは20cmである。断面はU字状である。掘方の底面と壁面に、厚さ2~22cmの粘土を貼り付けている。粘土の内側は、長径1.16m、短径1.07mの円形で、深さは20cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 3層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第4・5層は貼られた粘土層である。



土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量、焼土粒子・粘土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物粒子少量、焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ローム粒子多量
- 4 明褐色 粘土ブロック多量
- 5 褐色 粘土ブロック多量

遺物出土状況 土師質土器片3点(小皿2、焙烙1)、陶器片5点(碗3、鉢1)、磁器片1点(碗)、石器1点(砥石)、鉄製品1点(不明)のほか、土師器片2点(堯)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。

所見 粘土の貼られている形状から、堯などを据えたかと推測できるが、詳細は不明である。時期は、重複関係から17世紀後葉以降と考えられる。

第324図 第2号粘土貼土坑実測図

第3号粘土貼土坑(第325図)

位置 調査区中央部のD5c7区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 掘方の規模は、長径1.69m、短径1.60mの円形で、深さは36cmである。断面はU字状である。掘方の底面に厚さ2~8cmの粘土を貼り付けている。粘土部の形状は、長径1.00m、短径0.92mの円形で、深さは27cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。底面の壁際には、幅20~44cm、深さ4~14cmの溝が環状に巡っている。

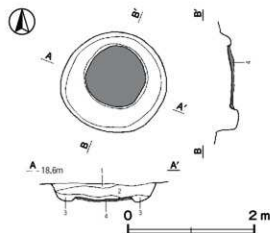
覆土 3層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第4層は貼られた粘土層である。

土層解説

- | | | |
|---|-----|-------------------------|
| 1 | 暗褐色 | ロームブロック中量、炭化物・粘土ブロック少量 |
| 2 | 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量、焼土ブロック微量 |
| 3 | 暗褐色 | ロームブロック・粘土ブロック少量 |
| 4 | 灰褐色 | 粘土ブロック多量、ロームブロック中量 |

遺物出土状況 土師質土器片2点(小皿)、石器1点(砥石)、鉄製品1点(釘)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。

所見 底面の壁際を巡る溝は、何かを据えた痕跡とも考えられるが、詳細は不明である。時期は、同じ形状の粘土貼土坑が隣接することから、ほぼ同時期の17世紀後葉と考えられる。



第325図 第3号粘土貼土坑実測図

第4号粘土貼土坑 (第326図)

位置 調査区中央部のD5d6区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 掘方の規模は、長径0.90m、短径0.82mの円形で、深さは18cmである。断面はU字状である。掘方の底面に厚さ2～4cmの粘土を貼り付けている。粘土部の形状は、長径0.69m、短径0.62mの円形で、深さは15cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

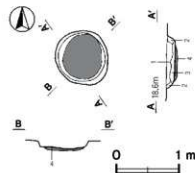
覆土 3層に分層できる。不自然な堆積状況から埋め戻されている。第4層は貼られた粘土層である。

土層解説

- | | | | | | |
|---|-----|-------------------------|---|-----|--------------------------|
| 1 | 暗褐色 | ローム粒子・粘土粒子少量、炭化物・焼土粒子微量 | 3 | 灰褐色 | ローム粒子・粘土粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 | 褐色 | ローム粒子中量、粘土粒子微量 | 4 | 暗褐色 | ローム粒子中量、粘土粒子少量 |

遺物出土状況 土師質土器片2点(小皿)、磁器片1点(碗)、石器1点(砥石)、鉄製品1点(不明)のほか、縄文土器片1点(深鉢)、須恵器片1点(甕)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。

所見 底面の壁際を巡る溝は、何かを据えた痕跡とも考えられるが、詳細は不明である。時期は、同じ形状の粘土貼土坑が隣接することから、ほぼ同時期の17世紀後葉と考えられる。



第326図 第4号粘土貼土坑実測図

第5号粘土貼土坑 (第327図)

位置 調査区中央部のD5c6区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

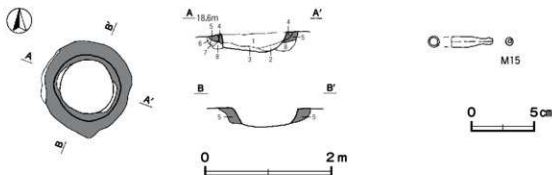
規模と形状 掘方の規模は、径1.54mほどの円形で、深さは30cmである。断面はU字状である。掘方の壁面に厚さ20～22cmの粘土を貼り付けている。粘土の内側は、径1.05mの円形で、深さは31cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

覆土 3層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第4・5層は貼られた粘土層で、第6～8層は埋土である。

土層解説

1 暗 褐色	ロームブロック・炭化粒子少量、粘土ブロック・ 粘土粒子微量	5 明褐色	粘土ブロック多量、ローム粒子微量
2 褐色	ロームブロック少量、炭化粒子微量	6 暗褐色	ローム粒子中量
3 褐色	ロームブロック・炭化粒子少量	7 暗褐色	ローム粒子中量、粘土ブロック微量
4 褐色	粘土ブロック中量、ロームブロック微量	8 褐色	ロームブロック多量

遺物出土状況 土師質土器片1点(焙烙)、陶器片1点(碗)、磁器片2点(碗)、鉄製品9点(不明)、銅製品2点(煙管、不明)、銭貨1点(寛永通寶_寺)のほか、土師器片1点(甕)が出土している。M15は覆土中から出土している。
所見 粘土の貼られている形状から、甕などを据えたかと推測できるが、詳細は不明である。時期は、同じ形状の粘土貼土坑が隣接することから、ほぼ同時期の17世紀後葉と考えられる。



第327図 第5号粘土貼土坑・出土遺物実測図

第5号粘土貼土坑出土遺物観察表(第327図)

番号	部 種	長さ	小口径	口付径	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
M15	煙管	(3.3)	0.9	0.6	(1.9)	銅	吸口部	覆土中	

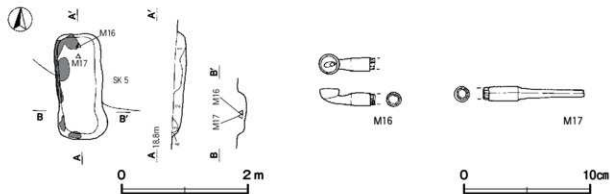
第6号粘土貼土坑(第328図)

位置 調査区中央部のD5e6区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第5号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸1.67m、短軸0.74mの隅丸長方形で、長軸方向はN-3°-Wである。深さは19cmで、断面はU字状である。壁は外傾して立ち上がっている。西部の底面と壁面に粘土を貼り付けている。

覆土 4層に分层できる。不自然な堆積状況から埋め戻されている。



第328図 第6号粘土貼土坑・出土遺物実測図

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 3 褐色 ローム粒子・粘土粒子少量、炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・粘土粒子微量 4 灰褐色 粘土ブロック多量

遺物出土状況 土師質土器片6点(小皿2, 焙烙4), 陶器片2点(碗), 鉄製品1点(不明), 銅製品3点(煙管2, 銅線1), 銭貨1点(寛永通寶₅)が出土している。M16・M17は北部の覆土下層から出土している。

所見 時期は, 出土土器から18世紀後葉に比定できる。性格は不明である。

第6号粘土貼土坑出土遺物観察表(第328図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M16	煙管	(4.5)	火皿径1.5 小口径1.0	1.0	(5.6)	銅	煙管部 羅字残存(竹)	覆土下層	PL78
M17	煙管	(8.0)	小口径1.1 口径径0.5	0.5	(5.5)	銅	吸口部 羅字残存(竹)	覆土下層	PL78

第7号粘土貼土坑(第329図)

位置 調査区中央部のD5d6区, 標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 掘方の規模は, 長径0.90m, 短径0.82mの円形で, 深さは14cmである。断面はU字状である。掘方の底面に厚さ4~6cmの粘土を貼り付けている。粘土部の形状は, 長径0.76m, 短径0.65mの楕円形で, 深さは6cmである。底面は平坦で, 壁は緩やかに立ち上がっている。

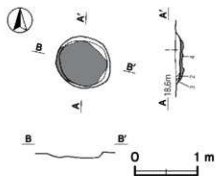
覆土 3層に分層できる。多くの層に粘土ブロックやロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第4層は貼られた粘土層である。

土層解説

- 1 暗褐色 炭化物中量, 焼土粒子・粘土粒子微量
 2 にぶい褐色 粘土ブロック中量
 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
 4 橙褐色 粘土ブロック中量, ローム粒子微量

遺物出土状況 土師質土器片1点(小皿), 陶器片1点(碗), 鉄製品1点(不明)が出土している。いずれも細片のため, 図示できない。

所見 粘土の貼られている形状から, 甕などを据えたかと推測できるが, 詳細は不明である。時期は, 同じ形状の粘土貼土坑が隣接することから, ほぼ同時期の17世紀後葉と考えられる。



第329図 第7号粘土貼土坑実測図

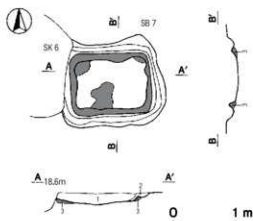
第8号粘土貼土坑(第330図)

位置 調査区中央部のD5e6区, 標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第6号土坑に掘り込まれ, 第7号掘立柱建物跡の内側に存在している。

規模と形状 掘方の規模は, 長軸1.64m, 短軸1.41mの隅丸長方形で, 長軸方向はN-85°-Eである。深さは19cmで, 断面はU字状である。掘方の底面の外周に厚さ6~10cmの粘土を貼り付けている。粘土の内側は, 長軸1.29m, 短軸0.96mの隅丸長方形で, 長軸方向はN-85°-Eである。深さは17cmで, 底面は皿状である。壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土 2層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第3層は貼られた粘土層である。



第330図 第8号粘土貼土坑実測図

土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・粘土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 灰褐色 粘土ブロック少量

遺物出土状況 土師質土器片4点(焙烙)、陶器片4点(碗)、鉄製品3点(釘2、不明1)、銅製品1点(不明)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。

所見 第7号掘立柱建物跡の内側に存在していることから、第7号掘立柱建物跡に伴う施設の可能性がある。底面に貼られた粘土の形状が、長方形であることから、箱などを固定していた可能性があるが、詳細は不明である。時期は、出土土器から17世紀以降と考えられる。

第9号粘土貼土坑 (第331図)

位置 調査区中央部のD5c5区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第10号粘土貼土坑を掘り込んでいる。第6号掘立柱建物跡の内側に存在している。

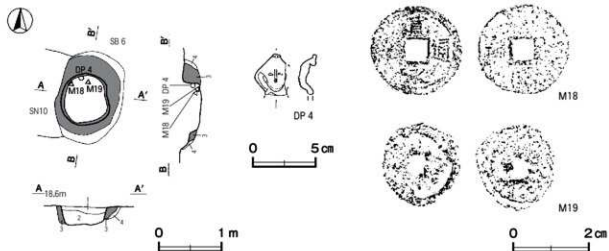
規模と形状 掘方の規模は、長径1.47m、短径1.03mの楕円形で、長径方向はN-14°-Eである。深さは30cmで、断面はU字状である。掘方の壁面に厚さ8~28cmの粘土を貼り付けている。粘土の内側は、長径0.83m、短径0.81mの円形で、深さは28cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

覆土 2層に分層できる。周囲からの流入を示す堆積状況から自然堆積である。第3層は貼られた粘土層で、第4層は埋土である。

土層解説

- 1 極暗褐色 粘土粒子少量、ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子
- 3 明褐色 粘土ブロック多量
- 4 暗灰色 粘土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 土師質土器片13点(小皿3、焙烙10)、陶器片2点(碗、鉢)、磁器片4点(碗)、土製品1点(人形)、鉄製品12点(釘7、不明5)、銭貨2点(寛永通寶、雁首銭)のほか、須恵器片1点(坏)が出土している。M19は北部の底面、M18は覆土下層、DP4は北部の覆土中層からそれぞれ出土している。



第331図 第9号粘土貼土坑・出土遺物実測図

所見 第6号掘立柱建物跡の内側に存在していることから、第6号掘立柱建物に伴う施設の可能性がある。粘土が円形に貼られていることから、竈などを据えたと推測できるが、詳細は不明である。時期は、出土した寛永通寶から17世紀後葉以降と考えられる。

第9号粘土貼土坑出土遺物観察表（第331図）

番号	形種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP 4	人形	(3.3)	(2.5)	(1.5)	(6.2)	長石・石英・赤褐色・黒色粒子	にびい赤褐色	頭部 楕円形。	覆土中層	

番号	種別	残名	径	孔幅	重量	材質	初周年	特徴	出土位置	備考
M 18	銭貨	寛永通寶	2.4	0.5	2.2	銅	1697	新寛永	覆土下層	PL78
M 19	銭貨	-	2.2	0.5	1.5	銅	-	寛貞銭	底面	PL78

第10号粘土貼土坑（第332図）

位置 調査区中央部のD 5c5区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第6号掘立柱建物、第9号粘土貼土坑に掘り込まれている。

規模と形状 第6号掘立柱建物跡と第9号粘土貼土坑に掘り込まれているため、掘方の規模は、東西径は1.49mで、南北径は1.38mしか確認できなかった。平面形は不整形円形で、長径方向はN-87°-Eである。深さは40cmで、断面はU字状である。掘方の底面と壁面に厚さ8~20cmの粘土を貼り付けている。粘土の内側は、径0.81mの円形で、深さは25cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。

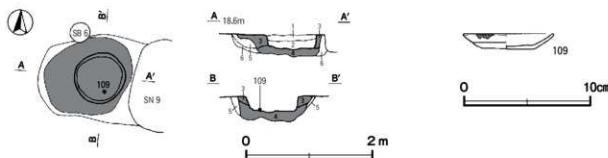
覆土 2層に分層できる。周囲からの流入を示す堆積状況から自然堆積である。第3・4層は貼られた粘土層で、第5・6層は埋土である。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------------|-------|------------------|
| 1 灰褐色 | 粘土粒子中量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子 | 3 明褐色 | 粘土ブロック多量 |
| | 微量 | 4 褐色 | 粘土ブロック多量、ローム粒子少量 |
| 2 黒褐色 | 粘土粒子少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子 | 5 褐色 | ローム粒子多量、粘土ブロック微量 |
| | 微量 | 6 褐色 | ローム粒子多量、粘土ブロック少量 |

遺物出土状況 土師質土器片5点（小皿2、焙烙3）、陶器片2点（碗、瓶）、鉄製品2点（釘、不明）のほか、須恵器片1点（坏）が出土している。109は南部の覆土下層から出土している。

所見 粘土が全面に貼られている形状から、竈などを据えたと推測できるが、詳細は不明である。時期は、出土土器から17世紀後葉に比定できる。



第332図 第10号粘土貼土坑・出土遺物実測図

第10号粘土貼土坑出土遺物観察表（第332図）

番号	種別	形種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
109	土師質土器	小皿	7.1	1.2	4.2	長石・赤色粒子	橙	普通	底部刷毛糸切り後、ナゲ油漉け着	覆土下層	95% PL72

第 11 号粘土貼土坑 (第 333 図)

位置 調査区中央部の D 5 d7 区、標高 18 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 2 号粘土貼土坑に掘り込まれている。

規模と形状 掘方の規模は、長径 1.90 m、短径 1.75 m の楕円形で、長径方向は N-31°-E である。深さは 36 cm で、断面は U 字状である。掘方の底面に厚さ 3~9 cm の粘土を貼り付けている。粘土部の形状は、長径 1.44 m、短径 1.24 m の楕円形で、長径方向は N-31°-E である。深さは 28 cm で、底面は平坦である。壁は緩やかに立ち上がっている。

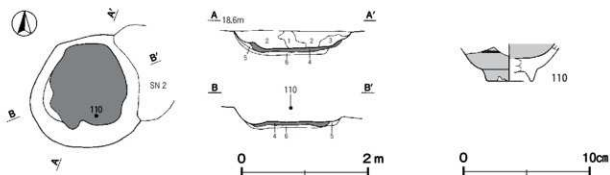
覆土 3 層に分層できる。ブロック状の不自然な堆積状況から埋め戻されている。第 4 層は貼られた粘土層で、第 5・6 層は埋土である。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|-----------------------|
| 1 暗褐色 | 粘土ブロック中量、ローム粒子少量、炭化粒子微量 | 4 灰白色 | 粘土ブロック多量、ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | 粘土ブロック・ローム粒子・炭化粒子少量 | 5 暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子・粘土粒子微量 |
| 3 暗褐色 | 粘土ブロック中量、ローム粒子・炭化粒子少量 | 6 褐色 | ローム粒子少量 |

遺物出土状況 陶器片 3 点 (碗)、磁器片 2 点 (中碗、香炉) のほか、須恵器片 12 点 (甕) が出土している。110 は南部の覆土上層から出土している。

所見 第 2 号粘土貼土坑と同時期かそれ以前に機能していた甕などを据えた遺構と考えられるが、詳細は不明である。時期は、出土土器から 17 世紀後葉以前と考えられる。



第 333 図 第 11 号粘土貼土坑・出土遺物実測図

第 11 号粘土貼土坑出土遺物観察表 (第 333 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	軸色	産地	年代	出土位置	備考
110	磁器	中碗	-	(3.0)	(3.8)	細密	明オリブ灰	染付	透明	肥前系	17 C	覆土上層	30%

第 12 号粘土貼土坑 (第 334 図)

位置 調査区中央部の D 5 c1 区、標高 18 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 掘方の規模は、長径 1.14 m、短径 0.96 m の楕円形で、長径方向は N-35°-E である。深さは 23 cm で、断面は U 字状である。掘方の底面と壁面に厚さ 4~16 cm の粘土を貼り付けている。粘土の内側は、長径 0.77 m、短径 0.74 m の円形で、深さは 22 cm である。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。底面の壁際には、幅 2~10 cm、深さ 2~5 cm の溝が環状に巡っている。

覆土 4 層に分層できる。ブロック状の不自然な堆積状況から埋め戻されている。第 5・6 層は貼られた粘土層で、第 7 層は埋土である。

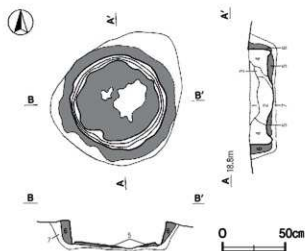
土層解説

- | | | |
|---|-------|---------------------|
| 1 | 暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子・粘土粒子微量 |
| 2 | 褐色 | ローム粒子中量 |
| 3 | 褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 | にぶい褐色 | ロームブロック少量 |

遺物出土状況 土師質土器片3点(小皿1, 焙烙2), 鉄製品1点(釘)のほか, 土師器片4点(坏)が出土している。いずれも細片のため, 図示できない。

所見 底面の壁際を巡る溝は, 桶などを据えた痕跡と考えられるが, 詳細は不明である。粘土貼土坑が集中している調査区域から離れて1基のみ確認した。性格は不明である。時期は, 同じ形状の粘土貼土坑が確認されていることから, ほほは同時期の17世紀後葉と考えられる。

- | | | |
|---|-----|-------------------|
| 5 | 明褐色 | 粘土粒子多量, ローム粒子少量 |
| 6 | 明褐色 | 粘土ブロック多量, ローム粒子微量 |
| 7 | 明褐色 | ローム粒子多量 |



第334図 第12号粘土貼土坑実測図

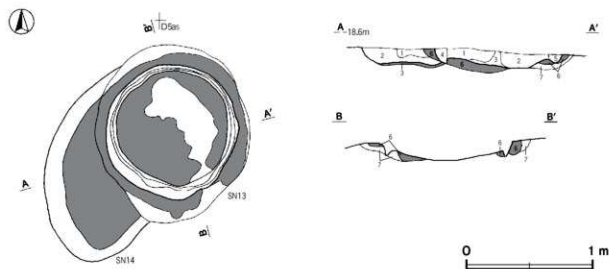
第13号粘土貼土坑 (第335図)

位置 調査区中央部のD5a5区, 標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第14号粘土貼土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 掘方の規模は, 長径1.42m, 短径1.22mの楕円形で, 長径方向はN-12°-Eである。深さは17cmで, 断面はU字状である。掘方の底面と壁面に厚さ3~7cmの粘土を貼り付けている。粘土の内側は, 径1.06mの円形で, 深さは12cmである。底面は皿状で, 壁は外傾して立ち上がっている。底面の壁際には, 幅6~11cm, 深さ2~5cmの溝が環状に巡っている。

覆土 5層に分層できる。不自然な堆積状況から埋め戻されている。第6層は貼られた粘土層で, 第7層は埋土である。



第335図 第13・14号粘土貼土坑実測図

土層解説

- | | | | |
|---------|----------------|-----------|----------------|
| 1 暗 褐 色 | ローム粒子少量、粘土粒子微量 | 5 に近い褐色 | ローム粒子・粘土粒子少量 |
| 2 暗 褐 色 | ローム粒子中量、粘土粒子微量 | 6 明 褐 灰 色 | 粘土粒子多量、ローム粒子少量 |
| 3 黒 褐 色 | ローム粒子中量 | 7 暗 褐 色 | 粘土ブロック・焼土粒子微量 |
| 4 褐 色 | ローム粒子多量 | | |

遺物出土状況 土師質土器片2点(小皿, 焙烙)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。

所見 底面の壁際を巡る溝は、桶などを据えた痕跡と考えられるが、詳細は不明である。時期は、出土土器から江戸時代と考えられる。

第14号粘土貼土坑 (第335図)

位置 調査区中央部のD5a4区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第13号粘土貼土坑に掘り込まれている。

規模と形状 第13号粘土貼土坑に掘り込まれているため、掘方の規模は、北東・南西径は1.45mで、北西・南東径は0.91mしか確認できなかった。平面形は楕円形と推測できる。掘方の深さは14cmである。底面に厚さ1～2cmの粘土を貼り付けている。粘土部の形状は、北東・南西径は1.20mで、北西・南東径は0.60mしか確認できなかった。平面形は楕円形で、底面は平坦である。壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土 2層に分層できる。粘土ブロックが含まれていることから埋め戻されている。第3層は貼られた粘土層である。

土層解説

- | | | | |
|---------|---------------|---------|----------|
| 1 暗 褐 色 | 粘土ブロック・焼土粒子微量 | 3 暗 褐 色 | 粘土ブロック多量 |
| 2 暗 褐 色 | 粘土ブロック中量 | | |

所見 第13号粘土貼土坑より以前に機能していた同種の遺構と推測できるが、性格など詳細は不明である。時期は、重複関係から江戸時代と考えられる。

第15号粘土貼土坑 (第336図)

位置 調査区中央部のC5h3区、標高19mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 掘方の規模は、径1.20mほどの円形で、深さは44cmである。断面はU字状である。掘方の底面に厚さ1～7cmの粘土を貼り付けている。粘土部の形状は、径0.98mほどの円形で、深さは34cmである。底面は平坦で、壁はほぼ直立している。底面の壁際には、幅10～14cm、深さ6～8cmの溝が環状に巡っている。

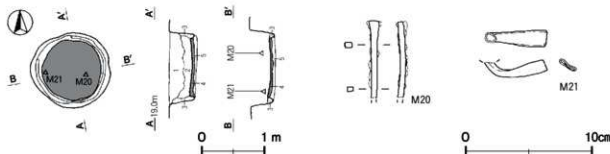
覆土 3層に分層できる。不自然な堆積状況から埋め戻されている。第4層は貼られた粘土層で、第5層は埋土である。

土層解説

- | | | | |
|---------|---------------------|---------|-----------|
| 1 暗 褐 色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 浅黄橙色 | 粘土粒子多量 |
| 2 褐 色 | ローム粒子中量、焼土粒子微量 | 5 暗 褐 色 | ロームブロック中量 |
| 3 明 褐 色 | ローム粒子中量 | | |

遺物出土状況 土師質土器片9点(小皿6, 焙烙3), 陶器片1点(碗), 磁器片5点(碗), 石器1点(砥石), 鉄製品29点(釘2, 不明27), 銅製品1点(煙管)が出土している。M20・M21は覆土中層から出土している。

所見 粘土の貼られている形状から、臺などを据えたかと推測できるが、詳細は不明である。時期は、出土土器から18世紀前葉と考えられる。



第336図 第15号粘土貼土坑・出土遺物実測図

第15号粘土貼土坑出土遺物観察表（第336図）

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M20	釘	(6.1)	0.8	0.5	(102)	鉄	端部欠損 断面長方形	覆土中層	
M21	煙管	(3.0)	火皿様 -	小口径 1.3	(5.8)	銅	火皿部欠損	覆土中層	

第16号粘土貼土坑（第337図）

位置 調査区中央部のC5h3区、標高19mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 掘方の規模は、長径1.05m、短径0.93mの楕円形で、長径方向はN-15°-Eである。深さは20cmで、断面はU字状である。掘方の底面と壁面に厚さ2cmの粘土を貼り付けている。粘土部の形状は、長径0.90m、短径0.84mの円形で、深さ10cmである。底面は皿状で、壁は外傾して立ち上がっている。

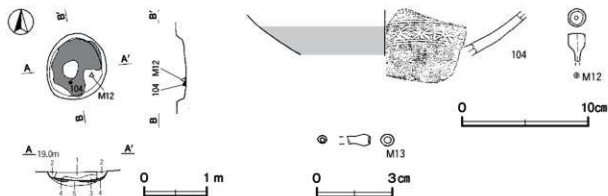
覆土 3層に分層できる。多くの層に粘土ブロックが含まれていることから埋め戻されている。第4層は貼られた粘土層で、第5層は埋土である。

土層解説

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量 | 4 灰白色 粘土ブロック多量、ローム粒子微量 |
| 2 明褐色 ローム粒子多量 | 5 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 3 褐色 粘土粒子中量、ローム粒子微量 | |

遺物出土状況 土師質土器片2点（焙烙）、陶器片5点（碗3、鉢2）、磁器片2点（碗）、鉄製品1点（不明）、銅製品2点（煙管）が出土している。104は南部、M12は東部の底面から出土している。

所見 粘土の貼られている形状から、甕などを据えたと推測できるが、詳細は不明である。時期は、出土土器から江戸時代と考えられる。



第337図 第16号粘土貼土坑・出土遺物実測図

第16号粘土貼土坑出土遺物観察表(第337図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	紋付	軸色	産地	年代	出土位置	備考
104	陶器	大鉢	-	(25)	-	長石	灰褐	三島手	赤褐(鉄)	唐津	18C前	底面	5%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
M12	煙管	(21)	火皿径 1.3	-	(22)	銅	火皿部		底面	
M13	煙管	(09)	-	口径径 0.24	(0.5)	銅	口付部		覆土中	

表34 江戸時代粘土貼土坑一覽表

番号	位置	長径方向	平面形	粘土の内側			掘方		覆土	主な出土遺物	備考		
				長径×短径 (m)	深さ (cm)	底面	壁面	長径×短径 (m)				深さ (cm)	断面
1	D5e7	-	円形	1.30 × 1.30	17	皿状	外傾	1.62 × 1.62	18	U字状	自然	土師質土器片、陶器片、磁器片、鉄製品、銅製品、鉄貨	
2	D5e7	-	円形	1.16 × 1.07	20	平坦	直立	1.48 × 1.48	20	U字状	人為	土師質土器片、陶器片、磁器片、石器、鉄製品	SN11 → 本跡 PG.3と遺出不明
3	D5e7	-	円形	1.00 × 0.92	27	平坦	外傾	1.69 × 1.60	36	U字状	人為	土師質土器片、石器、鉄製品	
4	D5e6	-	円形	0.69 × 0.62	15	平坦	直立	0.90 × 0.82	18	U字状	人為	土師質土器片、陶器片、磁器片、鉄製品	
5	D5e6	-	円形	1.05 × 1.05	31	平坦	直立	1.54 × 1.54	30	U字状	人為	土師質土器片、陶器片、磁器片、鉄製品、銅製品、鉄貨	
6	D5e6	N-3°-W	真丸長方形	1.67 × 0.74	14	平坦	外傾	1.67 × 0.74	19	U字状	人為	土師質土器片、陶器片、磁器片、鉄製品、銅製品、鉄貨	SK.5 → 本跡
7	D5e6	N-56°-W	楕円形	0.76 × 0.65	6	平坦	傾斜	0.90 × 0.82	14	U字状	人為	土師質土器片、陶器片、鉄製品	
8	D5e6	N-85°-E	真丸長方形	1.29 × 0.96	17	皿状	傾斜	1.64 × 1.41	19	U字状	人為	土師質土器片、陶器片、磁器片、鉄製品	本跡 → SK.6
9	D5e5	-	円形	0.83 × 0.81	28	平坦	直立	1.47 × 1.03	30	U字状	自然	土師質土器片、陶器片、磁器片、土製品、鉄製品、鉄貨	SN10 → 本跡
10	D5e5	-	円形	0.81 × 0.81	25	平坦	直立	1.49 × 1.38	40	U字状	自然	土師質土器片、陶器片、鉄製品	本跡 → SK.6 SN.9
11	D5e7	N-31°-E	楕円形	1.44 × 1.24	28	平坦	傾斜	1.90 × 1.75	36	U字状	人為	陶器片、磁器片	本跡 → SN.2
12	D5e1	-	円形	0.77 × 0.74	22	平坦	直立	1.14 × 0.96	23	U字状	人為	土師質土器片、鉄製品	
13	D5e5	-	円形	1.06 × 1.06	12	皿状	外傾	1.42 × 1.22	17	U字状	人為	土師質土器片	SN14 → 本跡
14	D5a4	-	[楕円形]	(1.20) × (0.60)	13	平坦	傾斜	1.45 × (0.91)	14	U字状	人為		本跡 → SN13
15	C5h3	-	円形	0.98 × 0.98	34	平坦	直立	1.20 × 1.20	44	U字状	人為	土師質土器片、陶器片、磁器片、石器、鉄製品、銅製品	
16	C5h3	N-15°-E	楕円形	0.90 × 0.84	10	皿状	外傾	1.05 × 0.93	20	U字状	人為	土師質土器片、陶器片、磁器片、鉄製品、銅製品	

(4) 土坑

第5号土坑(第338図)

位置 調査区中央部のD5e7区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第6号粘土貼土坑、第4号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径4.38m、短径3.15mの楕円形で、長径方向はN-86°-Wである。深さは46cmで、底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 9層に分層できる。ブロック状の不規則な堆積状況から埋め戻されている。

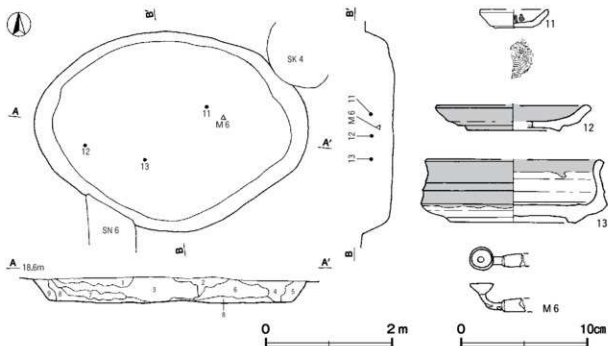
土層解説

1 黒褐色 炭化粒子微量	6 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
2 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量	7 黒褐色 ローム粒子少量
3 黒褐色 ローム粒子微量	8 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
4 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量	9 暗褐色 ロームブロック少量
5 暗褐色 ローム粒子中量	

遺物出土状況 土師質土器片4点(小皿1, 灯明皿1, 焙烙2)、陶器片6点(碗4, 小皿1, 香炉1)、磁器片4点(碗)、石器1点(石臼)、鉄製品3点(不明)、鉄滓1点(68.5g)、銅製品1点(煙管)のほか、土師

器片2点(瓷)が出土している。M6は東部の覆土中層から、11・13は中央部、12は西部の覆土上層からそれぞれ出土している。

所見 時期は、出土土器から18世紀前葉に比定できる。性格は不明である。



第338図 第5号土坑・出土遺物実測図

第5号土坑出土遺物観察表(第338図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	他成	手法の特徴はか	出土位置	備考
11	土師土器	灯明皿	[5.4]	1.5	[3.1]	長石・石英	橙	普通	底部回転糸切り	覆土上層	40% PL72

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	釉色	窯地	年代	出土位置	備考
12	陶器	小皿	[12.0]	2.0	[7.3]	長石・石英	灰白	-	灰白	瀬戸・美濃系	17 C 後	覆土上層	30% PL72
13	陶器	香炉	[13.8]	5.0	9.9	長石・石英	淡黄	-	赤褐(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C 前	覆土上層	50%

番号	器種	長さ	火皿径	小口径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M6	磁器	(4.4)	1.8	(1.0)	(4.7)	銅	覆首部 唇部あり	覆土中層	

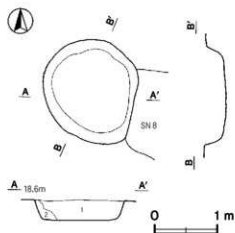
第6号土坑(第339図)

位置 調査区中央部のD5d5区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第8号粘土貼土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.72m、短径1.52mの楕円形で、長径方向はN-24°-Wである。深さは33cmで、底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 2層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。



第339図 第6号土坑実測図

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 土師質土器片4点(小皿1, 焙烙3), 陶器片4点(碗2, 天目茶碗2), 鉄製品4点(不明), 鉄滓3点(16.5g)のほか, 縄文土器片1点(深鉢), 土師器片4点(杯1, 甕3), 須恵器片3点(甕)が出土している。いずれも細片のため, 図示できない。

所見 時期は, 17世紀以降と推定できる第8号粘土貼土坑を掘り込んでいることから, 江戸時代と考えられる。性格は不明である。

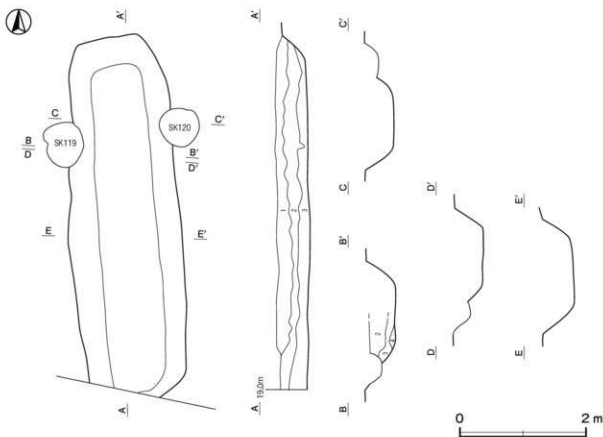
第70号土坑 (第340～347図)

位置 調査区西部のD4c6区, 標高19mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第119・120号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸5.77m, 短軸1.81mの隅丸長方形で, 長軸方向は $N-4^{\circ}-W$ である。深さは45cmで, 底面は平坦である。壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土 4層に分層できる。多くの層にロームブロックや炭化物が含まれていることから埋め戻されている。



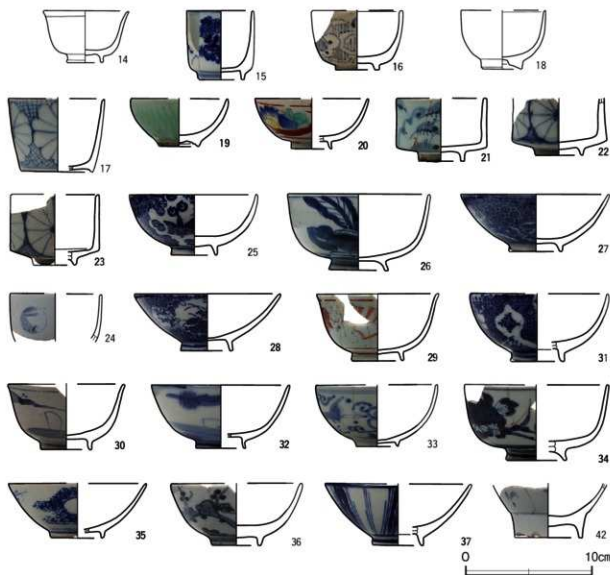
第340図 第70号土坑実測図

土層解説

- 1 褐色 ロームブロック・炭化物少量、焼土ブロック微量 3 暗褐色 炭化物多量、ローム粒子少量、焼土粒子微量
 2 暗褐色 炭化物中量、ロームブロック少量、焼土粒子微量 4 暗褐色 炭化物粒子中量、ローム粒子少量

遺物出土状況 土師質土器片 219 点（焙烙 137、鉢 27、搥鉢 6、火鉢 7、植木鉢 4、土瓶 1、鈿 2、不明 35）、陶器片 218 点（中碗 2、土瓶蓋 2、皿 4、灯明皿 15、灯明受皿 6、搥鉢 2、捏鉢 1、鉢 49、片口鉢 3、土瓶 94、徳利 37、仏花瓶 1、カンテラ 1、乗場 1）、磁器片 389 点（小坏 1、紅猪口 1、猪口 54、小碗 120、中碗 110、広東碗 13、蓋 2、段重蓋 1、段重 1、小皿 25、中皿 22、徳利 21、仏花瓶 15、香炉 1、小瓶 2）、土製品 4 点（人形 2、ミニチュア 2）、石器 29 点（砥石）、鉄製品 81 点（不明）、鉄滓 19 点（751.7 g）、棧瓦 53 点、ガラス片 10 点（瓶）が出土している。合計 1022 点の多量の遺物が、遺構全体の覆土上層から下層にかけてほぼ均等に出土している。43 の磁器・蓋、76 の陶器・捏鉢は、覆土上層と下層から出土した破片が接合したものである。

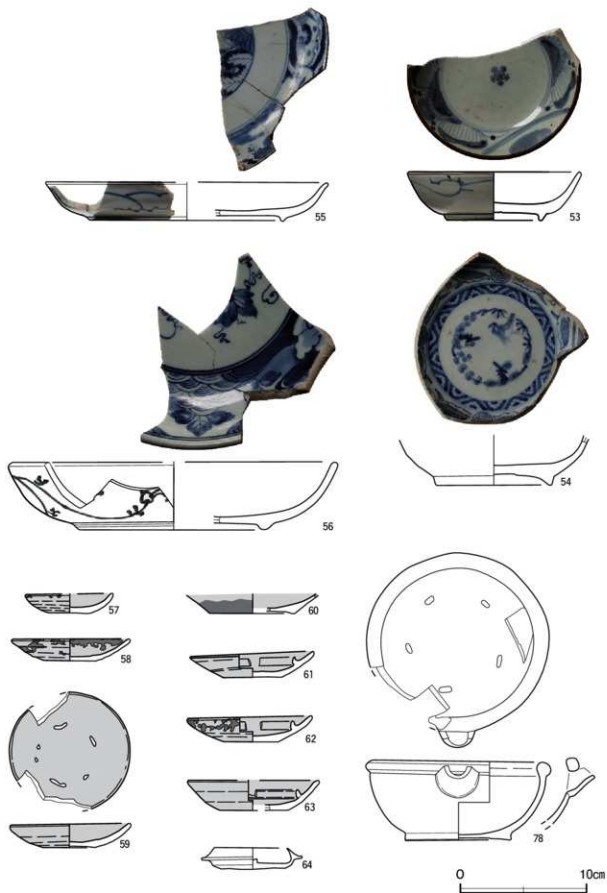
所見 覆土上層で覆土下層より古い時期の遺物が出土していることから、多量の遺物が一括で投棄された廃棄土坑と判断できる。時期は、出土土器から 19 世紀後葉と考えられる。



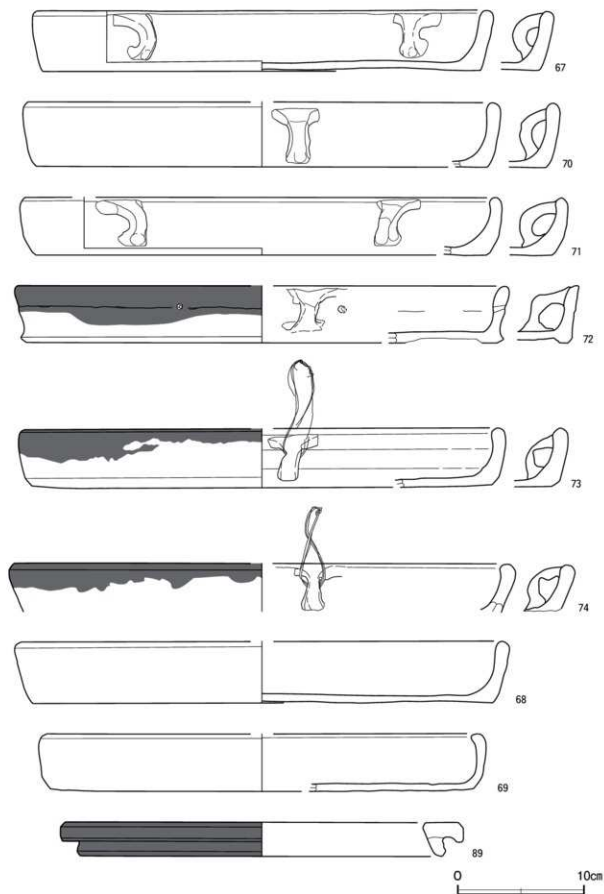
第 341 図 第 70 号土坑出土遺物実測図(1)



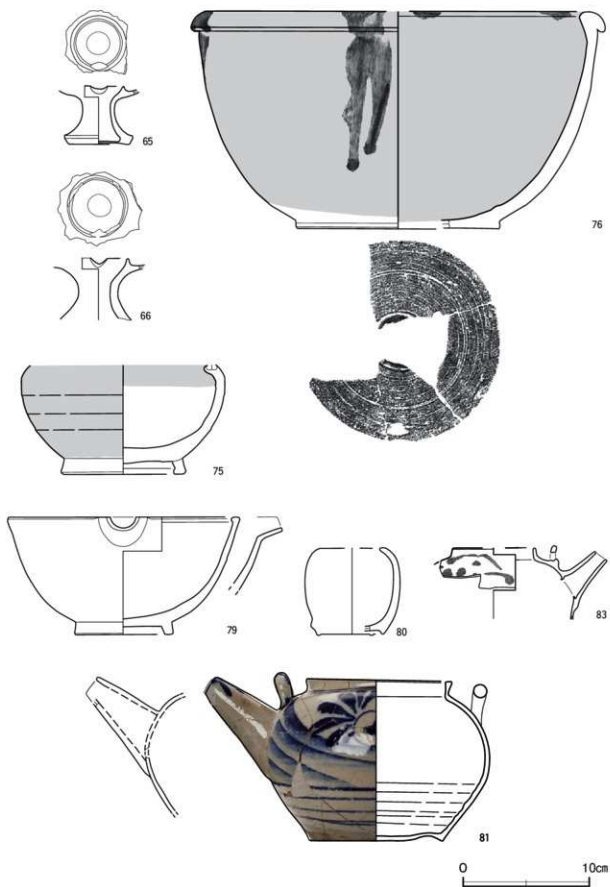
第 342 图 第 70 号土坑出土遗物实测图(2)



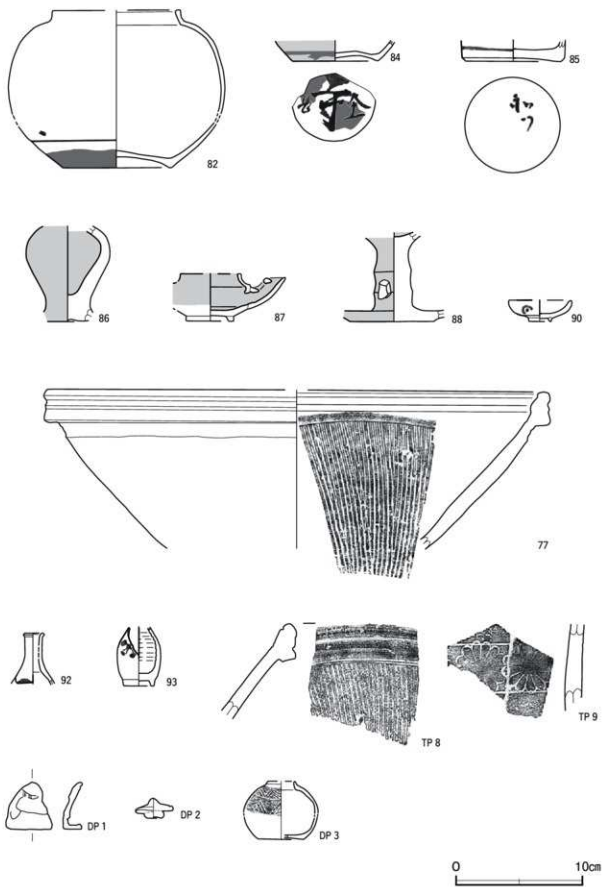
第 343 图 第 70 号土坑出土遺物実測图(3)



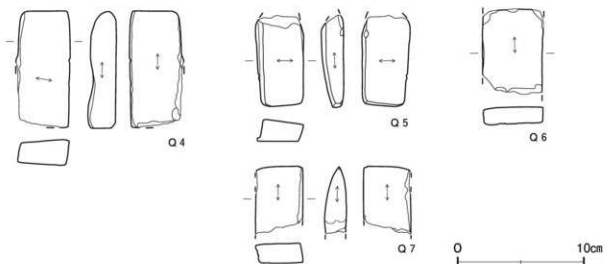
第 344 图 第 70 号土坑出土遗物实测图(4)



第 345 图 第 70 号土坑出土遺物実測图(5)



第 346 图 第 70 号土坑出土遺物実測図(6)



第347図 第70号土坑出土遺物実測図(7)

第70号土坑出土遺物観察表 (第341～347図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	變成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
67	土師質土器	胎体	35.9	4.7	34.6	長石・石美・赤母・赤色粒子	黒褐	普通	体部内・外面ナテ 内耳3ヶ所残存	覆土上・下層	80% PL.77
68	土師質土器	胎体	[38.1]	4.9	[36.4]	長石・石美・赤母	黒褐	普通	体部内・外面ナテ	覆土上層	30% PL.77
69	土師質土器	胎体	[34.0]	4.6	[33.4]	長石・石美	にぶ・橙	普通	体部内・外面ナテ	覆土上・中層	20% PL.77
70	土師質土器	胎体	[36.8]	5.1	[35.6]	長石・石美・赤母	黒褐	普通	体部内・外面ナテ 内耳1ヶ所残存	覆土上・中層	20% PL.77
71	土師質土器	胎体	[37.2]	4.5	[35.6]	長石・石美・赤母	黒褐	普通	体部内・外面ナテ 内耳2ヶ所残存	覆土上層	20% PL.77
72	土師質土器	胎体	[38.4]	4.5	[37.3]	長石・石美	灰黄褐	普通	体部内・外面ナテ 穿孔1ヶ所 内耳1ヶ所残存	覆土上・中層	10%
73	土師質土器	胎体	[37.4]	4.6	[36.4]	長石・石美・赤母・赤色粒子	にぶ・橙	普通	体部内・外面ナテ 網線 内耳1ヶ所残存	覆土上層	5% PL.77
74	土師質土器	胎体	[39.2]	(3.7)	-	長石・石美・赤母	黒褐	普通	体部内・外面ナテ 網線 内耳1ヶ所残存	覆土上層	5% PL.77
89	土師質土器	筒(甕)	3.20	2.7	28.5	長石・石美・赤色粒子	橙	普通	塚付着	覆土中	80%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	総付	釉色	産地	年代	出土位置	備考
14	磁器	小杯	6.4	4.1	2.8	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C ~	覆土上層	80% PL.74
15	磁器	瓶口	5.2	5.5	3.5	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C ~	覆土上層	80% PL.74
16	磁器	瓶口	[7.0]	4.7	[3.4]	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C ~	覆土中層	40%
17	磁器	瓶口	[7.5]	5.8	5.6	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C 中	覆土上層	40% PL.74
18	磁器	小碗	[6.7]	4.7	3.0	緻密	灰白	-	透明	肥前系	19 C ~	覆土中層	60%
19	磁器	小碗	[7.6]	3.8	3.0	緻密	灰白	-	明緑灰 (灰)	瀬戸・美濃系	19 C 後 ~	覆土中	50% PL.73
20	磁器	小碗	[8.8]	4.0	[3.1]	緻密	灰白	色絵染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C ~	覆土上層	40% PL.73
21	磁器	小碗	[7.1]	5.0	[3.6]	緻密	灰黄	染付	透明	肥前系	18 C 後 ~ 19 C 前	覆土上層	40%
22	磁器	小碗	-	(4.5)	3.6	緻密	灰黄褐	染付	透明	肥前系	19 C 中	覆土中層	30% PL.73
23	磁器	小碗	[6.8]	5.6	[3.2]	緻密	灰黄	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C ~	覆土中	30%
24	磁器	小碗	[7.2]	(3.8)	-	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C 中	覆土中層	20%
25	磁器	中碗	10.0	4.8	3.5	緻密	灰白	型紙	透明	瀬戸・美濃系	19 C 後	覆土上層	90% PL.73
26	磁器	中碗	11.1	6.0	4.6	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	19 C 後	覆土中層	70% PL.73
27	磁器	中碗	11.6	4.5	4.2	緻密	灰白	型紙	透明	瀬戸・美濃系	19 C 後	覆土中	70% PL.73
28	磁器	中碗	11.4	4.5	4.0	緻密	灰白	型紙	透明	瀬戸・美濃系	19 C 後	覆土上層	70% PL.75
29	磁器	中碗	9.6	5.3	3.9	緻密	明緑灰	色絵染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C 後	覆土中・下層	60% PL.75

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	輪色	産地	年代	出土位置	備考
30	磁器	中碗	[91]	5.2	[38]	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C中	覆土中層	50%
31	磁器	中碗	[108]	5.4	4.0	緻密	灰白	型紙	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土中	50% PL73
32	磁器	中碗	10.8	5.0	3.8	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土下層	50% PL75
33	磁器	中碗	[96]	4.9	3.2	緻密	灰	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土中・下層	40%
34	磁器	中碗	[112]	6.0	[47]	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	19 C後	覆土中層	40% PL73
35	磁器	中碗	[108]	4.3	[39]	緻密	灰白	コンニャク印付	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土中層	40% PL73
36	磁器	中碗	[102]	4.9	3.7	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C中	覆土上層	30%
37	磁器	中碗	[114]	4.8	[39]	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土中	30% PL73
38	磁器	中碗	[117]	5.2	4.7	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C中～後	覆土中層	30%
39	磁器	中碗	[105]	5.9	3.6	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土中層	20%
40	磁器	広東碗	9.1	5.2	4.1	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C～	覆土上・中層	80% PL74
41	磁器	広東碗	11.5	5.9	6.5	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	19 C～	覆土中・下層	70% PL74
42	磁器	広東碗	-	(4.3)	5.2	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C～	覆土中層	40% PL74
43	磁器	蓋	10.7	33.3	-	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土上・下層	90% PL75
44	磁器	蓋	10.3	2.5	-	緻密	明緑灰	染付	透明	肥前系	18 C後～19 C中	覆土上層	75% PL75
45	磁器	蓋(政重)	[85]	1.6	-	緻密	灰白	型紙	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土上層	40% PL75
46	磁器	政重	[100]	2.0	9.0	緻密	灰白	型紙	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土上層	60%
47	陶器	土瓶蓋	8.4	(2.4)	-	長石・石英	淡黄	三彩	透明	益子	19 C後～	覆土中	60%
48	陶器	土瓶蓋	7.8	3.5	-	長石	黄褐	三彩	透明	益子	19 C後	覆土中・中層	50%
49	磁器	小皿	8.6	2.7	3.7	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	19 C～	覆土中・下層	100%
50	磁器	小皿	10.1	1.8	6.0	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C中	覆土中層	50% PL75
51	磁器	小皿	9.7	1.8	5.3	緻密	灰白	-	透明	瀬戸・美濃系	19 C中	覆土中	50%
52	磁器	小皿	[97]	2.7	3.6	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	19 C後	覆土下層	50%
53	磁器	小皿	13.3	3.9	7.3	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C後～19 C前	覆土中層	70% PL75
54	磁器	中皿	-	[39]	9.0	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	19 C～	覆土中	40% PL76
55	磁器	中皿	[222]	3.0	[152]	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	19 C後	覆土上・中層	20% PL75
56	磁器	中皿	[256]	5.3	[147]	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	19 C後	覆土上層	15% PL76
57	陶器	灯明皿	6.8	1.6	3.0	長石	灰黄	-	暗赤褐(鉄)	瀬戸・美濃系	17 C後～19 C中	覆土下層	100% PL72
58	陶器	灯明皿	9.0	1.8	4.0	長石	灰白	-	赤褐(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C後	覆土上層	90% PL72
59	陶器	灯明皿	9.3	1.9	4.1	長石	灰黄	-	にぶい赤褐(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C後	覆土上層	70% PL72
60	陶器	灯明皿	-	(1.6)	6.7	長石	にぶい褐	-	にぶい赤褐(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C後	覆土上・中層	70%
61	陶器	灯明交皿	9.6	2.1	4.6	長石	灰黄	-	灰赤(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C後	覆土中層	80% PL72
62	陶器	灯明交皿	9.7	2.1	4.3	長石	淡黄	-	にぶい赤褐(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C後	覆土中層	80% PL72
63	陶器	灯明交皿	[103]	2.4	[52]	長石・石英	にぶい黄橙	-	褐(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C後	覆土上層	40%
64	陶器	灯明交皿	5.6	1.7	5.0	長石	にぶい黄橙	-	透明	瀬戸・美濃系	18 C	覆土上層	95% PL72
65	陶器	灯明交皿	-	(4.6)	4.8	長石・石英	灰白	-	透明	信楽系	19 C～	覆土中	90%
66	陶器	灯明交皿	-	(4.9)	-	長石・石英	灰白	-	透明	信楽系	19 C～	覆土中	80%
75	陶器	鉢	-	(8.6)	9.6	長石・石英	にぶい黄橙	-	黒褐(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C前	覆土上・中層	70% PL76
76	陶器	四鉢	[394]	(12.5)	-	長石・石英	赤褐	-	-	堺・明石系	19 C中～	覆土中	5%
78	陶器	片口鉢	13.4	6.4	8.2	長石	橙	-	透明	瀬戸・美濃系	19 C前	覆土上層	80% PL76
79	陶器	片口鉢	18.0	9.3	7.5	長石	灰白	美濃手	透明	瀬戸・美濃系	19 C～	覆土中・下層	70% PL76
80	磁器	香炉	[51]	6.9	[47]	緻密	灰白	染付	透明	瀬戸・美濃系	18 C後～19 C中	覆土上層	50%
81	陶器	土瓶	11.4	13.4	10.4	長石	灰白	染付	透明	肥前系	19 C～	覆土中	50% PL76
82	陶器	土瓶	[100]	[124]	8.6	長石	にぶい黄橙	三彩	透明	益子	19 C中～	覆土上・中層	30%
83	陶器	土瓶	[64]	(5.8)	-	長石	にぶい褐	-	長石軸	瀬戸・美濃系	19 C～	覆土中層	20%
84	陶器	土瓶	-	(1.6)	(6.6)	長石	灰白	(黒書あり)	灰褐(鉄)	瀬戸・美濃系	19 C～	覆土中層	10%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	釉色	産地	年代	出土位置	備考
85	陶器	徳利	-	(1.6)	7.5	長石	淡黄	刷毛目 (磨きあり)	灰白(灰)	瀬戸・美濃系	19 C 中	覆土中層	10%
86	陶器	仏花瓶	-	(7.5)	-	長石・石美	浅黄	-	黒濁(鉄) 長石ちりちり	瀬戸・美濃系	17 C 後 - 18 C 中	覆土中層	30%
87	陶器	カンテラ	[4.8]	3.8	3.7	長石	灰濁	-	灰(灰)	瀬戸・美濃系	19 C 中	覆土中層	40% PL76
88	陶器	香爐	-	(7.0)	6.6	長石	にぶい赤濁	-	暗オリーブ灰 (鉄)	瀬戸・美濃系	18 C -	覆土中層	
90	磁器	紅猪口	[4.8]	1.7	[1.7]	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	19 C 中	覆土中層	50%
92	磁器	小瓶	1.4	(4.0)	-	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C 後	覆土上層	20%
93	磁器	小瓶	-	4.6	2.4	緻密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C 後	覆土上層	30%

番号	種別	器種	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
TP 8	陶器	鉢鉢	長石・石美	灰濁	卑・明石系 18 C 後	覆土中層	
TP 9	土質土器	火鉢	長石・石美	浅黄橙	菊花文	覆土中・下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP 1	人形	3.7	3.7	1.4	7.5	長石・黒色粒子	赤濁	磨滅のため判別不可 大黒。	覆土中	PL78
DP 2	ニナマシ	口径 1.4	器高 1.6	-	-	長石	にぶい橙	拍頭痕 灰濁 産地不明	覆土上層	
DP 3	ニナマシ	口径 [2.0]	器高 [4.6]	底径 [3.6]	-	長石	にぶい黄橙	産地不明	覆土上・中層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 4	紙石	9.3	4.3	2.2	(40.8)	安山岩	紙面3面	覆土中層	
Q 5	紙石	(7.2)	3.8	1.7	(71.4)	砂岩	紙面4面 端部欠損	覆土中層	
Q 6	紙石	(6.7)	4.8	1.4	(70.2)	砂岩	紙面1面 端部欠損	覆土中層	
Q 7	紙石	(5.4)	3.8	1.6	(46.6)	砂岩	紙面3面 端部欠損	覆土下層	

第71号土坑(第348・349図)

位置 調査区中央部のC5g7区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長軸13.52m、短軸4.50mの不定形で、長軸方向はN-16°-Wである。深さは64cmで、底面はほぼ平坦である。壁は緩やかに立ち上がっている。

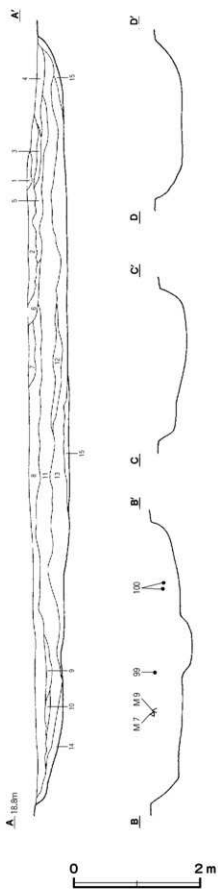
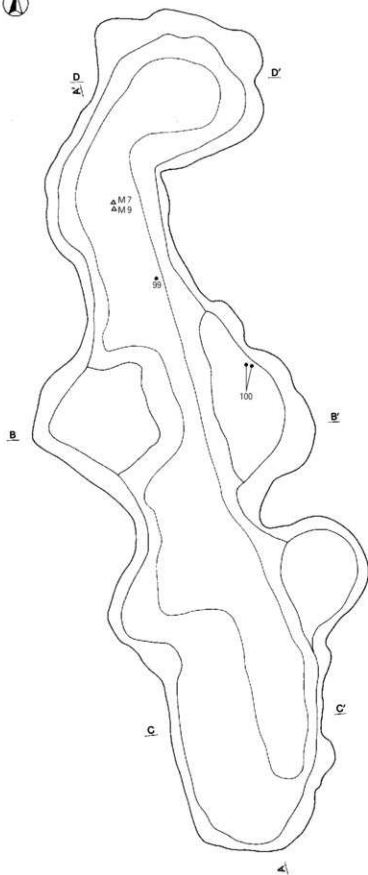
覆土 15層に分層できる。多くの層にロームブロックや炭化物が含まれていることから埋め戻されている。

土層解説

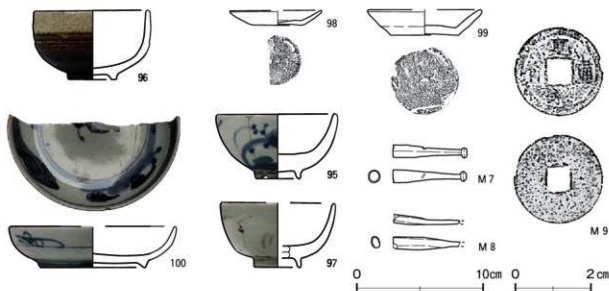
1	明褐色	灰色	砂粒多量、炭化物微量	8	にぶい褐色	ロームブロック中量、炭化粒子少量
2	にぶい橙色	砂粒多量、ロームブロック・炭化物少量、焼土粒子微量	9	暗褐色	ロームブロック少量、炭化粒子微量	
3	黒褐色	炭化物中量、ロームブロック少量、焼土粒子微量	10	褐色	ローム粒子中量、炭化粒子微量	
4	灰褐色	ローム粒子・砂粒中量、炭化粒子微量	11	にぶい褐色	ロームブロック中量、炭化粒子微量	
5	褐色	ローム粒子・砂粒中量、焼土粒子・貝殻少量、炭化粒子微量	12	暗褐色	ロームブロック少量	
6	灰褐色	ローム粒子中量、炭化物・砂粒微量	13	褐色	ロームブロック多量、炭化粒子微量	
7	明褐色	灰色	砂粒中量、炭化粒子微量	14	暗褐色	ロームブロック多量
				15	暗褐色	ローム粒子中量

遺物出土状況 土質土器片34点(小皿7, 塔塔27), 陶器片13点(碗10, 鉢鉢2, 小皿1), 磁器片9点(碗6, 蓋1, 小皿1, 花瓶1), 土製品1点(不明), 石器2点(砥石2), 鉄滓4点(26.4g), 銅製品2点(煙管), 銭貨1点(寛永通寶), 貝殻10点(14.34g)のほか、須恵器片1点(甕)が主に北部、中央部から出土している。100は中央部の覆土中層から出土した破片が接合したものである。99, M7・M9は北部の覆土上層から出土している。

所見 雑器類を投棄した廃棄土坑と考えられる。時期は、出土土器から18世紀後葉に比定できる。



第 348 图 第 71 号土坑实测图



第349図 第71号土坑出土遺物実測図

第71号土坑出土遺物観察表(第349図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
98	土師器土器	小皿	[7.2]	1.2	3.8	長石・石美・赤色粒子	灰白	普通	底部回転赤切り	覆土中	50%
99	土師器土器	小皿	[9.0]	2.0	5.4	長石・石美・赤色粒子	灰白	普通	底部回転赤切り	覆土上層	50%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	釉色	産地	年代	出土位置	備考
95	磁器	中碗	9.2	5.1	3.4	細密	灰白	染付	透明	肥前系	18 C 後	覆土中	90% PL74
96	陶器	中碗	9.0	5.5	3.8	長石・石美	淡黄	-	透明(鉄)	瀬戸・美濃系	18 C 後	覆土中	80%
97	磁器	中碗	[8.8]	5.1	[3.1]	細密	明オリーブ灰	染付	透明	肥前系	18 C 中	覆土中	40% PL74
100	磁器	小皿	[13.1]	3.2	[8.3]	細密	明オリーブ灰	染付	透明	肥前系	18 C 後	覆土中層	50% PL75

番号	器種	長さ	小口径	口径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M7	銅管	5.8	1.0	0.4	(4.2)	銅	吸口部	覆土上層	PL78
M8	銅管	(5.2)	1.0	0.3	(2.7)	銅	吸口部	覆土中	

番号	種別	銭名	径	孔径	重量	材質	初鋳年	特徴	出土位置	備考
M9	銭貨	寛永通寶	2.33	0.61	2.94	銅	1697	新寛永	覆土上層	PL78

第75号土坑(第350図)

位置 調査区中央部のD5d1区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長軸4.50m、短軸2.98mの不定形で、長軸方向はN-63°-Eである。深さは50cmで、底面はほぼ平坦である。壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土 2層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

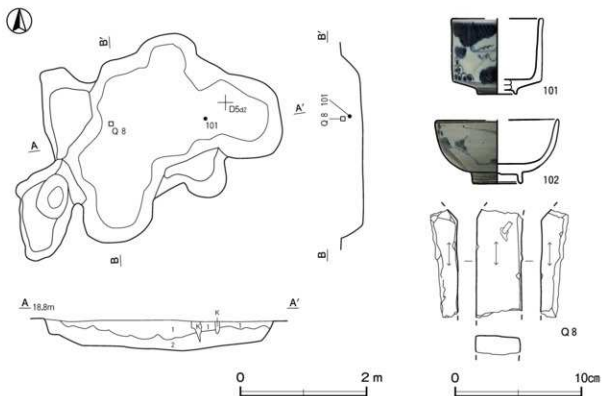
土層解説

1 黒褐色 ロームブロック少量

2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

遺物出土状況 土師質土器片 38 点（焙烙）、陶器片 34 点（碗 20、天目茶碗 3、蓋 2、灯明皿 2、甕 7）、磁器片 5 点（碗 2、皿 2、花瓶 1）、石器 3 点（砥石）、鉄製品 10 点（不明）、鉄滓 2 点（10.92 g）のほか、土師器片 3 点（坏）、須恵器片 1 点（坏）が出土している。101 は東部、Q 8 は中央部の覆土上層から出土している。

所見 雑器類を投棄した廃棄土坑と考えられる。時期は、出土土器から 18 世紀後葉に比定できる。



第 350 図 第 75 号土坑・出土遺物実測図

第 75 号土坑出土遺物観察表（第 350 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	特色	産地	年代	出土位置	備考
101	磁器	小碗	[70]	6.0	[30]	細密	明緑灰	染付	透明	肥前系	18 C 後	覆土上層	40% PL74
102	磁器	中碗	[96]	5.0	3.7	細密	明緑灰	染付	透明	肥前系	18 C	覆土中	50% PL74

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
Q 8	砥石	(8.5)	3.6	(1.5)	(87.9)	砂岩	砥面 3 面	端部欠損	覆土上層	

第 83 号土坑（第 351 図）

位置 調査区西部の C 5 g4 区、標高 18 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長軸 2.85 m、短軸 1.60 m の不整隅丸長方形で、長軸方向は N - 84° - E である。深さは 21cm で、底面は平坦である。壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土 2 層に分層できる。不規則な堆積状況から埋め戻されている。

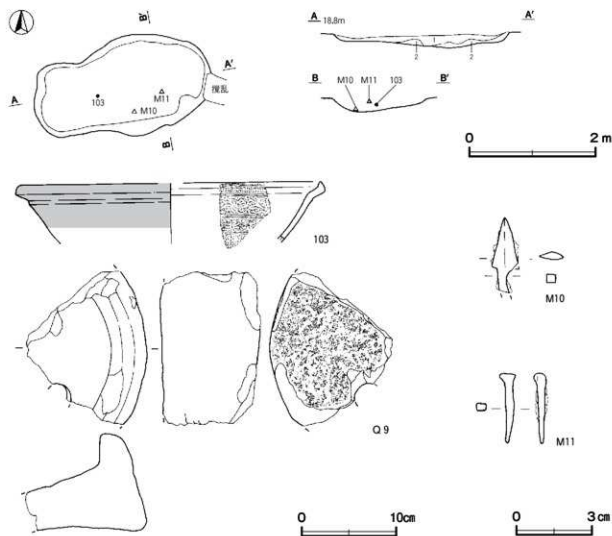
土層解説

1 褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量

2 明褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 土師質土器片2点(焙烙), 陶器片3点(碗1, 甕1, 鉢1), 磁器片1点(碗), 石器3点(石臼1, 砥石2), 鉄製品13点(鉄1, 釘2, 不明10)のほか, 土師器1点(甕)が出土している。M10は南部の覆土下層, 103は中央部, M11は東部の覆土中層, Q9は覆土中から出土している。

所見 時期は, 出土土器から18世紀前葉以降に比定できる。性格は不明である。



第351図 第83号土坑・出土遺物実測図

第83号土坑出土遺物観察表(第351図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	釉色	産地	年代	出土位置	備考
103	陶器	大鉢	[31.6]	(6.2)	-	長石	暗灰黄	三島手	赤褐(鉄)	肥前系	18C前	覆土中層	5%
番号	器種	径	孔径	高さ	重量	材質	特徴				出土位置	備考	
Q9	石臼	[25.8]	(2.7)	10.1	(1612)	安山岩	供給口一部残存	主溝・副溝磨滅				覆土中	
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴				出土位置	備考	
M10	鉄	(3.0)	(1.0)	0.3	(0.99)	鉄	有茎鐵					覆土下層	
M11	釘	2.8	0.6	0.4	0.8	鉄	断面長方形					覆土中層	

表 35 江戸時代土坑一覧表

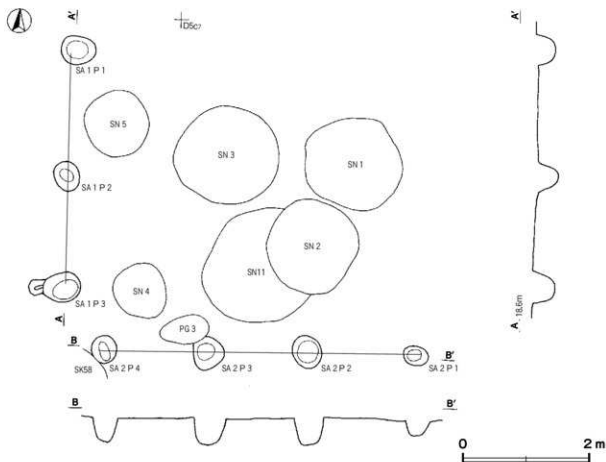
番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	傾 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
5	D 5 c7	N - 80° - W	楕円形	4.38 × 3.15	46	平坦	外傾	人為	土師質土器片, 陶器片, 磁器片, 石器, 鉄製品, 鉄滓, 銅製品, 土師質土器片, 陶器片, 鉄製品, 鉄滓	本跡→SN 6, SK 4
6	D 5 d5	N - 24° - W	楕円形	1.72 × 1.52	33	平坦	外傾	人為	土師質土器片, 陶器片, 鉄製品, 鉄滓	SN 8→本跡
70	D 4 c6	N - 4° - W	隅丸長方形	5.77 × 1.81	45	平坦	縦斜	人為	土師質土器片, 陶器片, 磁器片, 土器片, 鉄製品, 鉄滓, 枕瓦, ガラコ立片	本跡→SK119・120
71	C 5 g7	N - 16° - W	不定形	13.52 × 4.50	64	平坦	縦斜	人為	土師質土器片, 陶器片, 磁器片, 土器片, 石器, 鉄滓, 銅製品, 鉄滓, 貝殻	
75	D 5 d1	N - 63° - E	不定形	4.50 × 2.98	50	平坦	縦斜	人為	土師質土器片, 陶器片, 磁器片, 石器, 鉄製品, 鉄滓	
83	C 5 g4	N - 84° - E	不規則五角形	2.85 × 1.60	21	平坦	縦斜	人為	土師質土器片, 陶器片, 磁器片, 石器, 鉄製品	

(5) 柱穴列

第 1 号柱穴列 (第 352 図)

位置 調査区中央部の D 5 c6 区, 標高 18 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と構造 南北方向 360 m の間に配列された柱穴 3 か所を確認した。軸方向は N - 2° - E で, 柱間寸法は, 1.80 m (6 尺) である。柱筋はほぼ揃っている。



第 352 図 第 1・2 号柱穴列実測図

柱穴 3か所。平面形は楕円形で、長径48～81cm、短径41～46cmである。深さは28～35cmで、掘方の断面はU字状である。

所見 時期は、伴う遺物が出土していないため特定は困難であるが、隣接する粘土貼土坑と同時期に機能していたと推測すると17世紀後葉以降と考えられる。

第2号柱穴列 (第352図)

位置 調査区中央部のD5d7区、標高18mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第58号土坑、第3号ピット群に掘り込まれている。

規模と構造 東西方向5.10mの間に配列された柱穴4か所を確認した。軸方向はN-88°-Wで、柱間寸法は、P1から1.80m(6尺)、1.50m(5尺)、1.80m(6尺)である。柱筋はほぼ揃っている。

柱穴 4か所。平面形は円形または楕円形で、長径40～53cm、短径30～46cmである。深さは22～40cmで、掘方の断面はU字状である。

所見 時期は、伴う遺物が出土していないため特定は困難であるが、隣接する粘土貼土坑と同時期に機能していたと推測すると17世紀後葉以降と考えられる。

表36 江戸時代柱穴列一覧表

番号	位置	主軸方向	長さ(m)	柱間(m)	柱穴				主な出土遺物	備考
					柱穴数	平面形	長径(cm)	短径(cm)		
1	D5c6	N-2°-E	3.60	1.80	3	楕円形	48～81	41～46	28～35	
2	D5d7	N-88°-W	5.10	1.50～1.80	4	円形 楕円形	40～53	30～46	22～40	48番→SK38、PG3

4 その他の遺構と遺物

今回の調査で、時期や性格が明らかでない堅穴遺構1基、土坑117基、溝跡1条、ピット群4か所を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

(1) 堅穴遺構

第1号堅穴遺構 (第353図)

位置 調査区西部のC5f2区、標高19mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第2号ピット群と重複しているが、新旧関係は不明である。

規模と形状 長軸2.09m、短軸2.07mの隅丸方形で、長軸方向はN-2°-Wである。深さは33cmで、底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。底面にピット状の窪みを4か所確認した。

ピット 4か所。平面形は楕円形で、長径38～42cm、短径30～36cmで、深さ6～12cmである。断面は浅いU字状をしている。

土層解説 (各ピット共通)

- | | | | |
|-------|--------------------------------|-------|---------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子・粘土粒子少量、焼土
粒子微量 | 2 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| | | 3 暗褐色 | ローム粒子・粘土粒子少量、炭化粒子微量 |

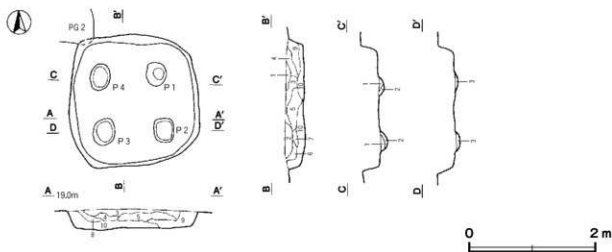
覆土 10層に分層できる。多くの層に粘土ブロックや粘土粒子が含まれ、不規則な堆積状況であることから埋め戻されている。

土層解説

- | | | | |
|---------|-----------------------|----------|--------------------------|
| 1 黒 褐色 | 炭化粒子少量、焼土粒子微量 | 7 暗 褐色 | ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子少量、炭化粒子微量 |
| 2 暗 赤褐色 | ローム粒子少量、粘土ブロック・炭化粒子微量 | 8 暗 褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子・粘土粒子微量 |
| 3 黒 褐色 | ローム粒子・炭化粒子少量、粘土粒子微量 | 9 暗 褐色 | ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子少量 |
| 4 暗 褐色 | ローム粒子・炭化粒子少量、粘土粒子微量 | 10 暗 赤褐色 | 焼土粒子少量、ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 5 暗 赤褐色 | 焼土粒子中量、ローム粒子・炭化粒子少量 | | |
| 6 暗 褐色 | ローム粒子中量、粘土粒子少量 | | |

遺物出土状況 土師質土器片10点(小皿1, 培烙8, 播鉢1), 陶器片4点(碗3, 播鉢1), 鉄滓5点(128.1g), 銅製品1点(煙管), 石器2点(砥石)のほか, 土師器片5点(坏)が出土している。いずれも細片のため, 図示できない。

所見 性格, 時期ともに不明である。

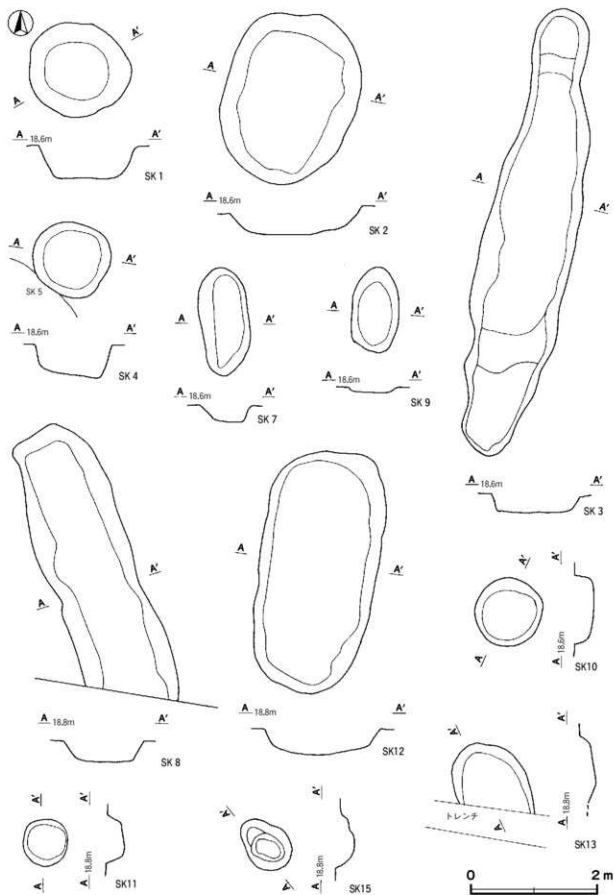


第353図 第1号竪穴遺構実測図

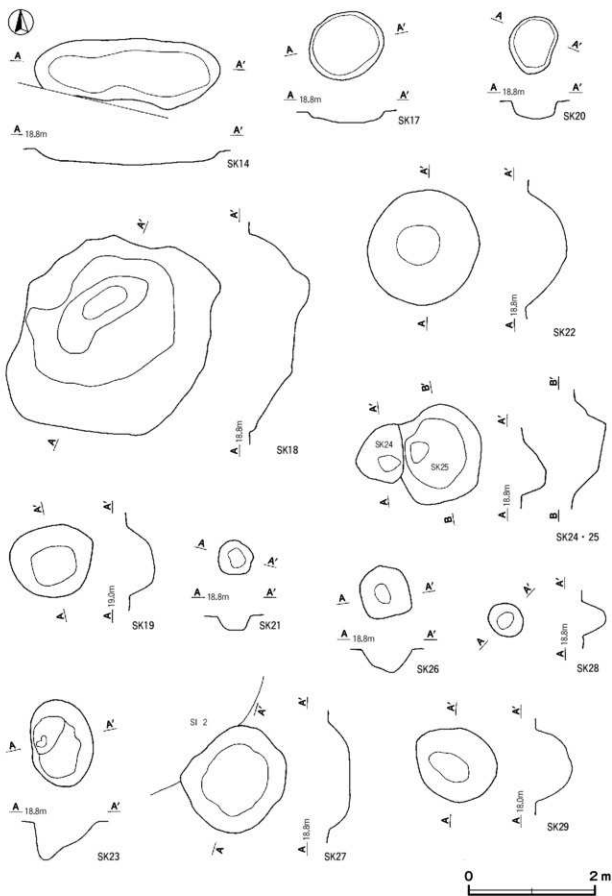
(2) 土坑

表37 その他の土坑一覧表

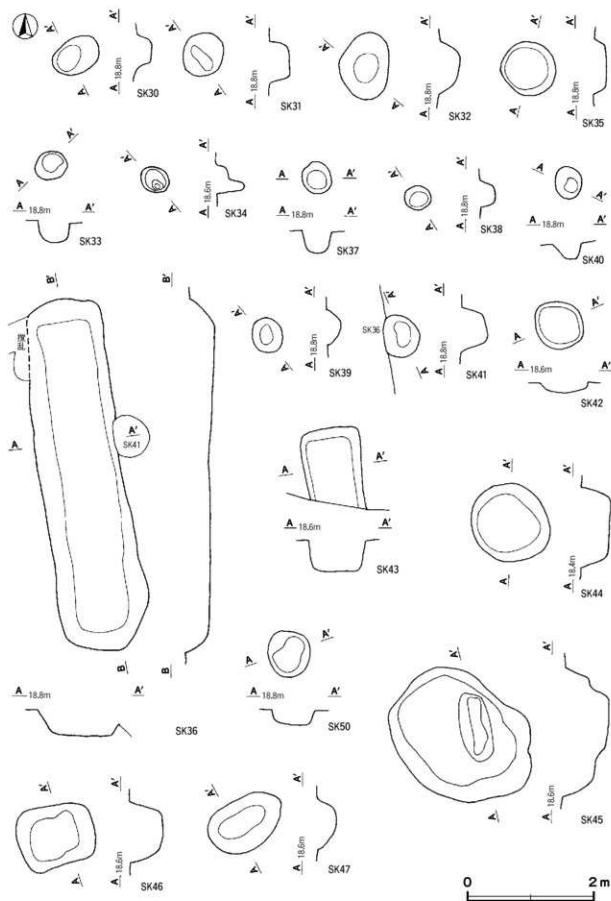
番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底面	傾 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
1	D5c0	N-85°-W	楕円形	1.63 × 1.49	53	平坦	外傾	人為	土師質土器片, 陶器片	
2	D5e8	N-18°-E	楕円形	2.80 × 2.10	40	面状	外傾	人為		
3	D5d8	N-10°-E	楕円形	7.22 × 1.49	33	平坦	概斜	人為	土師質土器片, 陶器片, 磁器片, 土製品, 石器	
4	D5e7	-	円形	1.25 × 1.25	52	傾斜	外傾	人為	土師質土器片, 陶器片, 銅製品	SK 5→本跡
7	D5d5	N-0°	楕円形	1.73 × 0.79	25	平坦	外傾	人為	磁器片	
8	D5d4	N-20°-W	[楕円形]	(4.41) × 1.43	34	平坦	外傾	人為		
9	D5e5	N-8°-E	楕円形	1.29 × 0.76	10	平坦	概斜	自然	土師器片, 土師質土器片, 陶器片	
10	D5c6	-	円形	1.09 × 1.08	31	平坦	外傾	自然		
11	D5d4	-	円形	0.77 × 0.74	28	平坦	外傾	人為		
12	D6e2	N-7°-E	楕円形	3.85 × 1.87	42	面状	外傾	人為	土師器片, 須恵器片	
13	D6e6	N-21°-W	[楕円形]	(1.31) × 1.16	20	面状	外傾	人為		



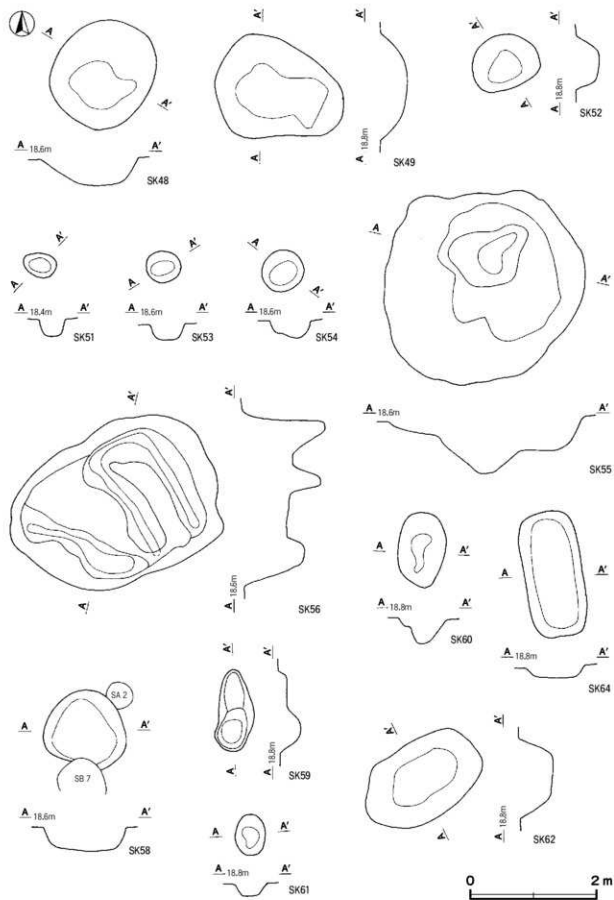
第 354 図 その他の土坑実測図(1)



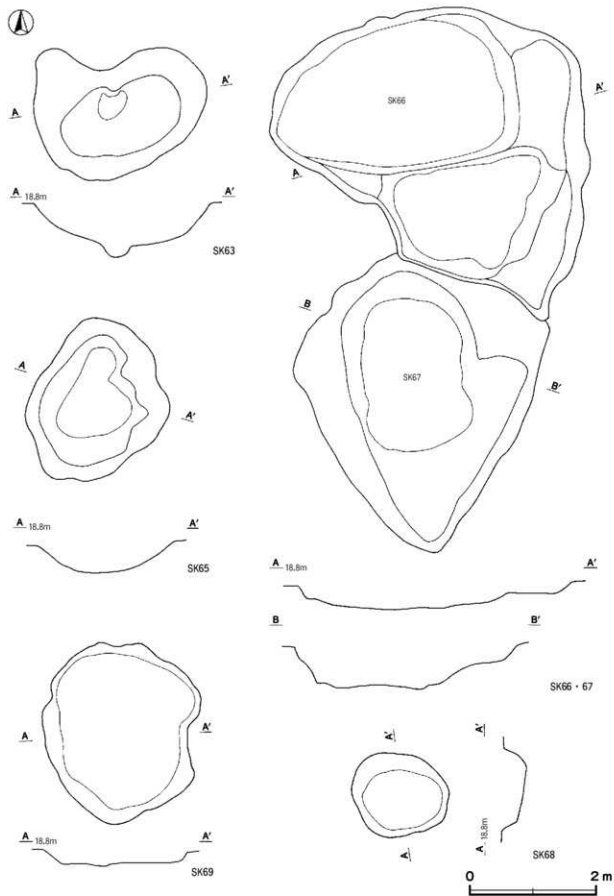
第 355 図 その他の土坑実測図(2)



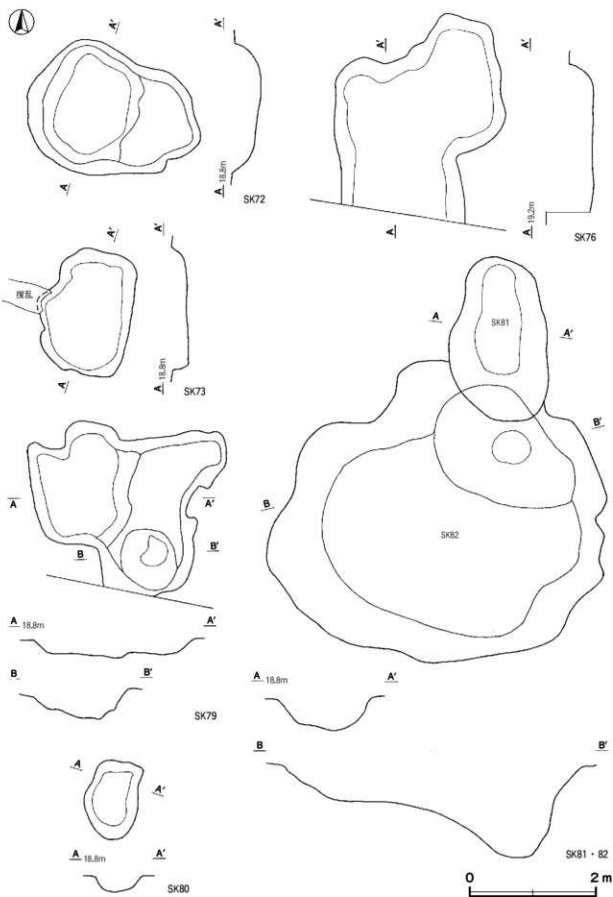
第 356 図 その他の土坑実測図(3)



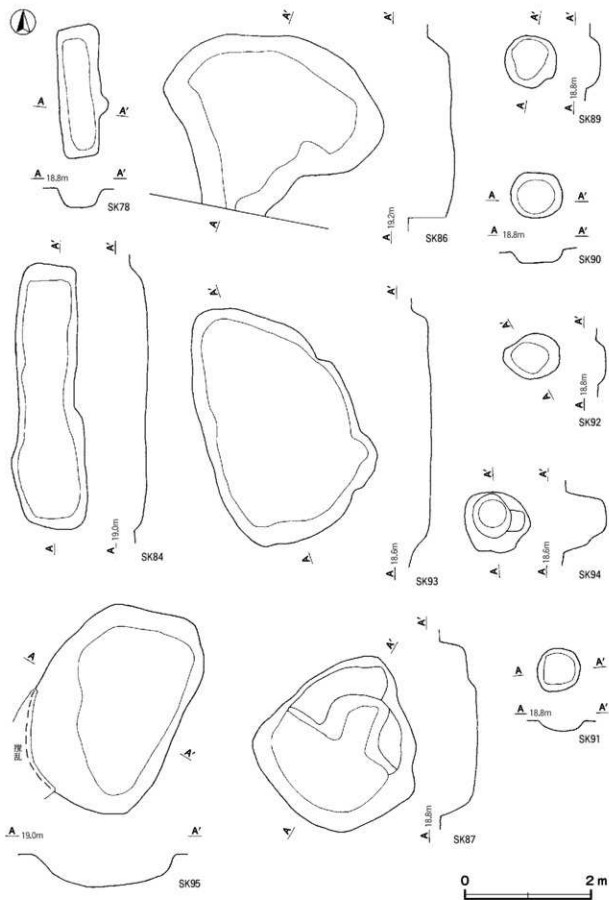
第 357 図 その他の土坑実測図(4)



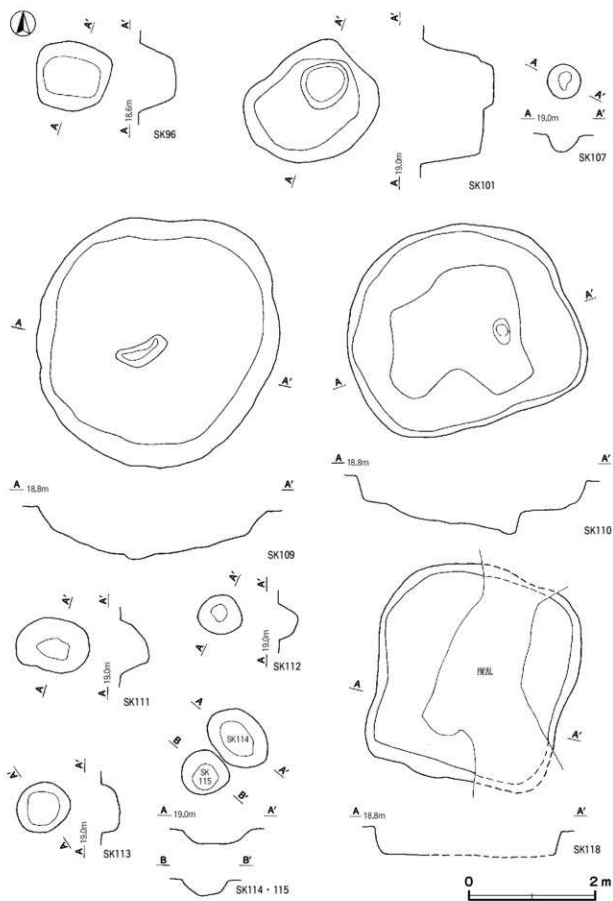
第 358 図 その他の土坑実測図(5)



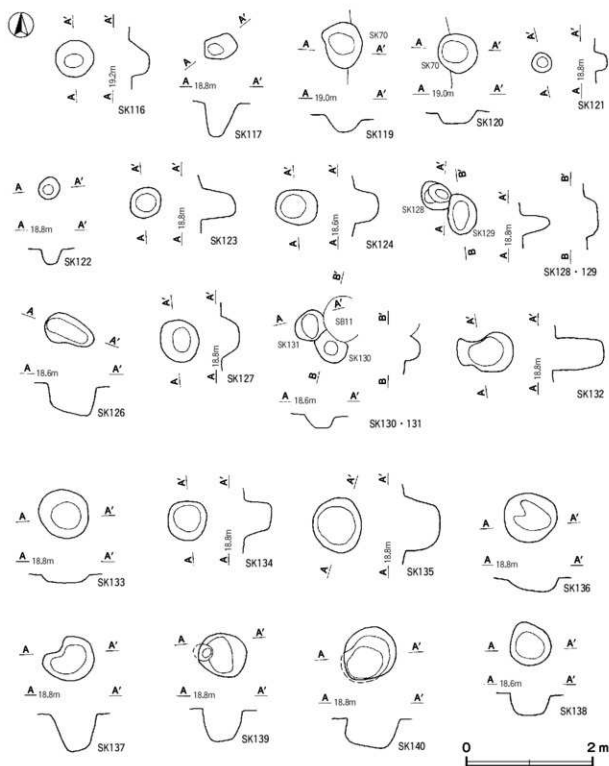
第 359 図 その他の土坑実測図(6)



第 360 図 その他の土坑実測図(7)



第 361 図 その他の土坑実測図8)



第 362 図 その他の土坑実測図(9)

番号	位置	長径方向	平面形	規		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
14	D 6 1b	N-90°	楕円形	2.96 × 1.09	24	平坦	縦斜	人為		
15	D 6 e8	N-43°-W	楕円形	0.93 × 0.70	28	有段	外傾	人為		
17	D 7 e3	N-75°-E	楕円形	1.25 × 1.06	17	平坦	縦斜	自然	縄文土器片	
18	D 7 f3	N-80°-E	不整楕円形	3.75 × 2.98	91	皿状	外傾	人為	土師器片、陶器片	
19	D 7 b5	N-64°-E	楕円形	1.34 × 1.12	41	皿状	外傾	人為		
20	D 7 c1	N-14°-E	楕円形	0.92 × 0.80	29	皿状	直立	人為		
21	D 6 a8	-	円形	0.59 × 0.57	21	平坦	外傾	人為	土師質土器片、陶器片	
22	D 7 d1	N-40°-E	楕円形	1.87 × 1.70	64	皿状	縦斜	人為	土師質土器片、鉄製品	
23	D 7 b1	N-14°-W	楕円形	1.40 × 1.00	60	有段	外傾 直立	人為		
24	D 7 c1	N-20°-E	楕円形	0.92 × 0.80	36	平坦	縦斜	人為		SK25 → 本跡
25	D 7 c1	N-23°-E	[不整楕円形]	1.52 × (1.23)	50	皿状	外傾 縦斜	人為	土師器片	本跡 → SK24
26	D 7 d2	-	円形	0.90 × 0.90	38	皿状	外傾	人為		
37	C 6 j5	N-47°-E	隅丸長方形	1.63 × 1.42	34	平坦	縦斜	自然	土師器片	SI 2 → 本跡
28	D 6 d7	N-40°-W	楕円形	0.58 × 0.50	36	皿状	外傾	人為		
29	D 6 a0	N-50°-W	楕円形	1.38 × 1.14	58	皿状	縦斜	人為		
30	D 6 a7	N-50°-E	楕円形	0.77 × 0.56	23	平坦	外傾	人為		
31	D 6 b8	N-38°-E	楕円形	0.73 × 0.65	32	平坦	直立 縦斜	人為		
32	D 7 d2	N-12°-E	楕円形	1.06 × 0.80	33	平坦	縦斜	人為		
33	D 7 d1	N-70°-E	楕円形	0.53 × 0.44	31	皿状	外傾	人為		
34	D 6 d9	N-52°-W	楕円形	0.49 × 0.40	45	有段	外傾	人為		
35	D 6 b5	-	円形	0.86 × 0.83	19	平坦	外傾	人為	土師器片	
36	C 6 i2	N-8°-W	隅丸長方形	5.70 × 1.43	43	平坦	外傾	自然 人為	土師器片、磁器片、鉄製品	本跡 → SK41
37	D 6 g4	-	円形	0.51 × 0.50	35	皿状	外傾	人為		
38	D 6 f1	N-78°-W	楕円形	0.44 × 0.38	24	平坦	外傾	人為		
39	D 6 f3	N-5°-E	楕円形	0.56 × 0.50	22	皿状	外傾	人為		
40	D 6 e4	N-24°-W	楕円形	0.51 × 0.44	24	平坦	外傾	人為		
41	C 6 i2	N-23°-W	楕円形	0.68 × 0.55	41	平坦	外傾	自然		SK36 → 本跡
42	D 3 a7	N-58°-W	楕円形	0.84 × 0.76	17	皿状	外傾	自然		
43	D 3 b6	N-7°-W	[長方形]	(1.22) × 0.93	49	平坦	外傾	人為	土師質土器片、鉄製品	
44	C 3 8	N-43°-W	楕円形	1.31 × 1.20	45	平坦	外傾	人為	土師器片、鉄製品	
45	C 4 h2	N-46°-W	楕円形	2.41 × 1.80	71	有段	外傾	人為		
46	C 4 h2	N-76°-E	隅丸長方形	1.25 × 0.96	52	皿状	外傾	自然	土師器片、土師質土器片、陶器片、磁器片、鉄製品	
47	C 3 8	N-64°-E	楕円形	1.27 × 0.80	29	皿状	外傾 縦斜	人為		
48	D 3 a0	N-33°-E	楕円形	1.78 × 1.55	43	皿状	縦斜	人為		
49	C 4 j3	N-68°-W	楕円形	2.13 × 1.62	42	皿状	縦斜	人為		
50	C 4 e2	N-20°-W	楕円形	0.77 × 0.67	24	平坦	外傾	人為		
51	C 3 e6	N-67°-W	楕円形	0.50 × 0.39	26	平坦	外傾	人為		
52	C 4 i6	N-70°-E	楕円形	1.09 × 0.86	35	平坦	外傾	人為		
53	C 3 d8	N-68°-E	楕円形	0.55 × 0.50	25	平坦	外傾	自然		
54	C 3 c9	N-37°-E	楕円形	0.68 × 0.63	27	傾斜	外傾	人為		
55	C 3 e0	N-68°-E	不整楕円形	3.30 × 2.98	85	有段	縦斜	自然		
56	C 3 e0	N-60°-E	不整楕円形	3.44 × 2.47	134	凹凸	外傾	人為		
58	D 5 d6	-	円形	1.29 × 1.25	38	平坦	外傾	人為	鉄製品	SA 3 → 本跡 → SB 7
59	C 4 e9	N-6°-E	不整楕円形	1.31 × 0.58	35	有段	外傾	人為	土師器片	
60	C 4 f9	N-6°-E	楕円形	1.18 × 0.74	40	皿状	縦斜	人為	土師器片	

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
61	C 4g8	N-4°-W	精円形	0.64 × 0.47	20	平坦	緩斜	人為		
62	C 4f6	N-54°-E	精円形	1.99 × 1.23	55	平坦	外傾	人為		
63	C 4d6	N-56°-E	不定形	2.75 × 2.32	87	皿状	緩斜	人為	土師器片	
64	C 5g1	N-8°-W	隅丸長方形	1.98 × 0.94	20	平坦	緩斜	人為	縄文土器片	
65	D 4a1	N-18°-E	不整精円形	2.65 × 2.31	45	皿状	緩斜	人為	土師器片、陶器片	
66	C 4f8	N-29°-W	不定形	5.53 × 4.35	63	平坦	緩斜	人為	土師器片、土師質土器片、陶器片、鉄製品	SK67と併旧不明
67	C 4f8	N-6°-W	不定形	4.82 × 4.15	65	平坦	緩斜	人為		SK66と併旧不明
68	D 6e6	N-78°-E	精円形	1.56 × 1.34	36	平坦	緩斜	人為		
69	C 4g9	N-4°-W	不整精円形	2.89 × 2.52	25	平坦	緩斜	人為	土師器片、組器片	
72	C 4g9	N-78°-W	不整精円形	2.84 × 2.15	46	皿状	緩斜	人為	土師質土器片	
73	C 5g6	N-10°-E	不整隅丸長方形	1.96 × 1.52	27	平坦	外傾	人為		
76	D 5d1	N-23°-E	不定形	3.32 × 2.68	51	平坦	外傾	人為	土師器片、土師質土器片、陶器片、鉄製品	
78	D 5c1	N-6°-W	長方形	2.10 × 0.77	25	平坦	外傾	人為	土師質土器片、陶器片	
79	D 4d0	N-81°-E	不定形	3.15 × 2.50	42	平坦	緩斜	人為		
80	D 4c0	N-13°-E	不整精円形	1.25 × 0.87	29	皿状	緩斜	人為	須恵器片	
81	D 4c0	N-3°-E	精円形	2.55 × 1.58	53	皿状	緩斜	人為	土師質土器片、陶器片	SK82→本跡
82	D 4c9	N-81°-E	不整精円形	5.52 × 4.80	148	皿状	緩斜	人為	縄文土器片、土師器片、須恵器片、土師質土器片、陶器片、石器	本跡→SK81
84	C 5d3	N-2°-W	長方形	4.20 × 1.15	27	平坦	緩斜	人為	須恵器片、土師質土器片、陶器片、組器片、鉄製品	
86	D 4d7	N-17°-E	不定形	3.58 × (290)	54	平坦	緩斜	人為	土師器片、須恵器片、土師質土器片、陶器片	
87	D 4a6	N-20°-E	不定形	2.83 × 2.67	61	平坦	外傾	人為		
89	C 5b4	-	円形	0.83 × 0.81	18	平坦	緩斜	人為		
90	C 5b3	-	円形	0.80 × 0.73	20	平坦	外傾	人為		
91	C 5b4	-	円形	0.70 × 0.66	10	皿状	緩斜	人為		
92	C 5b5	N-84°-W	精円形	0.89 × 0.70	15	平坦	緩斜	人為		
93	D 5b8	N-29°-W	不定形	3.97 × 2.42	30	平坦	緩斜	自然 人為	土師器片、陶器片、鉄製品	
94	D 5b7	N-82°-W	精円形	1.08 × 0.97	65	平坦	外傾	人為	土師質土器片、石器	
95	C 4f0	N-28°-E	隅丸長方形	3.31 × 2.30	61	皿状	緩斜	人為	土師器片	
96	D 6a1	N-78°-W	方形	1.17 × 1.10	56	平坦	外傾	自然	土師器片	
101	D 7f9	N-53°-E	隅丸長方形	2.06 × 1.74	110	有段	外傾	人為	土師器片、須恵器片、土師質土器片、組器片	
107	D 8e3	-	円形	5.20 × 5.10	27	皿状	外傾	人為		
109	E 8a1	-	円形	4.17 × 3.84	90	皿状	緩斜	人為	土師器片、鉄滓	
110	D 7f0	N-72°-E	精円形	3.59 × 3.18	86	有段	外傾	人為	土師器片	
111	D 7b7	N-90°	精円形	1.17 × 0.85	46	皿状	外傾	人為		
112	D 7b6	-	円形	0.67 × 0.63	30	皿状	外傾	人為		
113	D 7d5	N-68°-E	精円形	0.86 × 0.77	32	傾斜	外傾	人為		
114	D 7c6	N-44°-W	精円形	1.09 × 0.80	21	平坦	緩斜	人為		
115	D 7c6	-	円形	0.76 × 0.72	25	皿状	緩斜	人為		
116	D 7f9	-	円形	0.63 × 0.58	30	皿状	緩斜	人為		
117	E 7b0	N-63°-E	精円形	0.53 × 0.35	52	皿状	外傾	自然	土師器片	
118	D 8j3	N-15°-E	隅丸長方形	3.44 × 3.10	42	平坦	外傾	人為	土師器片、須恵器片	
119	D 4c6	N-3°-W	不整精円形	0.74 × 0.60	26	皿状	緩斜	人為		SK70→本跡
120	D 4c6	-	円形	0.63 × 0.61	20	平坦	緩斜	人為		SK70→本跡
121	D 4a8	-	円形	0.30 × 0.30	18	平坦	直立	人為		
122	D 4a0	-	円形	0.25 × 0.32	26	平坦	外傾	人為		
123	C 5j1	N-39°-E	精円形	0.53 × 0.48	54	皿状	直立	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
124	D5a1	N-87°-W	楕円形	0.65 × 0.55	36	皿状	外傾	人為		
126	D5e5	N-62°-W	楕円形	0.80 × 0.48	47	楕斜	直立	人為		
127	C5i2	N-10°-W	楕円形	0.77 × 0.59	27	皿状	外傾	人為		
128	C5i2	N-77°-W	[楕円形]	(0.46) × 0.41	44	皿状	外傾	人為		本跡→SK129
129	C5i2	N-3°-W	楕円形	0.62 × 0.46	20	平坦	楕斜	人為		SK128→本跡
130	D5a5	N-40°-W	[楕円形]	(0.53) × (0.42)	22	平坦	外傾	人為		本跡→SB11 SK131と重出不明
131	D5a5	-	[円形] [楕円形]	(0.50) × (0.47)	18	平坦	外傾	人為		本跡→SB11 SK130と重出不明
132	C5j4	N-4°-E	[不整形円形]	0.91 × 0.64	78	平坦	直立 外傾	人為		
133	C5i4	-	円形	0.79 × 0.77	10	平坦	楕斜	人為		
134	C5i4	-	円形	0.66 × 0.64	43	平坦	外傾	人為		
135	C5i3	N-19°-W	楕円形	0.88 × 0.78	58	平坦	外傾	人為		
136	C5i3	N-81°-E	楕円形	0.86 × 0.78	18	平坦	楕斜	人為		
137	C5j2	N-53°-E	不整形円形	0.79 × 0.64	59	平坦	外傾	人為		
138	C5j1	-	円形	0.70 × 0.65	31	平坦	外傾	人為		
139	C5j1	N-61°-W	楕円形	0.78 × 0.69	50	皿状	外傾	人為		
140	C5i2	N-43°-E	楕円形	0.91 × 0.79	46	楕斜	外傾	人為		

(3) 溝跡

第1号溝跡 (第363図)

位置 調査区中央部のC6h3～D6f1区、標高19mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第2号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状 南北両端部が調査区域外に延びているため、長さは34.0mしか確認できなかった。D6f1区から北西方向(N-18°-E)へ直線的に延びており、上幅0.94～2.52m、下幅0.25～0.67m、深さ44～96cmである。底面は皿状で、壁は外傾して立ち上がっている。底面の標高は北端部・中央部・南端部ともに17.9mで、確認できた範囲での高低差は見られなかった。

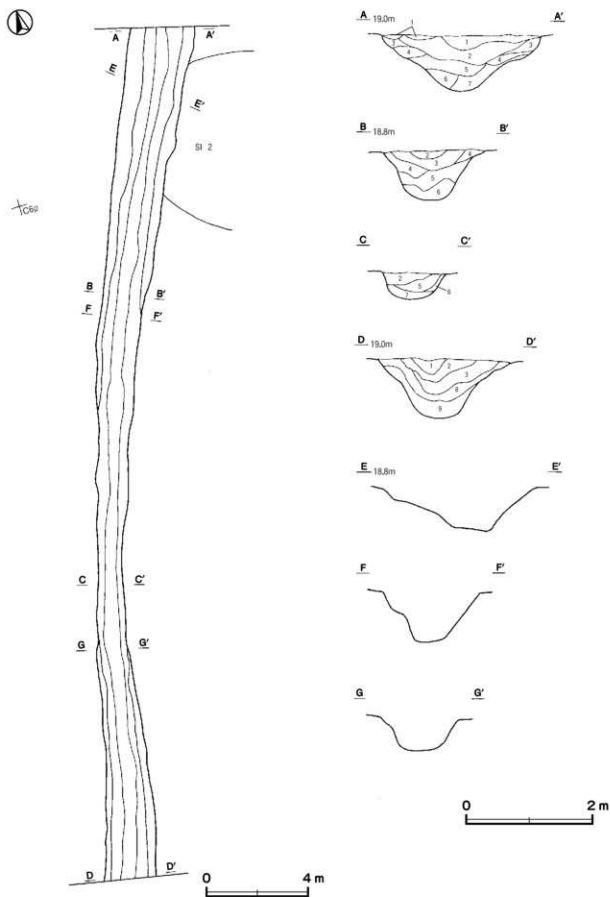
覆土 9層に分層される。レンズ状に堆積をしているが、各層にロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

土層解説

1 極暗褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量	6 灰褐色	ロームブロック中量、炭化粒子微量
2 黒色	ロームブロック少量、炭化粒子微量	7 褐色	ロームブロック多量
3 暗褐色	ロームブロック少量	8 暗褐色	ロームブロック中量、炭化粒子微量
4 暗褐色	ロームブロック中量	9 暗褐色	ロームブロック多量
5 極暗褐色	ロームブロック少量		

遺物出土状況 鉄製品6点(鎌1、刀子2、鎌3)のほか、縄文土器片9点(深鉢)、土師器片27点(甕)が出土している。いずれも細片のため、図示できない。

所見 江戸時代の掘立柱建物群が西方約20mに位置していることから、境界を示す溝の可能性がある。時期は、不明である。



第 363 圖 第 1 号溝跡実測図

(4) ビット群

第1号ビット群 (付図2)

位置 調査区東部 (D7d6～D7e8区) 標高18mほどの平坦な台地上の東西8m、南北6mの範囲から、ビット10か所を確認した。

規模 平面形は長径44～69cm、短径40～62cmの円形または楕円形で、深さは19～36cmである。ビットの分布状況から建物跡は想定できない。

所見 時期、性格ともに不明である。

表38 第1号ビット群ビット一覧表

番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	D7d8	楕円形	47	42	20	5	D7e7	円形	59	55	22	9	D7e6	円形	45	41	27
2	D7e8	楕円形	53	46	24	6	D7e7	楕円形	48	43	21	10	D7d6	楕円形	55	40	22
3	D7e8	円形	44	42	19	7	D7e7	楕円形	69	62	24						
4	D7e7	楕円形	50	44	20	8	D7e6	円形	49	48	36						

第2号ビット群 (付図2)

位置 調査区中央部 (C5f1～D5a7区) 標高18mほどの平坦な台地上の東西25m、南北20mの範囲から、ビット36か所を確認した。

規模 平面形は長径(軸)27～86cm、短径(軸)20～83cmの円形、楕円形または方形、長方形で、深さは9～67cmである。ビットの分布状況から建物跡は想定できない。

所見 時期、性格ともに不明である。

表39 第2号ビット群ビット一覧表

番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径(軸)	短径(軸)	深さ				長径(軸)	短径(軸)	深さ				長径(軸)	短径(軸)	深さ
1	C5f2	楕円形	73	57	59	13	C5f3	楕円形	61	52	30	25	C5f3	長方形	51	45	35
2	C5f2	楕円形	29	26	31	14	C5f5	円形	27	26	33	26	C5f6	円形	32	32	29
3	C5g2	楕円形	48	36	63	15	C5f6	楕円形	27	20	50	27	C5f6	方形	38	38	30
4	C5f1	楕円形	54	46	57	16	C5f3	楕円形	43	38	29	28	C5f2	楕円形	35	31	23
5	C5f1	楕円形	52	40	56	17	C5f5	円形	30	30	28	29	C5f2	楕円形	40	34	58
6	C5g3	楕円形	62	38	35	18	C5f4	楕円形	38	30	33	30	C5f1	円形	27	26	23
7	C5b4	楕円形	49	32	67	19	D5a7	円形	27	26	31	31	C5f6	[円形]	43	(40)	45
8	C5f2	円形	53	52	56	20	D5a7	円形	86	83	19	32	C5f5	楕円形	78	53	53
9	C5b2	方形	37	34	28	21	C5f4	方形	47	40	37	33	C5f5	楕円形	48	35	48
10	C5b3	楕円形	43	30	27	22	C5f1	楕円形	40	31	50	34	C5f5	楕円形	43	25	45
11	C5b4	円形	34	33	35	23	C5f2	不定形	63	52	35	35	C5f4	楕円形	50	43	58
12	C5f5	楕円形	35	27	40	24	C5f2	楕円形	45	28	9	36	C5f4	楕円形	63	56	39

第3号ビット群 (付図2)

位置 調査区中央部 (D5c6～D5f8区) 標高18mほどの平坦な台地上の東西14m、南北12mの範囲から、ビット30か所を確認した。

重複関係 第7号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

規模 平面形は長径 19～78cm、短径 10～49cmの円形または楕円形で、深さは5～67cmである。ピットの分布状況から建物跡は想定できない。

所見 時期、性格ともに不明である。

表 40 第3号ピット群ピット一覧表

番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	D 5 8	楕円形	25	21	19	11	D 5 d5	楕円形	26	21	28	21	D 5 d6	円形	43	41	32
2	D 5 e7	楕円形	28	24	30	12	D 5 d5	楕円形	29	19	19	22	D 5 d7	円形	20	19	67
3	D 5 e7	楕円形	38	31	35	13	D 5 d5	楕円形	39	36	33	23	D 5 d7	楕円形	78	47	39
4	D 5 e6	楕円形	19	10	5	14	D 5 d6	楕円形	26	23	11	24	D 5 c7	楕円形	29	24	18
5	D 5 e6	楕円形	41	36	38	15	D 5 c6	楕円形	29	24	62	25	D 5 e7	楕円形	62	43	26
6	D 5 e6	楕円形	22	20	10	16	D 5 d6	楕円形	38	32	36	26	D 5 c7	楕円形	55	45	26
7	D 5 e4	楕円形	30	25	15	17	D 5 d7	楕円形	62	49	38	27	D 5 d8	楕円形	28	23	37
8	D 5 d6	円形	28	28	34	18	D 5 d7	楕円形	73	49	21	28	D 5 c7	円形	42	41	31
9	D 5 e5	楕円形	19	16	16	19	D 5 d7	楕円形	39	33	35	29	D 5 d5	[楕円形]	(37)	30	42
10	D 5 e5	円形	25	24	20	20	D 5 d7	楕円形	66	43	25	30	D 5 e5	[楕円形]	51	(41)	33

第4号ピット群 (付図2)

位置 調査区中央部 (D 5 b1～D 5 e3区) 標高 18 mほどの平坦な台地上の東西 11 m、南北 10 mの範囲から、ピット 25か所を確認した。

規模 平面形は長径 21～112cm、短径 20～96cmの円形または楕円形、不整楕円形で、深さは 12～51cmである。ピットの分布状況から建物跡は想定できない。

所見 時期、性格ともに不明である。

表 41 第4号ピット群ピット一覧表

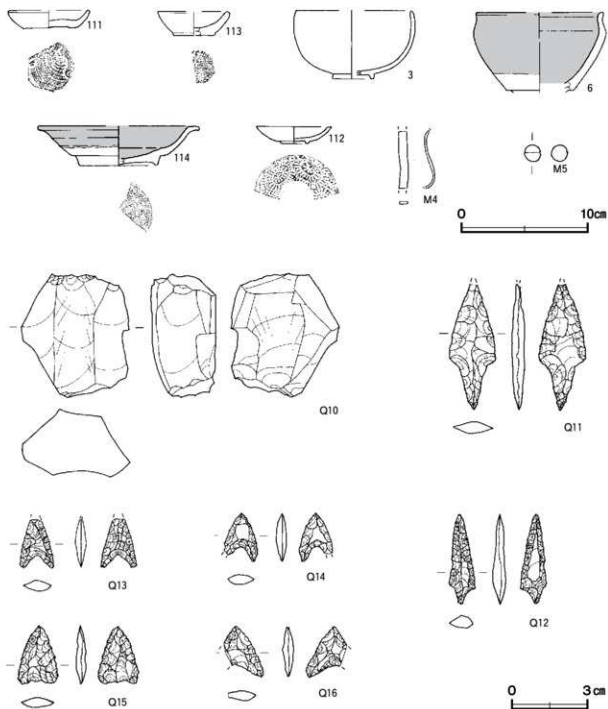
番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	D 5 e3	楕円形	50	43	43	10	D 5 d2	不整楕円形	61	53	48	19	D 5 c1	円形	21	20	12
2	D 5 d3	楕円形	28	24	33	11	D 5 c2	不整楕円形	39	29	22	20	D 5 e3	円形	25	23	14
3	D 5 d3	円形	43	42	37	12	D 5 c2	不整楕円形	86	46	27	21	D 5 d2	楕円形	22	20	15
4	D 5 d2	円形	40	38	44	13	D 5 c1	楕円形	74	57	40	22	D 5 d2	楕円形	51	45	45
5	D 5 d2	楕円形	28	24	48	14	D 5 b1	円形	45	44	40	23	D 5 d3	不整楕円形	45	32	51
6	D 5 d2	楕円形	23	20	19	15	D 5 d2	不整楕円形	112	96	44	24	D 5 d1	不整楕円形	59	46	51
7	D 5 d3	楕円形	23	20	40	16	D 5 e3	円形	46	43	46	25	D 5 d2	楕円形	35	27	26
8	D 5 d3	楕円形	34	30	22	17	D 5 c1	楕円形	46	37	20						
9	D 5 d3	円形	26	24	40	18	D 5 c1	楕円形	56	35	42						

表 42 その他のピット群一覧表

番号	位置	範囲	柱穴				主な出土遺物	備考
			柱穴数	平面形	長径 (cm)	短径 (cm)		
1	D 7 d6～D 7 e8	東西 8 m、南北 6 m	10	円形・楕円形	44～69	40～62	19～36	
2	C 5 f1～D 5 a7	東西 25 m、南北 20 m	36	円形・楕円形 方形・長方形	27～86	20～83	9～67	
3	D 5 c6～D 5 d8	東西 14 m、南北 12 m	30	円形・楕円形	19～78	10～49	5～67	SB 7と顕出不明
4	D 5 b1～D 5 e3	東西 11 m、南北 10 m	25	円形・楕円形・ 不整楕円形	21～112	20～96	12～51	

(5) 遺構外出土遺物 (第 364 図)

今回の調査で出土した遺構に伴わない遺物について、実測図と観察表に掲載する。



第 364 図 遺構外出土遺物実測図

遺構外出土遺物観察表 (第 364 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
111	土師質土器	小皿	[6.2]	1.4	[4.0]	長石・石英・ 雲母	明赤褐	普通	底部回転糸切り	表土	50%
113	土師質土器	小皿	[5.5]	1.9	[3.0]	長石・石英・ 雲母	にがい黄緑	普通	底部回転糸切り	表土	50%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	絵付	釉色	産地	年代	出土位置	備考
3	磁器	中碗	[9.2]	5.4	[3.2]	緻密	灰白	-	透明	瀬戸・美濃系	18 C	表土	45% PL72
6	陶器	大目茶碗	[10.0]	6.4	-	長石	浅黄	-	褐(鉄)	瀬戸・美濃系	17 C 前~中	表土	20%
112	磁器	紅團口	[6.0]	1.4	[2.0]	緻密	灰白	彫押彫刻	白磁	瀬戸・美濃系	19 C 中	表土	50%
114	陶器	小皿	[12.8]	3.2	[6.2]	長石	浅黄	-	黒褐(鉄)	瀬戸・美濃系	17 C 中	表土	20%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
Q 10	石椀	4.9	4.3	2.6	39.70	チャート	多方向からの剥離面		表土	PL78
Q 11	皿	(4.9)	1.8	0.4	(3.29)	チャート	有茶線 先端部欠損 両面調整		表土	PL78
Q 12	皿	3.5	1.0	0.5	1.28	チャート	有茶線 両面調整		表土	PL78
Q 13	皿	(1.9)	1.4	0.4	(0.70)	チャート	無茶線 先端部欠損 両面調整		表土	
Q 14	皿	1.8	1.2	0.3	(0.66)	チャート	無茶線 一部欠損 両面調整		表土	
Q 15	皿	2.2	1.5	0.3	1.14	チャート	無茶線 両面調整		表土	
Q 16	皿	1.9	(1.6)	0.3	(0.94)	チャート	無茶線 一部欠損 両面調整		表土	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考
M 4	不明	(4.1)	0.7	0.2	(3.9)	銅	S 字状 断面長方形		表土	

番号	器種	長径	短径	重量	材質	特徴		出土位置	備考
M 5	鉄炮玉	1.3	1.2	9.60	鉛	中心部融ぎ合わせの痕跡		表土	

第4節 ま と め

1 はじめに

今回の調査では、縄文時代の竪穴建物跡1棟、陥し穴1基、平安時代の火葬墓1基、江戸時代の掘立柱建物跡14棟、井戸跡1基、粘土貼土坑16基、土坑6基、柱穴列2列、時期及び性格不明の竪穴遺構1基、土坑117基、溝跡1条、ピット群4か所を確認した。当遺跡は、縄文時代、平安時代の遺構が少数確認できるが、掘立柱建物跡や粘土貼土坑など江戸時代と考えられる遺構が中心である。

ここでは、当遺跡で確認した各時代の様相にふれながら、主に江戸時代の屋敷跡の変遷について、若干の考察を加えてまとめたい。

2 各時代の様相

(1) 縄文時代

当該期の遺構は、竪穴建物跡1棟、陥し穴1基である。第2号竪穴建物跡の時期は晩期中葉（安行Ⅲd式期）である。当竪穴建物跡は、調査区中央部にあり、本跡から南にかけては遺構が確認できないことから、集落は、調査区域の北側に広がっていたと推測できる。当遺跡の東側に隣接する宮内遺跡は、江川の谷を望む台地縁辺の緩斜面部に広がっており、中期・後期の遺構が確認されている。このことから、当該地域の縄文時代の人々は、台地縁辺の緩斜面部から平坦部へ生活の拠点を移していったものと考えられる。

(2) 平安時代

当該期の遺構は、第1号火葬墓1基で、火葬骨が埋納された蔵骨器が出土している。蔵骨器は、外容器・内容器で構成されており、それぞれ須恵器が転用されている。火葬骨は、50～60歳の熟年男性のものであろうと鑑定されている。¹⁾ 時期は転用された須恵器甕から9世紀中葉に比定できる。火葬は、仏教を介して中国から伝わったとされており、火葬された階層は、天皇、僧侶、官人などの有力者層に限られたことが分かっている。火葬は、中国文化への志向が強いこの時代において、先進的な文化を体現する葬法として浸透していった。『岩井市史 考古編』によると、旧岩井市では、当遺跡の他6例の火葬墓が確認されている。遺跡名が判明しているものが3例、詳細が不明なものが3例である。北ノ妻遺跡から出土した蔵骨器は、灰釉陶器短頸壺を本体とし、須恵器蓋で塞がれていた。短頸壺は愛知県猿投産の可能性が高く、時期は8世紀後半に比定できる。入畑遺跡から出土した蔵骨器は、須恵器甕を本体とし、須恵器盤を蓋として転用している。時期は盤の様相から9世紀前葉に比定できる。勝田久保北遺跡から出土した蔵骨器は須恵器有蓋短頸壺で、時期は8世紀後半に比定できる。いずれも内部に一定量の火葬骨が埋納されていた。ほかに旧岩井市の南西部、東に菅生沼を望む台地上の七郷から2例、下出島から1例の蔵骨器が出土している。時期はそれぞれ8世紀後半、9世紀代、9世紀代に比定できる。本跡の蔵骨器は、外容器と内容器で構成されている点が他の6例と異なっている。二重に蓋をする例は、霞ヶ浦周辺での出土が多く、その地域と何らかの交流があったことがうかがえる。当遺跡では、火葬墓に関わる可能性をもつ階層に結びつくような遺構は確認されていないが、火葬という先進的な葬法を用いている事実は、当地域における有力者の存在が想定される。当遺跡の東側に隣接する宮内遺跡が奈良・平安時代の集落を中心とした遺跡であることから、宮内遺跡の集落に関係する有力者層が埋葬された可能性が考えられる。

(3) 江戸時代

当該期の遺構は、掘立柱建物跡14棟、井戸跡1基、粘土貼土坑16基、土坑6基、柱穴列2列である。掘立柱建物跡、それに付随する井戸跡が確認され、日常生活で使用された雑器類が出土していることから、住居としての建物と想定できる。また、住居としては規模が小さい建物や構造的に脆弱な建物も確認していることから、倉庫的な建物も想定できる。これら江戸時代の遺構は、調査区中央部の約40m四方の範囲にまとまっている。以上のことから掘立柱建物跡が集中する区域は、住居（母屋）と付属施設（倉庫、納屋、井戸など）からなる屋敷跡の様相を呈している。性格付けができた掘立柱建物跡は第5・12・13・14号掘立柱建物跡の4棟で、第5号掘立柱建物跡は住居（母屋）、第12・13・14号掘立柱建物跡は倉庫や納屋と考えられる。また、これらの掘立柱建物跡は、配置や重複関係などから、少なくとも4時期の変遷が認められる。

3 屋敷跡の変遷

各掘立柱建物跡の規模と構造、桁行方向、配置、重複関係などから推測できる屋敷跡の変遷について述べていきたい。前述したように、本遺跡は4時期にわたっているものと考えられる。ここでは、I期を江戸時代（時期は不明）、II期を江戸時代（時期は不明）、III期を17世紀後葉～18世紀代、IV期を18世紀後葉とする。

(1) 掘立柱建物跡の分析

ア 規模と構造

すべて個別建物跡である。第5号掘立柱建物跡は7×5間（13.80×7.20m）、面積99.36㎡で、他の掘立柱建物跡と比べて2倍以上の規模である。規模の大きさと南面して建てられていることから住居と考えられる。第12号掘立柱建物跡は2×1間（3.60×3.60

m）の方形で、規模が小さいことから倉庫的な施設の可能性が高い。上記の2棟は他の掘立柱建物跡と比べて規模や構造がやや特徴的である。第13・14号掘立柱建物跡は桁行方向に対して梁行方向が長く、互いに構造も類似しており、倉庫、納屋などの施設と考えられる。

イ 桁行方向

南北方向、東西方向、北西・南東方向の3種類に分けられる。南北方向の掘立柱建物跡は、第6・10・11・12号掘立柱建物跡の4棟で、桁行方向は東西へ1°～5°の範囲である。東西方向の掘立柱建物跡は、第1～5・7・13・14号掘立柱建物跡の8棟で、桁行方向は東へ80°～89°の範囲である。北西・南東方向の掘立柱建物跡は、第8・9号掘立柱建物跡の2棟で、桁行方向は西へ8°～10°の範囲である。第8・9号掘立柱建物跡は、他の掘立柱建物跡と明らかに方向が異なるため同時期に存在し、第3・11

表 43 長右衛門元屋敷遺跡掘立柱建物跡一覧表

遺構名	桁行方向	柱間数		面積 (㎡)	時期
		桁×梁 (間)	桁×梁 (m)		
第1号掘立柱建物跡	N-80°-E	4×1	7.20×4.20	30.24	江戸時代 I期
第2号掘立柱建物跡	N-85°-E	4×1	7.20×3.90	28.08	江戸時代 II期
第3号掘立柱建物跡	N-85°-E	3×1	5.70×3.90	22.23	江戸時代 I期
第4号掘立柱建物跡	N-88°-E	2×2	4.00×5.60	22.40	18世紀 III期
第5号掘立柱建物跡	N-88°-E	7×5	13.80×7.20	99.36	18世紀後葉 IV期
第6号掘立柱建物跡	N-2°-E	2×1	3.60×2.70	9.72	17世紀後葉 III期
第7号掘立柱建物跡	N-86°-E	2×1	4.20×2.70	11.34	17世紀後葉 IV期
第8号掘立柱建物跡	N-10°-W	3×2	5.40×3.60	19.44	江戸時代 II期
第9号掘立柱建物跡	N-8°-W	4×2	7.20×3.60	25.92	江戸時代 II期
第10号掘立柱建物跡	N-1°-W	4×1	7.20×3.60	25.92	江戸時代 I期
第11号掘立柱建物跡	N-5°-W	4×1	7.60×3.60	27.36	江戸時代 I期
第12号掘立柱建物跡	N-2°-W	2×1	3.60×3.60	12.96	17世紀後葉 III期
第13号掘立柱建物跡	N-89°-E	2×1	3.60×5.10	18.36	18世紀 III期
第14号掘立柱建物跡	N-88°-E	2×1	3.60×6.30	22.68	18世紀 III期

号掘立柱建物跡は桁行方向が互いに直交するL字状の位置関係にあるため、同時期に存在した可能性がある。

ウ 配置

建物跡が重複する場所は、第5号掘立柱建物跡を中心に見ると大きく5か所に分けられる。第5・13・14号掘立柱建物跡が確認できた中央エリア、第1・2号掘立柱建物跡が確認できた西部エリア、第3・4・8号掘立柱建物跡が確認できた北部エリア、第9・10・11・12号掘立柱建物跡が確認できた東部エリア、第6・7号掘立柱建物跡が確認できた南部エリアである。それぞれのエリアで2～4回の建て替えが行われたと想定できる。

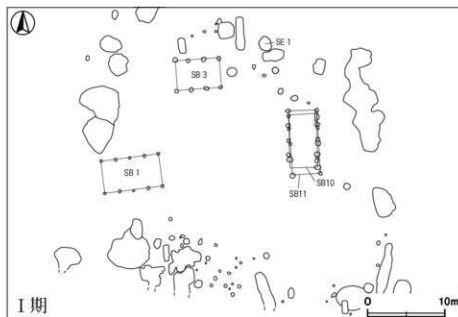
エ 重複関係

第1・2号掘立柱建物跡は4間×1間で柱穴の重複はないが、位置、規模、桁行方向がほぼ同じため建て替えと考えられる。第3・8号掘立柱建物跡は第8号掘立柱建物跡が第3号掘立柱建物跡の柱穴を掘り込んでおり、東西棟と南北棟の違いはあるが、位置、規模、構造がほぼ同じため、建て替えが推測できる。第13・14号掘立柱建物跡は新旧は不明である。位置、規模、構造がほぼ同じため、近い時期の建て替えが考えられる。第9～12号掘立柱建物跡は柱穴の重複関係から、第11号掘立柱建物跡→第10号掘立柱建物跡→第9号掘立柱建物跡の順で新しくなり、第12号掘立柱建物跡は第11号掘立柱建物跡の柱穴を掘り込んでいることから、第11号掘立柱建物跡より新しい。

(2) 変遷

I期・江戸時代の屋敷跡（第365図）

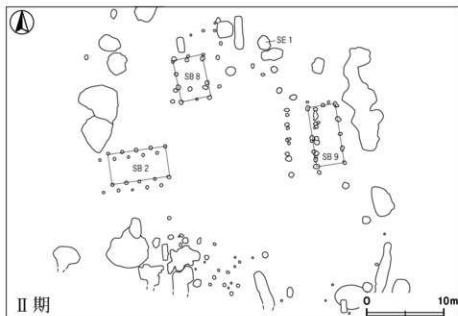
第1・3・10・11号掘立柱建物跡が該当し、第1号掘立柱建物跡と第3号掘立柱建物跡は桁行方向が同じで、第3号掘立柱建物跡と第11号掘立柱建物跡は直交するL字状に配置され、中央の広場（庭）を囲んでいる。その後、第11号掘立柱建物跡は第10号掘立柱建物跡へ建て替えている。



第365図 屋敷跡変遷図(1)

Ⅱ期・江戸時代の屋敷跡（第366図）

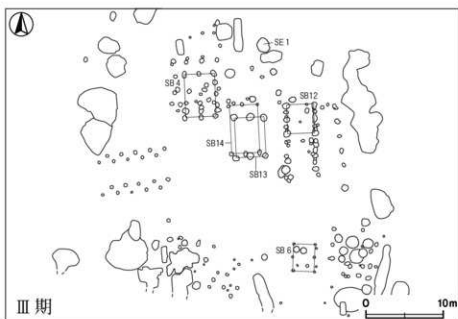
第2・8・9号掘立柱建物跡が該当し、Ⅰ期から第1号掘立柱建物跡→第2号掘立柱建物跡（桁行方向、規模と構造が同じ）、第3号掘立柱建物跡→第8号掘立柱建物跡（規模と構造が同じ、桁行方向を約90°変更）へ建て替えている。ほかに第10号掘立柱建物跡→第9号掘立柱建物跡（柱穴の重複）の建て替えも確認できた。



第366図 屋敷跡変遷図(2)

Ⅲ期・17世紀後半～18世紀の屋敷跡（第367図）

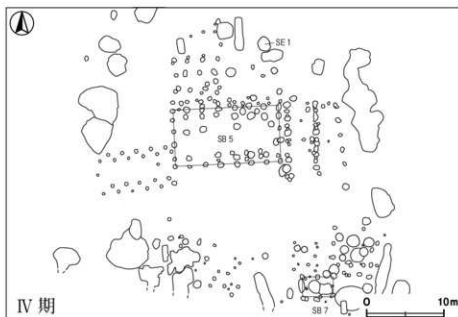
第4・6・12・13・14号掘立柱建物跡が該当し、Ⅱ期の掘立柱建物跡と規模や構造が異なる掘立柱建物跡である。第4・6・12号掘立柱建物跡（配置、桁行方向、時期）、第13号掘立柱建物跡と第14号掘立柱建物跡（規模と構造が同じ、新旧不明）がほぼ同時期に存在した。



第367図 屋敷跡変遷図(3)

Ⅳ期・18世紀後葉の屋敷跡（第368図）

第5・7号掘立柱建物跡（桁行方向が同じ）が該当する。



第368図 屋敷跡変遷図(4)

4 おわりに

以上、長右衛門元屋敷遺跡で確認した遺構の様相及び、江戸時代の屋敷跡の変遷について述べてきた。当遺跡は、今回の調査によって、縄文時代晩期に人々が生活し始め、断続的ではあるが、平安時代、江戸時代に生活を営んでいたことが明らかとなった。掘立柱建物跡、粘土貼土坑の性格付け、出土遺物の分類など更なる分析が必要となるが、今回の調査報告が当地域の歴史解明の資料となれば幸いである。

註

- 1) 付章を参照

参考文献

- ・上高津貝塚ふるさと歴史の広場『第11回特別展 火葬と古代社会－死をめぐる文化の受容』2006年3月
- ・白田正子（仮称）堂丸地区特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅱ 三度山遺跡 古屋敷遺跡」〔茨城県教育財団文化財調査報告〕第132集 1998年3月
- ・岩井市史編さん委員会『岩井市史 考古編』1999年3月

付 章

坂東市長右衛門元屋敷遺跡の蔵骨器内の焼骨について

大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

教授 西本 豊弘

長右衛門元屋敷遺跡から蔵骨器が出土し、その中に焼けた人骨が残っていた。人骨はよく焼けて収縮しており、堅くもろくなっていた。焼骨は蔵骨器の中の上位から0～5層まで6層に分けて採集されていた。しかし、0層から5層の内容は、頭蓋骨と四肢骨が混じっており、上下の層で内容の違いは見られなかった。

四肢骨のうち、左側上腕骨の遠位部と右側尺骨・右側大腿骨の近位部が確認されたが、いずれも大きく歪しいことから男性であろう。また、後頭部等の頭蓋骨の縫合は見られるが、骨化が見られることから熟年と推測される。なお骨にまで症状の表れる病気の痕跡は観察できなかった。歯は全く残っていなかったが、エナメル質が燃えやすいので、すべて焼失したのであろう。椎骨もほとんど見られなかった。椎骨もよく焼かれると保存されにくい部位であり、大部分が焼失したのであろう。



写真1 人骨

- 1 後頭骨 2～5 頭蓋骨片 6 胸椎 7 左側上腕骨 8 右側尺骨 9～16 四肢骨片
17 右側大腿骨

写 真 図 版

宮 内 遺 跡
長右衛門元屋敷遺跡



宮内遺跡出土羽口



調査区遠景(南から)



調査区中央区

PL2



第68号竖穴建物跡
遺物出土状況



第68号竖穴建物跡
完掘状況



第69号竖穴建物跡
遺物出土状況

第75号竪穴建物跡
完掘状況



第79号竪穴建物跡
完掘状況



第80号竪穴建物跡
完掘状況



PL4



第80号豎穴建物跡
遺物出土狀況



第80号豎穴建物跡
竈完掘狀況



第81号豎穴建物跡
完掘狀況

第81号竪穴建物跡
完掘状況



第82A号竪穴建物跡
完掘状況



第91号竪穴建物跡
完掘状況



PL6



第93号竖穴建物跡
完掘状況



第73号竖穴建物跡
完掘状況



第76号竖穴建物跡
完掘状況

第76号豎穴建物跡
竈完掘状況



第86号豎穴建物跡
遺物出土状況



第86号豎穴建物跡
完掘状況



PL8



第86号竖穴建物跡
完掘状況



第88号竖穴建物跡
完掘状況



第89号竖穴建物跡
完掘状況

第89号豎穴建物跡
完掘状況



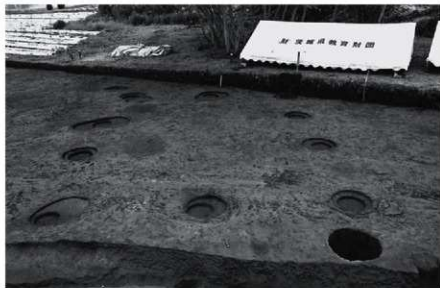
第92号豎穴建物跡
完掘状況



第1号豎穴遺構
遺物出土状況



PL10



第6号掘立柱建物跡
完掘状況



第7号掘立柱建物跡
完掘状況



第13号掘立柱建物跡
完掘状況

第1号鍛冶工房跡
遺物出土状況



第1号鍛冶工房跡
完掘状況
(南から)



第1号鍛冶工房跡
完掘状況
(東から)



PL12



第2号鍛冶工房跡
炉土層断面



第2号鍛冶工房跡
P1遺物出土状況



第2号鍛冶工房跡
P2遺物出土状況

第3号鍛冶工房跡
遺物出土状況



第3号鍛冶工房跡
炉土層断面



第180号土坑
遺物出土状況



PL14



第 565 号 土 坑
完 掘 状 况



第 768 号 土 坑
完 掘 状 况



第 83 (右) · 84 (左) 号
豎 穴 建 物 跡
完 掘 状 况

第84号豎穴建物跡
遺物出土狀況



第85号豎穴建物跡
完掘狀況



第87号豎穴建物跡
遺物出土狀況



PL16



第90号竖穴建物跡
完掘状況



第94号竖穴建物跡
遺物出土状況



第94号竖穴建物跡
竈完掘状況

第97号竪穴建物跡
遺物出土状況



第98号竪穴建物跡
完掘状況



第100号竪穴建物跡
竈遺物出土状況



PL18



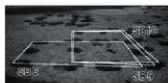
第102号竖穴建物跡
完掘状況



第102号竖穴建物跡
竈完掘状況



第103号竖穴建物跡
完掘状況



第 8 ~ 10 号
掘立柱建物跡
掘方完掘状況



第11号掘立柱建物跡
完掘状況



第 7 号 井戸跡
完掘状況



PL20



第 532 号 土 坑
遺 物 出 土 状 况



第 2 号 方 形 豎 穴 遺 構
完 掘 状 况



第 7 号 方 形 豎 穴 遺 構
完 掘 状 况

第10号方形竖穴遺構
完掘状況



第11号方形竖穴遺構
完掘状況



第12号方形竖穴遺構
完掘状況



PL22



第10号井戸跡
完掘状況

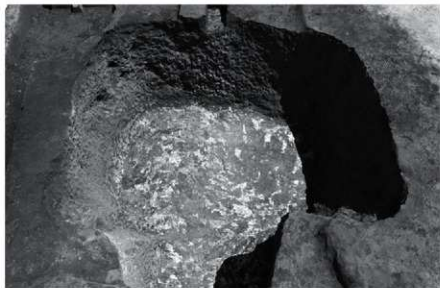


第13号井戸跡
遺物出土状況



第19号井戸跡
完掘状況

第2号地下式坑
完掘状況



第3・5号地下式坑
完掘状況



第6号地下式坑
完掘状況



PL24



第8号地下式坑
完掘状况



第14号地下式坑
完掘状况



第17号地下式坑
完掘状况

第 2 号火葬施設
完 掘 状 況



第 4 号火葬施設
完 掘 状 況



第 1 号屋外炉
遺 物 出 土 状 況



PL26



第 2 号屋外炉
完 掘 状 况



第 1・2号屋外炉
完 掘 状 况

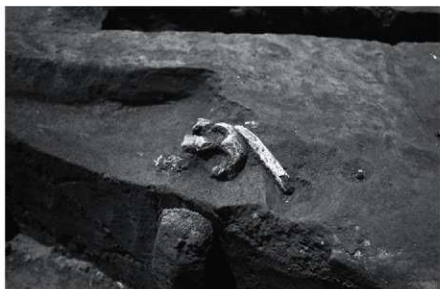


第 1 号堀跡
完 掘 状 况

第13号竖穴遺構
完掘状況



第1号墓坑
完掘状況



第4号墓坑
人骨・遺物出土状況





第 14 号 墓 坑
人 骨 · 遺 物 出 土 状 况



第 35 号 墓 坑
人 骨 出 土 状 况

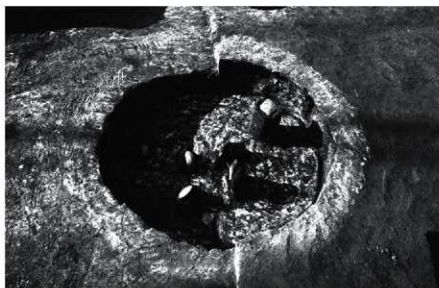


墓 坑 群
完 掘 状 况

第1～6号粘土貼土坑
完掘状況



第1号粘土貼土坑
遺物出土状況

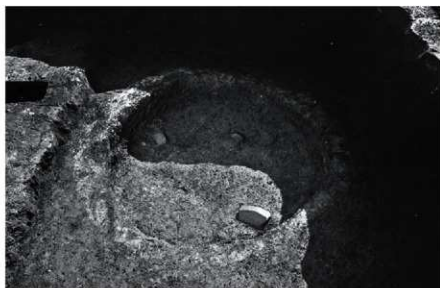


第3号粘土貼土坑
遺物出土状況





第5号粘土貼土坑
遺物出土狀況



第6号粘土貼土坑
遺物出土狀況



第8号粘土貼土坑
完掘狀況

第7号粘土貼土坑
確認状況
第15号粘土貼土坑
完掘状況



第7・15号粘土貼土坑
完掘状況



第13号粘土貼土坑
遺物出土状況



PL32



第55・56号溝跡
遺物出土状況



第56号溝跡
遺物出土状況



第1号道路跡
完掘状況

第 474 号 土 坑
土 玉 未 製 品
出 土 状 況



第 17 号 ビット 群
完 掘 状 況



第 19 号 ビット 群
完 掘 状 況







第68・69・75・80号竪穴建物跡出土土器









第97・98・102号竪穴建物跡，第7号井戸跡，第532・604号土坑出土土器

PL40

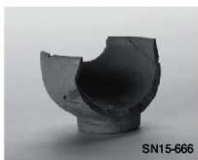


第87·98号竖穴建物跡，第532·544·605·625号土坑出土土器



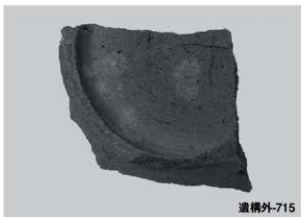
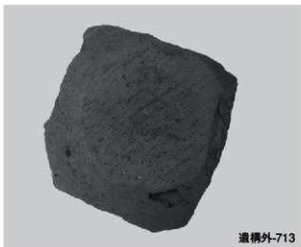


第6・13・19・20号井戸跡，第1号掘跡出土土器



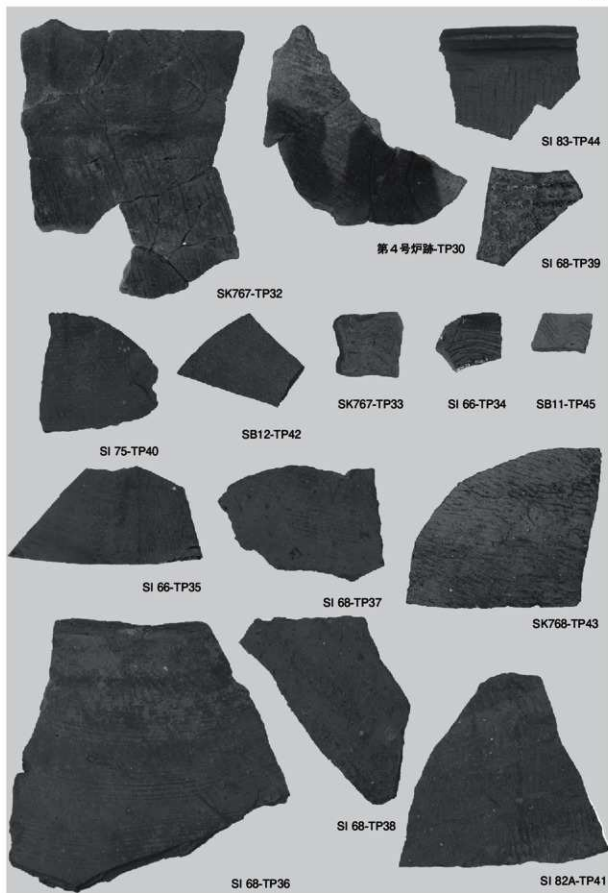
第7・14号墓坑，第1・4・6・15号粘土貼土坑，第5号炉跡出土土器



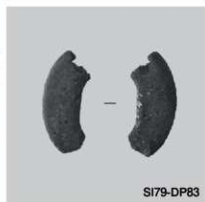
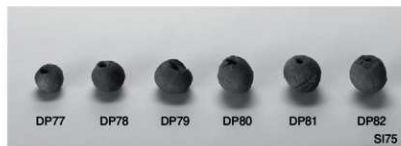


第1号竖穴遺構，第612号土坑，第56号溝跡，遺構外出土土器





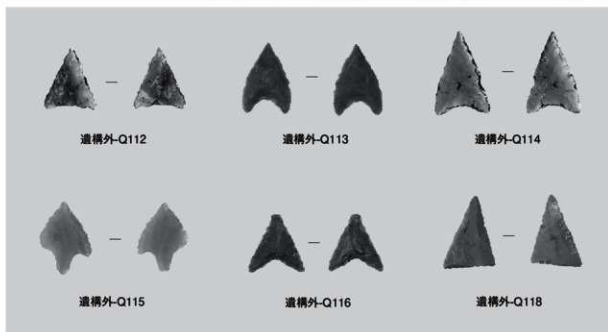
第66・68・75・82A・83号竪穴建物跡，第11・12号掘立柱建物跡，第4号炉跡，第767・768号土坑出土土器



第69・75・76・79・80・81・82B・92・94号竖穴建物跡，第17号掘立柱建物跡，第1号屋外炉，第55号溝跡，遺構外出土製品



PL50



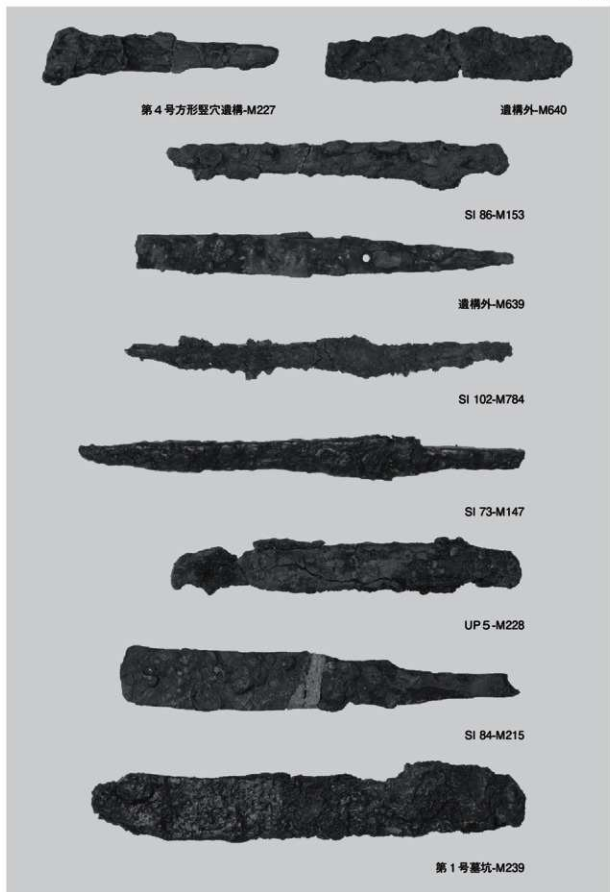
第9・17号地下式坑，第474号土坑，遺構外出土遺物



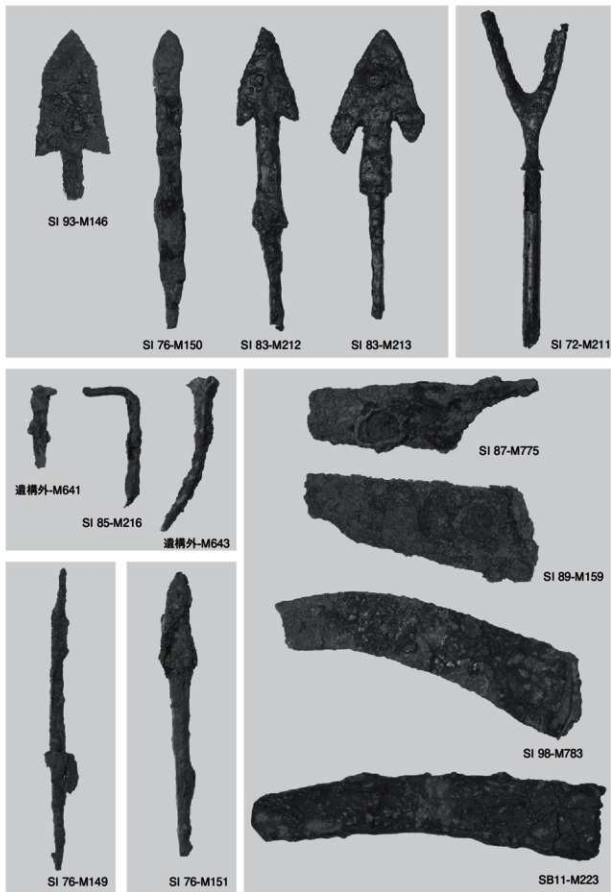
第83・94号竪穴建物跡，第180号土坑，第19号井戸跡，第5号粘土貼土坑，第30号溝跡，遺構外出土石器



第75·89·97·98号竖穴建物跡，第14·20·21·33·45·46号墓坑，第5号粘土貼土坑，遺構外出土遺物



第73・84・86・102号竖穴建物跡，第4号方形竖穴遺構，第5号地下式坑，第1号墓坑，遺構外出土金属製品



第72・76・83・85・87・89・93・98号竪穴建物跡，第11号掘立柱建物跡，遺構外出土金属製品

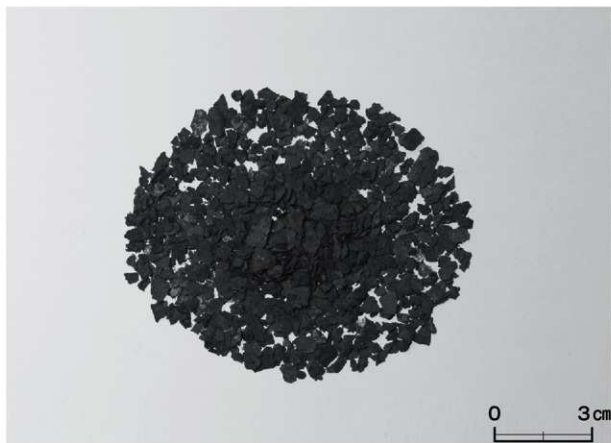
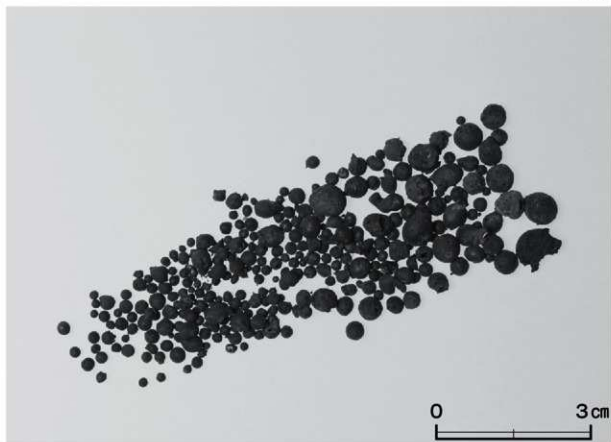


第85・87・88号竪穴建物跡，第1・2号鍛冶工房跡，第3・12・16・35号墓坑，第50号溝跡，第17号ビット群，遺構外出土金属製品

PL56



第1・2号鍛冶工房跡，第1号粘土貼土坑，第565号土坑，遺構外出土遺物



第2号鍛冶工房跡出土粒状滓・鍛造剥片



第37号墓坑-M350



UP 8 -M229



第2号屋外炉-M236



第13号竖穴遣構-M238



第1号墓坑-M248



第1号墓坑-M257



第3号墓坑-M264



第3号墓坑-M274



第3号墓坑-M284



第4号墓坑-M293



第4号墓坑-M294



第6号墓坑-M352



第6号墓坑-M356



第9号墓坑-M362



第10号墓坑-M367



第11号墓坑-M373



第11号墓坑-M374



第11号墓坑-M376



第12号墓坑-M300



第13号墓坑-M381



第13号墓坑-M383



第13号墓坑-M386



第14号墓坑-M303



第14号墓坑-M305

第13号竖穴遣構，第8号地下式坑，第2号屋外炉，第1·3·4·6·9·10·11·12·13·14·37号墓坑出土錢貨



第14号墓坑-M312



第15号墓坑-M403



第22号墓坑-M443



第22号墓坑-M446



第22号墓坑-M447



第22号墓坑-M450



第28号墓坑-M459



第29号墓坑-M462



第29号墓坑-M464



第30号墓坑-M469



第30号墓坑-M470



第30号墓坑-M478



第30号墓坑-M479



第31号墓坑-M491



第31号墓坑-M504



第31号墓坑-M505



第32号墓坑-M510



第32号墓坑-M516



第32号墓坑-M519



第32号墓坑-M520



第33号墓坑-M533



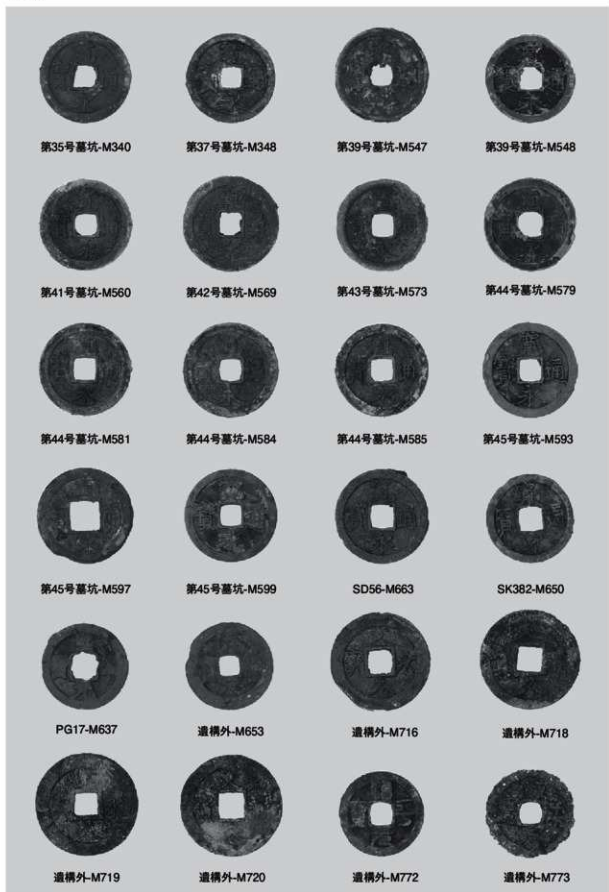
第33号墓坑-M534



第34号墓坑-M540



第35号墓坑-M339



第35・37・39・41・42・43・44・45号墓坑，第382号土坑，第56号溝跡，第17号ピット群，遺構外出土銭貨



長右衛門元屋敷遺跡遠景



長右衛門元屋敷遺跡掘立柱建物跡群

PL62



第2号竖穴建物跡
完掘状況



第1号陥し穴
完掘状況



第1号火葬墓
確認状況

第 1 号 火 葬 墓
遺 物 出 土 状 况



第 1 ・ 2 号
掘 立 柱 建 物 跡
完 掘 状 况



第 3 ・ 4 号
掘 立 柱 建 物 跡
完 掘 状 况



PL64



第5・10～14号
掘立柱建物跡
完掘状況



第6・7号
掘立柱建物跡
完掘状況

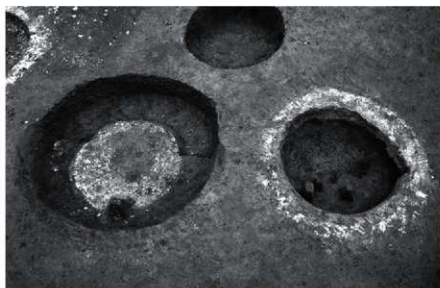


第1号井戸跡
完掘状況

第 1・2 号
粘土貼土坑
遺物出土状況



第 3・5 号
粘土貼土坑
遺物出土状況



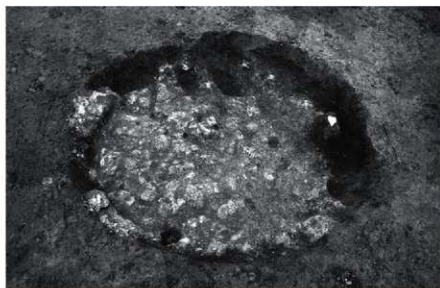
第 4 号粘土貼土坑
遺物出土状況



PL66



第6号粘土貼土坑
遺物出土狀況



第7号粘土貼土坑
遺物出土狀況



第8号粘土貼土坑
第6号土坑
遺物出土狀況

第 9・10 号
粘土貼土抗
遺物出土状況



第11号粘土貼土抗
完掘状況



第12号粘土貼土抗
遺物出土状況



PL68



第13号粘土貼土抗
遺物出土狀況



第15号粘土貼土抗
遺物出土狀況



第16号粘土貼土抗
完掘狀況

第 1 ~ 11 号
粘土貼土抗
完掘状況



第 5 号土抗
遺物出土状況



第 71 号土坑
完掘状況



PL70



第 70 号 土 抗
遺 物 出 土 状 况



第 70 号 土 抗
遺 物 出 土 状 况



第 1 号 溝 跡
完 掘 状 况



第1号火葬墓-105-108



第1号火葬墓-105



第1号火葬墓-106



第1号火葬墓-107



第1号火葬墓-108

PL72



第10号粘土貼土坑，第5・70号土坑，遺構外出土土器





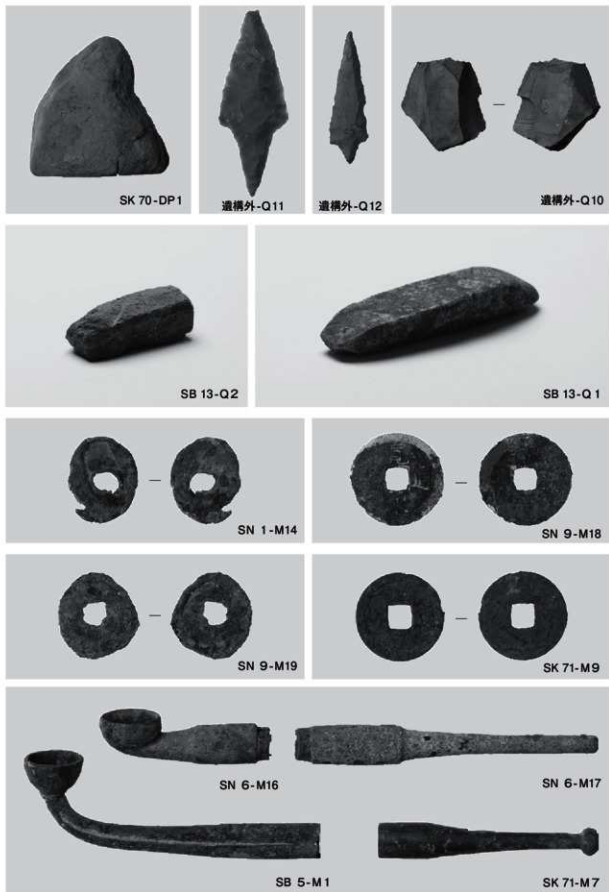


PL76



第70号土坑出土土器





第5・13号掘立柱建物跡，第1・6・9号粘土土坑，第70・71号土坑，遺構外出土遺物

抄 録

ふりがな	みやうちいせきに ちょううえもんもとやしきいせき							
書名	宮内遺跡2 長右衛門元屋敷遺跡							
副書名	国道354号岩井バイパス事業地内埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ名	茨城県教育財団文化財調査報告第387集							
著者名	舟橋理 長洲正博 大島孝博							
編集機関	公益財団法人茨城県教育財団							
所在地	〒310-0911 茨城県水戸市見和1丁目356番地の2 TEL 029-225-6587							
発行日	2014(平成26)年3月12日							
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	標高	調査期間	調査面積	調査原因
宮内遺跡	茨城県水戸市見和1丁目356番地2	08218	36度3分49秒	139度53分29秒	12 19m	20120401 20130131	17,044 m ²	国道354号岩井バイパス事業に伴う事前調査
長右衛門元屋敷遺跡	茨城県水戸市見和1丁目356番地2	08218	36度3分54秒	139度53分8秒	18 19m	20110501 20110831	8,000 m ²	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
宮内遺跡	集落跡	縄文	竪穴遺構 2基		縄文土器(深鉢)			
		古墳	竪穴建物跡 15棟		土師器(坏・轆・甕・甗)、須恵器(坏・蓋・甕)、土製品(土玉)、石器(砥石)、石製品(勾玉)、鉄製品(鉄)			
	奈良	竪穴建物跡	8棟		土師器(鉢・甕)、須恵器(坏・高台付坏・蓋・甗・鉢・長頸甕・甗・甕)、土製品(土玉・支脚・羽口)、伊織材、石器(砥石・紡錘車・金床石)、鉄製品(刀子・鎌・釘・鋸・鉄槌)、鍛冶関連遺物			
		竪穴遺構	1基					
	平安	掘立柱建物跡	8棟					
		鍛冶工房跡	3基					
	室町	竪穴建物跡	15棟					
		掘立柱建物跡	5棟					
方形竪穴遺構		11基		土師質土器(小皿・内耳鍋)、瓦質土器(内耳鍋)、陶器(甕・皿・鉢・漆鉢・花瓶)、石器(砥石)、板碑、鉄製品(刀子・釘)、銭貨				
掘立柱建物跡		17基						
火葬施設		5基						
江戸	竪穴遺構	1基		土師質土器(皿・焙烙)、陶器(甕・皿・打明皿・鉢・漆鉢・香炉・德利・仏師杖)、磁器(碗・湯呑・花瓶)、土製品(土人形)、石器(砥石)、石製品(数珠玉)、鉄製品(包丁・小刀)、銅製品(指輪・煙管)、銭貨、ガラス製品(数珠玉)				
	掘立柱建物跡	1棟						
	粘土貼土坑	46基						
	粘土貼土坑	15基						
時期不明	井戸溝	16基		縄文土器、土師器、須恵器、陶器、土製品、石器、石製品、鉄製品、銅製品、銭貨				
519基	34条							
34条								
長右衛門元屋敷遺跡	集落跡	縄文	竪穴建物跡 1基		縄文土器(深鉢)			
		平安	竪穴建物跡 1基		磁器[須恵器(高台付皿・鉢・甗)]			
	江戸	掘立柱建物跡	14棟		土師質土器(小皿・焙烙)、陶器(碗・鉢・土瓶)、磁器(碗・皿・香炉)、石器(砥石)、銅製品(煙管)、銭貨			
	粘土貼土坑	16基						
粘土貼土坑	6基							
時期不明	竪穴遺構	1基						
要約	宮内遺跡は、古墳時代から平安時代まで断続的に集落が営まれていたことが分かった。特に奈良時代は、鍛冶工房が出現し、鉄製品を生産していたことが判明した。室町時代には、方形竪穴遺構と地下式坑が密集して作られ、倉庫と住居が密接に関係していたことが分かった。江戸時代には、竪穴遺構と墓池として利用されていた。							
	長右衛門元屋敷遺跡は、縄文時代晩期から江戸時代まで断続的に集落が営まれていたことが分かった。縄文時代晩期は集落、平安時代は墓池、江戸時代は屋敷地として利用されていた。							

印刷仕様

編集	OS	Microsoft Windows 7 Home Premium ServicePack1
	編集	Adobe InDesign CS5
	図版作成	Adobe Illustrator CS5
	写真調整	Adobe Photoshop CS5
	Scanning	6×7 film Nikon SUPER COOLSCAN9000 図面類 EPSON ES-1000G
使用Font	OpenType	リュウミンPro・L
写真	線数	モノクロ175線以上 カラー210線以上
印刷	印刷所へは、	Adobe InDesign CS5でレイアウトして入稿

茨城県教育財団文化財調査報告第387集

宮内遺跡 2 長右衛門元屋敷遺跡

国道354号岩井バイパス事業
地内埋蔵文化財調査報告書
下巻

平成26(2014)年 3月10日 印刷
平成26(2014)年 3月12日 発行

発行 公益財団法人茨城県教育財団

〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2
茨城県水戸生涯学習センター分館内

TEL 029-225-6587

HP <http://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 富士オフセット印刷株式会社

〒310-0067 水戸市根本3丁目1534-2
TEL 029-231-4241

